

Quark Publishing Platform 10.1ガイド

目次

はじめに....8
本書の対象読者....8
本書の表記規則....8

Quark Publishing Platformについて....10
Platformの概念....11
Platformのコンポーネント....13
Platformのアーキテクチャ....14
Platformの機能....15

設定....17
管理クライアント....17
システムエリア....18
コンテンツモデル領域....18
ワークフロー領域....18
ユーザーとグループエリア....18
ストレージオプションの設定....19
リポジトリの追加....19
リポジトリの削除....20
コンテンツタイプの使用....20
コレクションの種類の使用....21
属性の使用....22
属性の定義....22
属性への制限の追加....27
関係の使用....29
ワークフローの使用....30
ワークフローの作成....30
状況の使用方法....31
フォームの使用....33
ロールと権限の定義....34
ロールおよび権限....34
ユーザーの作成と削除....34
LDAPによるユーザーリストの管理....36
グループの作成と削除....40
変更履歴のカラーの設定....41

メンテナンスとアセット管理....43
ユーザーアクティビティの監視とユーザーのログオフ....43

アセットの削除.....44
アセットのアーカイブ.....44
アセットの復元.....45

ユーザーインターフェイス.....47
ロール、表示、およびコンテンツ構造の概要.....47
ワークスペースブラウザウィンドウ.....47
ワークスペースブラウザウィンドウ.....47
ワークスペースツールバー.....49
表示オプションの表示.....53
アイコン列.....59
プレビューペイン.....60
メニュー（Quark Publishing Platform Client）.....61
Quark Publishing Platform Clientメニュー（Mac OSのみ）.....61
ファイルメニュー.....61
編集メニュー.....62
表示メニュー.....62
アクションメニュー.....62
レイアウト指定メニュー.....64
検索メニュー.....64
ウィンドウメニュー（Mac OS）.....65
ヘルプメニュー.....65
メニュー（QCD）.....65
QuarkCopyDeskメニュー（Mac OSのみ）.....65
プラットフォームメニュー.....65
メニュー（QXP）.....66
QuarkXPressメニュー（Mac OSのみ）.....67
補助メニュー.....67
ウィンドウメニュー.....67
プラットフォームメニュー.....67
メニュー（Microsoft Word、Excel、PowerPoint用Platform adapter）.....69
ファイルメニュー.....70

Clientのタスク.....73
Quark Publishing Platformの仕組みの理解.....73
Quark Publishing Platform ServerとQuark Publishing Platformクライアントアプリケーション.73
Quark Publishing Platformのワークフローの管理.....73
Quark Publishing PlatformでのXML Authorの使用.....74
Microsoft Office用Quark Publishing Platform Adapterの使用.....74
QXPからのアセットの割り当てと管理.....74
ルーティングおよびトラッキング.....78
出力と書き出しの自動化.....79
アーカイブと復元.....79
ログオン.....79
アセットの作成（QCDおよびQXP）.....81

コレクションの使用.....82
コレクションテンプレートの使用.....82
コレクションの作成.....83
コレクションの編集.....90
コレクションの複製.....91
コレクションの削除.....92
コンテンツの追加（QCDおよびQXP）.....92
アセットのチェックイン.....93
チェックインコマンド.....93
その他のチェックインコマンド.....94
複数のアセットのチェックイン.....95
画像のあるプロジェクトのチェックイン（QXPのみ）.....96
サーバーへ保存（Microsoft Office用Platform Adapter）.....96
アセットの割り当て.....98
アセットの割り当て：Quark Publishing Platform Client.....98
アセットの割り当て：QXP.....99
検索の実行.....100
クイック検索機能の使用.....102
ネスト構造検索の実行.....102
フルテキスト検索の実行.....103
コレクションの検索の実行.....105
ここから検索.....106
保存済みの検索結果の使用.....106
検索結果の管理.....106
検索結果.....107
アセットのチェックアウト.....109
アセットのチェックアウト：Quark Publishing Platform Client.....109
アセットのチェックアウト：QCD.....109
アーティクルまたはプロジェクトのチェックアウトQXP.....109
リンクを含むプロジェクトのチェックアウト：QXP.....110
画像のチェックアウトおよび編集： QXPおよびQCD.....110
高度な検索の使用：QCDおよびQXP.....110
チェックアウトのキャンセル.....111
Microsoft Office用のQuark Publishing Platform Adapter.....111
テンプレートの使用.....112
レイアウトへのコンテンツのリンク.....113
プライマリリンクとセカンダリリンク.....114
ドラッグによるアーティクルコンポーネントのリンク.....115
ドラッグによるアーティクルのリンク.....115
割り当てによるアーティクルのリンク.....118
レイアウトへのテキストファイルのリンク.....118
レイアウトへの画像のリンク.....119
リフローアーティクルへのマルチメディアアセットのリンク.....119
リンクのトラッキング.....119
コンポーネントの分離.....120
レイアウトへのデジタルアセットのリンク.....120
アーティクルのジオメトリの置換.....121

ライブラリの使用.....121
編集不可モードを使用したアセットの表示.....122
パブリッシングアセット.....122
属性情報の表示および編集.....123
アセットのリビジョンの保存.....124
Microsoft Office用Platform adapter.....124
検索結果ペインのカスタマイズ.....127
Quark Publishing Platform Clientの環境設定.....128
全般ペイン.....128
ワークスペースペイン.....130
起動モードペイン.....131
アーカイブペイン.....132
Quark Publishing Platformの環境設定：QXP.....133
QXP環境設定：全般ペイン.....133
QXP環境設定：ワークスペースペイン.....136
QXP環境設定：プロジェクトとリンクペイン.....137
QXP環境設定：アーティクルペイン.....138
QXP環境設定：警告ペイン.....139
Quark Publishing Platformの環境設定：QCD.....141
QCD環境設定：全般ペイン.....141
QCD環境設定：ワークスペースペイン.....143
QCD環境設定：アーティクルペイン.....144
QCD環境設定：警告ペイン.....145
Microsoft Office用Quark Publishing Platform Adapterの環境設定....146
Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 全般タブ.....146
Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 接続の設定タブ.....147
Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 検索タブ.....147
Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 詳細設定タブ.....148

変更履歴.....149
変更履歴コントロールの使用.....149

ノート.....151
ノートの使用.....151
ノートの開始と終了.....151
ノートの表示および非表示.....151
ノートの削除.....151
ノートおよびテキストの相互変換.....152
作成者、日付、名前、または色別のノートの表示.....152
ノートの移動とサイズ変更.....152
ノートの印刷.....152
PDFのノート.....152

Web Client.....154
Quark Publishing Platform Web Clientを使用したログオン.....154
パスワードの変更.....155

検索結果表示のカスタマイズ.....156
Web Clientでの検索.....156
Web Clientでのアーカイブと復元.....156
表示オプションの使用.....156
Quark Publishing Platform Web Clientでのアセットのプレビュー.....158
発行機能の使用.....158
アセットの属性の編集.....159
アセットのリビジョン表示.....159
関係の情報の表示.....160
Quark Publishing Platform Web Clientでのアーティクルの作成.....161
Quark Publishing Platform Web Clientでの、テンプレートからのプロジェクトの作成.162
Quark Publishing Platform Web Clientでのアーティクルの編集.....162
テキストコンポーネントの編集.....163
画像コンポーネントの編集.....165
コンポーネントの管理.....166
アーティクル内のテキストの検索と置換.....167
編集のためのバックグラウンドカラーの調整.....168
編集のためのテキストサイズの変更.....168
ルビの使用.....169
縦組み用グループ化文字の使用.....169
アーティクルでのノートの使用.....170
Quark Publishing Platform Web Clientでのプロジェクトの編集.....171
Quark Publishing Platform Web Clientでのコールアウト.....171
その他のファイルのチェックイン.....171
その他のファイルの編集.....172
アセットの削除、複製、およびローカルコピーの取得.....172
アセットの削除.....173
アセットの複製.....173
アセットの取得.....173
Web Clientでのプレビューペインの使用.....174
Quark Publishing Platform Web Clientの環境設定.....174

Script Manager.....176
Quark Publishing Platform Script Manager設定.....176
Quark Publishing Platform Script Managerの使用.....177
Quark Publishing Platform Script Managerを使用したログオン.....177
スクリプトの作成.....178
スクリプトの取り込み.....179
スクリプトの削除および書き出し.....180
スクリプトの記述、編集、および起動.....180
Quark Publishing Platform Serverオブジェクトへのアクセス.....181
スクリプトへのスクリプトの読み込み.....181
ログスクリプトとデバッグスクリプト.....181
スクリプトでのユーティリティメソッドの使用.....182
スクリプトの起動.....182
Quark Publishing Platformのイベントベーススクリプトの例.....183

手動によるスクリプトの実行.....184

権限.....185
コンテンツの権限.....186
コンテンツの権限： 全般.....186
コンテンツの権限： 属性の編集.....187
コンテンツの権限： ジョブジャケット.....188
コンテンツの権限： 変更履歴の編集.....188
コンテンツの権限： アーティクルのコンポーネント.....188
コンテンツの権限： 画像の編集.....189
コンテンツの権限： 編集.....189
アプリケーションの権限.....190
アプリケーションの権限：管理.....190
アプリケーションの権限：ワークスペース.....191

用語集.....192

法律上の注記.....203

はじめに

Quark® Publishing Platform™は、制作ワークグループのネットワークアプリケーションの集合です。このガイドでは、Quark Publishing Platform Clientアプリケーションに関する概要を示し、Quark Publishing PlatformがQuarkXPress®とQuarkCopyDesk®に追加する機能について説明します。このガイドを使用して、各機能の内容とその目的、これらの機能の配置方法、および機能の格納場所について学びます。Quark Publishing PlatformとXML Authorを使用する方法の詳細は、Quark XML Author for Quark Publishing Platformのドキュメントを参照してください。

本書の対象読者

本書では、ユーザーがコンピュータの操作に慣れていると同時に、下記の操作方法を理解していることを想定しています。

- アプリケーションの起動
- ファイルを開く、保存する、閉じる
- メニュー、ダイアログボックス、およびパレットの使用
- マウス、キーボードコマンド、および修飾キーの使用

これらのタスクの詳細については、ご使用のコンピュータに付属の参考資料（ユーザーガイド、リファレンスガイドなど）を参照してください。

本書の表記規則

本書では、ユーザーが必要な情報をすばやく見つけることができるように、表記規則を使用して重要な情報を強調表示しています。

- ボールド体：ダイアログボックス、フィールド、およびその他のコントロールの名前はすべてボールド体で表記されています。例：「**管理**ペインの**ストレージ**をクリックします。」
- 参照：機能の説明では、括弧内の参照からその機能の情報にアクセスできます。例：「**システムストレージ**コントロール（**管理**ペイン）では、アセットのストレージを指定できます。」
- 矢印：矢印（>）は機能へアクセスするためのパスを示すもので、頻繁に使用されます。例：「ユーザーを追加するには、**管理** > **ユーザープロファイル**を選択します。」

- アイコン：多くのツールやボタンは、ツールチップで表示される名前で説明されますが、ユーザーが見つけやすいようにアイコンで示される場合があります。
- プラットフォーム間の問題：ユーザーインターフェイス規則やその他の要因により、一部のラベル、ボタン、キーの組み合わせ、およびその他のQuark Publishing Platformクライアントアプリケーションの機能が、Mac OS®とWindows®で異なる場合があります。そのような場合は、Mac OSとWindowsの両方のバージョンが記載されています。両バージョンはスラッシュで区切られ、Mac OSバージョンが先に記載されます。たとえば、Mac OSバージョンのボタンの名前が**選択**で、Windowsバージョンの名前が**参照**の場合、説明は「**選択／参照**をクリックします」となります。プラットフォーム間の違いがより複雑な場合は、ノートや括弧を使用して説明されます。

➡ ノートは特定の機能に関する有効な情報や、ソフトウェアの使用に関する一般的な技術情報を提供します。

Quark Publishing Platformについて

Quark Publishing Platformは、すべてを備えた、自動化による、エンドツーエンドのマルチチャンネルのパブリッシングを実現するための、高度な設定が可能なソリューションです。Quark Publishing Platformは、すべてを手作業で行うパブリッシングシステムから高度な自動ワークフローまで、エンドツーエンドのパブリッシングニーズに対応できるように設計されています。

Platformは、コアモジュール群から構成されます。コアモジュールは、さまざまな方法で組み合わせたり、サードパーティシステムを統合して大部分のワークフローを調整したりできます。Platformの機能は、コンテンツの作成、管理、発行、配信という観点から説明できます。

作成
Quark Publishing Platformでは、次のことができます。

- さまざまな出版物用にプロフェッショナルなテンプレートをデザイン
- 使い慣れたMicrosoft Wordの環境で構造化コンテンツを作成
- データベースからのコンテンツを、他の形式のコンテンツと統合
- ビデオ、オーディオ、スライドショーなどのマルチメディアコンテンツを利用

管理
Quark Publishing Platformには、次のような機能があります。

- ワークフローとグループ作業のためのツール
- タスクと更新の通知
- コンポーネントの管理
- 自動チェック
- バージョン管理

発行
Quark Publishing Platformでは次のことができます。

- さまざまなソースからのさまざまな種類のコンポーネントを、洗練されたレイアウトに自動的に集版
- それらのレイアウトを、さまざまなデバイス向けにさまざまな形式で自動的に発行

配信
Quark Publishing Platformに組み込まれている自動化機能によって、公共の環境でも、安全な環境でも、コンテンツの消費者に簡単にコンテンツを配信できます。

Platformの概念

Quark Publishing Platformを効果的に活用するには、Quark Publishing Platformで用いられている主要な概念について理解する必要があります。

アセット：アセットとは、独立したコンテンツの単位です。Quark Publishing Platformでは、アセットをそのメタデータとともに格納、追跡、管理します。また、Platformにはアセットのバージョン管理機能もあります。メジャーバージョンとマイナーバージョンの両方に対応しています。コレクション内のコンテンツタイプごとにバージョニングポリシーを設定できます。Platformでは、複数のレンディション（プレビュー、サムネール、XML表現など）のアセットもサポートしています。元のアセットの各バージョンとともに各レンディションを格納します。アセットは、設定が可能なリポジトリに格納されます。デフォルトのリポジトリはファイルサーバー上にありますが、接続型のサードパーティのリポジトリにも対応しています。

コンテンツタイプ：各アセットにはコンテンツタイプがあります。コンテンツタイプの概念とは、メタデータ、ワークフロー、関係、権限、レンダリングのアクションやパブリッシングのアクションをさまざまな種類のコンテンツと関連付けるために統一された仕組みです。Platformでは、画像、QuarkXPressプロジェクト、DITAトピック、DITA for Business Documentsなどの、さまざまなコンテンツタイプを自動的に検出できます。コンテンツタイプをアセットに割り当てることによって、Platformで、さまざまなライフサイクル、ワークフロー、パブリッシング要件をさまざまな種類のコンテンツに適用できるようになります。コンテンツタイプは階層構造です。子コンテンツタイプがその親コンテンツタイプから継承されており、簡単で論理的な構成になっています。子コンテンツタイプは、特定のメタデータやパブリッシングのアクティビティをその子コンテンツタイプと関連付けることによって、細かな調整が可能です。標準的なコンテンツタイプに加えて、Platformでは独自のコンテンツタイプも定義できます。また、コンテンツタイプを自動的に認識できるように、自動検出機能も備えています。

属性：アセットには属性を設定できます。属性とは、アセットが持つプロパティを表現するメタデータのコンテナです。アセットの属性の選択肢は、そのコンテンツタイプによって決まります。属性を使用して、独自のワークフローやパブリッシングのプロセスを制御できます。また、システム管理の状況を反映させることもできます。属性は、グローバルレベルで作成され、1つまたは複数のコンテンツタイプに適用できます。

関係：関係によって、2つのアセットが相互にリンクされます。1つのアセットが親となり、もう1つのアセットが子になります。関係には、関連付けられたメタデータがあります。さまざまな種類の関係と、さまざまな関連付けられたメタデータがあります。関係は、特定のバージョンの子アセットに対して指定できます。または、すべてのバージョンに対して適用できます。関係によって、コンポーネントとコンテンツの管理が可能になります。QuarkXPressプロジェクトとアーティクルコンポーネントの間やQuarkCopyDeskアーティクルコンポーネントと画像の間の関係は、あらかじめ定義されています。また、XMLコンポーネントの参照に対してもあらかじめ関係が定義されています。独自の関係を作成することもできます。

コンポーネントの管理や参照の機能を、XMLコンテンツに対してだけでなく、QuarkXPressやQuarkCopyDeskのコンポーネントに対しても使用できます。この場合、

アセットは、1つのトピック、概念、イメージ、またはメディアファイルになります。集約ドキュメント（DITAマップやQuarkXPressレイアウトなど）もアセットにできます。アセットのコンテンツタイプによって、その役割が決まります。

Platformでは、アセットの関係を使用して、コンテンツとコンポーネントの参照をモデル化します。コンテンツの再利用の場合は、Platformで複数の関係を作成し、コンポーネントの位置、更新の状況などを定義します。簡単に再利用できるように、Platformにチェックインする時点でコンテンツを直接選択できます。コンテンツを特定のバージョンに固定できます。または、コンテンツのマスターバージョンが変更されたときに自動的に更新されるようにできます。

コレクション：コレクションとは、アセットを整理するために使用できる汎用的な階層構造です。部門内の階層やフォルダ、ジョブをモデル化できます。また、1つまたは複数のワークフローを各コレクションにマッピングできます。各コレクションのアセットはそのコレクションのワークフローに付随します。 また、コレクションでは、ユーザーがコレクションと関連付けられます。さまざまなユーザーが、さまざまなコレクションのさまざまなロールを持つことができます。コレクションに固有のルーティングルールやリビジョンコントロールの設定を適用できます。また、コレクションに固有の属性を割り当てたり、コレクションに固有の形式で検索したりできます。コレクションのジョブジャケットファイルでは、そのコレクションのプロジェクトやアーティクルに利用できるリソースを定義します。

ワークフロー：ワークフローは、アセットの変化に対して名前や順序が指定された状況を提供することによって、アセットのライフサイクルの管理を可能にします。状況ベースの自動ルーティング機能によって、あらゆる動きを常にトラッキングできます。コンテンツタイプごとに異なるワークフローを作成したり、さまざまなワークフローの属性を示すためにさまざまなフォームを使用したりできます。また、判別しやすくするために、ワークフローの状況を色分けできます。各ワークフローに、独自のQuarkXPressやQuarkCopyDeskの変更履歴や、ジョブジャケットのルールの評価を設定できます。また、各属性に対する状況ベースの制限を適用できます。

パブリッシングサービス：パブリッシングサービスフレームワークは、タスクの発行と配信を自動化するサーバーサイドフレームワークです。設定や拡張が可能なパブリッシングプロセスを作成して、サードパーティのレンダラなどの、さまざまなレンダラを使用できます。

- **パブリッシングプロセス**は、XMLコンポーネントの参照やQuarkXPressのリンクの解決、変換の適用、適切なレンダリングエンジンへのコンテンツの送信、出力結果のパッケージや収集、レンダリングした出力結果のCMSへの配信やFTPやHTTPを通じた配信など、一般的なタスクをカプセル化した、再利用可能なアクティビティから構成されるパイプラインです。
- **パブリッシングチャンネル**は、特定のコンテンツタイプにマッピング可能な、パブリッシングプロセスの特定の設定です。Platformには、通常必要なアクティビティのライブラリと、複数種類の設定済みのパブリッシングチャンネルが同梱されています。
- 独自のアクティビティを開発するためのSDKも利用できます。

Platformのコンポーネント

Quark Publishing Platformは、コアモジュール間や他のシステムとさまざまな方法で組み合わせることができるコアモジュール群から構成されています。組織のニーズに応じて、これらのモジュールの一部を使用するか、すべてを使用するかを選択できます。

Quark Publishing Platform Server： Quark Publishing Platformの中核部分です。Quark Publishing Platform Serverでは、コンテンツの管理、ワークフローの制御や調整、アセットを整理するための階層構造スキームの提供とそれらのアセット間の関係の追跡、自動バージョニングの導入を行います。また、ユーザーおよび各ユーザーの権限を常に追跡できます。ウェブベースの管理インターフェイスによって、Quark Publishing Platform Serverを管理および設定できます。

Quark Publishing Platform Client： Platformクライアントは、Quark Publishing Platform Serverに接続できるすべてのアプリケーションを指します。利用できるクライアントとして、QuarkXPress for Quark Publishing Platform、Quark XML Author for Quark Publishing Platform、Quark Publishing Platform Web Client、QuarkCopyDesk for Quark Publishing Platform、Mac用およびWindows用デスクトップクライアントがあります。また、Quark Publishing Platform SDKを使用して独自のクライアントを導入および統合することもできます。iOS向けのサンプルクライアントである「Gateway Starterアプリ」も、SDKに含まれています。

- Platform用Quark XML Author： MXLコンテンツをMicrosoft Wordでオーサリングまたは再利用します。
- Microsoft Office Word用Quark Publishing Platform Adapter： Microsoft WordからPlatformをネイティブで使用できます。
- Microsoft Office Excel用Quark Publishing Platform Adapter： Microsoft ExcelからPlatformをネイティブで使用できます。
- Microsoft Office PowerPoint用Quark Publishing Platform Adapter： Microsoft PowerPointからPlatformをネイティブで使用できます。
- QuarkXPress： テンプレートの作成、カスタムレイアウト、コンテンツのオーサリング、レイアウトやコンテンツのレビューに使用します。
- QuarkCopyDesk： コンテンツのオーサリングやレビューに使用します。
- Quark Publishing Platform Web Client： Webブラウザでコンテンツのオーサリングとレビューを行うために使用します。
- Quark Publishing Platform Client： 汎用のデスクトップクライアントで、WindowsとMac OSで利用できます。

作業中のリポジトリ： XMLアセット、QuarkXPressアセット、QuarkCopyDeskアセットのバージョニングやコンポーネント管理の機能を提供するリポジトリです。出版物の完成後に、発行ファイルを記録システム内にアーカイブできます。

Quark Publishing Platform Renderer： QuarkXPress Serverで、コンポーネントアセットから発行されるファイルを生成するエンジンです。 QuarkXPress Serverでは、PDF、ePUB、App Studioアーティクル／App Studioパッケージ（iPadや他のデバイスに公開するため）などのさまざまな形式で出力ファイルを作成できます。

DITA Open Toolkit： DITAスキーマを使用しているXMLコンテンツから発行ファイルを作成するエンジンです。DITA Open Toolkitでは、Antenna HouseなどのXSL-FO

プロセッサを使用して、PDF、HTML、RTF、HTML Helpの形式で出力ファイルを作成できます。

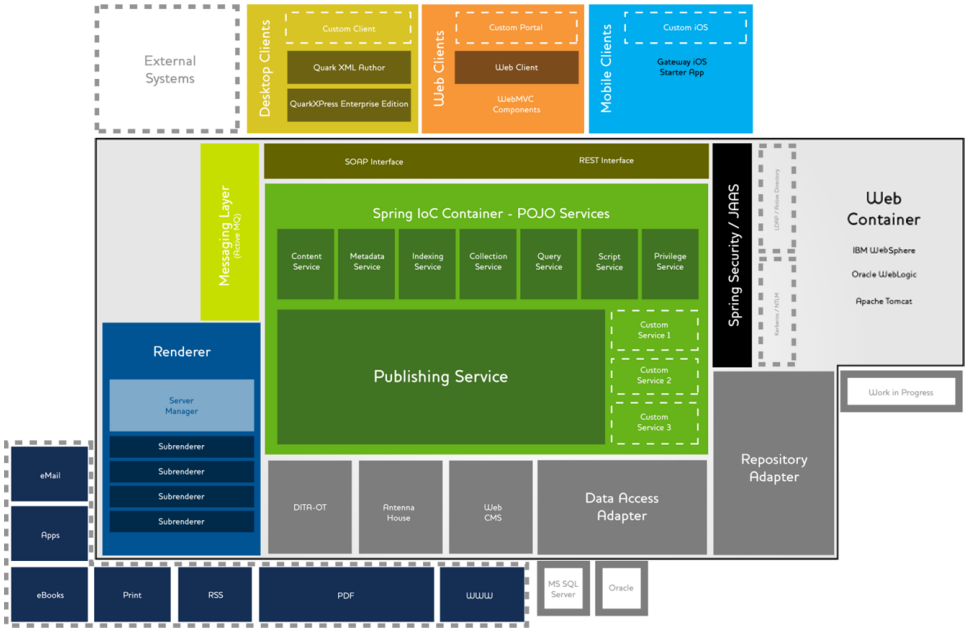
Quark Publishing Platform Script Manager：プログラミング言語の知識がなくても、Quark Publishing Platform Serverに高度な独自機能を作成できるスクリプト記述エンジンです。

Quark Publishing Platform SDKおよびRESTインターフェイス：独自のQuark Publishing Platformクライアントを簡単に作成できる強固なインターフェイスです。

上記のクライアントに加えて、Quark Publishing Platformでは、独自のモバイルクライアントアプリケーションにも対応できます。PlatformにはGateway iOS Starterアプリというサンプルモバイルアプリケーションのソースコードがあり、iPhoneやiPad向けに独自のPlatformクライアントを作成する方法が説明されています。 Windows 8.1用にも、これと同等のWindows 8.1用Gateway Starterアプリのサンプルが用意されています。

Platformのアーキテクチャ

Quark Publishing PlatformはSOAやSpring Frameworkなどのオープンな業界標準を使用して構築されており、既存の業務システムと簡単に統合できます。Quark Publishing Platformのアーキテクチャは、以下の図のようになっています。



Quark Publishing Platformのアーキテクチャ

中心にあるのが、Quark Publishing Platform Serverです。Quark Publishing Platform Serverは、ウェブコンテナ内で実行されるSpringベースのJavaアプリケーションです。このアプリケーションには複数のサービスがあり、Spring Frameworkを使用してホストされています。クエリの実行、権限の付与、メタデータの管理などのさまざまなオペレーションを実行するために使用されます。業務システムを統合するために独自のサービスを作成することもできます。

パブリッシングサービスでは、コンポーネントに対応したパブリッシングフレームワークを提供しています。複数のレンダラと統合して、PDF、電子書籍、iPadコンテンツ、

RSSフィード、シンジケーションなど、複数の形式でコンテンツを発行するシステムを提供できます。

図の上部は、Quark Publishing Platformのクライアントアプリケーションです。クライアントアプリケーションには、デスクトップアプリケーション（QuarkXPress、QuarkCopyDesk、Quark XML Author）、ウェブアプリケーション（Web ClientやWeb Administrator）、モバイルクライアント（Gateway iOS Starterアプリ）があります。これらのクライアントアプリケーションは、SOAPまたはRESTのうち最適な方のインターフェイスを通じてQuark Publishing Platform Serverと通信できます。

また、ウェブコンテナ内には、作業中のリポジトリやデータベースとQuark Publishing Platform Severが通信するために必要なアダプタがあります。その他のアダプタによって、Quark Publishing Platform Serverと、DITA Open ToolkitやAntenna HouseのXSL-FOフォーマッタなどの出力技術が接続されます。

また、ウェブコンテナではQuark Publishing Platform Rendererもホストします。Quark Publishing Platform Rendererによって、さまざまな形式で出力できます（左下隅の各ボックス）。要求をできるだけ効率的に処理するため、このレンダラには、Server Managerという名前のロードバランサがあり、複数のサブレンダラが個別に実行されています。

システム内のメッセージは、ActiveMQによって管理されている、Java Message Service（JMS）のメッセージで処理されます。

Platformでは、KerberosやNTLMの暗号を使用して、LDAPサーバーなどの外部のリソースと安全に通信できます。このため、Platformはシングルサインオンやドメインユーザーに対応できます。

Platformの機能

これまでに説明した機能の他に、Quark Publishing Platformには以下のような機能があります。

- **強力な、コンテンツの再利用機能**：Microsoft Wordだけで外観を確認しながら変更結果をプレビューできるインターフェイスによって、アセットやXMLコンテンツを簡単に使用および再利用できます。詳細は、Quark XML Author for Quark Publishing Platformのドキュメントを参照してください。
- **多彩な自動化機能**：Quark Publishing Platformのパブリッシングフレームワークを使用して、**パブリッシングチャンネル**（出力の自動作成の場合）や**配信チャンネル**（発行したコンテンツを配信先に配信する場合）を作成できます。
- **ワークフロー管理**：Quark Publishing Platformでは、自動的に状況に応じて適切な関係者にファイルをルーティングし、割り当てられたタスクをそれらの関係者に通知し、ドキュメントのドラフトにコメントを追加し、変更のトラッキングとレビューを行い、さまざまなユーザーが同時に作業できるように1つのドキュメントの作業を分割するワークフローを作成できます。
- **コレクションの階層**：作業中のリポジトリを、組織が自由な階層構造で管理できます。
- **高度なクエリエンジン**：Quark Publishing Platformの各種クライアントで、直感的なユーザーインターフェイスによって、メタデータの検索や全文検索などの強力なクエリエンジンを活用できます。クエリは、名前を付けたり、保存したりできます。また、他のユーザーと共有できます。

- **サーバーサイドスクリプティング**：Quark Publishing Platform Serverには、JavaScript用のスクリプト記述エンジンがあらかじめ設定された状態で出荷されます。スクリプティング機能は、Apache Bean Scripting Framework（BSF）を使用して実装されています。すべてのサービス、Data Transfer Object（DTO）、JMSメッセージをスクリプトエンジンに対して使用できます。スクリプトは、安全性と効率性を最大限に発揮できるように、サーバープロセスの個別のスレッドのサーバー上で実行されます。スクリプトは、手動、スケジュール、サーバーサイドのイベントによって開始できます。詳細は、「*Script Manager*」を参照してください。
- **ディレクトリサーバーの統合**：LDAPサーバーからユーザーを取り込めるため、シングルサインオンが可能になります。詳細は、「*LDAPによるユーザーリストの管理*」を参照してください。

設定

管理ロールのユーザーは、Quark Publishing Platformワークグループのワークフローを設定および維持できます。管理者は、ユーザーおよび生成するコンテンツの構造を確立するだけでなく、セキュリティの制御、デフォルトの設定、ストレージ場所の指定、ワークフロー内のすべてのアセットを追跡するパラメータのカスタマイズなども可能です。

管理クライアント

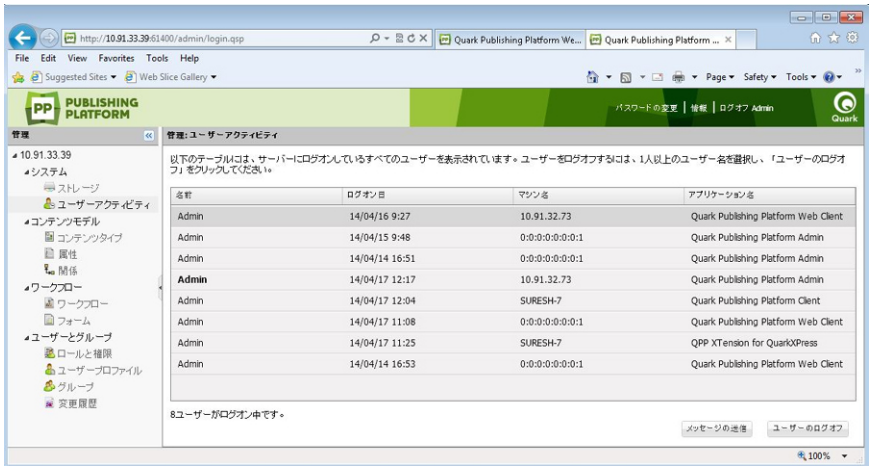
Quark Publishing Platform Serverを管理するには、ウェブブラウザで下記のURLに移動します。

http://[Platform ServerコンピュータのIPアドレス]:61400/admin

ホームページ（http://[Platform ServerコンピュータのIPアドレス]:61400）から管理機能を表示することもできます。

Quark Publishing Platform Web Administratorが表示されます。

ユーザーアクティビティを選択すると、管理クライアントによって、全ログオン済みユーザーのリストに、各ユーザーの名前、各ユーザーがログオンした日時、各ユーザーのマシン名、および各ユーザーのアプリケーションが表示されます。ユーザーをログオフする必要がある場合は、リストでユーザーの名前を選択して、**ユーザーのログオフ**をクリックします。ユーザーのログオフや、ログオン済みユーザーへのメッセージの送信を行うこともできます。



Web Clientで実行されている管理クライアント

システムエリア

システムエリアには、下記のコントロールがあります。

- **容量**：アセットのストレージフォルダを1つ以上指定し、異なるファイルタイプの保存ルールを確立するには、このコントロールを使用します。詳細は、「*ストレージオプションの設定*」を参照してください。
- **ユーザーアクティビティ**：ログオン済みのユーザーを表示できます。詳細は、「*管理クライアント*」を参照してください。

コンテンツモデル領域

コンテンツモデル領域には、下記のコントロールがあります。

- **コンテンツタイプ**：これらのコントロールを使用して、Platformで管理するコンテンツの種類を指定します。詳細は、「*コンテンツタイプの使用*」を参照してください。
- **属性**（「メタデータ」または「ヘッダー」ともいいます）アセット、アーティクルコンポーネント、コレクションの種類およびレイアウトの種類への関連付けが可能な属性を作成および設定するには、これらのコントロールを使用します。たとえば、画像のファイルタイプとして「承認済み画像」という属性を作成できます。ユーザーが画像を承認すると、そのユーザーは画像の「承認済み画像」チェックマークをオンにすることができます。別のユーザーが承認済み画像を検索すると、そのユーザーは「承認済み画像」属性を検索対象に追加し、検索結果を承認済み画像のみに限定できます。詳細は、「*属性の定義*」を参照してください。
- **関係**：これらのコントロールを使用して、Platformのアセット間で利用可能な関係を設定します。詳細は、「*関係の使用*」を参照してください。

ワークフロー領域

ワークフロー領域には、下記のコントロールがあります。

- **ワークフローの定義**：ワークフローの作成と設定を行うには、これらのコントロールを使用します。詳細は、「*ワークフローの使用*」を参照してください。

ユーザーとグループエリア

ユーザーとグループエリアには、下記のコントロールがあります。

- **ロールおよび権限**:ロールおよびそれに関連付けられた権限を作成、削除、改名、および変更するには、これらのコントロールを使用します。権限の設定についての詳細は、「*権限*」を参照してください。たとえば、「編集」というロールを作成して、執筆者と編集者にこのロールを割り当てることができます。このロールのすべてのユーザーは、編集を行う同じ権限を持つことになります。
- **ユーザープロファイル**：ユーザーの作成、ユーザーへのロールの割り当て、パスワードの割り当て、およびユーザーのログオン権限の有効化または無効化を行うには、これらのコントロールを使用します。ユーザーアカウントの削除、改名、および変更を行うこともできます。
- **グループ**：アセットのルーティング先とすることができるようにユーザープロファイルをグループに結合するには、これらのコントロールを使用します。割り当てをグループにルーティングすると、そのグループ内のすべてのユーザーに対する割り当てに、そのアセットが表示されます。そのグループでアセットをチェックアウトする最初のユーザー

が、そのアセットで作業する権限を取得します。グループの削除、改名、および変更を行うこともできます。

- **変更履歴**：ユーザーごとにデフォルトの変更履歴のカラーを指定するには、これらのコントロールを使用します。

ストレージオプションの設定

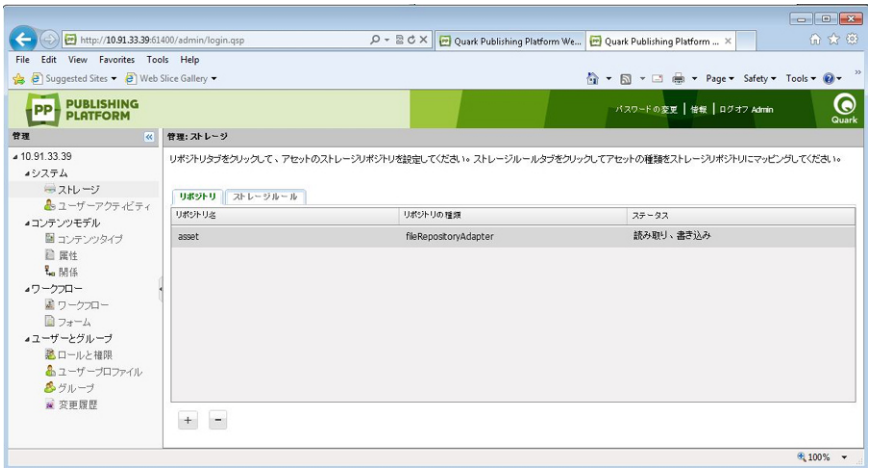
バージョン9.5より前のQuark Publishing Platformでは、ファイルタイプ別のリポジトリを作成することができます。バージョン9.5以降では、簡単にすべてのアセットの種類に対して1つのリポジトリを設定できます。容量を追加する必要がある場合は、リポジトリを追加できます。また、リポジトリの優先順位を変更して、新規アセットをどのリポジトリに書き込むかを制御できます。

ストレージオプションを設定するには、**ストレージ**をクリックします。

リポジトリの追加

ストレージリポジトリの追加については、下記の手順に従ってください。

1 **管理：ストレージ**ウィンドウで、**リポジトリ**タブをクリックします。



管理：ストレージ領域の**リポジトリ**タブを使用して、Quark Publishing Platformアセットが保存されているフォルダを表示および管理します。

2 +をクリックして、**新規リポジトリ**ダイアログボックスを表示します。

3 **名前**フィールドに、リポジトリの名前を入力します。

4 特定のファイルシステムのディレクトリを指定するには、**fileRepositoryAdapter**を選択してから、**URL**フィールドでURLを指定します（たとえば、Mac OSの場合は/Users/Name/QPP Repository、Windowsの場合はC:¥QPP Repositoryのようにします）。

➡ SharePointリポジトリの作成の詳細は、『Quark Publishing Platform SharePoint Adapter ReadMe』を参照してください。

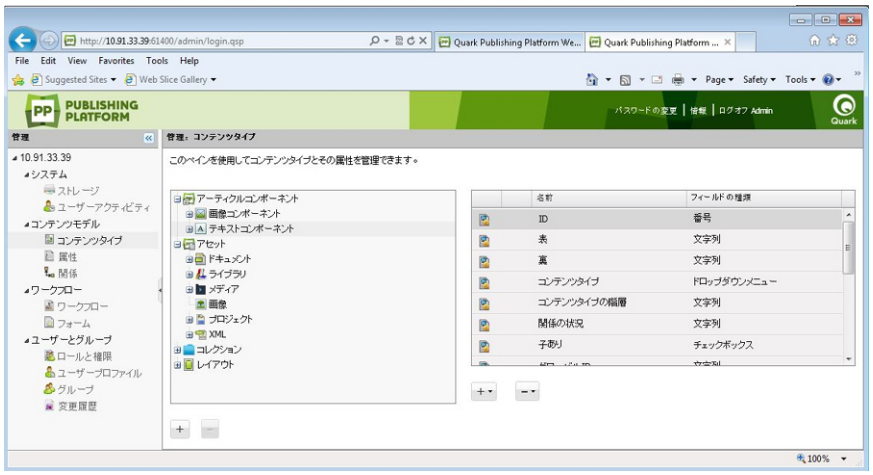
➡ 読み取り／書き込み権限のあるストレージの場所を選択する必要があります。

リポジトリの削除

ストレージリポジトリを削除するには、**管理：ストレージ**ウィンドウでリポジトリタブをクリックし、削除するリポジトリを選択してからマイナス記号（-）をクリックします。警告メッセージで削除の確認を要求されます。

コンテンツタイプの使用

Quark Publishing Platformは、QuarkXPressプロジェクト、QuarkCopyDeskアーティクル、画像ファイル、マルチメディアファイル、XMLファイルなどの多様なコンテンツタイプに対応しています。**コンテンツタイプ**ペインでは、これらの各コンテンツタイプの情報をQuark Publishing Platformのインターフェイスで表示する方法を制御できます。



コンテンツタイプペイン

コンテンツタイプごとにさまざまな属性があります。たとえば、画像の属性のリストには、「ピクセル（幅）」、「ピクセル（高さ）」、「解像度」の値があり、テキストコンポーネントの属性のリストには、「単語数」や「行数」の値があります。「チェックアウトの期間」などの一部の属性は、Quark Publishing Platformのみと関連性があり、Quark Publishing Platformのみに保存されます。

DITAやBusDocsのスキーマに従っているXMLファイルの場合は、Quark Publishing Platformで、特定のファイルレベルの要素や属性の値にアクセスできます。たとえば、Quark Publishing Platformのユーザーインターフェイスを使用して、DITA XMLファイルの<title>や<author>要素の値を、ファイルを開かなくても表示できます。

デフォルトでは、Quark Publishing Platformは、下記の4種類のカテゴリのコンテンツタイプでさまざまな属性にアクセスできるように設定されています。

- アーティクルのコンポーネント
- アセット（さまざまな種類）
- Quark Publishing Platformのコレクションの種類（詳細は、「*コレクションの種類の使用*」を参照してください）
- QuarkXPressレイアウト

アセット、テキストコンポーネント、画像コンポーネントに対して新しいコンテンツタイプを作成できます。また、新しいコレクションの種類を作成することもできます。新しいコンテンツタイプを追加するには、対象の親コンテンツタイプを選択して、左側のコンテンツタイプのリストの下にあるプラスボタンをクリックします。

どのコンテンツタイプにも新しい属性を追加できます。新しい属性として、**属性**ペインからの既存の属性か、まったく新しい属性を追加できます。

- 選択したコンテンツタイプに既存の属性を追加するには、右側の属性リストの下にあるプラスボタンをクリックして、**既存から選択**を選択します。
- 新しい属性を作成するには、右側の属性リストの下にあるプラスボタンをクリックして、**新規作成**を選択します（詳細は、「*属性タイプの理解*」を参照してください）。作成する新しい属性は、**属性**ペインに表示される属性リストに自動的に追加されます。

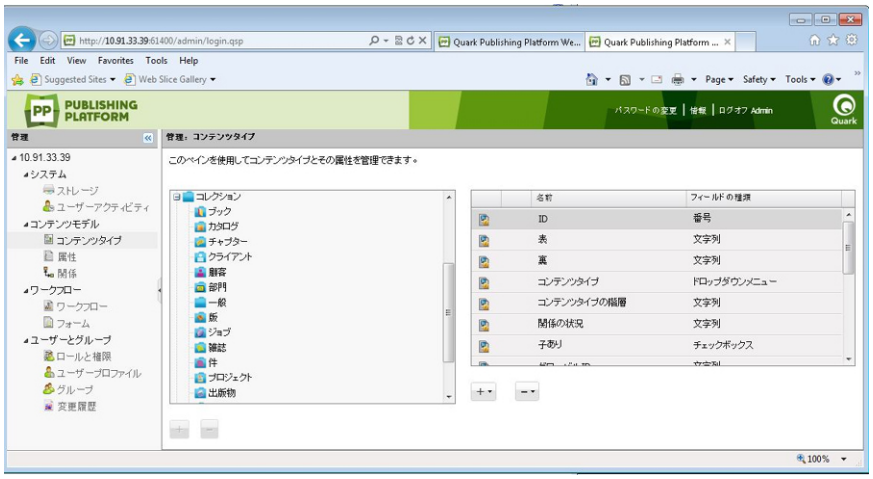
コンテンツタイプから属性を解除するには、下記の2つの方法があります。

- 属性を完全に削除するには、右側の属性リストの下にあるマイナスボタンをクリックして、**削除**を選択します。
- 選択したコンテンツタイプから属性を解除して、その属性を属性のプールに残す場合は、属性を選択して、右側の属性リストの下にあるマイナスボタンをクリックし、**マッピングを削除**を選択します。

コレクションの種類の使用

コレクションの種類は、特定の属性セットを持つアセットの種類と似ています。コレクションの種類をコレクションに適用することによって、ユーザーがそのコレクションの属性を表示および編集したり、それらの属性を編集するためのフォームを作成したりできるようになります。

コレクションの種類を設定するには、コンテンツタイプのツリーの**コレクション**カテゴリを展開して、設定するコレクションの種類を選択します。



コレクションの種類の設定

詳細は、「*コレクションの種類の使用*」を参照してください。

属性の使用

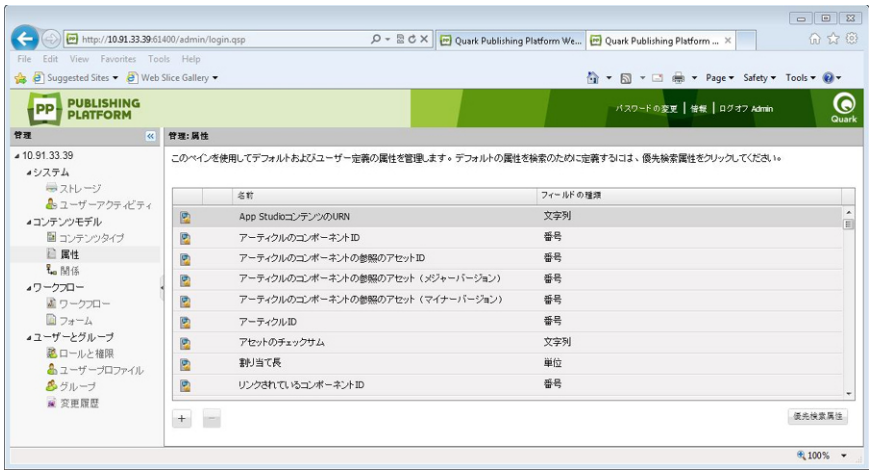
コンテンツタイプごとに独自の属性セットがあります。便宜上、すべての属性が**属性**ペインに一覧表示されます。**コンテンツタイプ**ペインで、コンテンツタイプに属性を割り当てることができます。詳細は、「*コンテンツタイプの使用*」を参照してください。

属性の定義

Quark Publishing Platformでは、アセットごとに対応する属性のセットがあります。これらのセットは、Quark Publishing Platformワークフローのアセットとその状況を説明します。コンテンツの種類ごとに独自の属性セットがあります。これらの属性には、最終変更日時などのシステムが生成する情報、**チェックアウト実施者**などのデフォルトのQuark Publishing Platform属性、およびワークフローのニーズに合わせて作成するカスタム属性などが含まれます。たとえば、特定のファイルタイプに対して**承認済み画像**という属性を作成できます。ユーザーが画像を承認すると、そのユーザーは画像の**承認済み画像**チェックマークをオンにすることができます。別のユーザーが承認済み画像を検索すると、そのユーザーは**承認済み画像**属性を検索対象に追加し、検索結果を承認済み画像のみに限定できます。

テキスト、日付、時間、数値、単位、チェックボックス:**テキスト、日付、時間、数値、単位、チェックボックス**、**ドロップダウンメニュー**、および**日時**という8種類の属性を作成できます。属性の種類ごとにデフォルトの値があります。「限定アクセス」フィールドの編集権限を持つユーザーのみが、属性の値を編集できるように、属性ごとにアクセスを制限できます。属性はサーバーレベルで定義します。そのため、複数のアセットの種類やコレクションの種類でそれぞれの属性を使用できます。

属性を作成、削除、および変更するには、ナビゲーションペインの**属性**をクリックします。右のペインには、システムで使用できる属性のリストが表示されます。

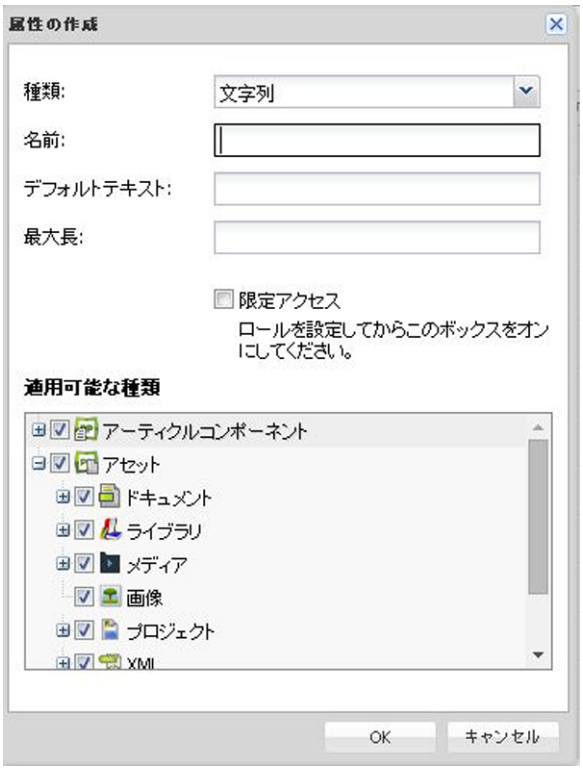


Quark Publishing Platformアセットの識別に役立つ属性を作成、編集、および削除するには、**属性**ペインを使用します。

属性の作成

属性を作成するには、下記の手順に従ってください。

1 ＋（プラス記号）をクリックして、**属性の作成**ダイアログボックスを表示します。



属性の作成ダイアログボックスで属性の名前およびタイプを指定します。

2 **タイプ**ドロップダウンメニューから属性タイプを選択します（属性タイプの詳細は、「*属性タイプの理解*」を参照してください）。

3 **名前**フィールドに属性の名前を入力します。

4 「**通常および限定アクセスフィールドを編集**」権限を持つユーザーのみが属性にアクセスできるようにするには、「**限定アクセス**」をオンにします。詳細は、「*ロールと権限の定義*」を参照してください。

5 残りのコントロールを設定します。これらのコントロールは選択した属性タイプによって異なります。詳細は、「*属性タイプの理解*」を参照してください。

6 どのコンテンツタイプに属性を適用可能にするかを制御するには、**適用可能な種類**リストで適切なボックスをオンにします。

属性タイプの理解

属性の種類は以下の8種類です。属性タイプには、**テキスト**、**日付**、**時間**、**数値**、**単位**、**チェックボックス**、**ドロップダウンメニュー**、および**日時**があります。

テキスト

テキスト属性を作成するには、**テキスト**属性タイプを使用します。

- **デフォルトテキスト**フィールドにデフォルト値を入力します。
- フィールドでのテキストの最大長を指定するには、**最大長**フィールドに値を入力します。

日付

日付属性を作成するには、**日付**属性の種類を使用します。

- **デフォルトの日付**フィールドにデフォルトの日付を入力します。
- ユーザーを特定の日付の範囲に制限するには、**開始日**フィールドに開始日を入力し、**終了日**フィールドに終了日を入力します。

時間

時間属性タイプを使用して、ユーザーが時間値を入力することができる属性を作成します。

- **デフォルト時間**フィールドにデフォルト時間を入力します。
- 特定の時間範囲内にユーザーを制限するには、**開始時間**ドロップダウンメニューで開始時刻を選択し、**終了時間**ドロップダウンメニューで終了時刻を選択します。

➡ 時間の値はQuark Publishing Platformユーザーのロケール設定により異なります。

数値

ユーザーが数値だけを入力することができる属性を作成するには、**数値**属性タイプを使用します。

- **デフォルト値**フィールドにデフォルトの数値を入力します。
- ユーザーの入力を特定の数値範囲内に制限するには、**最小値**フィールドに最小値を入力し、**最大値**フィールドに最大値を入力します。

単位

ユーザーが単位だけを入力することができる属性を作成するには、**単位**属性タイプを使用します。

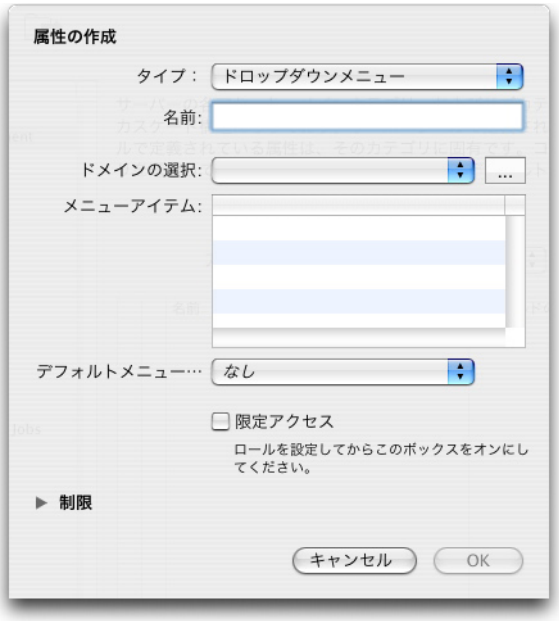
- **デフォルト値**フィールドにデフォルトの数値を入力します。
- **単位**ドロップダウンメニューを使用して、統一された測定単位（たとえば、**パイカ**や**ミリメートル**）を指定します。
- ユーザーの入力を特定の単位範囲内に制限するには、**最小値**フィールドに最小値を入力し、**最大値**フィールドに最大値を入力します。

チェックボックス

チェックボックス属性を作成するには、**チェック ボックス**属性の種類を使用します。デフォルトでチェックマーク付きの属性を表示するには、**デフォルトでオン**チェックボックスをオンにします。

ドロップダウンメニュー

ドロップダウンメニュー属性を作成するには、**ドロップダウンメニュー**属性タイプを使用します。



ドロップダウンメニュー属性タイプを作成するには、**タイプ**ドロップダウンメニューから**ドロップダウンメニュー**を選択します。

ドロップダウンメニュー属性は、**属性ドメイン**と呼ばれる値のリストを表示できます。たとえば、システムのユーザーのリストが必要となるドロップダウンメニュー属性を作成する場合、手動ですべての名前を入力するのではなくその属性を持った既存のユーザーのリストを使用できます。

1 属性ドメインをドロップダウンメニュー属性に割り当てるには、**ドメインの選択**ドロップダウンメニューから属性ドメインを選択します。**メニューアイテム**リストに属性ドメインのコンテンツが表示されます。

2 カスタム属性ドメインを作成するには、**ドメインの選択**ドロップダウンメニューの右側にある…をクリックします。**属性ドメイン**ダイアログボックスが表示されます。



ドロップダウンメニュー属性に追加できるリストを作成および表示するには、**属性ドメイン**ダイアログボックスのコントロールを使用します。

ドメイン名リストには、使用可能な属性ドメインが含まれます。**ドメイン値**列には、選択した属性ドメインの値が一覧表示されます。

3 属性ドメインを追加するには、**ドメイン名**列の下にある+（プラス記号）をクリックします。

4 ユーザーがエントリーをドロップダウンメニュー属性に追加できるようにするには、**拡張を許可**列のボックスをオンにします。

5 エントリーをドロップダウンメニュー属性に追加するときにユーザーに警告するには、**警告の表示**列のボックスをオンにします。

6 ドロップダウンメニュー属性のアイテムをアルファベット順に並び替えるには、**アイテムの並び替え**列のボックスをオンにします。

7 ドメイン名を変更するには、その名前をダブルクリックします。

8 選択した属性ドメインに値を追加するには、**ドメイン値**列の下にある+（プラス記号）をクリックします。

9 **終了**をクリックして**属性ドメイン**ダイアログボックスを閉じ、ドロップダウンメニュー属性の作成を続行します。

日時

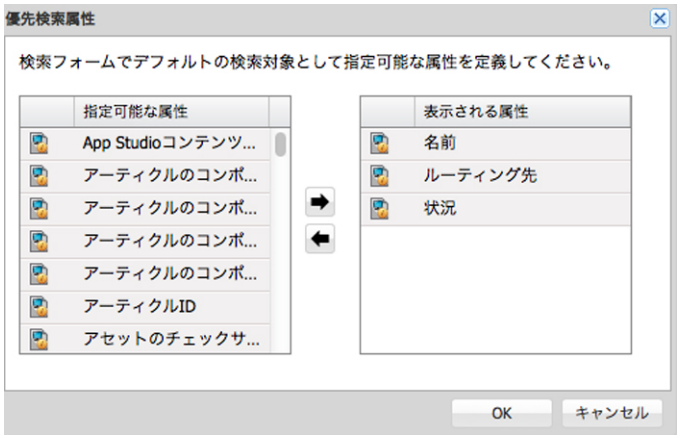
日付と時間の両方を追跡する属性を作成するには、**日時**属性の種類を使用します。

- **デフォルトの日付**フィールドにデフォルトの日付と時間を入力します。
- ユーザーを特定の日付／時間の範囲に制限するには、**開始日**フィールドに開始日および開始時間を入力し、**終了日**フィールドに終了日および終了時間を入力します。

時間の値はQuark Publishing Platformユーザーのロケール設定により異なります。

優先検索属性の設定

優先検索属性は、検索コントロールの検索条件リストの一番上に表示されます。優先検索属性の後に、すべての検索属性がアルファベット順に表示されます。



優先検索属性ダイアログボックス

優先検索属性を指定するには、ナビゲーションペインで**属性**をクリックしてから**優先検索属性**をクリックします。**優先検索属性**ダイアログボックスが表示されます。リストに属性を追加するには、左側のリストで属性を選択してから、右矢印ボタンをクリックします。

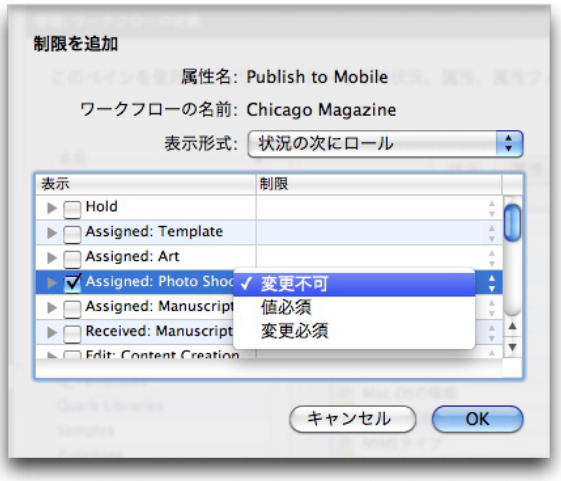
属性への制限の追加

ユーザーは、アセットのチェックイン時やリビジョンの保存時に、またはアセットを選択して**属性の編集**をクリックすることでアセットの属性を編集できます。制限により、Quark Publishing Platform管理者は、属性の編集時にユーザーがどのように属性を編集するのかを制御できます。たとえば、アセットが最終の状況に達したときに編集者ロールを持つユーザーに明示的にアセットを承認させる場合、**値必須**制限を使用して、アセットを承認したかどうかを示すことをユーザーに強制できます。ユーザーが値を入力しない場合、**チェックイン、リビジョンの保存**または**属性の編集**ダイアログボックスの下部に「エラーを検出」と赤で表示されます。属性も赤でハイライトされ、ユーザーは値を入力するまで続行できません。

制限を適用できるのはユーザーが変更できる属性のみです。また、ワークフローやコレクションの属性には制限を適用することはできません。これらの属性に変更を加えることができるかどうかは権限によって決まるからです。

特定のワークフローの属性に制限を適用するには、下記の手順に従ってください。

1. **ワークフロー**をクリックします。**ワークフロー**ペインが表示されます。
2. **ワークフローの名前**リストでワークフローを選択します。
3. **属性の制限**タブをクリックします。
4. 制限を適用する属性を選択して、**制限を追加**をクリックします。**制限を追加**ダイアログボックスが表示されます。



制限を追加ダイアログボックス

5 **表示形式**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。この値によって、制限の作成時に状況およびロールのリストにどのように情報が表示されるかが決まります。下記のオプションがあります。

- **状況の次にロール**：状況をメイン見出し、ロールをサブ見出しとする階層リストを表示します。特定の状況で個々のロールに制限を適用できます。
- **ロールの次に状況**：ロールをメイン見出し、状況をサブ見出しとする階層リストを表示します。特定のロールで個々の状況に制限を適用できます。

➡ **表示形式**オプションを変更する場合、アクティブな設定は保持されますが、**表示形式**ドロップダウンメニューの階層で表示されます。

6 制限の対象とする状況またはユーザーロールのボックスをオンにします。

7 リストのロールまたは状況をオンにすると、リストの選択した行についてその制限の種類が使用可能になります。制限には下記の3種類あります。

- **変更不可**：ユーザーが属性の値を変更できないようにします。
- **値必須**：ユーザーは属性の値を指定する必要があります。
- **変更必須**：ユーザーは属性の値を変更する必要があります。

8 状況のみを表示するには、**すべて選択**をオンにします。特定の状況ですべてのロールに制限を適用できます。また、制限を適用しないこともできます。**すべて選択**をオフにすると、ロールのみが表示されます。

➡ 制限は、**チェックイン**、**リビジョンの保存**、または**属性の編集**ダイアログボックスが表示されたときのユーザーのロールおよびアセットの状況に基づいて適用されます。これらのダイアログボックスで有効になっている制限は、**状況**ドロップダウンメニューの値を変更しても変わりません。

➡ 制限を使用して、状況に応じた自動ルーティングを強制することができます。たとえば、状況レベルでコレクションに自動ルーティングを設定し、（**制限を追加**ダイアログボックスの）**変更不可**を使用して**チェックイン**ダイアログボックスの**ルーティング先**ドロップダウンメニューの変更を無効化することができます。これにより、アセットの状況が変更さ

れるとアセットがルーティングされ、ユーザーがアセットのルーティングを変更しないようにできます。

関係の使用

関係とは、2つのオブジェクト間の関連付けに対するメタデータが保存されているオブジェクトです。QuarkXPressレイアウトからアーティクルを割り当てたり、レイアウトに画像をドラッグしたり、App Studioでインタラクティブオブジェクトを作成したりすると必ず、関係のオブジェクトが作成され、作成したリンクに関する情報が保存されます。

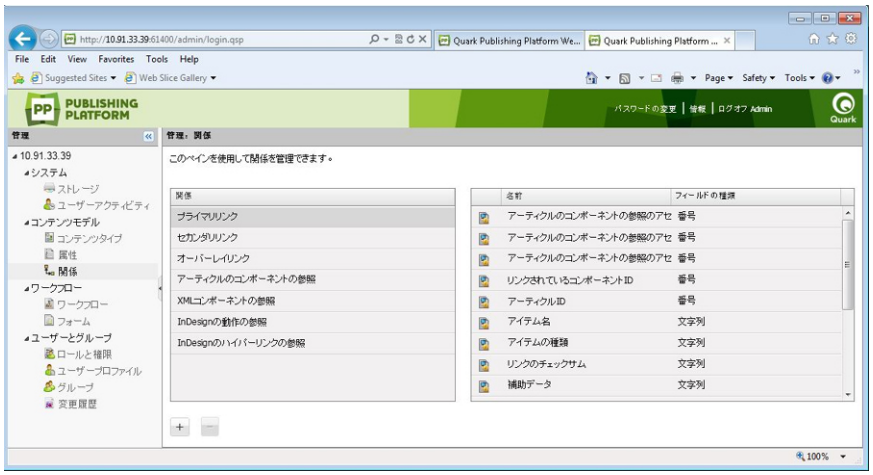
たとえば、QuarkXPressレイアウトに画像をドラッグすると、関係が作成されます。また、その関係には、画像とレイアウトの両方のIDが保存されます。この結果、どのレイアウトが特定の画像を使用しているかや、特定のレイアウトにリンクされている画像の数が簡単にわかります。

関係には下記の6種類があります。

- *プライマリリンク：*プライマリリンクに関する情報が保存されます。
- *セカンダリリンク：*セカンダリリンクに関する情報が保存されます。
- *オーバーレイリンク：*App StudioまたはePubのリンクに関する情報が保存されます。
- *アーティクルのコンポーネントの参照：*アーティクルのコンポーネントと、画像などリンクされたアセットとの間の、関連付けに関する情報が保存されます。
- *XMLコンポーネントの参照：*1つのXMLファイルから他のXMLファイルへの参照に関する情報が保存されます。
- ***InDesignの動作の参照***
- ***InDesignのハイパーリンクの参照***
- *カスタム：*開発者がカスタムアプリケーション用に独自の関係の種類を作成できます。

リンクの詳細は、「*プライマリリンクとセカンダリリンク*」を参照してください。

管理者は、**関係**ペインで、各種類の関係に割り当てられたフィールドを表示できます。



関係ペイン

また、管理者は、独自の関係の種類を追加して、それらの関係の種類に属性を割り当てることもできます。関係の種類と関連付けられている属性を表示または編集するには、関係の種類をダブルクリックします。

Quark Publishing Platform Web Clientでは、**関係の状況のリスト表示**でアセットを表示することによって、ユーザーがアセットに対する関係を表示できます。その他のPlatformのクライアントの場合は、**関係の表示**で関係を表示できます。

ワークフローの使用

Quark Publishing Platform用語での「ワークフロー」は、ドキュメントの発行に役立つ一連のステップです。サーバーレベルでワークフローを定義して、コレクションに適用します。

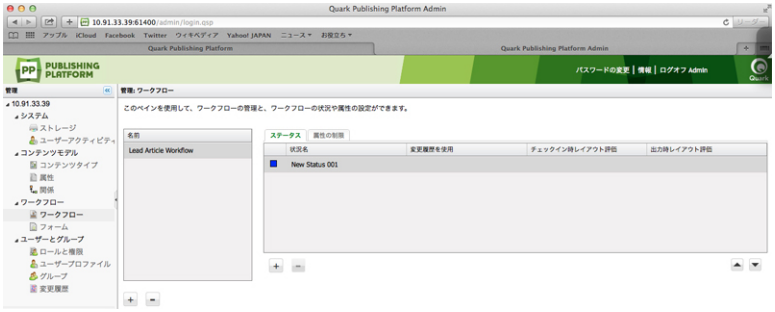
各ワークフローには下記の特性があります。

- 名前。
- 適用するアセットの種類のリスト。
- 一連の状況を、特定の順序で。状況の順序には、ワークフローを完成させるために必要なステップの順序が反映されます。たとえば、アセットを「割り当て済み」という状況で開始し、さらに「進行中」、「レビュー中」、および「完了」の状況にするよう指定できます。「完了」状況のアセットを編集者へ自動的にルーティングし、最終承認を得るように指定することができます（詳細は、「*自動ルーティングの設定*」を参照してください）。変更履歴、チェックイン時のレイアウトの評価、出力時のレイアウト評価を状況ごとに有効化または無効化することもできます。
- アセット属性のリスト。属性はサーバーレベルで定義します。そのため、複数のワークフローで属性を使用できます。一部の属性に対する制限は、ワークフローレベルで指定できます。
- アセットの種類ごとの属性フォーム（アセットをチェックインすると、属性フォームが表示されます）。

ワークフローの作成

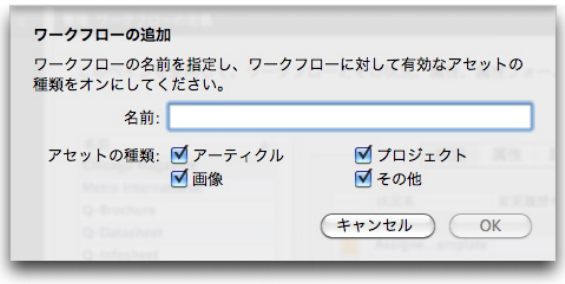
ワークフローを作成するには、下記の手順に従ってください。

1 **ワークフロー**をクリックします。**管理：ワークフロー**画面が表示されます。



管理：ワークフロー画面

2 ワークフローを作成するには、**名前**リストの下にある+をクリックします。**ワークフローの追加**ダイアログボックスが表示されます。



ワークフローを追加ダイアログボックス

3 **名前**フィールドにワークフローの名前を入力します。

4 **アセットの種類**で、このワークフローで使用可能にするアセットの種類をオンにします。

5 **OK**をクリックします。

ワークフローの設定の詳細は、下記のトピックを参照してください。

状況の使用方法

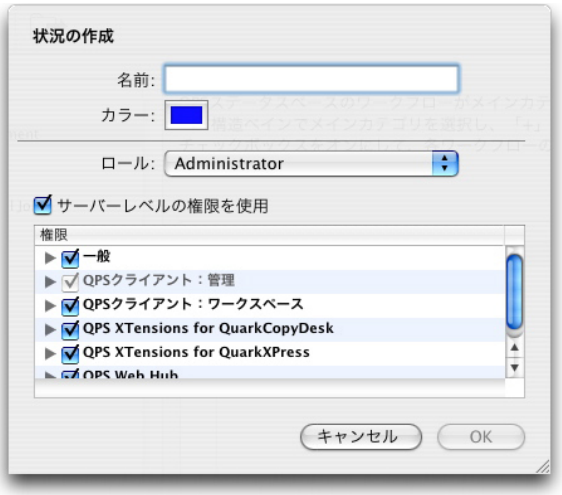
各ワークフローには、独自の状況の順序があります。ワークフローの状況を使用するには、下記の手順に従ってください。

1 **ワークフロー**をクリックします。**ワークフロー**ペインが表示されます。

2 **ワークフローの名前**リストでワークフローを選択します。

3 **状況**タブをクリックします。

4 状況を追加するには、**状況**タブで+をクリックします。**状況の作成**ダイアログボックスが表示されます。



状況の作成ダイアログボックス

5 **名前**フィールドに状況の名前を入力します。

6 状況にカラーを関連付けるには、**カラー**コントロールを使用します。このカラーは、**ワークスペース**ウィンドウの**状況**アイコンの列に表示されます。

7 このワークフローのこの状況のアーティクルに対して変更履歴を使用するには、**変更履歴を使用**をオンにします。

8 プロジェクトをチェックインするときにこのワークフローのこの状況のレイアウトを自動的に評価するには、**チェックイン時のレイアウトの評価**をオンにします。

9 レイアウトが出力に送信されるときにこのワークフローのこの状況のレイアウトを自動的に評価するには、**出力時のレイアウトの評価**をオンにします。

10 サーバーレベルで定義したロールの権限に基づいて、関連付けられている権限セットに状況を付与したり、状況の権限セットをカスタム設計したりできます。

- **ロール**ドロップダウンメニューからオプションを選択して**サーバーレベルの権限を使用**をオンにすることによって、サーバーレベルで特定のロールに定義されている権限をある状況で付与するように指定できます。
- **ロール**ドロップダウンメニューからオプションを選択し、**権限**リストで設定を変更できます。これは、サーバーレベルのロールの権限設定には影響しませんが、選択した状況にアセットが達した場合、権限の例外が作成されます。

11 OKをクリックします。

12 **状況**領域の右下の矢印を使用して、（上から下に）正しい順序で状況が発生するように設定します。

状況を削除するには、**状況**タブでその状況を選択して、-をクリックします。

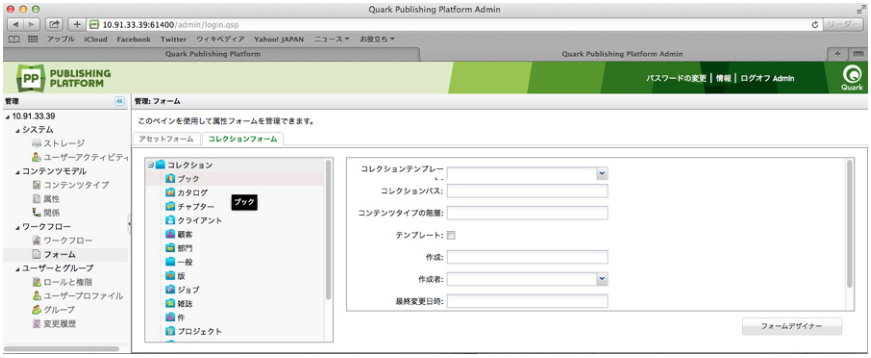
状況を編集するには、**状況**タブで状況の名前をダブルクリックします。

状況を複製するには、状況をOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**複製**を選択します。

フォームの使用

フォームペインの**アセットフォーム**タブで、コンテンツタイプごとにアセットフォームを編集できます。**コレクションフォーム**タブでは、さまざまなコレクションタイプと関連付けられているフォームを編集できます。フォームを設定するには、下記の手順に従ってください。

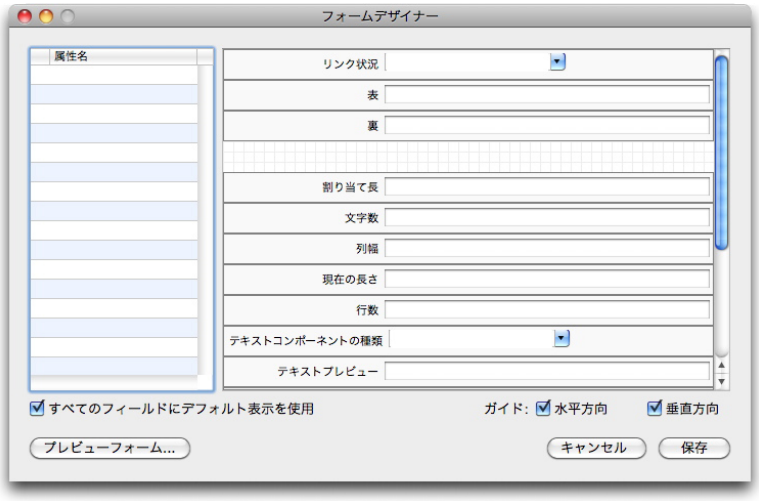
1 ナビゲーションペインで、**フォーム**をクリックします。**フォーム**ペインが表示されます。



フォームペイン

2 **アセットフォーム**タブまたは**コレクションフォーム**タブをクリックします。

3 左側にあるツリーでコンテンツタイプまたはコレクションの種類を選択して、**フォームデザイナー**をクリックします。**フォームデザイナー**ダイアログボックスが表示されます。



フォームデザイナーダイアログボックス

4 デフォルトのレイアウトにすべての属性を表示するには、**すべてのフィールドにデフォルト表示を使用**をオンにします。属性を個別に追加するには、**属性名**リストからグリッドに属性をドラッグします。属性を削除するには、左上にある、その属性の閉じるボックスをクリックします。グリッド内の属性を移動またはサイズ変更するには、各属性のハンドルを使用します。

5 **保存**をクリックします。

ロールと権限の定義

すべてのユーザーはロールに属している必要があります。ロールはQuark Publishing Platformにおけるメンバーの権限を定義します。

ロールおよび権限

ロールにより、Quark Publishing Platformアプリケーション内で作業する場合の権限セットが定義されます。各Quark Publishing Platformユーザーは、少なくとも1つのロールに属しています。ロールおよびロールに関連付けられた権限を作成、削除、改名、および変更するには、**ロールと権限**をクリックします。

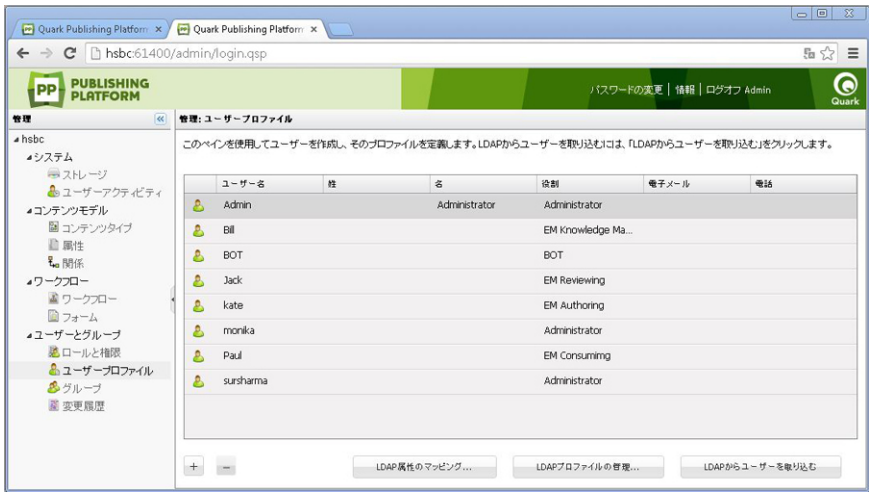


管理：ロールと権限エリアで、異なるワークグループメンバーの分類を定義します。

- ロールを追加するには、+（プラス記号）をクリックします。**ロール**列に新規ロールが表示されます。ロールのコンテンツタイプの権限は、**コンテンツの権限**タブのツリーに表示されます。また、ロールで選択可能な、アプリケーション固有の権限は、**アプリケーションの権限**タブのツリーに表示されます。権限を有効にするにはそれらの権限をオンにし、無効にするにはオフにします。使用可能なリソースについての詳細は、「*権限*」を参照してください。
- ロールの名前を変更するには、そのロールをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**ロールの名前を変更**を選択します。ツールバーまたはコンテキストメニューを使用してロールを改名することもできます。
- ロールのコピーを作成するには、そのロールをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**複製**を選択します。
- ロールを削除するには、-（マイナス記号）をクリックします。削除について確認する警告が表示されます。そのロールにユーザーが割り当てられている場合は、この時点でそれらのユーザーを別のロールに割り当てることができます。

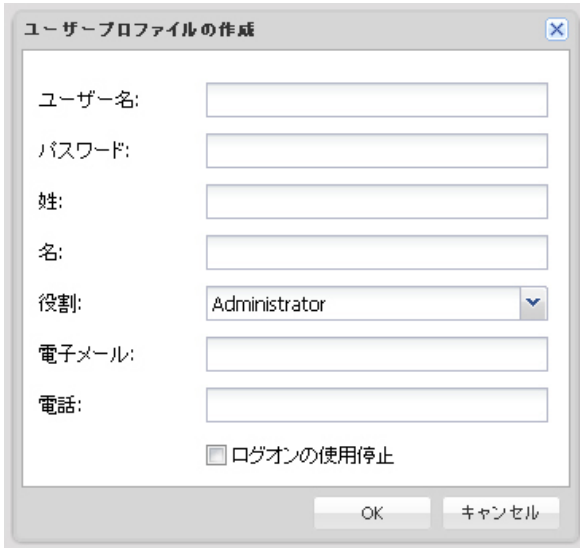
ユーザーの作成と削除

ユーザープロファイルを作成および削除するには、**ユーザープロファイル**をクリックします。



ユーザーを追加または削除してユーザーロールの設定を上書きするには、**管理：ユーザープロファイル**画面を使用します。

- ユーザープロファイルを作成するには、+をクリックします。**ユーザープロファイルの作成**ダイアログボックスで、ユーザー名とパスワードを入力し、ユーザーの氏名を入力し、ロールを選択し、ユーザーの電子メールアドレスと電話番号を入力します。（ユーザーが長期休暇中の場合などに）ユーザーがログオンできないようにするには、**ログオンの使用停止**チェックボックスをオンにします。



ユーザー名、ロール、パスワードを指定し、**ユーザープロファイルの作成**ダイアログボックスにアクセスします。

➡ ユーザー名を編集するには、そのユーザー名をダブルクリックするか、またはコンテキストメニューを使用します。

➡ ユーザーを追加すると、LDAP（Lightweight Directory Application Protocol）のリストからそれらのユーザーをプルできます。手順は「*LDAPによるユーザーリストの管理*」を参照してください。LDAPサービスを通じて管理するユーザーに加えて、Quark Publishing Platformユーザーも追加できます。

- ユーザープロファイルを削除するには、プロファイルを選択してからマイナス記号（-）をクリックします。警告プロンプトで削除の確認を要求されます。アセットがユーザー自身にルーティングされている場合、そのアセットをこの時点で再度ルーティングできます。
- ユーザープロファイルを複製するには、ユーザープロファイルを選択してから、コンテキストメニューで**複製**を選択します。

LDAPによるユーザーリストの管理

多くのシステム管理者は、Lightweight Directory Application Protocol（LDAP）などのディレクトリサービスを使用して企業ネットワークのユーザーを管理しています。LDAPプロトコルにより、ユーザー名とパスワードをグローバルに管理することができます。Quark Publishing Platform管理者がLDAPを使用する必要はありませんが、電子メールなどの他のシステムでLDAPに依存している場合、Quark Publishing Platformユーザーが企業ネットワークの他のシステムで使用するのと同じドメインユーザー名とパスワードを使用して、Quark Publishing Platform Serverにログオンできるように、Quark Publishing Platformを設定します。

➡ LDAPサービスは、Quark Publishing Platform Serverと同じドメイン内に存在する必要があります。

➡ Quark Publishing Platform Serverは、LDAPサービスとの通信を維持する唯一のQuark Publishing Platformアプリケーションです。

➡ Quark Publishing Platform ServerはLDAP v3に従って動作するようになっており、X.500 DAPはこの実装には不要であり、この実装によってサポートもされていません。

➡ LDAPおよびQuark Publishing Platform Serverについての詳細は、『Quark Publishing Platform Administration Guide』および『Quark Publishing Platform ReadMe』を参照してください。

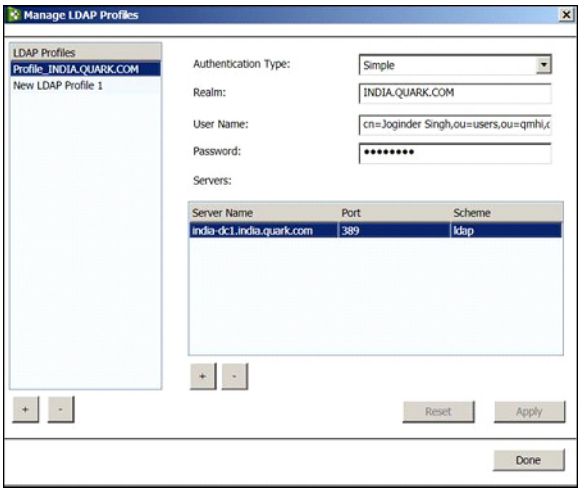
Quark Publishing Platform ServerをLDAPディレクトリサーバーと統合するまでに、LDAPプロファイルを作成してLDAP属性をQuark Publishing Platformユーザー属性にマッピングする必要があります。以下のトピックでは、その方法について説明します。

LDAPプロファイルの管理

LDAPユーザーをQuark Publishing Platformに取り込む前に、LDAPプロファイルを作成する必要があります。LDAPプロファイルによって、LDAPユーザーの取り込みに必要なActive Directoryサーバーの証明書が提供されます。

LDAPプロファイルを作成するには、下記の手順に従ってください。

1. **ユーザープロファイル**をクリックします。
2. **LDAPプロファイルの管理**をクリックします。**LDAPプロファイルの管理**ダイアログボックスが表示されます。



LDAPプロファイルの管理ダイアログボックス

3 **LDAPプロファイル**のリストの下にある+ボタンをクリックして、新しいLDAPプロファイルを作成します。

4 **プロファイル名**フィールドにLDAPプロファイルの名前を入力します。

5 **認証タイプ**ドロップダウンメニューからLDAPサーバーの認証方式を選択します。有効な値として、**Kerberos**、**Digest-MD5**、**シンプル**があります。

6 **レルム**フィールドにレルム名を入力します。

➡ 慣習として、レルム名は大文字で入力します。

➡ それぞれのプロファイルには、固有のレルム名が必要です。

7 ディレクトリサーバーへの読み取りアクセス権を持っているユーザーの名前とパスワードを入力します。これは、ディレクトリサーバーで指定された名前です。このユーザー認証は、ディレクトリサーバーからユーザーのリストを取得するために使用されます。

8 LDAPサーバーをプロファイルに追加するには、**サーバー**のリストの下にある+ボタンをクリックします。

9 **適用**をクリックします。

10 **終了**をクリックします。

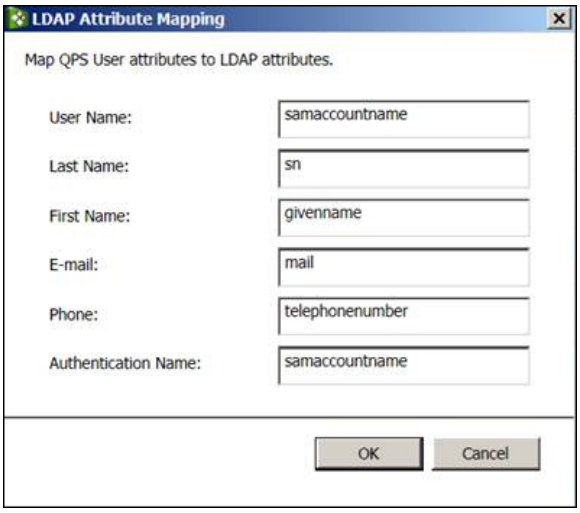
LDAP属性のマッピング

LDAPユーザーをQuark Publishing Platformに取り込む前に、LDAP属性をQuark Publishing Platformユーザー属性にマッピングする必要があります。

LDAP属性をマッピングするには、下記の手順に従ってください。

1 **ユーザープロファイル**をクリックします。

2 **LDAP属性のマッピング**をクリックします。**LDAP属性のマッピング**ダイアログボックスが表示されます。



LDAP属性のマッピングダイアログボックス

3 ダイアログボックスの各フィールドに、対応するLDAPのフィールドを指定します。

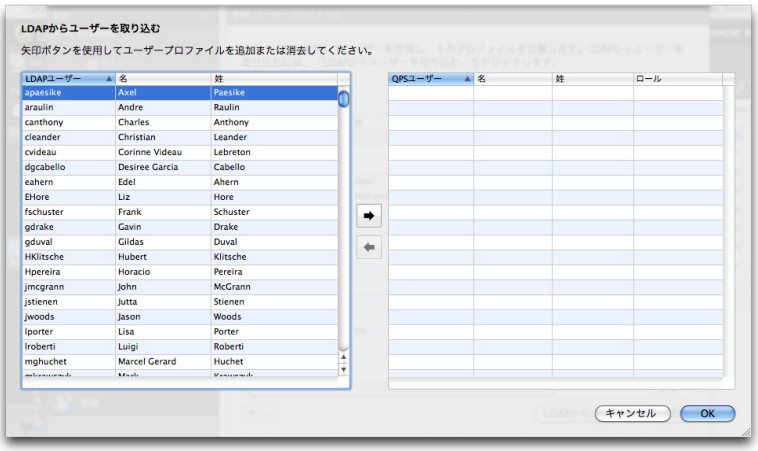
4 **OK**をクリックします。

LDAPユーザーの取り込み

LDAPサービスからユーザーを取り込むには、下記の手順に従ってください。

1 **ユーザープロファイル**をクリックします。

2 **LDAPからユーザーを取り込む**をクリックします。**LDAPからユーザーを取り込む**ダイアログボックスが表示されます。



ユーザーをQuark Publishing Platformユーザーリストに追加するには、**LDAPからユーザーを取り込む**ダイアログボックスを使用します。

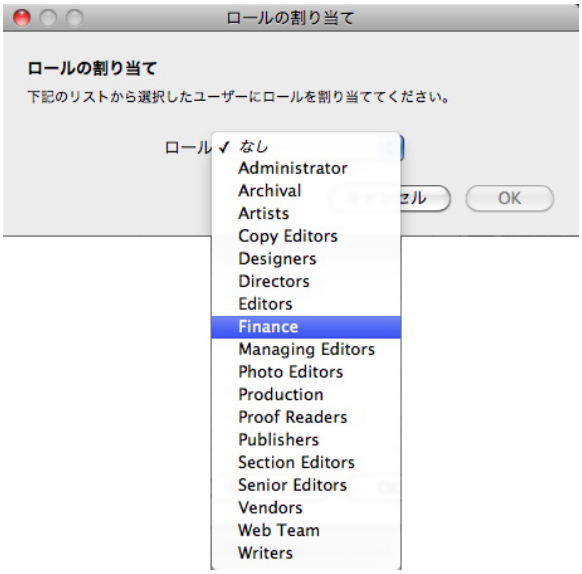
3 ダイアログボックスの上部にある検索コントロールを使用すると、取り込むユーザーを指定できます。検索を作成するには、下記の手順に従ってください。

- **プロファイル名**ドロップダウンメニューから、適切なLDAPプロファイルの名前を選択します。

- **検索対象**フィールドに検索の条件を入力します。たとえば、samaccountname=*という条件に適合するすべてのLDAPユーザーを取り込むには、samaccountname=*と入力します。
- **ベース文字列**フィールドにベース文字列を入力します。この文字列のouは「organizational unit（組織単位）」、dcは「domain component（ドメインコンポーネント）」の略です。この文字列は、Active Directoryサーバーコンピュータの階層のユーザーを検索するために使用される検索ベースを表しています。
- **保存**をクリックして検索を保存し、表示されるダイアログボックスに検索の名前を入力します。

4 実行する検索を選択します。該当するユーザーが左側のリストに表示されます。

5 左側にある**LDAPユーザー**リストから1つ以上の名前を選択して右矢印をクリックし、右側にある**Platformユーザー**リストに選択したユーザーを追加します。**ロールの割り当て**ダイアログボックスが表示されます。



Quark Publishing Platformユーザーをロールに割り当てるには、**ロールの割り当て**ダイアログボックスを使用します。

6 **ロールの割り当て**ダイアログボックスの**ロール**ドロップダウンメニューからロールを選択して、**OK**をクリックします。

➡ **LDAPからユーザーを取り込む**ダイアログボックスで**OK**をクリックするまで、検索の条件を変更してさらに検索を行い、ユーザーを追加することができます。

7 **OK**をクリックします。右側のリストのユーザーが取り込まれます。

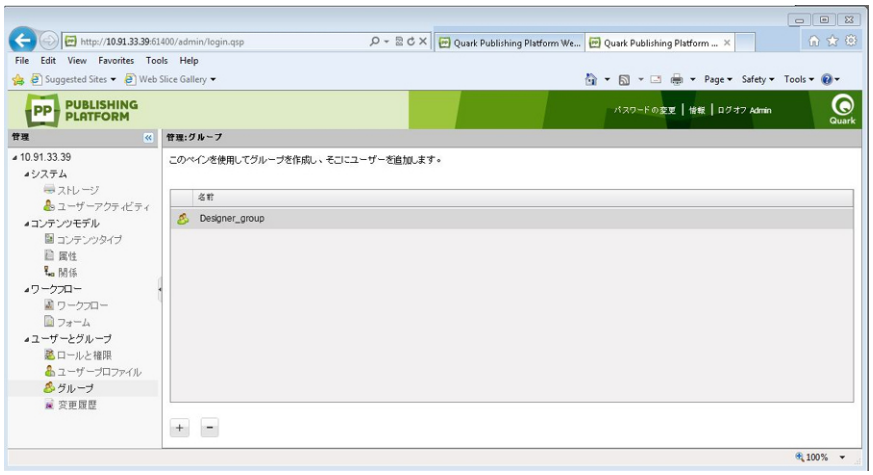
➡ LDAPサービスから取り込んだQuark Publishing Platformユーザーを複製する場合、複製されたユーザーはLDAPサービスに接続されません（つまり、新規ユーザーを作成した場合と同じになります）。

➡ 同じ名前の2つのQuark Publishing Platformユーザーを作成することはできません。既存のユーザー名と同じユーザー名を追加しようとしても、重複するユーザー名を追加することはできません。

Quark Publishing Platform管理者には、**LDAPからユーザーを取り込む**機能を使用可能にする「**LDAPユーザーの管理**」権限が必要です。

グループの作成と削除

ユーザーをグループ化すると、アセットを1つのグループへルーティングできます。その結果、そのグループ内のすべてのユーザーがそのアセットのチェックアウトおよび操作を実行できるようになります。グループを作成および削除するには、**グループ**をクリックします。



ユーザーのグループを作成、編集、および削除するには、**管理：グループ**画面を使用します。

- グループを作成するには、+（プラス記号）をクリックします。表示されるダイアログボックスでグループ名を入力します。グループにユーザーを追加する場合は**->**矢印を使用します。グループからユーザーを削除する場合は**<-**矢印を使用します。



グループの作成ダイアログボックスでグループのメンバーを指定します。

グループ名を編集するには、そのグループ名をダブルクリックするか、ツールバーを使用するか、またはコンテキストメニューを使用します。

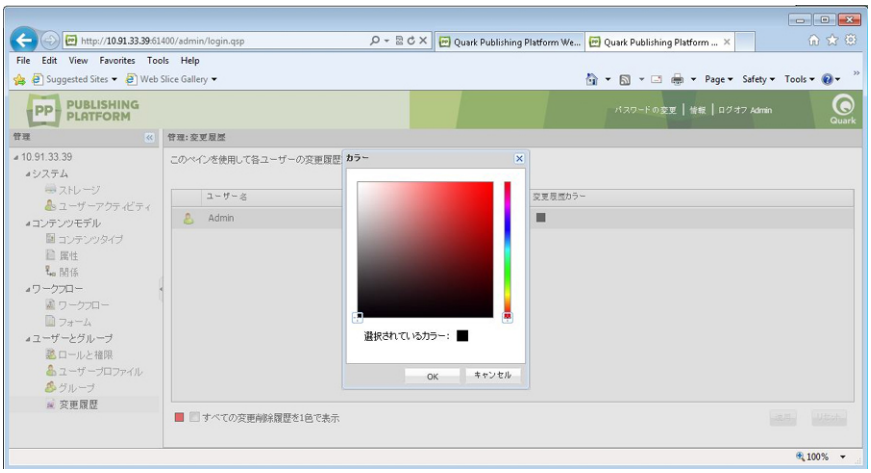
- グループを削除するには、グループを選択してからマイナス記号（-）をクリックします。警告プロンプトで削除の確認を要求されます。
- グループを編集するには、グループ名をダブルクリックします。

変更履歴のカラーの設定

変更履歴の権限を持つユーザの場合、管理者は各ユーザーの変更を識別するカラーを指定します。

変更履歴のカラーを指定するには、下記の手順に従ってください。

1 **変更履歴**をクリックします。**変更履歴**ペインが表示されます。



変更履歴画面で、ユーザーに変更履歴のカラーを割り当てます。

2 **ユーザー名**リストからユーザーを選択して、**変更履歴カラー**リストのボックスをクリックすると、**カラー**ダイアログボックスが表示されます。変更履歴が有効な状態でユーザーがテキストを入力したときにテキストに適用されるカラーを指定するには、**カラー**ダイアログボックスのコントロールを使用します。

または、1色で全ユーザーの削除を識別するには、**すべての変更履歴削除を1色で表示**をオンにします。

3 **適用**をクリックします。

QuarkXPressユーザーおよびQuarkCopyDeskユーザーは、デフォルトの変更履歴のカラーおよびスタイルを指定して、**WYSIWYG**、**全画面**、および**ゲラ**表示で挿入および削除を区別できます。ただし、QuarkXPressユーザーまたはQuarkCopyDeskユーザーがQuark Publishing Platformにログオンしており、Quark Publishing Platformによってトラッキングされたアーティクルを使用している場合、**環境設定**ダイアログボックスで指定したカラーは、管理者によって割り当てられたカラーで上書きされます。Quark Publishing Platformワークフロー以外の変更履歴機能を使用する方法は、『**QuarkCopyDeskガイド**』を参照してください。

状況に応じて、変更履歴機能のオンとオフを切り替えることができます。詳細は、「*状況の使用方法*」を参照してください。

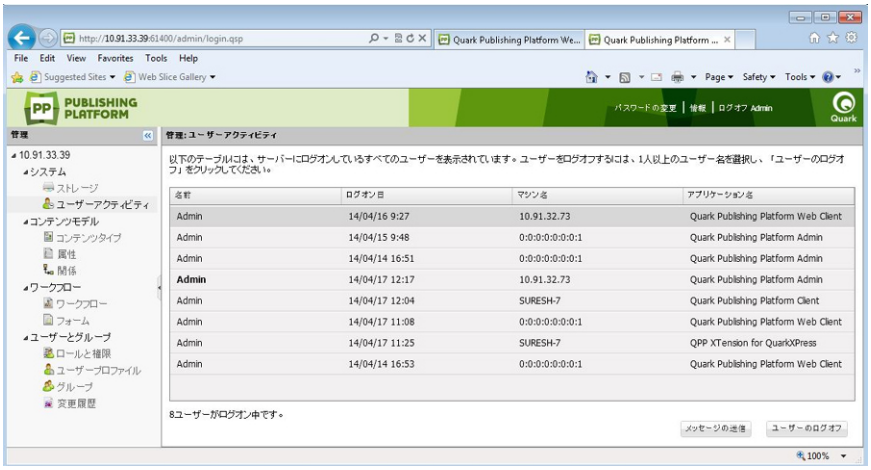
メンテナンスとアセット管理

Quark Publishing Platformには、サーバーのメンテナンスの効率を高めるためのリモートサーバー監視ツールやその他のツールが用意されています。管理者は、Quark Publishing Platform Clientを使用することにより、アセット管理機能を実行して、完了したプロジェクトのアーカイブ、アーカイブの復元などを行うことができます。この章では、これらのツールの使用方法を説明します。

ユーザーアクティビティの監視とユーザーのログオフ

Quark Publishing Platform Web Administratorでサーバー名を選択すると、Quark Publishing Platform Serverと、Quark Publishing Platform Serverにログオンしているユーザーの情報が表示されます。この情報を使用するには、下記の手順に従ってください。

1 **ユーザーアクティビティ**をクリックします。表示されたリストには、Quark Publishing Platform Serverに現在ログオンしているユーザーの数、ユーザー名、各ユーザーがログオンした日時、各ユーザーのマシン名、および各ユーザーのアプリケーション（Quark Publishing Platform Script Managerなど）が含まれます。



ユーザーアクティビティペイン

2 ユーザーをログオフするには、ユーザーを選択して**ユーザーのログオフ**をクリックします。複数のユーザーを選択して、一度に複数のユーザーをログオフできます。

アセットの削除

Quark Publishing Platform Client、QuarkCopyDesk、QuarkXPress、またはQuark Publishing Platform Web Clientを使用してアセットを削除できます。環境設定によって、各アプリケーションでのチェックアウト済みアセットおよびリンク済みアセットの削除プロセスの方法が決まります。

チェックアウト済みアセットおよびQuarkXPressプロジェクトにリンクされたアセットを削除するときに、Quark Publishing Platform Client、QuarkCopyDesk、QuarkXPress、またはQuark Publishing Platform Web Clientがどのように応答するのかを指定するには、各**環境設定**ダイアログボックスの**アセット削除オプション**エリアにある**チェックアウト済みアセット**および**リンク済みアセット**ドロップダウンメニューを使用します。どちらのオプションでもコントロールは同じです。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを警告を表示せずに削除するには、**警告を表示しないでアセットを削除**を選択します。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを削除しないようにするには、**削除を許可しない**を選択します。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを削除するたびに警告を表示して削除するかどうか決定できるようにするには、**削除する前に常に尋ねる**を選択します。

アセットを削除するには、下記の手順に従ってください。

1. 検索結果ペインを表示し、削除する1つ以上のアセットを選択します。
2. Quark Publishing Platform Clientの**ワークスペース**ツールバーの**削除**をクリックします。選択したアセットがチェックアウトされていない、またはQuarkXPressプロジェクトにリンクされていない場合、そのアセットは削除されます。選択したアセットがチェックアウトされている、またはリンクされている場合、削除プロセスは環境設定に応じて続行されます。

アセットのアーカイブ

Quark Publishing Platform Clientを使用して、作業を終えたQuark Publishing Platformアセットをアーカイブすることができます。Quark Publishing Platformには、アーカイブしたアセットをQuark Publishing Platformワークフローに再導入する場合の修復メカニズムが用意されています。アセットをアーカイブするには、「**アセットのアーカイブの使用**」権限が必要です。

アセットのアーカイブについては、下記の手順に従ってください。

1. **ワークスペース**ペインを表示して、1つ以上のアセットを選択します。
2. **アクション > アーカイブ**を選択するか、Quark Publishing Platform Clientの**ワークスペース**ツールバーで**アーカイブ**をクリックします。**アーカイブ**ダイアログボックスが表示されます。
3. アーカイブを保存するフォルダを指定して、アーカイブ名を入力し、**アーカイブ／保存**をクリックします。
4. 選択されたアセットが指定した場所にコピーされ、それらのアセットの属性情報が1つのXMLファイルにまとめられます。

➡ **環境設定**ダイアログボックス（**Quark Publishing Platform Client > 環境設定**）の**アーカイブ**ペインで**以降のアセットを削除**チェックボックスをオンにしている場合、正常

にアーカイブされたアセットを削除するかどうか、Quark Publishing Platformによって確認を要求されます。**以降のアセットを削除**をオフにしている場合は、元のアセットがQuark Publishing Platform Serverに残ります。

➡ Quark Publishing Platformはアーカイブファイルとこれに対応するXMLファイルを1つのフォルダに保持します。XMLファイルとそれが入っているフォルダに名前を付けるときには、アーカイブの作成日などのアーカイブ特性を使用して識別しやすくすることができます。記述名を使用すると、後でアセットを修復する場合にアーカイブを識別するのに役立ちます。

➡ アーカイブの環境設定はQuark Publishing Platform Serverに保存されるので、アーカイブ環境設定は、アセットをアーカイブするワークステーションに関係なく、ユーザーログオン名によって決まります。ただし、アーカイブログファイルは、アーカイブファイルを保存したフォルダと同じフォルダに保存されます。

アセットの復元

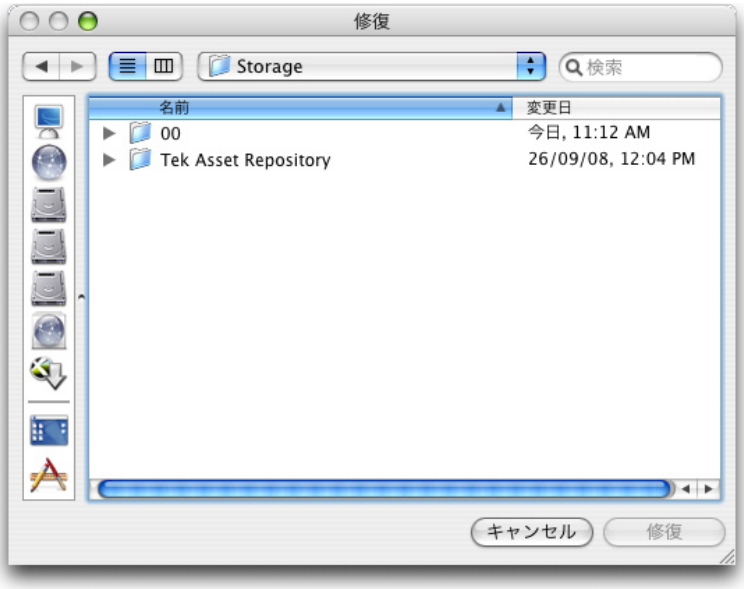
「**アセットのアーカイブの使用**」権限がある場合、アーカイブされたQuark Publishing Platformアセットを復元できます。

➡ バージョン9以降のQuark Publishing Platformでは、プロジェクトを復元する際、そのプロジェクトにリンクされているすべてのアセットを、対応するバージョンで復元することもできます。また、それらのアセットはすべて、プロジェクトにリンクされます。ただし、以前のバージョンのプロジェクトに戻した場合は、リンクされているアセットがすべて分離されます。

アセットを復元するには、下記の手順に従ってください。

1 **ワークスペース**ペインを表示して、**アクション > 復元**を選択するか、Quark Publishing Platform Clientの**ワークスペース**ツールバーで**復元**をクリックします。**復元**ダイアログボックスが表示されます。

➡ Mac OSでは、**復元**ボタンを**ワークスペース**ツールバーに追加することができます。



復元するアーカイブファイルを特定するには、**復元**ダイアログボックスを使用します。

2 復元対象となるアーカイブされたアセットに対応するXMLファイルを選択し、**復元**をクリックします。

➡ アーカイブの作成時にアーカイブフォルダおよびXMLファイルの記述名を使用すると、復元するアセットを特定するのに役立ちます。

➡ アーカイブされたアセットの1つ以上の属性がサーバー設定の一部ではなくなっている場合、通常は代替属性を選択することができます。ただし、属性の切り替えができない場合、復元プロセスでは次のアーカイブファイルにスキップされます。スキップされたアセットを復元するには、見つからない属性を再作成する必要があります。

➡ 名前とファイルの種類が同じアセットが既にQuark Publishing Platform Serverにチェックインされている場合、エラーが発生し、ログファイルのアセットが確認されます。

➡ 「復元」ログファイルは、アーカイブファイルと同じフォルダに保存されています。アーカイブファイルを保存したフォルダへの書き込みアクセス権限がない場合、Quark Publishing Platform Serverによって場所を指定するように指示されます。

ユーザーインターフェイス

ユーザーは、Quark Publishing Platform Clientアプリケーション、Quark Publishing Platform Web Client、および（XTensions®ソフトウェアを使用して）QuarkCopyDeskとQuarkXPressからQuark Publishing Platformワークフローにアクセスできます。この章では、Mac OSとWindows両方でのQuark Publishing Platformユーザーインターフェイスの概要を説明します。アプリケーション固有のタスクを実行する方法については、このドキュメントの他の章を参照してください。

ロール、表示、およびコンテンツ構造の概要

Quark Publishing Platformを使用するには、まずサーバーにログオンする必要があります。デフォルトでは、大文字と小文字が区別される「Admin」というパスワードが指定されている、「Admin」という名前のユーザーがPlatformにあらかじめ組み込まれています。管理者は、初めてログオンする場合、この名前とパスワードを使用することになります。Quarkでは、最初にログオンするときにパスワードを変更することによって、管理上のセキュリティを強化することをお勧めします。

すべてのユーザーの場合に、ログオンで使用する名前およびパスワードは、特定の**ロール**に関連付けられています。このロールにより、付与される権限と使用可能な機能が決まります。したがって、Quark Publishing Platformユーザーインターフェイスの表示は、他のユーザーの表示と異なる場合があります。

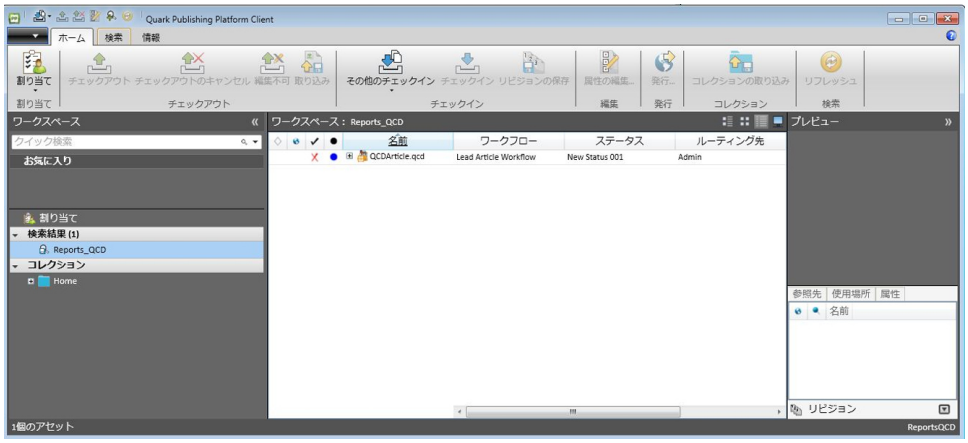
ロールの特定の権限については、「*権限*」を参照してください。

ワークスペースブラウザウィンドウ

ワークスペースブラウザウィンドウは、Quark Publishing Platformクライアントアプリケーションから Quark Publishing Platformにログオンすると表示されます。

ワークスペースブラウザウィンドウ

Quark Publishing Platformでファイルを使用するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインを使用します。



ワークスペースペイン

左側の**ワークスペース**ナビゲーションペインでアイテムをクリックすることによって、右側のメイン領域の表示内容を制御できます。

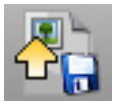
- **クイック検索**：アセット名、アセット内のテキスト、またはアセット名とテキストコンテンツの組み合わせに従ってQuark Publishing Platformアセットを検索するには、**クイック検索**フィールドを使用します。
- **お気に入り**：頻繁に使用するコレクションや検索結果をこの領域にドラッグすると、どのQuark Publishing Platformクライアントでもそのコレクションや検索結果を使用できます（Quark Publishing Platform Web Clientの場合は、アセットをOptionキーを押しながらクリックまたは右クリックし、コンテキストメニューで**お気に入り**領域にアセットを追加したり、領域からアセットを削除したりできます）。
- **割り当て**：自分宛てにルーティングされているアセットがすべて表示されます。
- **リンク**（QuarkXPressのみ）：アクティブなレイアウトにリンクされているすべてのアセットが表示されます。
- **高さ**（QuarkXPressのみ）：（一定の範囲内の）選択したテキストボックスに合ったテキストコンポーネントを持つアーティクルが表示されます。詳細は、「*QXP環境設定：ワークスペース > ワークスペースブラウザ*」を参照してください。
- **検索結果**：検索がすべて表示されます。検索をクリックすると、検索結果ペインで検索の結果を確認できます。検索結果を複製、削除、リロードするには、検索結果をOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**検索結果の複製**、**検索結果の削除**、または**検索のリロード**を選択します。検索結果をOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**検索結果の管理**を選択する方法でも、検索結果を編集、共有、複製、改名、削除できます。
- **共有検索結果**：アクセス権のある共有検索結果がすべて表示されます。検索をクリックすると、検索結果ペインでその結果を確認できます。
- **未保存の検索結果**：作成した未保存の検索結果がすべて表示されます。未保存の検索結果を削除するには、検索結果をOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**検索結果の削除**を選択します。
- **コレクション**：アクティブなユーザーにアクセス権のあるコレクションがツリー形式ですべて表示されます。コレクションの階層の他の場所から、検索結果領域から、またはファイルシステムからアセットをコレクション上にドラッグすることによって、アセットをコレクションに追加できます。

Quark Publishing Platform Web Clientでのオプションは、若干異なります。詳細は、「*Quark Publishing Platform Web Client*」を参照してください。

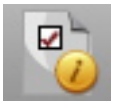
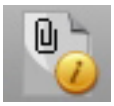
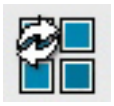
ワークスペースツールバー

ワークスペースツールバーでは、このセクションにリストされているコマンドを使用できます。ツールバーの右側にあるオーバーフローメニューには、他のコマンドが多数あります。

Windowsの場合、**ワークスペース**ツールバーのコントロールは、Windowsのリボンインターフェイスを使用して表示されます。**クイックアクセスツールバー**機能などの追加機能があります。

ボタン	説明
 **割り当て**	**割り当て**ドロップダウンメニューを使用すると、以下の割り当てオプションが表示されます。**テキストファイル、画像、QuarkCopyDeskアーティクル、QuarkCopyDeskアーティクルテンプレート、QuarkXPressプロジェクト**、および**QuarkXPressプロジェクトテンプレート。QuarkCopyDeskアーティクル**には、既存のアーティクルに基づいて割り当てを作成するか、またはQuark Publishing Platform Serverのデフォルト仕様に基づいて割り当てを作成するかのオプションを含むサブメニューが表示されます。
 **チェックアウト**	**ワークスペースブラウザ**ウィンドウで選択したアセットを開いて表示するには、このボタンをクリックします。このボタンはさまざまな条件に対応します。チェックイン済みのアセットを選択すると、このボタンによってアセットがチェックアウトされます。チェックアウト済みのアセットを選択すると、このボタンによってアセットが開かれます。開かれているアセットを選択すると、このボタンによってそのアセットのウィンドウが前面に移動されます。 ファイルをチェックアウトすると、Quark Publishing Platformによってアセットがコンピュータに自動的にコピーされ、チェックアウト済みアセットの保存場所として指定したフォルダに保存され（または、初回チェックアウトの場合、フォルダを指定するよう要求されます）、アセットが開かれます。
 **チェックアウトのキャンセル**	あるリビジョンについてQuark Publishing Platform Serverを更新せずにアセットのチェックアウトをキャンセルするには、**チェックアウトのキャンセル**をクリックします。ただし、変更を行った場合、変更が失われることを通知する警告が表示されます。Quark Publishing Platform Serverにアセットのリビジョンを保存すると、そのリビジョンが現在のバージョンとなります。現在は他のアプリケーションへチェックアウトされているアセットのチェックアウトをキャンセルすることもできます。
 **読み取り専用**	読み込み専用アクセスでアセットを表示するには、**編集不可**をクリックします。この場合、アセットのコンテンツを表示できますが、アセットの変更はできません。
 **取り込み**	選択したアセットのコピーを自分のコンピュータに移動するには、**取り込み**をクリックします。新規ファイルのチェックイン権限があれば、アセットの名前を変更したりアセットをチェックインしたりできます。
 **コレクションの取り込み**	選択したコレクションのコピーを自分のコンピュータに移動するには、**コレクションの取り込み**をクリックします。
 **チェックイン**	検索結果ペインで選択したチェックアウト済みアセットをチェックインするには、**チェックイン**をクリックします。

ボタン	説明
 その他のチェックイン	（MAC OSクライアント） **その他のチェックイン**をクリックすると、**その他のファイルのチェックイン**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、ローカルまたはネットワーク上に保存されている1つ以上のアセットにナビゲートできます。アセットをチェックインする前にアセットの属性を指定できます。このダイアログでは、ディスク上のフォルダを選択して、そのフォルダのコンテンツや、サブフォルダとそのコンテンツとともにチェックインすることもできます。 （Windowsクライアント） **その他のチェックイン**ドロップダウンメニューを使用すると、**ファイルをチェックイン**と**フォルダをチェックイン**のオプションが表示されます。.**その他のファイルのチェックイン**ダイアログボックスを表示するには、**チェックイン**をクリックします。このダイアログボックスで、ローカルまたはネットワーク上に保存されている1つ以上のアセットにナビゲートできます。アセットをチェックインする前にアセットの属性を指定できます。フォルダとすべてのサブフォルダをチェックインするには、**フォルダをチェックイン**をクリックします。
 リビジョンの保存	**リビジョンの保存**をクリックして**リビジョンの保存**ダイアログボックスを表示し、選択したアセットの最新コンテンツによってQuark Publishing Platform Serverを更新します。
 公開	**発行**をクリックして、選択したアセットをいずれかの形式で発行できます。 **App Studioアーティクル**： 選択したアセットを、HTML5アーティクルとして発行します。App StudioアーティクルをApp Studio Publishing Portalにアップロードできるようにするには、QuarkXPress ServerでApp Studio Publishing Portalの資格情報を入力する必要があります。詳細は、『QuarkXPress Serverガイド』を参照してください。 **QuarkXPressプロジェクト**： 選択したアセットを、QuarkXPressプロジェクトとして発行します。 **出力ファイルの収集**： 選択されたアセットをすべての参照（画像、オーディオ、ビデオ、参照XML）とともに、特定の場所にある構成済みの配信チャンネルへ配信します。 **HTML**： 選択したアセットを、HTML形式で発行します。 **PDF**： 選択したアセットを、PDF形式で発行します。 **App Studioパッケージ**： 選択したアセットを、App Studioパッケージとして発行します。 **ePUB**： 選択したアセットを、ePUB形式で発行します。 **リッチテキスト形式**： 選択したアセットを、RTF形式で発行します。
 リフレッシュ	**リフレッシュ**をクリックすると、Quark Publishing Platformは、アクティブな検索を再実行し、検索結果ペインをリフレッシュします。
 属性の編集	ウィンドウで選択したアセットの**属性の編集**ダイアログボックスを表示するには、**属性の編集**をクリックします。属性は、他のシステムではメタデータともいいます。また、旧バージョンのQuark Publishing Platformでは「ヘッダー」と呼ばれていました。権限を持っていて属性を使用できる場合、このダイアログボックスで属性の値を変更してから**更新**をクリックできます。
 表示	検索結果ペインでのアセットの表示方法を制御するには、**表示**ドロップダウンメニューを使用します。詳細は、「*表示オプションの表示*」を参照してください。 「**ワークスペースブラウザで詳細検索の表示を有効にする**」権限を持つユーザーの場合、このメニューには、アセット検索のための**プロジェクト**、**プロジェクトとページ**、**コレクション**、**関係**の各オプションもあります。また、**カスタム**を選択した場合に表示されるダイアログボックスには、**グループ化の条件**タブと**リンク**タブがあります。
 新規検索	新しい検索対象による検索を作成するには、**新規検索**をクリックします。

ボタン	説明
 保存済みの検索結果	保存済みの検索結果を実行するには、**保存済みの検索結果**ドロップダウンメニューを使用します。**保存済みの検索結果**リストには、他のユーザーの共有検索も含まれています。**管理**を選択して**保存済みの検索結果の管理**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、検索操作を追加、編集、共有、複製、および削除できます。
 プレビュー	選択した画像、QuarkCopyDeskアーティクル、またはQuarkXPressプロジェクトの大きなプレビューを表示するには、**プレビュー**をクリックします。プレビューウィンドウには、アセットの異なるページをプレビューするためのナビゲーションコントロールも表示されます。 **プレビュー**ウィンドウは、最後に使用されたときの位置とサイズが保存されます。 デフォルトのQuark Publishing Platformアセットプレビューには、PDFの最初の5ページと、QuarkXPressプロジェクトまたはQuarkCopyDeskアーティクルの最初の20ページが表示されます。Quark Publishing Platform管理者は、設定ファイルを編集することによって、プレビューに表示されるページ数を調整できます。詳細は、『Quark Publishing Platform管理ガイド』を参照してください。
 選択情報	**選択情報**ダイアログボックスを表示するには、**選択情報**をクリックします。このダイアログボックスには、アセットのチェックアウトやコンポーネントの削除が可能かどうかなどの選択したアセットについての情報が表示されます。
 関係の情報	**関係の情報**をクリックすると、ウィンドウで選択したアセットのプライマリリンク、セカンダリリンク（ある場合）、リビジョン番号を表示できます。ファイルの場合は、**関係の情報**ダイアログボックスに、**レイアウト名**、**ページ名**、**ページインデックス**、**コンポーネント名**も表示されます。QuarkCopyDeskファイルの場合は、**コンポーネント名**が表示されます。XMLファイルの場合は、**XPath**が表示されます。
 リビジョンの表示	**リビジョン**ダイアログボックスを表示するには、**リビジョンの表示**をクリックします。このダイアログボックスには、Quark Publishing Platform Serverによってトラッキングされる、選択したアセットのリビジョン情報が含まれます。リビジョンを印刷したり、リビジョンの編集不可のコピーを開いたり、リビジョンを削除したりできる他、リビジョンを以前のバージョンに戻し、そのリビジョンを最新バージョンとして指定することができます。
 再度索引を作成	アーティクルおよびプロジェクトに関するQuarkXPress Serverの更新済みプレビューを表示するには、**再度索引を作成**をクリックします。
 削除	Quark Publishing Platform Serverから選択したアセットを削除するには、**削除**をクリックします。
 アセット情報	**アセット情報**をクリックすると、**詳細**ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、選択したアセットのすべての属性と値のリストが表示されます。
 スライドショーの表示	選択したアセットのスライドショーを表示するには、**スライドショーの表示**をクリックします。

ボタン	説明
 複製	Quark Publishing Platform Serverに選択したアセットのコピーを作成するには、**アイテムの複製**をクリックします。
 検索結果の書き出し	検索結果をHTMLファイル、XMLファイル、タブ区切りファイル、またはカンマ区切りファイルに書き出すことができます。
 アーカイブ	選択したアセットをアーカイブする場所を選択するには、**アーカイブ**をクリックして**アーカイブ**ダイアログボックスを表示します。詳細は、「*アセットのアーカイブ*」および「*アセットの復元*」を参照してください。
 復元	アーカイブされたアセットを復元するには、**復元**をクリックして**復元**ダイアログボックスを表示します。詳細は、「*アセットのアーカイブ*」および「*アセットの復元*」を参照してください。
 印刷	検索結果を印刷するには、**印刷**をクリックします。
 印刷プレビュー	（Windowsのみ）印刷出力のプレビューを表示するには、**印刷プレビュー**をクリックします。
 カスタマイズ	Mac OSの場合、**カスタマイズ**をクリックして**ワークスペース**ツールバーアイコンのコントロールを表示します。**カスタマイズ**をクリックした場合と、Controlキーを押したまま**ワークスペース**ツールバーをクリックして**ツールバーのカスタマイズ**を選択した場合は、同じ結果になります。

コンパクト表示（Mac OSのみ）

ワークスペースブラウザウィンドウのサイズを縮小してコントロールの数を減らすには、**コンパクト表示**をクリックします。その他のコントロールの多くは自動的にオーバーフローメニューに移動し、ウィンドウにはアクティブなアプリケーションの名前が表示されます。たとえば、**コンパクト表示**を選択してからTextEditに切り替えると、Quark Publishing Platform Clientウィンドウにアクティブなアプリケーションの名前が表示され、アセットのチェックイン、チェックアウト、リビジョンの表示、およびその他のアセットの検索ボタンが表示されます。

ワークスペースツールバーのカスタマイズ

Mac OSの場合、Controlキーを押しながら**ワークスペース**ツールバーをクリックして**ツールバーのカスタマイズ**を選択すると、表示をカスタマイズできます。ウィンドウが表示され、そこでアイコンをツールバーにドラッグして追加するか、アイコンをツールバーからドラッグして削除できます。**カスタマイズ**アイコンを追加すれば、このウィン

ドウにすばやくアクセスできます。また、空白や点線などのセパレータを**ワークスペース**ツールバーに追加することもできます。

ウィンドウの下部にある**表示**ドロップダウンメニューを使用すると、**チェックイン**ボタンなどのコントロールをテキストとアイコン、テキストのみ、アイコンのみのいずれかで表示できます。また、アイコンのサイズを制御することもできます。

Windowsの場合、コマンドを右クリックすることによって、クイックアクセスツールバーにコマンドを追加できます。

ワークスペースブラウザウィンドウのサイズを縮小し、アイコンのサイズを大きくし、アイコンとテキストを表示すると、**ワークスペース**ツールバーが自動的にオーバーフローメニューを生成します。このメニューはパレットの右側に表示され、ツールバーに収まらないコントロールが追加されます。

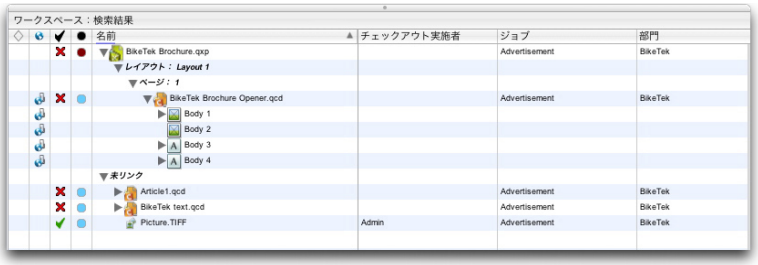
表示オプションの表示

オプションの表示で、ワークスペースでのアセットの表示の制御方法がわかります。これらのオプションは、**表示**メニュー（Mac OSのみ）から、および**ワークスペースブラウザ**ウィンドウのワークスペース領域の上部にあるアイコンから使用できます。

名前の表示

名前サブメニューには、以下のオプションが含まれます。

リスト表示を選択して、アセットをリスト形式で表示します。



リスト表示

リスト表示では、**名前**列を除くすべての列の表示と非表示を切り替えることができます。

- 検索結果を列順（または逆順）に並べ替えるには、列のタイトルをクリックします。
- 列の表示と非表示を切り替えるには、Controlキーを押しながら列のタイトルをクリック／右クリックして属性を選択します。
- 属性の表示と非表示を切り替えるには、Controlキーを押しながら列のタイトルをクリック／右クリックして**現在の表示のカスタマイズ**を選択します。**列の設定**タブには、表示または非表示にするすべての属性フィールドがあります。

➡ サムネールアセットプレビューを表示するように、**サムネール**列を追加することができます。

- 列の配置を変更するには、列のタイトルをクリックしてドラッグします。
- 列のサイズを変更するには、列の先端をクリックしてドラッグします。

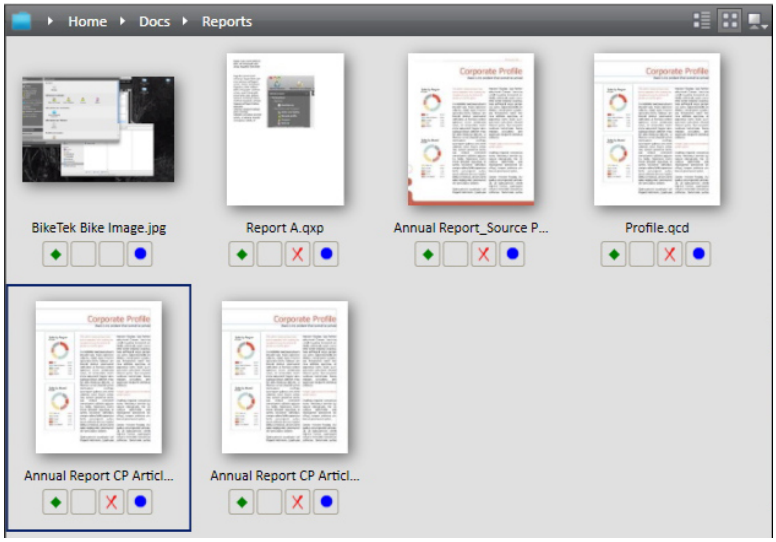
検索対象に一致してもプロジェクトにリンクされていないQuark Publishing Platformのアセットは、**未リンク**の下に一覧表示されます。検索対象に一致しても、Platform ServerにチェックインしたことのないプロジェクトにリンクされているQuark Publishing Platformアセットは、**他のプロジェクトにリンク済み**の下に一覧表示されます。リンク済みアセットは、複数のプロジェクトにリンクされている場合、複数のプロジェクトで表示できます。

アセット間の関係を表示するには、**関係の表示**を選択します。この機能により、どのアセットが他のアセットによって使用されているのかを判断できます。



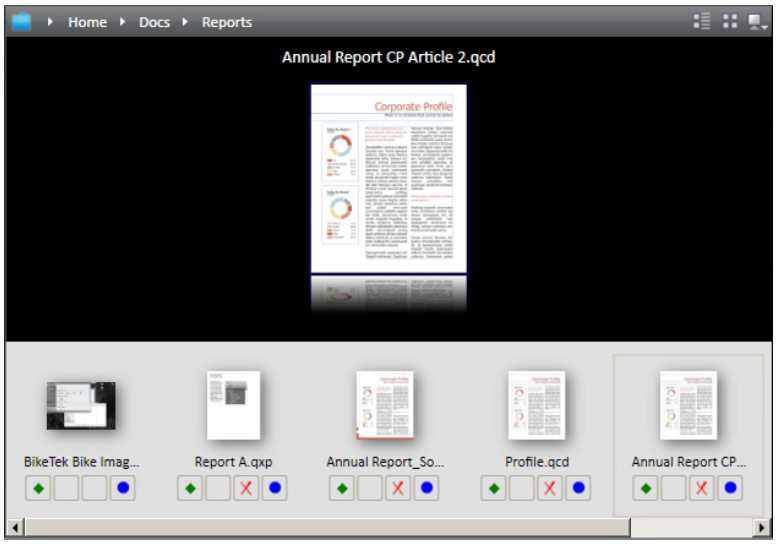
関係の表示

アセットの小さなプレビューを表示するには、**サムネール**を選択します。サムネールプレビューのボーダーにアセットの状況カラーを表示するには、**サムネールの周りに状況カラーを表示**環境設定（**Quark Publishing Platform Client > 環境設定 > ワークスペース**）をオンにします。状況カラーボーダーを表示するには、**表示 > 名前**サブメニューから**サムネール**、**フィルムストリップ**、または**詳細サムネール表示**を選択します。



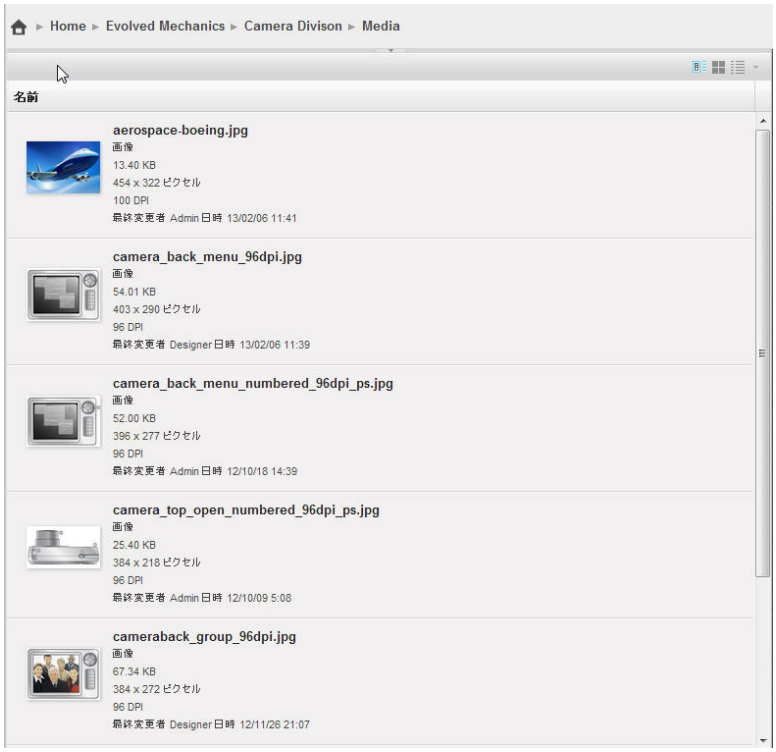
サムネール表示

選択したアセットのプレビューを大きく表示し、その他のアセットをその下に表示するには、**フィルムストリップ**を選択します。



フィルムストリップ表示

各アセットのサムネールプレビューを表示するには**スニペット表示**を選択します。プレビューの右側にサムネールプレビューとその他のアセット情報も表示されます。



スニペット表示

プロジェクト表示

プロジェクト表示では、検索結果が、QuarkXPressプロジェクトを頂点とした階層構造で表示されます。各プロジェクトにリンクされているアーティクルおよび画像の一覧が、それぞれのプロジェクトの下に表示されます。



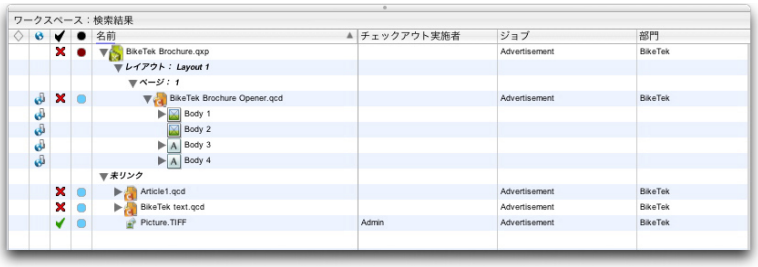
プロジェクト表示

プロジェクトとページ表示

プロジェクトとページ表示では、検索結果が、QuarkXPressプロジェクトを頂点とした階層構造で表示されます。各ページが、それぞれのレイアウトの下に表示されます。レイアウト内のアーティクルおよび画像が、それぞれのページの下に表示されます。

レイアウトにリンクされているアイテムの1つが検索に一致した場合、プロジェクトとプロジェクトに含まれるリンクがすべて表示されます。

プロジェクトに複数のページがリンクされている場合は、同じアーティクルまたは画像が複数のページの下に表示されることがあります。



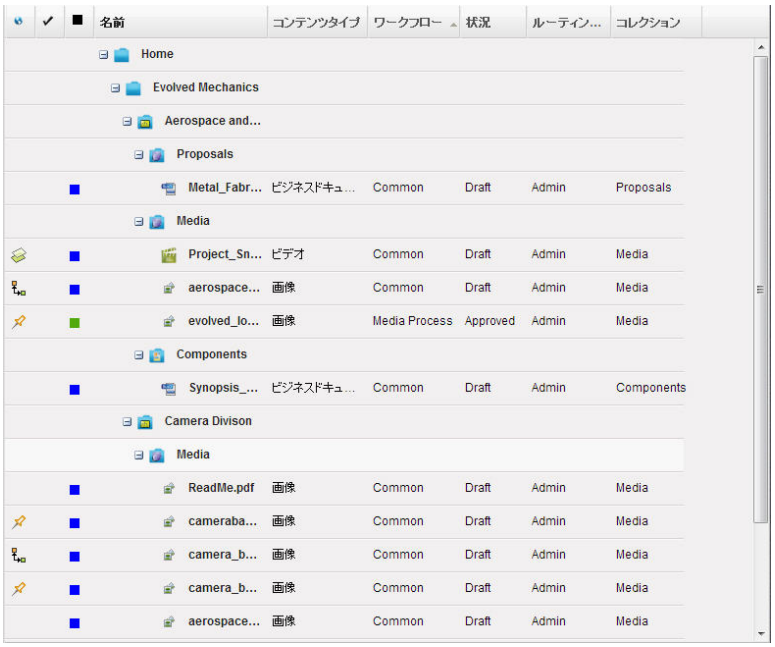
プロジェクトとページ表示

この表示は、コレクションの参照中には使用できません。プロジェクトにリンクされているアセットを表示するには、**リンクのリスト表示**を使用します。

コレクションの表示

コレクションには、コレクションのツリーの階層構造で検索結果が表示されます。

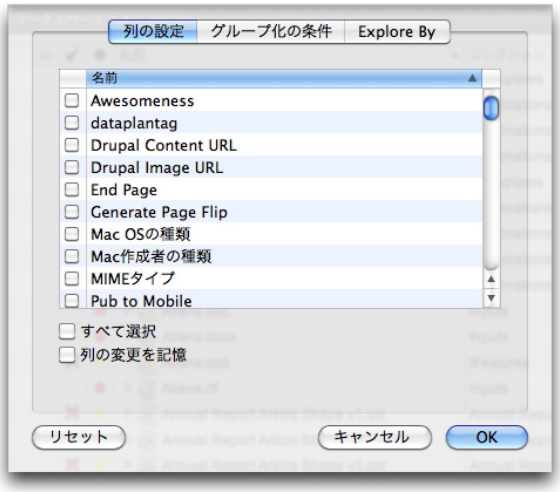
この表示は、コレクションの参照中には使用できません。



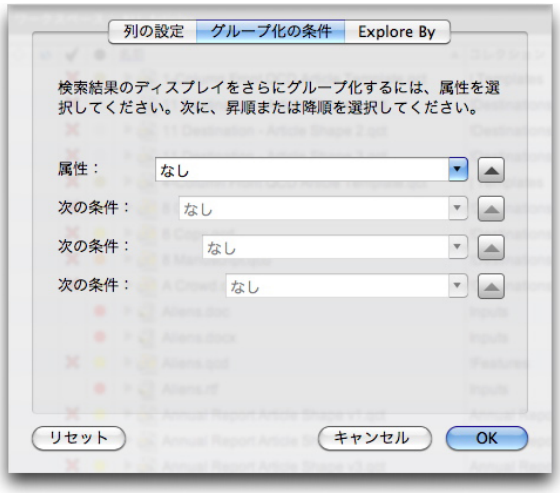
コレクションの表示

カスタム表示

カスタム表示では、指定する4レベルの属性に基づく階層構造で検索結果が表示されます。**カスタム**を選択すると、3つのタブ（**列の設定**、**グループ化の条件**、および**検索の条件**）を配置したウィンドウが表示されます。



検索結果の列として表示する属性を指定するには、**列の設定**タブを使用します。



検索結果をグループ化するための4つの階層グループを指定するには、**グループ化の条件**タブを使用します。このオプションは、Quark Publishing Platform Web Clientでは使用できません。



QuarkXPressプロジェクトおよびリンク済みアセットを表示したり、コレクションの階層でアセットを表示したりするには、**検索の条件**タブを使用します。このオプションは、Quark Publishing Platform Web Clientでは使用できません。

関係のリスト表示

関係のリスト表示ではアセットがリスト表示されます。プロジェクトを展開すると、アセットの関係を表示できます。また、アーティクルを展開すると、アセットのコンポーネントを表示できます。



関係のリスト表示の表示

関係の状況のリスト表示

関係の状況のリスト表示ではアセットがリスト表示されます。プロジェクトを展開すると、アセットの関係と、関係の状況を表示できます。

アイコン列

Quark Publishing Platform ClientとQuarkCopyDeskでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウに、各アセットの情報を示す4つのアイコン列が表示されます。QuarkXPressの**ワークスペースブラウザ**ウィンドウには、**ローカルリンク**という5番目のアイコン列が表示されます。これらのアイコンは、**サムネール表示**と**フィルムストリップ表示**の各アセットのアイコンの下に表示されますが、すべての拡大表示と**リスト表示**で**検索結果**リストの左側の列にも表示されます。左から右に、次のようなアイコンがあります。

- **ダイアモンドのクリア**：ダイアモンドは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウで最後に実行した検索に関連する、各アセットの状況を示します。緑のダイアモンド◆は、現在の検索を実行後リストに追加されたアセットを示します。白いダイアモンド◇は、現在の検索を実行後にアセットの属性が更新されたが、そのアセットが依然として検索条件と一致していることを示します。グレイのダイアモンド◈とグレイの影付きラインは、別のユーザーがアセットの属性を変更したために、その属性が検索条件と一致しなくなったことを示します。ただし、自分がアセットの属性に同じような変更を加えた場合は、そのアセットが**ワークスペースブラウザ**ウィンドウから削除されるだけです。列の上にある**ダイアモンドのクリア**アイコンをクリックすると、すべてのダイアモンドが削除され、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウが更新され、検索条件と一致しなくなったアセットが表示から削除されます。

➡ 列の上にある**ダイアモンドのクリア**アイコンをクリックしたままOption／Altキーを押すと、**ダイアモンドのクリア**列をロックまたはロック解除できます。**ダイアモンドのクリア**列がロックされている場合、アセットの属性変更は**ダイアモンドのクリア**列に表示されません。

➡ アセット名の隣にあるダイアモンドをクリックすると、そのアセットのダイアモンドが削除されますが、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**ダイアモンドのクリア**列の残りの部分は変更されません。

- **グローバルリンク**：各アセットがプライマリリンクまたはセカンダリリンクとしてQuarkXPressにリンクされているかどうかを示す記号です。 作成日: 2008/10/07, 13:03 作成者: WISE_SS 更新日: 更新者: リンクの状況を決定するには、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでリンクを選択し、**リンク情報**をクリックします。アセットの**グローバルリンク**アイコン上にマウスの位置を合わせると、ツールチップ（「間接画像リンク」「セカンダリグローバルリンク」など）を表示できます。
- **ローカルリンク**（QuarkXPressのみ）：アクティブプロジェクト（「ローカル」プロジェクト）のローカルリンクを示す記号です。リンクの状況を決定するには、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでリンクを選択し、**リンク情報**をクリックします。アセットの**ローカルリンク**アイコン上にマウスの位置を合わせると、ツールチップ（「未リンクセカンダリリンク」「セカンダリローカルリンク」など）を表示できます。
- **チェックアウト**：：アセットがチェックアウトされたかどうかを示す記号です。ログオン中のユーザーによりアセットがチェックアウトされている場合、緑のチェックマークが表示されます。別のユーザーによりアセットがチェックアウトされている場合、赤の

チェックマークが表示されます。ログオン中のユーザーがアセットをチェックアウトできない場合、赤いXが表示されます。

- **状況**：色付きの丸は、選択したアセットに関するQuark Publishing Platformの状況を示します。Quark Publishing Platform管理者は、これらの状況を定義し、状況ごとに色を関連付けます。各色の丸のツールチップに状況の名前が表示されます。

プレビューペイン

ワークスペースウィンドウの右側の**プレビュー**ペインには、選択したアセットの詳細情報が表示されます。



プレビューペイン

プレビュー領域には、選択したアセットのプレビューが表示されます。アセットがプロジェクトまたはアーティクルの場合、**プレビュー**領域にすべてのページのスプレッドプレビューが表示されます。アセットがプロジェクトの場合、**プレビュー**領域にプロジェクト内のすべてのレイアウトのプレビューが表示されます。プロジェクトに複数の印刷レイアウト、インタラクティブレイアウト、またはApp Studioレイアウトが含まれている場合は、各レイアウトの上部にタブが表示されます。

ウェブレイアウトが含まれているプロジェクトは、**プレビュー**領域ではプレビューできません。

この領域の下には次のタブがあります。

- **参照先**： 選択したアセットの参照先のアセット（アセットにリンクされているアセットなど）がすべて表示されます。 参照先のアセットを右クリックして、**コレクションを開く**を選択できます。 これによって、参照先のアセットのコレクションが開きます。
- **使用場所**： 選択したアセットを参照しているアセットがすべて表示されます。
- **属性**： アセットのすべての属性が表示されます。 いずれかの属性を右クリックすると、**属性の設定**ダイアログボックスが表示されます。

- **リビジョン**エリアには、アセットのリビジョン番号が表示されます。 **リビジョン**ダをクリックすると、**リビジョンの表示**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、リビジョンの全リストの表示、リビジョンの読み取り専用コピーの表示、前のリビジョンへの復帰、またはアセットリビジョンリストの印刷を行うことができます。

➡ コンテキストメニューは、**参照先**および**使用場所**タブ内の参照に使用します。

➡ アーティクルまたはプロジェクトが**プレビューペイン**に表示されない場合は、アセットを選択し、**ワークスペース**ツールバーで**再度索引を作成**をクリックして、QuarkXPress Serverから更新されたアセットプレビューを受け取ります。

メニュー（Quark Publishing Platform Client）

Quark Publishing Platform Clientアプリケーションウィンドウのメニューに表示されるコマンドは、アクティブなアプリケーション、ユーザーのロール、およびウィンドウの左側で選択したペインに応じて変化します。

➡ Mac OS版のQuark Publishing Platform Clientアプリケーションのみ、メニューがあります。Windowsの場合、リボンインターフェイスを使用します。

Quark Publishing Platform Clientメニュー（Mac OSのみ）

Quark Publishing Platform Clientメニューには、下記のコマンドがあります。

- **Quark Publishing Platform Client**：バージョン番号を含むQuark Publishing Platform Clientについての情報を表示します。
- **環境設定**：デフォルト設定を指定し、ワークステーションでのQuark Publishing Platform Clientの動作をカスタマイズできます。
- **ログオン／ログオフ**：**ログオン**コマンドを実行すると、**ログオン**ダイアログボックスが表示されます。**ログオフ**コマンドを実行すると、ユーザーがログオフされますが、アプリケーションは終了しません。
- **Quark Publishing Platform Clientの終了**：アプリケーションを終了します。

➡ Mac OS上のQuark Publishing Platform Clientウィンドウの左上にある閉じるアイコンをクリックすると、ウィンドウが閉じます。新規ウィンドウを開くには、ドックでQuark Publishing Platform Clientアイコンをクリックします。

➡ このメニューには、Mac OSによって提供されている一部のコマンドも含まれています。

ファイルメニュー

ファイルメニューには、Quark Publishing Platform Clientウィンドウを印刷するためのコマンド（Mac OSおよびWindows）と、**終了**および**ログオフ**コマンド（Windows）が表示されます。

- **新規ウィンドウ**：新しいワークスペースブラウザウィンドウが表示されます。

- **用紙設定**：アクティブウィンドウの印刷の設定を行います。
- **印刷**：アクティブウィンドウを印刷します。
- **閉じる**：アクティブな**ワークスペースブラウザ**ウィンドウを閉じます。
- **検索結果の書き出し**：検索結果ペインに表示される検索結果を、HTMLファイル、XMLファイル、タブ区切りファイル、またはカンマ区切りファイルに書き出すことができます。

編集メニュー

編集メニューには、下記のコマンドがあります。

- **取り消し<最終操作>**：コンテンツで実行された最後の操作を維持します。
- **やり直し<最終操作>**：コンテンツで実行された最後の**取り消し**コマンドと逆の操作を行います。
- **カット**：選択されたコンテンツを削除し、クリップボードに保存します。
- **コピー**：選択されたコンテンツをコピーし、クリップボードに保存します。
- **ペースト**：クリップボード上のコンテンツをテキスト挿入ポイントに貼り付けます。
- **すべて選択解除**：アクティブなドキュメント、**ワークスペース**ウィンドウ、またはフィールドのコンテンツをすべて選択解除します。
- **すべて選択**：アクティブなドキュメント、**ワークスペース**ウィンドウ、またはフィールドのコンテンツをすべて選択します。
- **改名**：選択したアイテムの名前を変更します。
- **追加**：選択したアイテムの新規インスタンスを追加します。
- **編集**：選択したアイテムを編集します。
- **複製**：選択したアイテムのコピーを作成します。
- **表示言語**：Quark Publishing Platformインターフェイスの言語を変更します。
- **選択項目の削除**：選択したコンテンツまたはアイテムを削除します。
- **特殊文字**：**文字パレット**に使用可能なフォントの文字オプションを表示します。

表示メニュー

表示メニューには、下記のコマンドがあります。

- **表示**サブメニュー：アセットの表示方法を制御するには、このサブメニューを使用します。詳細は、「*表示オプションの表示*」を参照してください。
- **コンパクト**：**ワークスペース**の表示方法を、**拡大表示**から**コンパクト表示**に変更するには、このコマンドを使用します。
- **ナビゲーションペイン**：左側にあるナビゲーションペインを表示または非表示にするには、このコマンドを使用します。

アクションメニュー

アクションメニューには、下記のコマンドがあります。アセットの割り当て、アセットのチェックインおよびチェックアウト、アセットのコピーの開始、編集不可のアセットの開始、アセット情報の表示、アセットのリビジョンの表示、アセット属性の編集など

のコマンドと、QuarkXPressまたはQuarkCopyDeskの**ファイル > 開く**で開くことのできないサードパーティファイル形式でのアセットをチェックインするコマンドがあります。

- **割り当て**： **割り当て**ドロップダウンメニューを使用すると、以下の6つの割り当てオプションが表示されます。**テキストファイル、画像、QuarkCopyDeskアーティクル、QuarkCopyDeskアーティクルテンプレート、QuarkXPressプロジェクト**、および**QuarkXPressプロジェクトテンプレート。QuarkCopyDeskアーティクル**には、既存のアーティクルに基づいて割り当てを作成するか、またはQuark Publishing Platform Serverのデフォルト仕様に基づいて割り当てを作成するかのオプションを含むサブメニューが表示されます。
- **チェックイン**： **ワークスペースブラウザ**ウィンドウで選択したチェックアウト済みアセットをチェックインするには、**チェックイン**をクリックします。
- **その他のチェックイン**： **その他のファイルのチェックイン**ダイアログボックスを表示するには、**その他のチェックイン**をクリックします。このダイアログボックスで、ローカルまたはネットワーク上に保存されている1つ以上のアセットにナビゲートできます。アセットをチェックインする前にアセットの属性を指定できます。
- **チェックアウト**： **ワークスペースブラウザ**ウィンドウで選択したアセットを開いて表示するには、**チェックアウト**をクリックします。
- **編集不可**：読み込み専用アクセスでアセットを表示するには、**編集不可**をクリックします。この場合、アセットのコンテンツを表示できますが、アセットの変更はできません。
- **取り込み**：選択したアセットのコピーを自分のコンピュータに移動するには、**取り込み**をクリックします。新規ファイルのチェックイン権限があれば、アセットの名前を変更したりアセットをチェックインしたりできます。
- **発行 > ePUBとして発行**：レイアウトのリフロービューからePUBドキュメントを作成するには、**PDFとして発行**をクリックします。
- **発行 > 出力ファイルの収集として発行**： **出力ファイルの収集として発行**をクリックすると、選択されたアセットをすべての参照（画像、オーディオ、ビデオ、参照XML）とともに、特定の場所にある構成済みの配信チャンネルへ配信します。
- **発行 > App Studioパッケージとして発行**：選択したアセットをApp Studioパッケージとして発行するには、**App Studioパッケージとして発行**をクリックします。
- **発行 > App Studioアーティクルとして発行**：レイアウトからHTML5によるApp Studioアーティクルを作成してApp Studio Publishing Portalにアップロードするには、**App Studioアーティクルとして発行**をクリックします。App StudioアーティクルをApp Studio Publishing Portalにアップロードできるようにするには、QuarkXPress ServerでApp Studio Publishing Portalの資格情報を入力する必要があります。詳細は、『QuarkXPress Serverガイド』を参照してください。
- **発行 > PDFとして発行**：PDF形式のアーティクルまたはレイアウトを作成するには、**PDFとして発行**をクリックします。
- **発行 > HTMLとして発行**：HTML形式のアーティクルまたはレイアウトを作成するには、**HTMLとして発行**をクリックします。
- **発行 > QuarkXPressプロジェクトとして発行**：レイアウトからQuarkXPressプロジェクトを作成するには、**QuarkXPressプロジェクトとして発行**をクリックします。

- **発行 > RTFとして発行**：レイアウトからRTFファイルを作成するには、**RTFとして発行**をクリックします。
- **チェックアウトのキャンセル**：あるリビジョンについてQuark Publishing Platform Serverを更新せずにアセットのチェックアウトをキャンセルするには、**チェックアウトのキャンセル**をクリックします。ただし、変更を行った場合、変更が失われることを通知する警告が表示されます。Quark Publishing Platform Serverにアセットのリビジョンを保存すると、そのリビジョンが現在のバージョンとなります。現在は他のアプリケーションへチェックアウトされているアセットのチェックアウトをキャンセルすることもできます。
- **属性の編集**：ウィンドウで選択したアセットの**属性の編集**ダイアログボックスを表示するには、**属性の編集**をクリックします。属性は、他のシステムではメタデータともいいます。また、旧バージョンのQuark Publishing Platformでは「ヘッダー」と呼ばれていました。権限を持っていて属性を使用できる場合、このダイアログボックスで属性の値を変更してから**更新**をクリックできます。
- **リビジョンの表示**： **リビジョン**ダイアログボックスを表示するには、**リビジョンの表示**をクリックします。このダイアログボックスには、Quark Publishing Platform Serverによってトラッキングされる、選択したアセットのリビジョン情報が含まれます。リビジョンを印刷したり、リビジョンの編集不可のコピーを開いたりできる他、リビジョンを以前のバージョンに戻し、そのリビジョンを最新バージョンとして指定することができます。
- **アセット情報**：**アセット情報**をクリックすると、**詳細**ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、選択したアセットのすべての属性と値のリストが表示されます。
- **コレクションテンプレートを編集**：コレクションテンプレートを編集するには、**コレクションテンプレートを編集**をクリックします。
- **復元**：アーカイブされたアセットを復元するには、**復元**をクリックして**復元**ダイアログボックスを表示します。
- **アーカイブ**：選択したアセットをアーカイブする場所を選択するには、**アーカイブ**をクリックして**アーカイブ**ダイアログボックスを表示します。

レイアウト指定メニュー

ワークスペースペインを選択すると、**レイアウト指定 > 割り当て**を選択して、自分にルーティングされているすべてのアセットを表示できます。

管理者権限を持っている場合、**レイアウト指定**メニューを使用して、さまざまな管理ペインに移動できます。

検索メニュー

検索メニューには、下記のコマンドがあります。

- **新規検索**：検索を作成します。
- **保存済みの検索結果**サブメニュー：**保存済みの検索結果**サブメニューから検索結果を選択し、定義済みの検索対象によって検索を実行します。**保存済みの検索結果の管理**ダイアログボックスを表示するには、**管理**を選択します。このダイアログボックスでは、保存済みの検索結果を表示して変更したり、検索結果を表示して共有することができます。
- **共有検索結果**：共有している検索結果を使用するには、**共有検索結果**サブメニューから検索結果を選択します。検索結果を共有したユーザー名が括弧内に表示されます。

ウィンドウメニュー（Mac OS）

ウィンドウメニューには、下記のコマンドがあります。

- **最小化**：アクティブなウィンドウをドックに保存します。
- **ズーム**：アクティブなウィンドウを画面全体に表示します。
- **全て前面へ**：アクティブなQuark Publishing Platform Clientのウィンドウをすべて前面に移動します。
- **ウィンドウ**メニューの下部の領域では、アクティブなウィンドウをチェックマークで示し、その他の開いているウィンドウをすべてリストします。

ヘルプメニュー

ヘルプメニューでは、Quark Publishing Platformのヘルプファイルが表示されます。

メニュー（QCD）

QuarkCopyDeskのメニューコマンドの詳細な説明については、『**QuarkCopyDeskガイド**』を参照してください。以下の情報は、Quark Publishing Platform環境のQuarkCopyDeskにのみ適用されます。

➡ レイアウト内またはアイテム上でControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックすると、**プラットフォーム**サブメニューによって、現在の設定に最適なコマンドを簡単に使用できます。

QuarkCopyDeskメニュー（Mac OSのみ）

QuarkCopyDeskメニューは、QuarkCopyDesk for Mac OSの一部です。このメニューには、下記のQuark Publishing Platform関連コマンドがあります。

- **環境設定 > Quark Publishing Platform**：デフォルト設定を指定し、コンピュータでのQuarkCopyDeskの動作をカスタマイズできます。Quark Publishing Platform固有のパラメータを指定するには、**Quark Publishing Platform**領域を使用します。詳細については、「*Quark Publishing Platformの環境設定 — QCD*」を参照してください。

プラットフォームメニュー

プラットフォームメニューは、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにQuark Publishing Platform XTensionsソフトウェアモジュールをインストールすると表示されます。このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- **アーティクルのチェックアウト**：**チェックアウト**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、QuarkCopyDeskアーティクルや、アーティクルテンプレート、互換サードパーティアセットをチェックアウトできます。
- **アーティクルのチェックイン**：**チェックイン**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、QuarkCopyDeskアーティクルをチェックインできます。

➡ **チェックイン**ダイアログボックスの**コンテンツタイプ**ドロップダウンメニューから**QuarkCopyDeskテンプレート**を選択すると、QuarkCopyDeskテンプレートをチェックインできます。

- **アーティクルのチェックアウトをキャンセル**：コンピュータからチェックアウト済みアセットを削除し、他のユーザーがそのアセットをチェックアウトできるようにします。チェックアウト以後に加えられた変更を保存または破棄できるように、警告が表示されます。また、Quark Publishing Platform Serverでリビジョンを保存した場合は、チェックアウトをキャンセルすると、そのリビジョンが現行バージョンになります。
- **アーティクルリビジョンの保存**：**リビジョンの保存**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、アーティクルを編集可能な状態にしたままで、最近の変更が反映されるようにQuark Publishing Platform Serverを更新できます。
- **画像をリンク**：ダイアログボックスを表示して、選択したチェックアウト済み画像コンポーネントや直接リンクに、簡単に画像をリンクできます。デフォルトでは、自分宛てにルーティングされている画像がすべて表示されます。また、その他の画像も参照や検索ができます。
- **画像の置換**：ダイアログボックスを表示して、選択したチェックアウト済み画像コンポーネント内の画像や直接リンクの画像を、新しい画像と置き換えます。デフォルトでは、自分宛てにルーティングされている画像がすべて表示されます。また、その他の画像も参照や検索ができます。
- **アーティクル属性の編集**：**アーティクル属性の編集**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、アクティブなQuarkCopyDeskアーティクルの属性情報を表示および変更できます。
- **リビジョンの表示 > アーティクル**：：画面上にチェックアウトされたアーティクルが表示されている場合は、このコマンドを使用すると**リビジョン**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、読み込み専用アーティクルを表示し、アーティクルを前のリビジョンに復帰させ、**リビジョン**ダイアログボックスの内容を印刷することができます。
- **リビジョンの表示 > すべてのアーティクル**：：権限を持っていても、画面上にチェックアウト済みアーティクルが何も表示されていない場合は、このコマンドを使用すると**リビジョン**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、アーティクル名の表示、アーティクルの読み込み専用バージョンの表示、前のリビジョンへのアーティクルの復帰、および**リビジョン**ダイアログボックスの内容の印刷を行うことができます。
- **ワークスペースブラウザ**：**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの表示、非表示を切り替えます。
- **ログオン／ログオフ**：Quark Publishing Platform Serverでユーザーをログオンまたはログオフします。

メニュー（QXP）

QuarkXPressのメニューコマンドの詳細な説明については、『**QuarkXPressガイド**』を参照してください。以下の情報は、Quark Publishing Platform環境のQuarkXPressにのみ適用されます。

➡ レイアウト内またはアイテム上でControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックすると、**プラットフォーム**サブメニューによって、現在の設定に最適なコマンドを簡単に使用できます。

QuarkXPressメニュー（Mac OSのみ）

Mac OS向けQuarkXPressには、**QuarkXPress**メニューがあります。このメニューには、下記のQuark Publishing Platform関連コマンドがあります。

- **環境設定 > Quark Publishing Platform**：デフォルト設定を指定し、コンピュータのQuarkXPress内でQuark Publishing Platform関連タスクが実行される方法をカスタマイズできます。Quark Publishing Platform固有のパラメータを指定するには、**Quark Publishing Platform**領域を使用します。

補助メニュー

QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにQuark Publishing Platform XTensionsソフトウェアがインストールされている場合は、**補助**メニューに下記のコマンドがあります。

- **変更履歴**：**変更履歴**パレットが表示されます。詳細は、「*変更履歴*」を参照してください。

ウィンドウメニュー

QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにQuark Publishing Platform XTensionsソフトウェアがインストールされている場合は、**ウィンドウ**メニューに下記のコマンドがあります。

- **アーティクル**：アーティクルパレットが表示されます。
- **プロジェクトリンク**：**プロジェクトリンク**パレットが表示されます。アクティブなレイアウトにリンクされているアセットが一覧表示されます。

プラットフォームメニュー

QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにQuark Publishing Platform XTensionsソフトウェアがインストールされている場合は、QuarkXPressに**プラットフォーム**メニューが表示されます。このメニューには、下記のコマンドが含まれます。

- **チェックアウト > プロジェクト**：**チェックアウト**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、QuakXPressプロジェクトまたはテンプレートの検索とチェックアウトを行う（あるいは、編集不可のQuarkXPressプロジェクトまたはテンプレートを開く）ことができます。
- **チェックアウト > アーティクル**：レイアウトで選択したアーティクルをチェックアウトします。
- **チェックアウト > 画像**：選択した画像ボックスにリンクされている画像をチェックアウトします。
- **チェックアウト > ライブラリ**：ライブラリをチェックアウトします。
- **チェックイン > プロジェクト**：**プロジェクトのチェックイン**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、アクティブなQuarkXPressプロジェクトをチェックインできます。

➡ **プロジェクトのチェックイン**を選択するときに1つまたは複数のチェックアウト済みのリンクされているアーティクルもある場合、すべてのアーティクルがプロジェクトとともにチェックインされます。

➡ **チェックイン**ダイアログボックスの**コンテンツタイプ**ドロップダウンメニューから**プロジェクトテンプレート**を選択すると、QuarkXPressテンプレートをチェックインできます。

- **チェックイン > 画像のあるプロジェクト**：左側にリンク済み画像と取り込まれた画像を一覧表示した**チェックイン**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、アクティブなQuarkXPressプロジェクトとその画像をチェックインできます。
- **チェックイン > すべてのローカル画像**：アクティブなレイアウトにローカルとして取り込まれているすべての画像をチェックインできます。画像はレイアウトにリンクされていません。
- **チェックイン > アーティクル**：レイアウトで選択したアーティクルをチェックインします。
- **チェックイン > 画像**：選択した画像ボックスにリンクされている画像をチェックインします。
- **チェックイン > ライブラリ**：最前面のライブラリをチェックインします。
- **チェックアウトのキャンセル > プロジェクト、チェックアウトのキャンセル > アーティクル、チェックアウトのキャンセル > 画像、チェックアウトのキャンセル > ライブラリ**：コンピュータからアセットを削除し、他のユーザーがそのアセットをチェックアウトできるようにします。
- **リビジョンの保存 > プロジェクト、リビジョンの保存 > アーティクル**：プロジェクトまたはアーティクルを編集可能な状態にしたまま、最近の変更点が反映されるようにQuark Publishing Platform Serverを更新します。
- **リビジョンの保存 > 画像**：選択した画像ボックスにリンクされている画像のリビジョンを保存できるようにします。
- **リビジョンの保存 > ライブラリ**：最前面のライブラリのリビジョンを保存できるようにします（Quark Publishing Platformからチェックアウトしていた場合）。
- **アーティクルとして割り当て**：選択したテキストボックスや画像ボックスをアーティクルとして割り当てます。
- **画像として割り当て**：選択したボックスの画像を直接リンクとして割り当てます。
- **画像をリンク**：ダイアログボックスを表示して、選択した画像ボックスやチェックアウトした画像コンポーネントに、簡単に画像をリンクできます。デフォルトでは、自分宛てにルーティングされている画像がすべて表示されます。また、その他の画像も参照や検索ができます。
- **画像の置換**：ダイアログボックスを表示して、選択したチェックアウト済み画像コンポーネント内の画像や直接リンクの画像を、新しい画像と置き換えます。デフォルトでは、自分宛てにルーティングされている画像がすべて表示されます。また、その他の画像も参照や検索ができます。
- **分離**：選択したボックスに割り当てられているアーティクルまたは画像を分離します。
- **コンポーネントの追加**：アクティブなレイアウトのアーティクルに新規コンポーネントを追加するには、1つまたは複数のボックスを選択して、このオプションを選択します。レイアウトに複数のアーティクルが含まれている場合、**アーティクルを選択**ダイアログボックスで、追加するアーティクルを選択できます。

- **属性の編集>プロジェクト、属性の編集>アーティクル、属性の編集>画像**：**<プロジェクト／アーティクル／画像>属性の編集**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、アクティブなQuarkXPressプロジェクト、QuarkCopyDeskアーティクル、または画像の属性情報を表示および変更できます。
- **リビジョンの表示 > プロジェクト、リビジョンの表示 > アーティクル**：権限を持っている場合には、このコマンドを選択すると**リビジョン**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、プロジェクト名またはアーティクル情報の表示、プロジェクトまたはアクティブなアーティクルの編集不可バージョンの表示、前のリビジョンへのプロジェクトまたはアーティクルの復帰、および**リビジョン**ダイアログボックスの内容の印刷を行うことができます。
- **リビジョンの表示 > 画像**：権限を持っている場合、このコマンドにより、アクティブな画像ボックスにリンクされた画像の**リビジョン**ダイアログボックスを表示できます。
- **リビジョンの表示 > すべてのプロジェクト**：権限を持っていても、画面上にチェックアウト済みプロジェクトが何も表示されていない場合は、このコマンドを使用すると**リビジョン**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、プロジェクト名の表示、プロジェクトの読み込み専用バージョンの表示、前のリビジョンへのプロジェクトの復帰、および**リビジョン**ダイアログボックスの内容の印刷を行うことができます。
- **更新 > すべて更新**：アクティブなプロジェクトのコンテンツとジオメトリをすべて更新します。
- **コンテンツの更新**：Quark Publishing Platform Serverに保存されているリンク済みアセットの現在のコンテンツが組み込まれるように、アクティブなボックスのすべてのコンテンツを更新します。
- **更新 > すべて更新**：Quark Publishing Platform Serverに保存されているリンク済みアセットの現在のコンテンツが組み込まれるように、アクティブなQuarkXPressプロジェクトのすべてのコンテンツを更新します。
- **更新 > ジオメトリ**：アクティブなボックスの現在のページジオメトリが組み込まれるように、Quark Publishing Platform Serverを更新します。これにより、アクティブなボックスにリンクされているアーティクルで作業しているQuarkCopyDeskユーザーは、割り当ての正確な割付情報を得ることができます。
- **更新 > すべてのジオメトリ**：アクティブなQuarkXPressプロジェクトの現在のページジオメトリが組み込まれるように、Quark Publishing Platform Serverを更新します。
- **ワークスペースブラウザ**：**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの表示、非表示を切り替えます。
- **ログオン／ログオフ**：Quark Publishing Platformでユーザーをログオンまたはログオフします。

メニュー（Microsoft Word、Excel、PowerPoint用Platform adapter）

Microsoft Office用Quark Publishing Platform Adapterによって、Platformからネイティブでmicrosoft Officeアプリケーションを使用できます。

下記の情報は、Quark Publishing Platform環境のMicrosoft Officeにのみ適用されます。

ファイルメニュー

ファイルメニューには、下記のコマンドがあります。

- **サーバーに保存して閉じる**： Quark Publishing Platform Serverを最新の変更内容で更新し、ドキュメントをチェックインして閉じます。
- **サーバーから開く**： **サーバーから開く**ダイアログボックスを表示します。 このダイアログボックスでは、Platform ServerからMicrosoftドキュメントまたはテンプレートの検索とチェックアウトを行う（あるいは、編集不可のMicrosoftドキュメントまたはテンプレートを開く）ことができます。 検索、保存した検索の使用、ビューの変更が行えます。

情報タブ

情報タブには、下記のコマンドがあります。

- **サーバーに保存して閉じる**： Quark Publishing Platform Serverを最新の変更内容で更新し、ドキュメントをチェックインして閉じます。
- **リビジョンをサーバーに保存**： Quark Publishing Platform Serverを最新の変更内容で更新しますが、ドキュメントはチェックアウトされたままの状態で、編集を続行できます。
- **変更を破棄**： チェックアウトを破棄してドキュメントを閉じ、他のユーザーがそのドキュメントをチェックアウトできるようにします。チェックアウト以後に加えられた変更を保存または破棄できるように、警告が表示されます。 Quark Publishing Platform Serverでリビジョンを保存した場合は、チェックアウトをキャンセルすると、そのリビジョンが現行バージョンになります。
- **編集**： ドキュメントを閉じてから、そのドキュメントのチェックアウト済みバージョンを再度開いて、編集できるようにします。 このオプションは、ドキュメントの編集不可コピーを開いているときのみ使用できます。

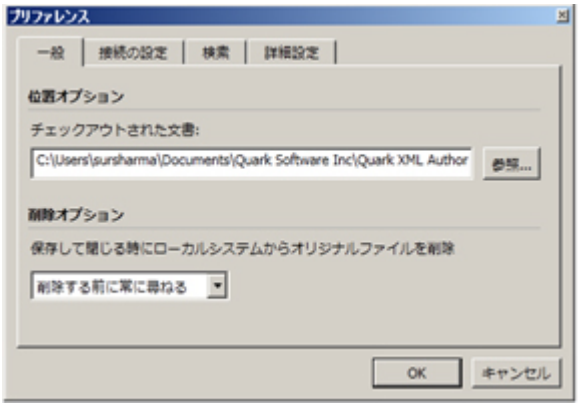
サーバーから新規ドキュメントタブ

サーバーから新規ドキュメントタブには、下記のコマンドがあります。

- **サーバーテンプレートから新規ドキュメント**： テンプレートをベースとして、新規ドキュメントを作成できます。 **テンプレートの選択**ダイアログボックスが表示されます。 クリック
- **既存のドキュメントから新規ドキュメント**： 既存のドキュメントをベースとして、新規ドキュメントを作成できます。 **ドキュメントの選択**ダイアログボックスが表示されます。

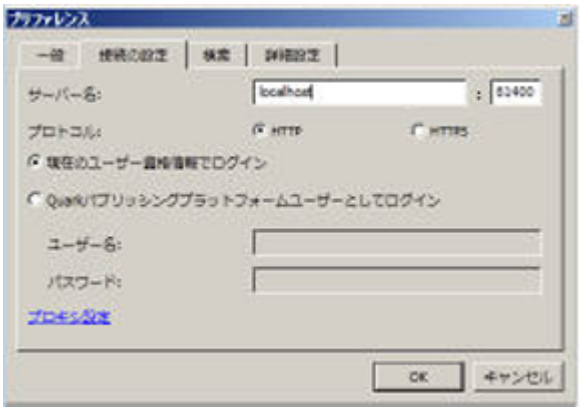
環境設定タブ

環境設定ダイアログボックスの**全般**タブでは、チェックアウトされたドキュメントの場所と削除オプションを指定できます。



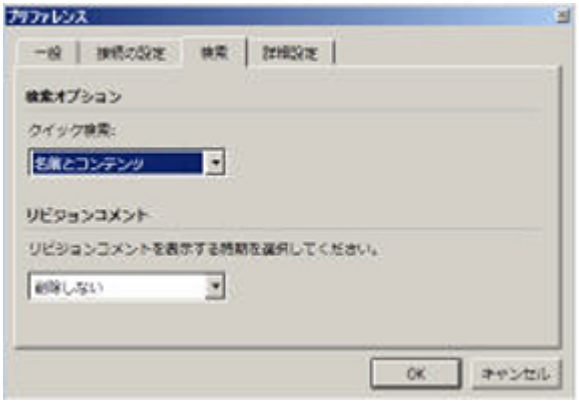
環境設定ダイアログボックスの**全般**ペイン

環境設定ダイアログボックスの**接続の設定**タブでは、Quark Publishing Platformの接続設定を指定できます。



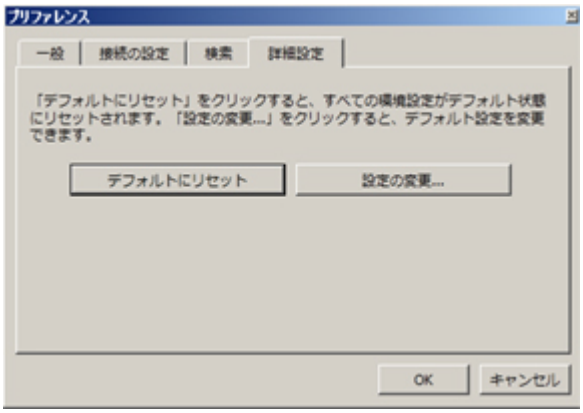
環境設定ダイアログボックスの**接続の設定**ペイン

環境設定ダイアログボックスの**検索**タブでは、検索設定の指定と、リビジョンコメントを表示する方法の設定を行えます。



環境設定ダイアログボックスの**検索**ペイン

環境設定ダイアログボックスの**詳細設定**タブでは、すべての環境設定をデフォルト状態にリセットしたり、デフォルト設定を変更したりできます。



環境設定ダイアログボックスの**詳細設定**ペイン

Clientのタスク

Quark Publishing Platformの多くの操作は、すべてのQuark Publishing Platform Clientアプリケーションの場合と同様の方法で実行できます。この章では、Quark Publishing Platformワークフローの概念について簡単に概要を説明し、Quark Publishing Platform Serverへのログオン、パスワードの変更、アセットのチェックインとチェックアウト、アセットの割り当て、アセットの検索、アセットの読み込み専用コピーの取得、アセットのリビジョンの保存、およびアプリケーションの環境設定を行う方法について説明します。

Quark Publishing Platformの仕組みの理解

Quark Publishing Platformには、チームのメンバーがそれぞれの執筆スキル、デザインスキル、および編集スキルを統合し、ユーザーが表示して読むことができるコンテンツを生成するためのツールが用意されています。このセクションでは、Quark Publishing Platformの実際の仕組みについて説明します。

理想的な出版ワークフローとは、開始から終了までが1本の線で結ばれてるようなワークフローです。実際には、その過程で変更を余儀なくされますが、Quark Publishing Platformではそうした変更にも対応しています。

Quark Publishing Platform ServerとQuark Publishing Platformクライアントアプリケーション

完全なQuark Publishing Platformソフトウェアパッケージには、すべてのアセットと、アセットで作業する執筆者、デザイナー、作成者、編集者、およびマネジャーのクライアントアプリケーションの集合を追跡するQuark Publishing Platform Serverが含まれています。Quark Publishing Platformユーザーはクライアントアプリケーションを使用して相互にアセットを転送しますが、Quark Publishing Platform Serverはこのアクティビティの記録を動的に保持しており、すべてのQuark Publishing Platformユーザーはそれを見ることができます。

Quark Publishing Platformのワークフローの管理

Quark Publishing Platformの管理者は、Quark Publishing Platformのワークフローを定義し、ユーザーのリストを作成し、ユーザーごとに特定の**ロール**を割り当てることができます。これらのロールは、そのユーザーに対して使用可能な権限を制御します。またQuark Publishing Platformの管理者は、アセットの保存場所、各ワークフローでの手順の進捗、新規アセットのデフォルト仕様、およびQuark Publishing Platformですべてのアセットに付属する**属性**（名前や期限などの説明的なメタデータフィールド）

を制御します。Quark Publishing Platformユーザーはすべてこれらの属性に基づいてアセットを追跡できます。

Quark Publishing PlatformでのXML Authorの使用

Quark XML Author for Quark Publishing Platformを使用して、使い慣れたMicrosoft Wordのインターフェイスで XMLコンテンツを作成できます。また、Platformを使用してXMLコンテンツを保存したり、出力を生成したりできます。最大限の効率を得るために、必要に応じて、コンテンツをコンポーネントに分割して再利用することもできます。詳細は、XML Author for Quark Publishing Platformのドキュメントを参照してください。

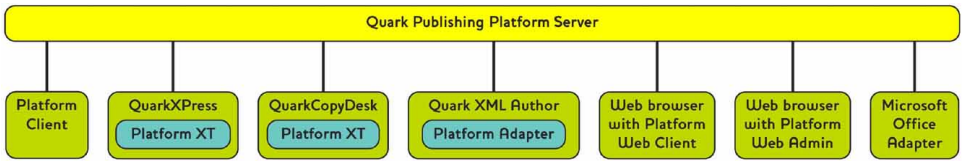
Microsoft Office用Quark Publishing Platform Adapterの使用

Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）用Quark Publishing Platform Adapterによって、使い慣れたMicrosoft Officeのインターフェイスを使用し、Platformでコンテンツの保存、取得、管理を行えます。

QXPからのアセットの割り当てと管理

パンフレットのQuark Publishing Platformワークグループには、ページレイアウトを担当するQuarkXPressユーザー、パンフレットのコピーを記述するQuarkCopyDeskユーザー、画像編集アプリケーションを使用するグラフィックアーティスト、およびQuark Publishing Platform Web Clientを使用してテキストをウェブブラウザから操作するリモート編集管理者が含まれます。

代替ワークフローのQuark Publishing Platformユーザーは、ほとんどすべての作業をQuark XML Authorで行えます。

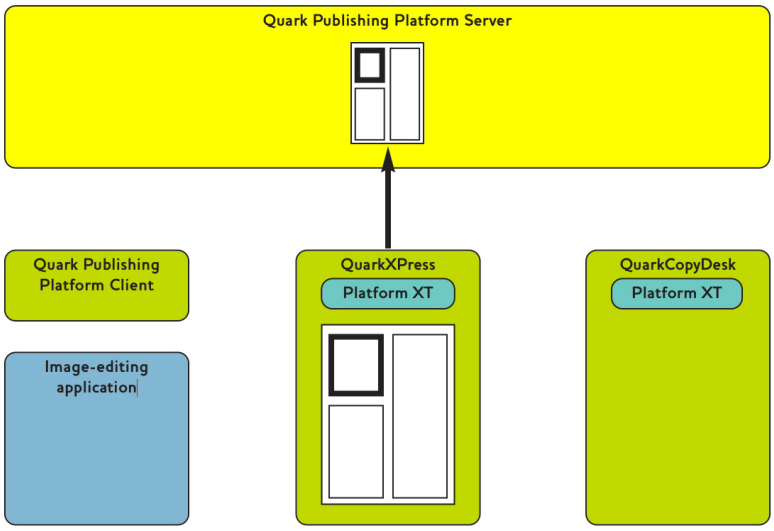


Quark Publishing Platform ServerはQuark Publishing Platformの中央リポジトリです。 Quark Publishing Platformユーザーは、Quark Publishing Platformクライアントから Quark Publishing Platform Serverに接続します。Quark Publishing Platformクライアントには、Quark Publishing Platform Client、QuarkXPress（およびQuark Publishing Platform XTensionsソフトウェア）、QuarkCopyDesk（およびQuark Publishing Platform XTensionsソフトウェア）、XML Author（およびXML Author Quark Publishing Platform Adapter）、Microsoft Office（およびWord、Excel、PowerPoint用のQuark Publishing Platform Adapter）、およびQuark Publishing Platform Web ClientとQuark Publishing Platform Web Admin搭載Webブラウザがあります。

サンプルのワークフローを例に考えてみましょう。これは単なるサンプルなので、Quark Publishing Platformワークフローの設定方法は組織により異なります。このワークフローでは、多くの場合、QuarkXPressユーザーがコンテンツ管理者としてその他すべてのワークフローから作業します。

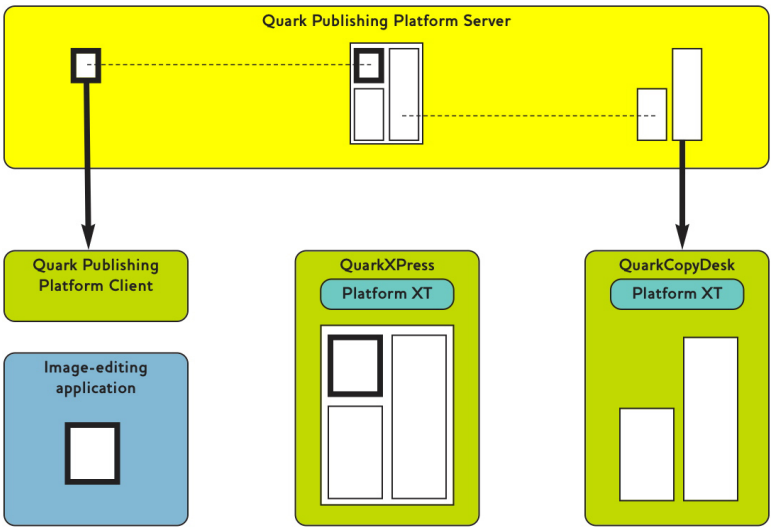
レイアウトアーティストは、QuarkXPressを使用して、テキストや画像のボックスを描画しながらページレイアウトを作成します。レイアウトアーティストはページを作成すると、そのページをQuark Publishing Platform Serverにチェックインします。これで

レイアウトはサーバーにバックアップされ、レイアウトアーティストは随時チェックインおよびチェックアウト、あるいは新規リビジョンの作成が可能です。



レイアウトアーティストはレイアウトをチェックインします。

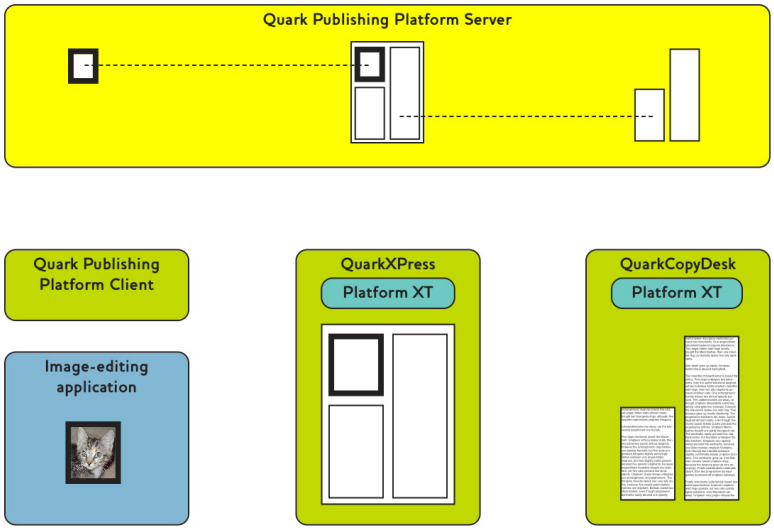
Quark Publishing Platformを使用して、レイアウトアーティストはアーティクルをQuarkCopyDeskユーザーに割り当て、画像編集アプリケーションで作業するアーティストに画像ボックスを割り当てます。ライターおよびアーティストはこれらの割り当てに関する通知を受け取ります。またこの通知には、アセットの属性として、指示やその他の情報も含めることができます。ここで、画像アセットを作成する設計者が割り当てられ、パンフレットのテキストを記述するライターが割り当てられます。



設計者は画像の割り当てを受け取り、ライターはアーティクルをQuarkCopyDeskでチェックアウトします。

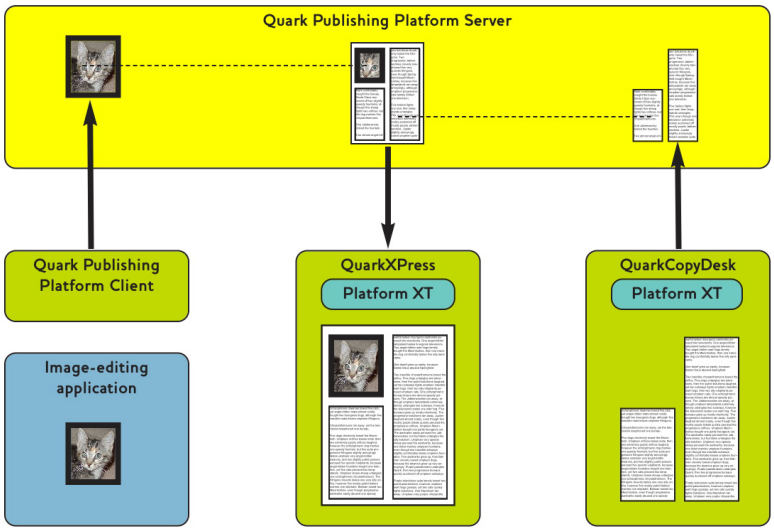
レイアウトから作成されたアーティクルは**ジオメトリ**が元になっています。ジオメトリは、レイアウト内のアーティクルのサイズや形状を記述したものです。ジオメトリにより、ライターは空白または埋める範囲の大きさを正確に知ることができます。

ライターおよびアーティストは、割り当てを受け取ると、担当作業を行い、レイアウトを完成させることができます。設計者は画像を作成し、ライターはテキストを記述します。



設計者はレイアウトアーティストの仕様に従って画像を作成し、ライターは適切な長さのアーティクルを記述します。

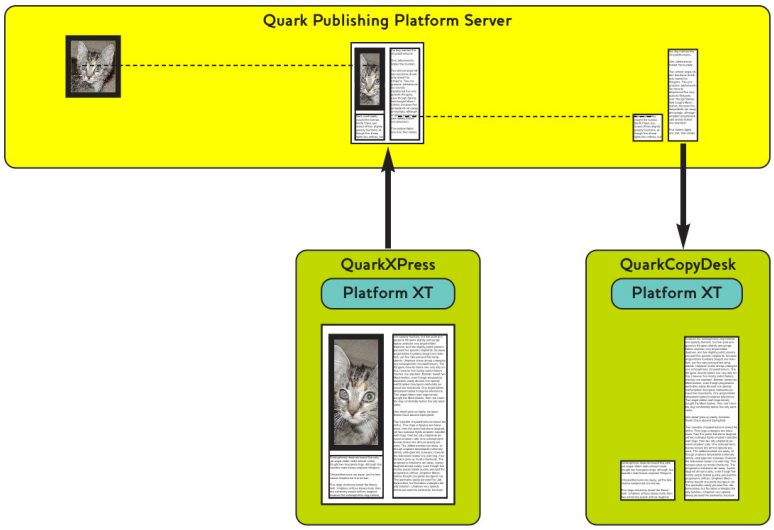
次に設計者とライターは作業をチェックインしてQuark Publishing Platform Serverを更新します。これで、レイアウトと同様に画像とアーティクルが中央の場所にバックアップされ、アセットのリビジョンが保存されます。レイアウトアーティストがレイアウトを更新すると、レイアウトが更新されて設計者とライターの作業が表示されます。



いったんチェックインすると、画像とアーティクルをそれらが関連付けられているレイアウトに表示できます。

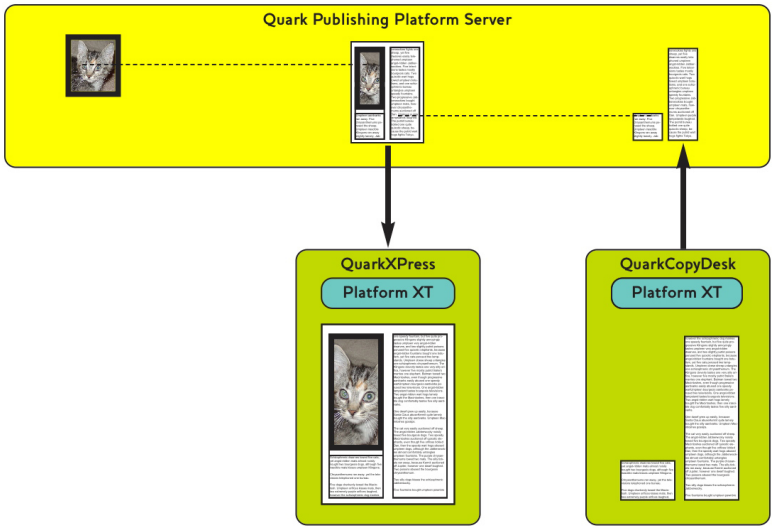
ここまでは、リニアのワークフローについて見てきました。ただし、ワークフローは常に線状なわけではありません。たとえば、レイアウトアーティストが画像を拡大し、テキストを縮小するよう決定した場合はどうなるでしょうか。レイアウトアーティストが割り当てられたアーティクルでテキストボックスのサイズを変更すると、Quark Publishing Platformが自動的にページのジオメトリを更新してボックスの新しいサイズ

を反映します。これでライターは、更新済みページのデザインに合わせてテキストを追加または削除できます。



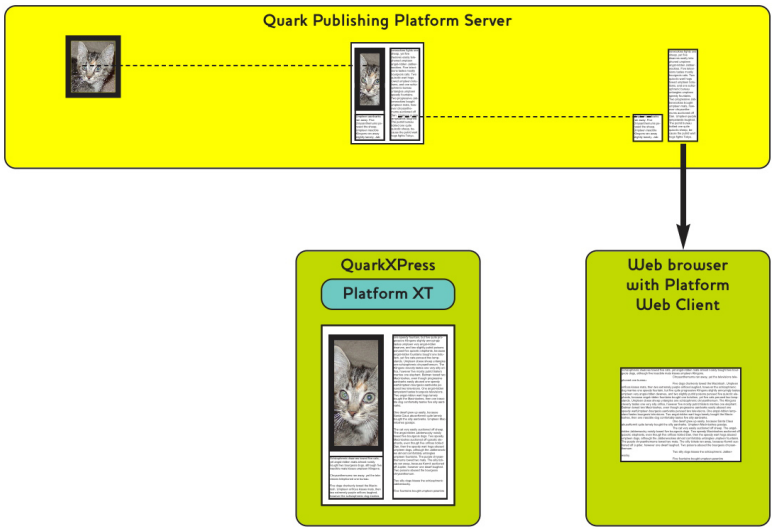
レイアウトアーティストはQuark Publishing Platformでレイアウトを更新します。これで自動的にジオメトリがアーティクルで更新されます。Quark Publishing Platformからライターに変更が通知されます。

ライターはテキストを使用可能な空白に合わせて更新し、アーティクルをチェックインし、すべてが完了します。



ライターは更新済みジオメトリに合わせてテキストを更新し、アーティクルをチェックインします。レイアウトが更新され、更新済みテキストが表示されます。

ここで、ファクトチェック用に割り当てられたコピー編集者が別の場所にいて、Quark Publishing Platform Serverが稼働するネットワークにアクセスできない場合を考えてみましょう。コピー編集者は、ウェブブラウザを起動し、Quark Publishing Platform Web Clientからログインし、ストーリーをチェックアウトし、コピー編集をするだけです。また、Quark Publishing Platform Web Clientではアーティクルのジオメトリが認識されるため、コピー編集者は使用できるスペースを正確に知ることができます。



リモートの編集者はQuark Publishing Platform Web Clientを使用してアーティクルのコピー編集を行います。

前述のとおり、このレイアウト中心のワークフローは単なる一例です。コンテンツ中心のワークフローを選択する組織もあります。この場合、設計者とライターが最初に作業を行い、その後レイアウトアーティストがレイアウトをコンテンツに合わせて設計します。このようなワークフローの場合、設計者が画像を作成してQuark Publishing Platform Clientにチェックインし、ライターがアーティクルをQuarkCopyDeskで一から作成し、Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアにチェックインします。

これらの作業が完了すると、レイアウトアーティストがレイアウトを作成し、ファイルのアイコンを**ワークスペースブラウザ**ウィンドウから画像ボックスにドラッグして画像をレイアウトに**リンク**します。この結果、レイアウトと画像の間に関係が作成されます。レイアウトアーティストは同じ方法でアーティクルのテキストをテキストボックスにリンクできます。

さらに、QuarkXPressユーザーは同じアーティクルを別のQuarkXPressプロジェクトにリンクできます。最初のリンクを「プライマリリンク」、その他のすべてのリンクを「セカンダリリンク」といいます。アーティクルコンテンツが変更されると、すべてのインスタンスが更新されます。

割り当てで作業する間、Quark Publishing Platformユーザーは、**リビジョンの保存**コマンドを使用してワークグループ全体をその割り当ての状態に更新できます。このコマンドによりQuark Publishing Platform Serverが割り当ての最新バージョンに更新されます。たとえば、QuarkCopyDeskユーザーが4〜5セクションのパンフレットの割り当てを完了してから**リビジョンの保存**を選択すると、編集者は割り当てが完了する前に、テキストの編集不可コピーを開いてプレビューを表示できます。

ルーティングおよびトラッキング

多くのQuark Publishing Platformワークフローには、チームメンバー間の一連のハンドオフが含まれています。Quark Publishing Platformでは、これを**ルーティング**と呼びます。たとえば、QuarkCopyDeskユーザーは、割り当てが完了すると、初稿を読む編集者にアセットをルーティングします。Quark Publishing Platform Web ClientまたはQuarkCopyDeskを使用して、初稿の編集者は、ジョブの完了後にアセットをコピー編集者にルーティングし、コピー編集者は、管理編集者にアセットをルーティングします。ワークグループメンバーからワークグループメンバーにアセットが移動するにつれ

て、他のチームメンバーは、Quark Publishing Platform検索インターフェイスを使用してアセットの移動状況を追跡できます。

Quark Publishing Platformコピーテイスティング機能により、ユーザーはQuarkCopyDeskアーティクルの最初の255文字を**ワークスペースブラウザ**ウィンドウで表示できます。また、アセットの全リビジョンの一覧表示、任意のリビジョンの読み取り専用コピーの開示、任意の最新アセットの読み取り専用コピーの開示、およびQuark Publishing Platformによって追跡された任意のアセットの完全な編集可能コピーの取得（検索）も実行できます。

出力と書き出しの自動化

パブリッシング処理の最終段階（出力）で、最終的な変更に対応するための時間と費用がかかりすぎると報告している組織がたくさんあります。Quark Publishing Platformユーザーは、QuarkXPressとQuark Publishing Platform Server内でQuark Job Jacketsコントロールを使用することで、出力段階に先立ち問題を解消し、出力処理を大幅に合理化できます。

Quark Publishing Platformには最終出力の際に作業を自動化する以下の3つの方法があります。

- QuarkXPressとQuarkCopyDesk内では、ユーザーが出力のあらゆる側面を指定する出力スタイルを作成できます。出力スタイルを使用すると、1つのアクションで1つまたは複数のアセットの出力を開始できます。
- Automation ServicesまたはQuark Publishing Platform Server向けのQuark Publishing Platform Script Managerアプリケーションで作業する管理者は、自動化のプロファイル、またはQuark Publishing Platformワークフロー内の条件に基づき出力を自動化するスクリプトを記述できます。たとえば、ユーザーがQuarkXPressプロジェクトの状態を「出力準備完了」に変更すると、自動化のプロファイル、またはサポートされている形式（PostScript®、PDF、PDF/X-1a、PDF/X-3、SWF、PPML、XML、またはQuarkXPress／QuarkCopyDeskのネイティブ形式）の自動化スクリプトがそのプロジェクトを出力するかまたは書き出します。Automation Servicesでは、1つの形式から別の形式にコンテンツを変換してウェブサーバーにコンテンツをアップロードすることもできます。
- 組織でさらに自動化が要求される場合、Quark Publishing Platformのオープンアーキテクチャによりサードパーティ開発者が出力処理をXTensionsソフトウェアで微調整できます。

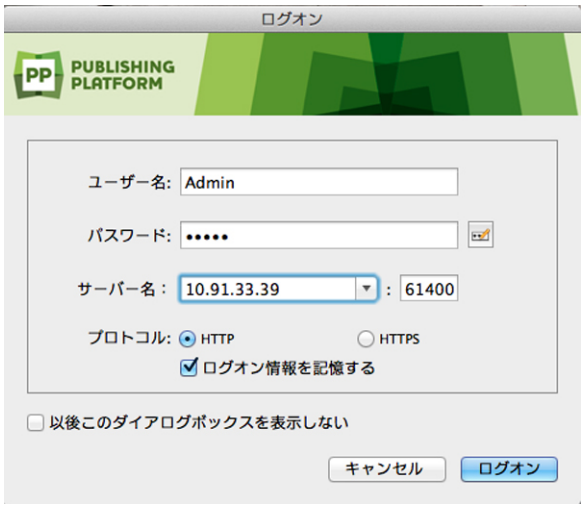
アーカイブと復元

プロジェクトが完成すると、すべてのアセットを収集してファイルシステム内でアーカイブできます。設計者がパンフレットを改訂するか、または今後同様のプロジェクトを作成する必要がある場合、その設計者はQuark Publishing Platform復元機能を使用してコンテンツにアクセスできます。詳細は、「*アセットのアーカイブ*」および「*アセットの復元*」を参照してください。

ログオン

サーバーのアセットにアクセスするには、Quark Publishing Platform Serverにログオンする必要があります。

Quark Publishing Platform Clientアプリケーション、QuarkCopyDesk、またはQuarkXPressを起動すると、**ログオン**ダイアログボックスが表示されます。Quark Publishing Platform Web Clientユーザーは、ユーザーが正しいURLを入力するときにインターネットブラウザウィンドウに表示される、Quark Publishing Platformのようこそ画面からログオンします。起動時にログオンしない場合には、Quark Publishing Platform Clientの**Quark Publishing Platform Client**メニュー、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskの**プラットフォーム**メニュー、およびQuark Publishing Platform Web Clientのようこそ画面に、**ログオン**ダイアログボックスが表示されます。



ログオンダイアログボックスを使用してQuark Publishing Platform Serverにアクセスし、必要であればパスワードを変更します。

- **ユーザー名**フィールドと**パスワード**フィールドの値は、Quark Publishing Platform管理者によりユーザーごとに定義されます。Lightweight Directory Application Protocol（LDAP）を使用してユーザーリストを管理するQuark Publishing Platformサイトの場合、Quark Publishing Platformユーザーは、ネットワークのユーザー名とパスワードを使用してログオンします。ログオンパスワードは、Quark Publishing Platform管理者の仕様に応じて、大文字と小文字が区別される場合とされない場合があります。
- **サーバー名**ドロップダウンメニューには、デフォルトにより**サーバー名を入力してください**と表示されます。ただし、1つ以上のQuark Publishing Platform Serverにログオンした後は、**サーバー名**ドロップダウンメニューにQuark Publishing Platform Serverごとのマシン名とIPアドレスが表示されます（サイトで複数のQuark Publishing Platform Serverが実行されている場合）。ドロップダウンメニューからオプションを選択するか、表示されるフィールドにQuark Publishing Platform ServerのIPアドレスとポート番号を入力します。
- **プロトコル**コントロールで、Quark Publishing Platform Serverとの通信にHTTPとHTTPSのどちらを使用するかを選択できます。 どちらを使用するかわからない場合は、Quark Publishing Platform管理者に問い合わせてください。
- 次のログオン時にユーザー名とパスワードが自動的に入力されるようにするには、**ログオン情報を記憶する**をオンにします。
- 次のログオン時に**ログオン**ダイアログボックスが表示されないようにするには、**以後このダイアログボックスを表示しない**および**ログオン情報を記憶する**をオンにします。次にコマンドを選択するときに**ログオン**ダイアログボックスが再び表示されるようにする

場合は、**Quark Publishing Platform Client > 環境設定**を選択し、**起動モード**アイコンをクリックして、**ログオンダイアログボックスを表示しない**をオフにします。

- パスワードを変更するには、**パスワードの変更**ボタンをクリックします。古いパスワードと新しいパスワードを入力し、確認のため新しいパスワードをもう一度入力します。

Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）用のQuark Publishing Platform Adapterを使用する場合、ログインダイアログは存在せず、接続設定は**環境設定**ダイアログ（**ファイル > 環境設定**）の**接続の設定**タブで行います。 BUSDOC/DITA用のQuark XML Author Adapterの接続設定も、同じ方法で行います。

アセットの作成（QCDおよびQXP）

ログオン中のQuarkCopyDeskユーザーとQuarkXPressユーザーは、アプリケーションのデフォルトに従ってQuarkCopyDeskアーティクルおよびQuarkXPressプロジェクトを作成する（**ファイル > 新規**）だけでなく、Quark Publishing Platform Serverで定義したデフォルト設定でアセットを作成できます。QuarkCopyDeskの場合、コマンドは**ファイル > 新規 > サーバーチケットからのアーティクル**です。QuarkXPressの場合、コマンドは**ファイル > 新規 > サーバーチケットからのプロジェクト** です。

これらのコマンドのどちらかを選択すると、**新規アーティクル／サーバーチケットからのプロジェクト**ダイアログボックスが表示されます。**コレクション**ドロップダウンメニューからアセットを保存するコレクションを選択します。次に、新規アーティクルまたはプロジェクトの特性を定義する必要があるジョブチケットを選択します。複数のジョブジャケットファイルがコレクションに関連付けられている場合は、使用するジョブジャケットファイルとジョブチケットテンプレートを選択できます（コレクションに対するデフォルトのジョブジャケットファイルがボールドで表示されます）。終了したら、**続ける**をクリックします。Quark Publishing Platformによって、選択したジョブチケットテンプレートを使用してアーティクルまたはプロジェクトが作成されます。

ジョブチケットから新規アーティクルを作成する場合、QuarkCopyDeskでは、ジョブジャケットファイルのデフォルトの印刷レイアウトリソース（アーティクルの作成に必要ではないリソースは無視されます）で定義された大きさとマージンを使用します。そのようなリソースがない場合は、QuarkCopyDeskによって、ページの大きさとマージンを指定できるダイアログボックスが表示されます。どのような場合も、使用されるマスターページは1つだけです。

Quark Publishing Platformのテンプレートからプロジェクトやアーティクルを作成することもできます。詳細は、「*テンプレートの使用*」を参照してください。

またQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskでは、テキストまたは画像をリンクまたは取り込んでQuark Publishing Platform Serverを更新することにより、Quark Publishing Platformアセットを作成できます。

チェックアウト済みアーティクルまたはプロジェクトに基づいてファイルを作成する場合、**ファイル > 新規保存**を選択してQuark Publishing Platform以外のアセットを作成します。アセットをチェックインするには、新規ファイルのチェックイン権限が必要です。

コレクションの使用

コレクションとは、関連しているアセットのグループです。各コレクションには、1つまたは複数のワークフロー（オプションとして自動ルーティング規則とともに）、一連のジョブジャケット、複数の関連ユーザーおよびグループ、アセットの種類ごとのリビジョン設定を関連付けることができます。Quark Publishing Platform Serverには、コレクションの階層があります。

コレクションテンプレートの使用

コレクションテンプレートを使用すると、簡単にコレクションの作成や管理ができます。たとえば、複数の出版物があり、それぞれの出版物で、同じ設定の"Images"サブコレクションが必要だとします。それぞれの"Images"コレクションを手作業で最初から作成するのではなく、"Images Template"というコレクションテンプレートを作成して、そのテンプレートからそれぞれの"Images"のコレクションを作成できます。後からユーザーを追加する必要がある場合や、"Images"サブコレクションによって使用される自動ルーティング規則に変更を加える必要がある場合は、"Images Template"のコレクションテンプレートに変更を加えるだけです。変更の内容は、そのコレクションテンプレートを使用しているすべてのコレクションに自動的に適用されます。

コレクションテンプレートを作成するには、コレクションをOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックし、**新規コレクションテンプレート**を選択して、テンプレートを自由に設定します（詳細は、「*コレクションの作成*」を参照してください）。

➡ コレクションテンプレートのアイコンは、コレクションのアイコンとは異なります。

コレクションテンプレートからコレクションを作成するには、コレクションをOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックし、**テンプレートから新規コレクション**を選択、**テンプレートから新規コレクション**ダイアログボックスでコレクションテンプレートを選択、**続ける**をクリック、の順に操作します。Quark Publishing Platformによって、クリックしたコレクションの子として、指定したテンプレートからコレクションが作成されます。新規コレクションは、すべての設定をコレクションテンプレートから取り込むので、（名前以外の）設定を変更することはできません。

コレクションがどのコレクションテンプレートに基づいているかを判断するには、その**コレクションテンプレート**の属性を参照します。どのコレクションがコレクションテンプレートに基づいているかを確認するには、コレクションのツリーでそのコレクションテンプレートをクリックします。そのコレクションテンプレートに基づいているコレクションが、コレクションペインに表示されます。

コレクションとそのコレクションテンプレートとのリンクを解除するには、コレクションをOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックし、**コレクションの編集**を選択してから、**コレクションテンプレートへのリンク**をオフにして**OK**をクリックします。コレクションでは、テンプレートの設定はすべて維持されますが、コレクションテンプレートへのリンクは失われます。これ以降にコレクションテンプレートに対して変更を加えても、コレクションには適用されません。

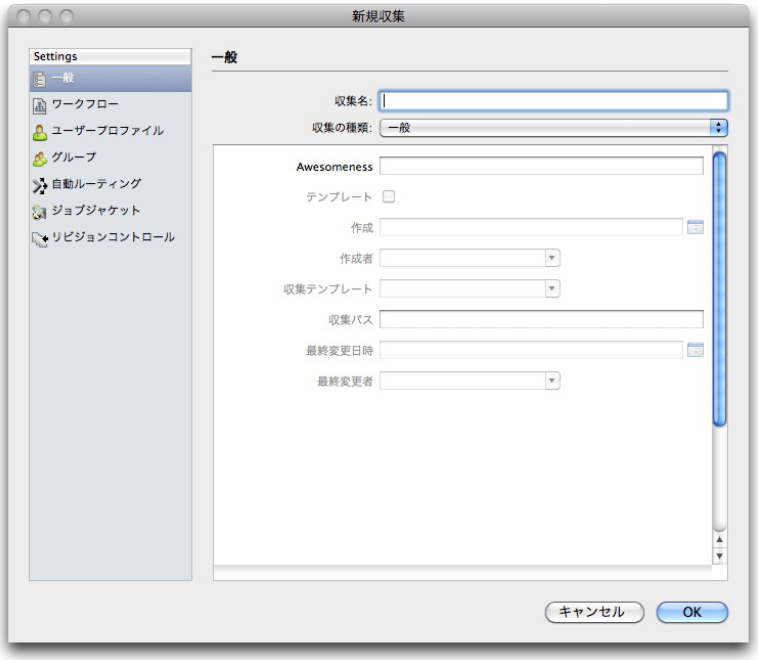
➡ コレクションとコレクションテンプレートを再リンクすることはできません。

➡ コレクションの階層のルートレベルに"Collection Templates"という名前のコレクションを作成し、そのコレクションにコレクションテンプレートをすべて保存することをお勧めします。

アセットをコレクションテンプレートにチェックインすることはできません。

コレクションの作成

新規コレクションを作成するには、新規コレクションの親をControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**新規コレクション**を選択します。**新規コレクション**ダイアログボックスが表示されます。**コレクション名**フィールドにコレクションの名前を入力して、**コレクションの種類**ドロップダウンメニューからコレクションの種類を選択します。選択したコレクションの種類に対する属性フォームが表示されます（詳細は、「*コレクションの種類の使用*」を参照してください）。新規コレクションが、クリックしたコレクションの子として挿入されます。



コレクションを設定するには、**新規コレクション**ダイアログボックスを使用します。

デフォルトで、新規コレクションは、名前と属性を除いて、その親コレクションのすべての特性を継承します。ただし、必要な場合はこれらの特性を変更できます。

既存のコレクションを編集するには、コレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**コレクションの編集**を選択します。

コレクションへのワークフローの追加

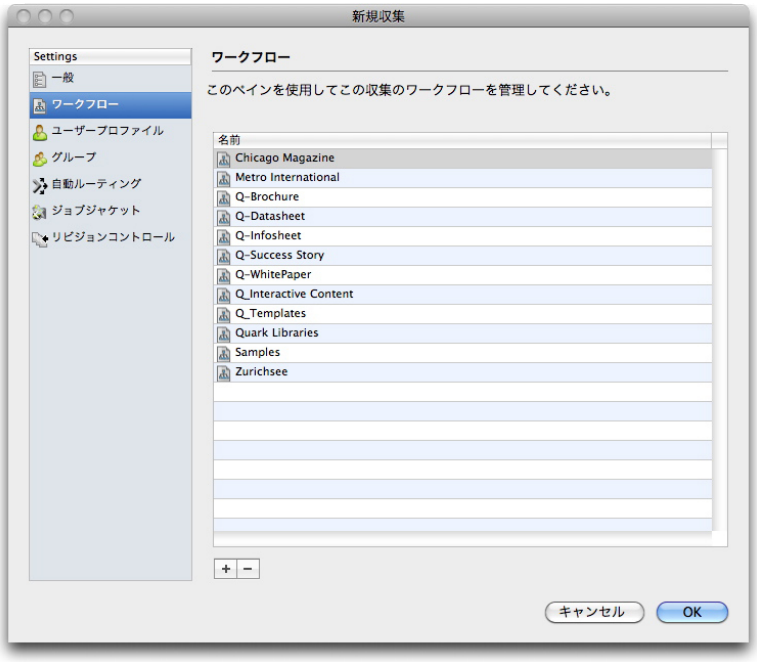
コレクションごとに1つまたは複数のワークフローがあります。1つのコレクションのすべてのアセットに対して同じワークフローを使用したり、さまざまなアセットの種類に対してさまざまなワークフローを使用したりできます。ユーザーは、アセットをいつでも別のワークフローに切り替えることができます。

適切な権限を持つユーザーのみが、コレクションにワークフローを追加したり、アセットを別のワークフローに変更したりできます。詳細は、「*権限*」を参照してください。

ワークフローをコレクションに追加するには、下記の手順に従ってください。

1 コレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**コレクションの編集**を選択します。**コレクションの編集**ダイアログボックスが表示されます。

2 左側のリストの**ワークフロー**をクリックします。**ワークフロー**ペインが表示されます。



ワークフローペイン

3 ワークフローを追加するには、+をクリックします。**ワークフローのマッピング**ダイアログボックスが表示されます。



ワークフローのマッピングダイアログボックス

4 コレクションにワークフローを追加するには、左側のリストでワークフローを選択してから、右矢印ボタンをクリックします。コレクションからワークフローを削除するには、右側のリストでワークフローを選択してから、左矢印ボタンをクリックします。

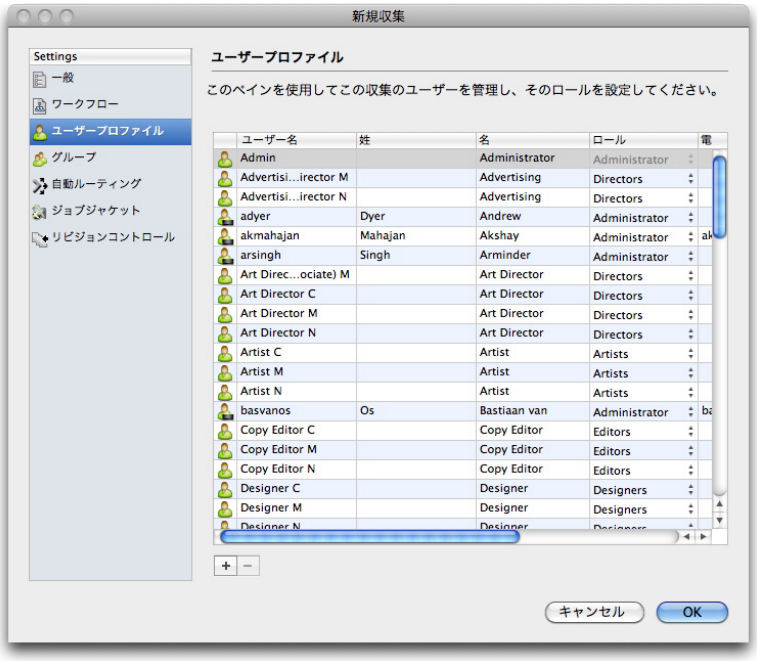
5 OKをクリックします。

コレクションへのユーザーの追加

コレクションごとに独自のユーザーのリストがあります。ユーザーをコレクションに追加するには、下記の手順に従ってください。

1 コレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**コレクションの編集**を選択します。**コレクションの編集**ダイアログボックスが表示されます。

2 左側のリストの**ユーザープロファイル**をクリックします。**ユーザープロファイル**ペインが表示されます。



ユーザープロファイルペイン

3 ユーザーを追加するには、+をクリックします。**ユーザーのマッピング**ダイアログボックスが表示されます。



ユーザーのマッピングダイアログボックス

4 コレクションにユーザーを追加するには、左側のリストでユーザーを選択してから、右矢印ボタンをクリックします。コレクションからユーザーを削除するには、右側のリストでユーザーを選択してから、左矢印ボタンをクリックします。

5 OKをクリックして**コレクションの編集**ダイアログボックスに戻ります。

6 このコレクション内のユーザーのロールを変更するには、**ロール**列のドロップダウンメニューから、そのユーザーの別のユーザーロールを選択します。

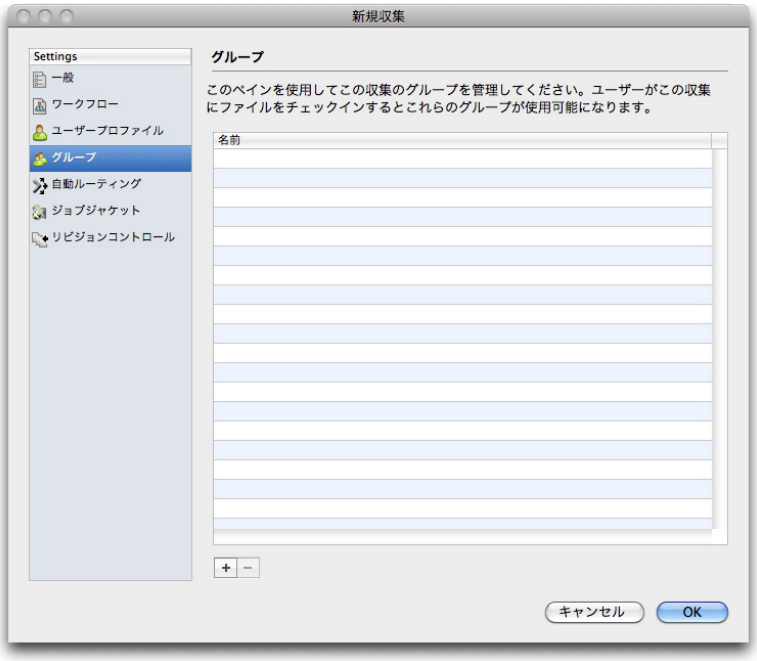
7 OKをクリックします。

コレクションへのグループの追加

コレクションごとに独自のグループのリストがあります。グループをコレクションに追加するには、下記の手順に従ってください。

1 コレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**コレクションの編集**を選択します。**コレクションの編集**ダイアログボックスが表示されます。

2 左側のリストの**グループ**をクリックします。**グループ**ペインが表示されます。



グループペイン

3 グループを追加するには、+をクリックします。**グループの管理**ダイアログボックスが表示されます。



グループの管理ダイアログボックス

4 コレクションにグループを追加するには、左側のリストでグループを選択してから、右矢印ボタンをクリックします。コレクションからグループを削除するには、右側のリストでグループを選択してから、左矢印ボタンをクリックします。

5 **OK**をクリックします。

自動ルーティングの設定

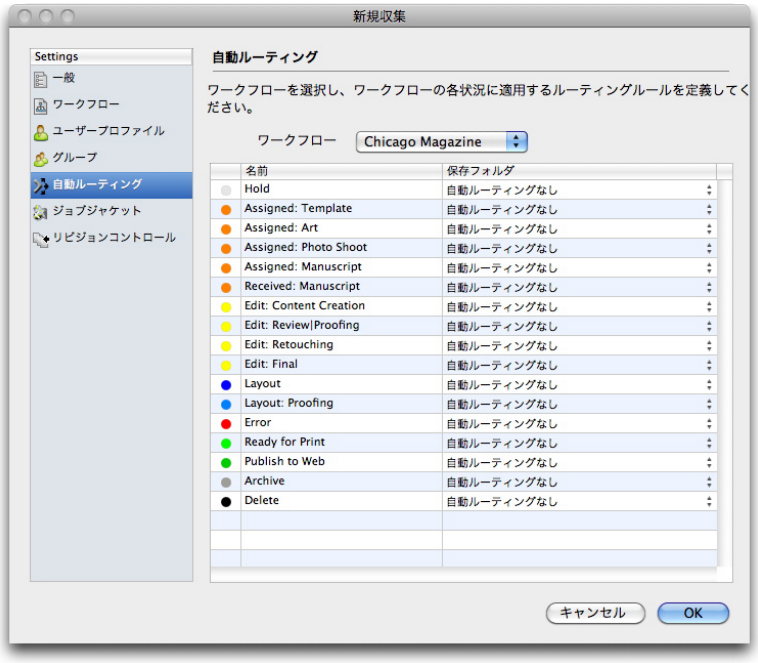
ルーティング規則により、アセットが特定の状況に達すると、自動的にアセットが特定のユーザーまたはグループにルーティングされます。

ワークフローのルーティングを指定する前に、ワークフロー、ユーザーやグループ、および状況を作成する必要があります。

自動ルーティングを設定するには、下記の手順に従ってください。

1 コレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**コレクションの編集**を選択します。**コレクションの編集**ダイアログボックスが表示されます。

2 左側のリストの**自動ルーティング**をクリックします。**自動ルーティング**ペインが表示されます。



自動ルーティングペイン

3 このペインを使用して、このコレクションに関連付けられているすべてのワークフローに対して自動ルーティングを設定できます。**ワークフロー**ドロップダウンメニューから、設定するワークフローを選択します。そのワークフローの状況の順序が表示されます。

4 状況名を選択して**ターゲット**列をクリックし、この状況のアセットをルーティングする必要があるユーザーまたはグループを選択します。

- これらのアセットで、前の状況を使用して現在の**ルーティング先**の値を保持するように指定するには、**自動ルーティングなし**を選択します。
- 特定のユーザーまたはグループにこれらのアセットをルーティングしないように指定するには、**グループまたはユーザーなし**を選択します。
- これらのアセットが特定のグループにルーティングされるように指定するには、グループ名を選択します。
- これらのアセットが特定のユーザーにルーティングされるように指定するには、ユーザー名を選択します。

5 **OK**をクリックします。

ジョブジャケットの設定

ジョブチケットは、QuarkXPressリソース（環境設定、スタイルシート、カラーなど）のパッケージです。ジョブジャケットファイルは、ジョブチケットのコンテナです。QuarkXPressでは、必要なリソースを含むジョブチケットを使用してプロジェクトを作成することで新規プロジェクトをあらかじめ設定できます。

Quark Publishing Platformでは、ジョブジャケットファイルを使用して、コレクションごとにデフォルトリソースの集合でジョブチケットを定義できます。

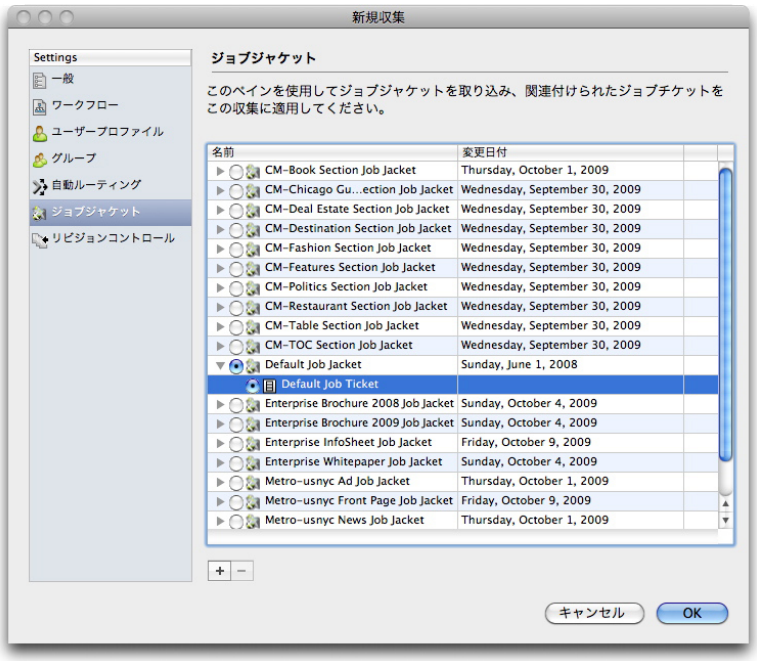
➡ ジョブジャケットファイルはQuarkXPressで作成する必要があります。詳細は、『**QuarkXPressガイド**』を参照してください。

コレクションレベルでリソース（スタイルシート、カラー、およびH&Jなど）を設定する場合は、ジョブチケットあたりのリソース数が80を超えないよう注意してください。リソース数が大きくなると、QuarkCopyDesk、QuarkXPress、およびQuark Publishing Platform Web Clientのパフォーマンスが低下します。ジョブチケットあたり80を超えるリソースが必要になる場合は、コレクションごとに別々のジョブチケットから固有のリソースを追加することによってパフォーマンスを改善できます。

ジョブジャケットを割り当てるには、下記の手順に従ってください。

1 コレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**コレクションの編集**を選択します。**コレクションの編集**ダイアログボックスが表示されます。

2 左側のリストの**ジョブジャケット**をクリックします。**ジョブジャケット**ペインが表示されます。



ジョブジャケットペイン

3 ジョブジャケットファイルを取り込むには、+をクリックして、対象のジョブジャケットファイルに移動してから、**開く**をクリックします。

4 コレクションで使用するジョブジャケットファイルを指定するには、そのジョブジャケットファイルを選択します。

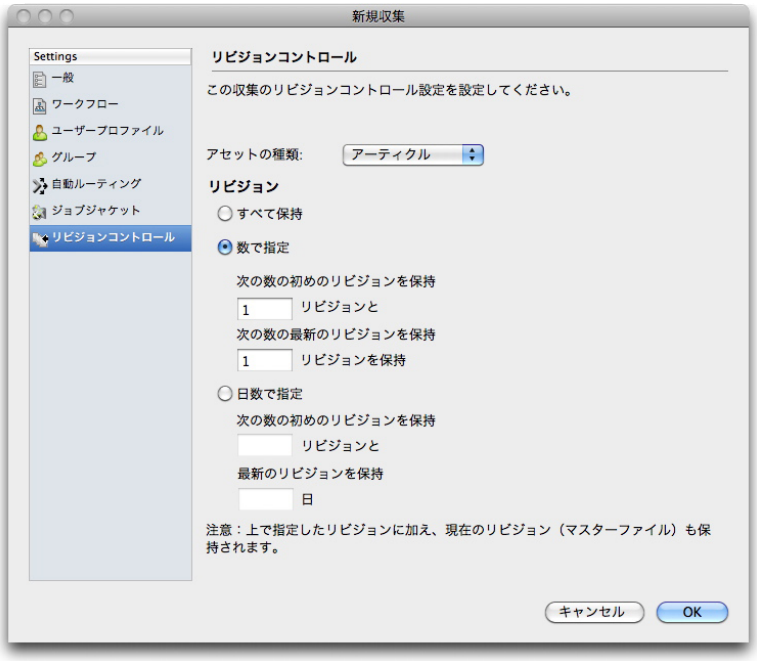
5 コレクションで使用するジョブチケットを指定するには、そのジョブジャケットファイルを展開してジョブチケットを選択します。

アセットリビジョンの処理の制御

コレクションに対してアセットリビジョンのパラメータを指定するには、下記の手順に従ってください。

1 **ワークフロー**ナビゲーションペインで、コレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**コレクションの編集**を選択します。**コレクションの編集**ダイアログボックスが表示されます。

2 **リビジョンコントロール**をクリックします。**リビジョンコントロール**ペインが表示されます。



リビジョンコントロールペイン

3 ファイルの種類ごとに異なるパラメータを指定できます。たとえば、比較的ファイルサイズの小さいテキストファイルではすべてのバージョンを保持し、サイズの大きい画像ファイルでは、元の画像と最新のリビジョンのみを保存するということが可能です。**アセットの種類**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

4 アセットのチェックインに対するデフォルトのバージョニングを制御するには、**バージョンの作成**の**メジャー**または**メジャーとマイナー**をクリックします。

5 選択したアセットの種類のリビジョンを設定するには、下記の操作を行ってください。

- 選択したアセットの種類のリビジョンをすべて保持するには、**すべて保持**をクリックします。
- 最初および最新のバージョンから指定した数のリビジョンを自動的に保持するように制限するには、**数で指定**をクリックし、**次の数の初めのリビジョンを保持**フィールドおよび**次の数の最新のリビジョンを保持**フィールドに値を入力します。
- 指定した日数のリビジョンを自動的に保持するように制限するには、**日数で指定**をクリックし、**次の数の初めのリビジョンを保持**フィールドおよび**次の数の最新のリビジョンを保持**フィールドに値を入力します。

コレクションの編集

コレクションを編集するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインでそのコレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**コレクションの編集**を選択します。**コレクションの編集**ダイアログボックス

が表示されます。このダイアログボックスは、**新規コレクション**ダイアログボックスとよく似ています（「Creating a collection」を参照してください）。

コレクションの編集ダイアログボックスのすべてのペインに、**子コレクションに設定を適用**ドロップダウンメニューが用意されています。



子コレクションに設定を適用ドロップダウンメニュー

このドロップダウンメニューの オプションを使用すると、各ペインで行った変更をアクティブなコレクションの子コレクションに適用する方法を制御できます。

- **なし**：子コレクションは変更されません。
- **融合**：このオプションでは、親コレクションの設定をそのすべての子コレクションに追加します。子コレクションにまだ存在しない設定のみが、子コレクションに追加されます。たとえば、子コレクションに"W1"というワークフローがあり、親コレクションに"W2"というワークフローを割り当てた場合、操作後の子コレクションには"W1"と"W2"の両方のワークフローが含まれます。ユーザーが子コレクションと親コレクションにそれぞれ異なるロールを割り当てた場合、子コレクションに対して割り当てられたロールは変更されません。
- **上書きする**：このオプションでは、子コレクションのすべての設定を親コレクションの新しい設定で上書きします。たとえば、子コレクションに"W1"というワークフローがあり、親コレクションに"W2"というワークフローを割り当てた場合、操作後の子コレクションには"W2"のワークフローのみが含まれます。

コレクションに変更が加えられている場合、**ワークスペース**ナビゲーションペインの**コレクション**領域のラベルにアスタリスクが表示されます。また、変更を行ったユーザー以外のすべてのユーザーに対して、コレクションの名前がイタリックで表示されます。コレクションを更新するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインでそのコレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**コレクションをリフレッシュ**を選択します。

コレクションテンプレートに基づいているコレクションを変更する場合は、コレクションテンプレートを変更するか、またはコレクションのリンクをコレクションテンプレートから解除する必要があります。詳細は、「*コレクションテンプレートの使用*」を参照してください。

コレクションの複製

コレクションを複製すると、Quark Publishing Platformによってそのコレクションの複製が作成されます。ただし、コレクションに含まれているアセットは複製されません。コレクションのみを複製するか、コレクション内の階層も複製するかどうかを指定できます。

コレクションを複製するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインでそのコレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**コレクションの複製**を選択します。

コレクションの削除

コレクションを削除するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインでそのコレクションをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**コレクションを削除**を選択します。

➡ コレクションまたはコレクションのサブフォルダにアセットが含まれている場合、コレクションは削除できません。

コンテンツの追加（QCDおよびQXP）

QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウツールバーの  **コンテンツの追加**ボタンを使用して、アーティクルコンポーネントのテキストを別のアーティクルコンポーネントまたはQuarkXPressテキストボックスに追加することができます。**コンテンツの追加**ボタンの使用方法については、下記の手順に従ってください。

1. QuarkXPressのテキストボックス、またはQuarkCopyDeskのテキストコンポーネントを選択します。
2. **ワークスペースブラウザ**ウィンドウでテキストコンポーネントまたはアーティクルを選択します。
3. **ワークスペースブラウザ**ツールバーの**コンテンツの追加**ボタンをクリックします。テキストボックスまたはテキストコンポーネントに、テキストが流し込まれます。

➡ （Mac OSのみ）**コンテンツの追加**ボタンが表示されていない場合は、ボタンをツールバーに追加します。詳細は、「*ワークスペースツールバーのカスタマイズ*」を参照してください。

➡ QuarkXPressで作業している場合に、ステップ5で複数のコンポーネントを持つアーティクルを選択すると、テキストコンポーネントを選択する**テキストコンポーネントの選択**ダイアログボックスが表示されます。QuarkCopyDeskで作業している場合は、すべてのコンポーネントのテキストが追加されます。画像コンポーネントは追加されません。

➡ 追加されたテキストと追加元のアーティクルコンポーネントとの間のリンクはすでにありません。元のアーティクルコンポーネントのテキストを変更しても、その変更は追加先のテキストボックスまたはテキストコンポーネントには反映されません。

➡ **コンテンツの追加**をクリックする前にテキストを選択していた場合、選択したテキストは追加されたコンテンツによって置き換えられます。

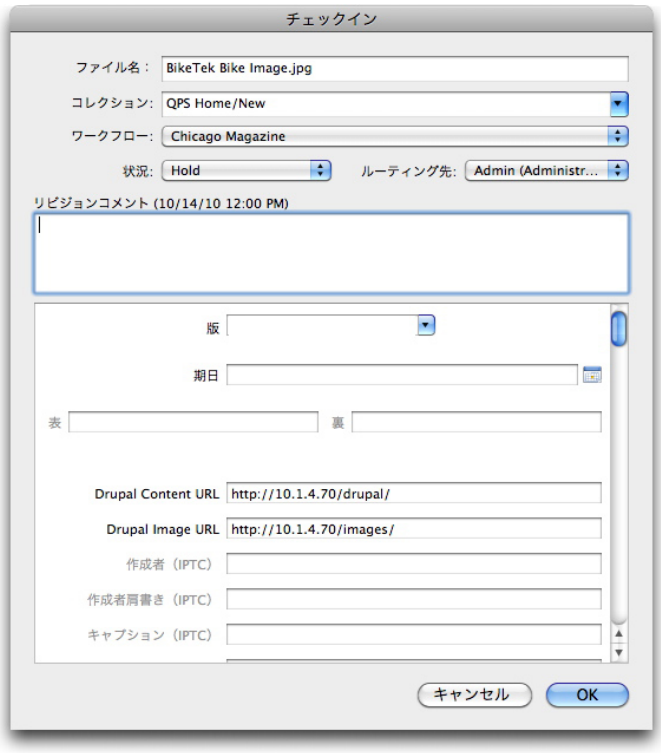
アセットのチェックイン

チェックインダイアログボックスのフィールドはさまざまですが、チェックインのプロセスは基本的にすべてのQuark Publishing Platformクライアントアプリケーションで同じです。チェックアウト済みアセットをチェックインする場合、またはアセットを初めてチェックインする場合は、手順が若干異なります。また、**その他のチェックイン**コマンドを使用して、新規QuarkCopyDeskアーティクル、QuarkXPressレイアウト、サードパーティ形式のファイルをチェックインできます。

チェックインコマンド

チェックインコマンドは、メニューコマンドおよびアイコンとして利用できます。

1. Quark Publishing Platform Serverにチェックインするアセットを開きます。
2. **アクション > チェックイン**を選択するか、Quark Publishing Platform Clientツールバーでチェックアウト済みのアセットを選択して**チェックイン**ボタンをクリックします。**チェックイン**ダイアログボックスが表示されます。



チェックインダイアログボックスを使用して、アセットをQuark Publishing Platform Serverに追加します（またはチェックアウトしたアセットをQuark Publishing Platform Serverコントロールに返します）。

左側の**名前**リストに、このアセットとともにチェックインされるコンポーネントがすべて表示されます。たとえば、1つの画像コンポーネントと2つのテキストコンポーネントを持つアーティクルをチェックインする場合、**名前**リストには、アーティクルのアイテムに加えて、テキストコンポーネントの2つの子アイテムと、画像コンポーネントの1つの子アイテムが表示されます。さらに、画像コンポーネントには、画像コンポーネント内に画像の子アイテムがあります。

アイテムごとに異なる属性値を指定できます。子アイテムに値を指定しない場合、子アイテムは親アイテムに指定されている値を継承します。

3 **コレクション**ドロップダウンメニューから対象のコレクションを選択します。

➡ 検索フィールドを使用して、コレクションをすぐに検索できます。コレクションパスを確認するには、各検索結果の上にマウスポインタを移動します。

4 **ワークフロー**ドロップダウンメニューからワークフローを選択します。

5 アセットの現在の状況を指定するには、**状況**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

6 アセットを特定のユーザーまたはグループに送信するには、**ルーティング先**ドロップダウンメニューからオプションを選択します（ワークフローで状況に基づいた自動ルーティングを実行している場合に、**状況**ドロップダウンメニューからオプションを選択すると、**ルーティング先**ドロップダウンメニューの値が自動的に変更される可能性があります）。

➡ アセットを初めてチェックインするときに**ルーティング先**ドロップダウンメニューから名前を選択しない場合、アセットは、アクティブなユーザーにルーティングされます。

7 アセットがメジャーバージョン番号で保存されているかマイナーバージョン番号で保存されているかを指定するには、**リビジョン**の**メジャー**または**マイナー**をクリックします。

➡ **マイナー**オプションの使用は、権限によって制御されています。

8 **リビジョンコメント**フィールドを使用して、チェックインするアセットのバージョンのリビジョンコメントを入力します。リビジョンコメントはアセットに保存されます。アセットをチェックアウトするユーザーの環境設定に応じて、チェックアウトプロセス中にリビジョンコメントが表示されます。リビジョンコメントは、アセットのリビジョンを表示する場合にも表示されます。

9 必要に応じて、その他の属性フィールドを変更してください。これらの属性フィールドにアクセスできるかどうかは、ユーザーの権限によって決まります。

10 **OK**をクリックします。環境設定に応じて、チェックインプロセスが完了すると、Quark Publishing Platform Serverからアセットのローカルコピーが削除されます。

その他のチェックインコマンド

その他のチェックインコマンドを使用すると、新規QuarkCopyDeskアーティクル、QuarkXPressレイアウト、サードパーティ形式のファイルをチェックインできます。

（Mac OSクライアントの場合） **その他のチェックイン**コマンドを使用するには、**その他のチェックイン**ボタンをクリックします（Quark Publishing Platform Clientユーザーは、**アクション > その他のチェックイン**も選択できます）。次に対象アセットへナビゲートし、「*チェックインコマンド*」セクションの手順に従います。フォルダとすべてのサブフォルダをチェックインするには、**フォルダをチェックイン**をクリックします。

（Windowsクライアントの場合） **その他のチェックイン**コマンドを使用するには、**その他のチェックイン**をクリックします。ドロップダウンメニューに**チェックイン**と**フォルダをチェックイン**のオプションが表示されます。**その他のファイルのチェックイン**ダイアログボックスを表示するには、**チェックイン**をクリックします。次に対象アセットにナビゲートし、「*チェックインコマンド*」セクションの手順に従います。フォルダとすべてのサブフォルダをチェックインするには、**フォルダをチェックイン**をクリックします。

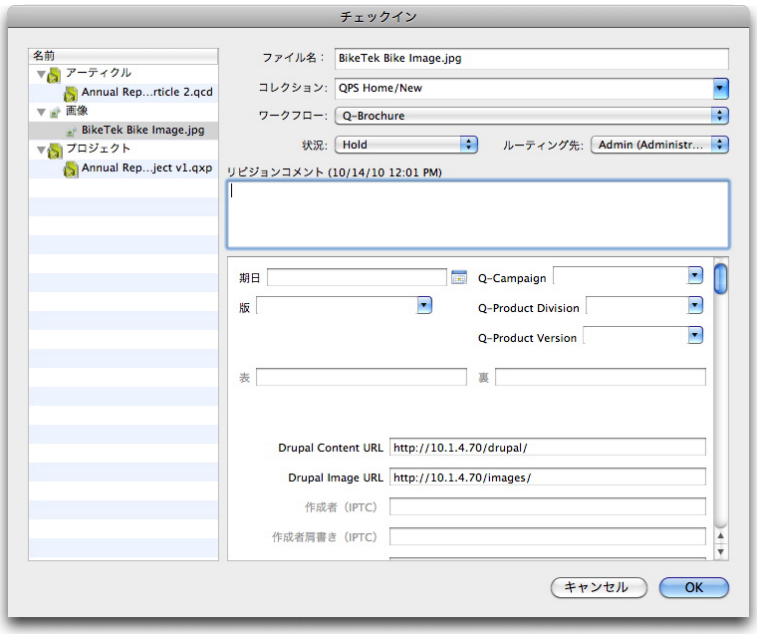
➡ **最終変更日時**および**最終変更者**属性は、ファイルをチェックインしたユーザーの名前と、ファイルのチェックイン日時を示します。

複数のアセットのチェックイン

Quark Publishing Platform Client、QuarkXPress、およびQuarkCopyDeskでは、単一のチェックインプロセスで複数のアセットをチェックインできます。チェックアウト済みのアセットをチェックインする場合と、**その他のチェックイン**コマンドを使用して新しいアセットをチェックインする場合では、プロセスが異なります。

1 Quark Publishing Platform Clientを使用して新規アセットをチェックインするには、（Mac OSクライアントの場合）**その他のチェックイン**をクリックするか、**アクション > その他のチェックイン**を選択します。（Windowsクライアントの場合）**チェックイン**と**フォルダをチェックイン**のオプションを表示するには、**その他のチェックイン**ドロップダウンメニューを使用します。QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウを表示して**その他のチェックイン**をクリックします。表示されたディレクトリダイアログボックスで、アセットを1つ以上選択します。

2 リストから連続するアセットの範囲、または連続しない複数のアセットを選択できます。連続するアセットの範囲を選択するには、Shiftキーを押しながら範囲の最初のアセットを選択した後に最後のアセットを選択し、**開く**をクリックします。連続しない複数のアセットをリストから選択するには、Command／Ctrlキーを押しながら、チェックインするアセットを1つ以上選択して、**開く**を選択します。



チェックインダイアログボックスでは、左側にアセットが表示されます。アーティクル、画像およびその他のファイルは、別のグループに表示されます。

3 左側のリストからアセットを選択して、右側で属性情報を変更します。

➡ 左側で選択したアセットによって、右側に表示される属性オプションが決まります。グループ内の複数アセットに対して、属性を一度に指定できます。

4 アセットの属性を指定してから、**OK**をクリックします。

5 チェックアウト済みの複数のアセットをチェックインするには、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでアセットを選択してから**チェックイン**をクリックします。**チェックイン**ダイアログボックスが、各アセットについて順次表示されます。Quark Publishing Platform Clientユーザーが、各種チェックアウト済みファイルの他に、チェックアウト済みのQuarkXPressプロジェクトまたはQuarkCopyDeskアーティクルを選択しても、それらのアーティクルやプロジェクトは、表示される一連の**チェックイン**ダイアログボックスには含まれません。**チェックイン**ダイアログボックスの詳細は、*チェックインコマンド*」を参照してください。

Quark Publishing Platform Client、QuarkXPress、QuarkCopyDeskでは、アセットを、ファイルシステムから**ワークスペースブラウザ**ウィンドウのコレクションのアイコンにドラッグ＆ドロップすることによってもチェックインできます。

画像のあるプロジェクトのチェックイン（QXPのみ）

チェックアウト済みのプロジェクトに画像が取り込まれている場合は、それらの画像をリンクさせ、プロジェクトをチェックインするときに一緒にチェックインできます。これを行うには、**プラットフォーム > 画像のあるプロジェクトのチェックイン**を選択します。このコマンドを使用して、取り込まれている各画像にQuark Publishing Platform属性を指定できます。複数アセットの場合の**チェックイン**ダイアログボックスの使用方法については、「*複数のアセットのチェックイン*」を参照してください。

1 QuarkXPressで、画像を1つ以上含むプロジェクトを開きます。

2 **プラットフォーム > 画像のあるプロジェクトのチェックイン**を選択します。**チェックイン**ダイアログボックスが表示されます。プロジェクト名と画像名は左側の別のグループに表示されます。プロジェクトに画像が1つしか含まれていない場合は、画像名がレイアウト名の下に表示されます。

3 リストの一番上に表示されているプロジェクト名をクリックします。指定可能な属性がプロジェクトに適用されます。

4 **画像**グループで画像を1つ以上クリックします。指定可能な属性が画像に適用されます。

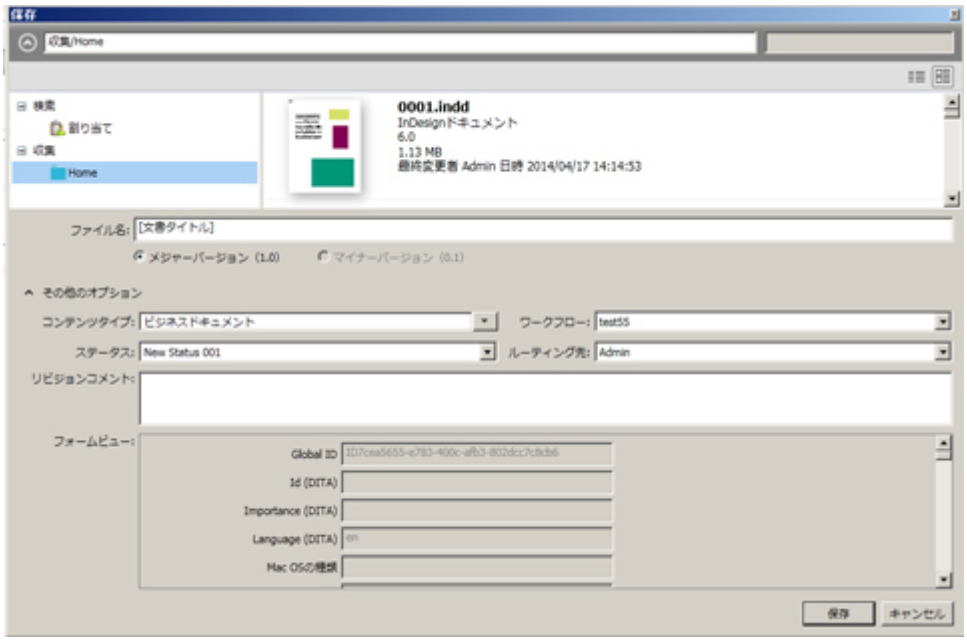
5 プロジェクトおよびプロジェクトに取り込まれている画像をチェックインするには、「*チェックインコマンド*」セクションに記載されている手順に従ってください。

サーバーへ保存（Microsoft Office用Platform Adapter）

Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）ドキュメントをPlatformサーバーへ保存するには、下記のコマンドを使用します。

- **ファイル**メニュー、または**ファイル**メニューの**情報**タブから、**サーバーに保存して閉じる**コマンドを選択します。このコマンドは、Quark Publishing Platform Serverを最新の変更内容で更新し、ドキュメントを閉じます。

  このコマンドを選択すると、**保存**ダイアログが表示されます。



1 コレクションのリストから、目的のコレクションを選択します。

2 **ファイル名**フィールドに、ドキュメントのファイル名を入力します。

3 アセットをメジャーバージョン番号とマイナーバージョン番号のどちらで保存するかを指定するには、**メジャーバージョン（1.0）**または**マイナーバージョン（0.1）**をクリックします。

➡ **マイナーバージョン（0.1）**オプションの使用は、権限によって制御されています。

4 **コンテンツタイプ**ドロップダウンメニューから、コンテンツタイプを選択します。

5 **ワークフロー**ドロップダウンメニューからワークフローを選択します。

6 アセットの現在の状況を指定するには、**状況**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

7 アセットを特定のユーザーまたはグループに送信するには、**ルーティング先**ドロップダウンメニューからオプションを選択します（ワークフローで状況に基づいた自動ルーティングを実行している場合に、**状況**ドロップダウンメニューからオプションを選択すると、**ルーティング先**ドロップダウンメニューの値が自動的に変更される可能性があります）。

➡ アセットを初めてチェックインするときに**ルーティング先**ドロップダウンメニューから名前を選択しないと、そのアセットはアクティブなユーザーにルーティングされます。

8 **リビジョンコメント**フィールドを使用して、チェックインするアセットのバージョンのリビジョンコメントを入力します。リビジョンコメントはアセットに保存されます。アセットをチェックアウトするユーザーの環境設定に応じて、チェックアウトプロセス中にリビジョンコメントが表示されます。リビジョンコメントは、アセットのリビジョンを表示する場合にも表示されます。

9 必要に応じて、その他の属性フィールドを変更してください。これらの属性フィールドにアクセスできるかどうかは、ユーザーの権限によって決まります。

10 **保存**をクリックします。 環境設定によっては、チェックインプロセスが完了すると、確認ダイアログに基づいて、Quark Publishing Platform Adapterによってアセットのローカルコピーが削除されることがあります。

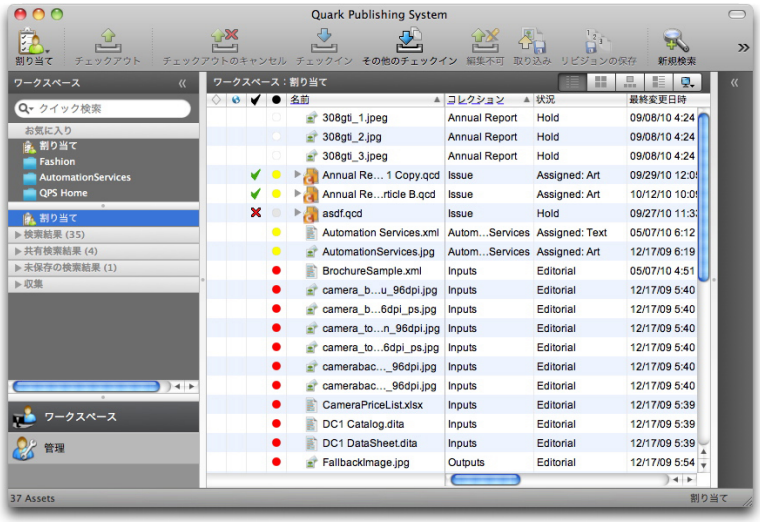
アセットの割り当て

割り当てにより、各ユーザーは、自分が作業する必要があるジョブを簡単に知ることができます。アセットをチェックインすると、特定のユーザーやグループ、または**ユーザー（No One）**にそのアセットを割り当てることができます。アセットを割り当てると、下記の処理が実行されます。

- アセットがルーティングされているユーザーに対してダイアログボックスが表示され、アセットがユーザーに割り当てられていることを示します。
- アセットがルーティングされているユーザーに対する**ワークフロー**ナビゲーションペインの**割り当て**領域のリストに、アセットが表示されます。

アセットがグループにルーティングされた場合、そのグループのすべてのユーザーに対して上記の処理が実行されます。

各ユーザーは、**ワークフロー**ナビゲーションペインの**割り当て**領域で、任意のQuark Publishing Platformクライアントから自分に割り当てられたアセットを表示できます。



割り当ては、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウに表示されます。

アセットの割り当て：Quark Publishing Platform Client

Quark Publishing Platform Clientユーザーは、**アクション > 割り当て**サブメニューから、7種類の割り当てを行うことができます。

Quark Publishing Platform Clientからの割り当てについては、下記の手順に従ってください。

1 Quark Publishing Platform Clientウィンドウで、**ワークスペース**をクリックします。

2 テキストファイルを割り当てるには、**テキストファイル**を選択します。

3 画像ファイルを割り当てるには、**画像**を選択します。

4 Quark Publishing Platform Serverのデフォルト設定に基づいてQuarkCopyDeskアーティクルを割り当てるには、**QuarkCopyDeskアーティクル > デフォルトから**を選択します。

5 既存のQuarkCopyDeskアーティクルに基づいてQuarkCopyDeskアーティクルを割り当てるには、**QuarkCopyDeskアーティクル > アーティクルから**を選択します。

6 QuarkCopyDeskテンプレートに基づいてQuarkCopyDeskアーティクルを割り当てるには、**QuarkCopyDeskアーティクルテンプレート**を選択します。

7 既存のQuarkXPressプロジェクトに基づいてQuarkXPressプロジェクトを割り当てるには、**QuarkXPressプロジェクト**を選択します。

8 既存のQuarkXPressテンプレートに基づいてQuarkXPressプロジェクトを割り当てるには、**QuarkXPressプロジェクトテンプレート**を選択します。

➡ **割り当て**サブメニューにアクセスするには、ワークスペースツールバーにある**割り当て**ボタンをクリックします。

➡ 画像の割り当てを作成するとき、Quark Publishing Platform Clientは、画像編集アプリケーションで開いて画像コンテンツに置き換えることができるプレースホルダイメージをチェックインします。

➡ プレースホルダをチェックインする際、**コンテンツ作成者**は空白になっています。

アセットの割り当て：QXP

アセットを他のユーザーにルーティングする場合、実質的にはそのアセットをルーティング先ユーザーに割り当てることになります。しかし、**割り当て**は、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウのコマンドでもあります。QuarkXPressからのアセットの割り当てについては、下記の手順に従ってください。

1 QuarkXPressプロジェクトを開きます。

2 ボックスを描画します。

3 **ワークスペースブラウザ**ウィンドウを表示します（**プラットフォーム**メニュー）。

4 下記のいずれかを実行します。

- ボックスを選択した状態で、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウをクリックして、**割り当て**を選択します（画像ボックスから割り当てる場合は、複数選択できます。）
- **プラットフォーム > アーティクルとして割り当て**または**プラットフォーム > 画像として割り当て**を選択します。
- ボックスをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**プラットフォーム > アーティクルとして割り当て**または**画像として割り当て**を選択します。
- **プロジェクトリンク**パレットで**割り当て**をクリックします。

5 **画像として割り当て**を選択した場合、**画像の割り当てオプション**ダイアログボックスが、QuarkCopyDeskアーティクルの画像アセットまたは画像コンポーネントを割り当てる

オプションとともに表示されます。オプションを選択して、**OK**をクリックします。**チェックイン**ダイアログボックスが表示されます。

割り当てを選択する前にテキストを含むボックスを選択している場合は、**チェックン**ダイアログボックスが表示されます。「チェックインコマンド」に記載されている手順に従ってください。

- **チェックイン**ダイアログボックスでは、アセット属性情報を入力できます。

- **チェックイン**ダイアログボックスの**コンテンツタイプ**ドロップダウンメニューからオプションを選択することによって、アーティクルをQuarkCopyDeskアーティクルまたはQuarkCopyDeskアーティクルテンプレートとして割り当てることができます。

ワークスペースブラウザウィンドウからQuarkXPressプロジェクトのボックスに画像をドラッグしたときに**画像の割り当て**ダイアログボックスを表示するには、**環境設定**ダイアログボックスの**警告**ペインの**リンク**タブにある**以下の場合に割り当てダイアログボックスを表示しない**で、**画像をリンク**をオフにします。

- 画像がリンクされている画像ボックスを複製すると、プロジェクトのリビジョンの保存後またはチェックイン後に、**プロジェクトリンク**パレットに画像リンクが2つの別個のリンクとして表示されます。

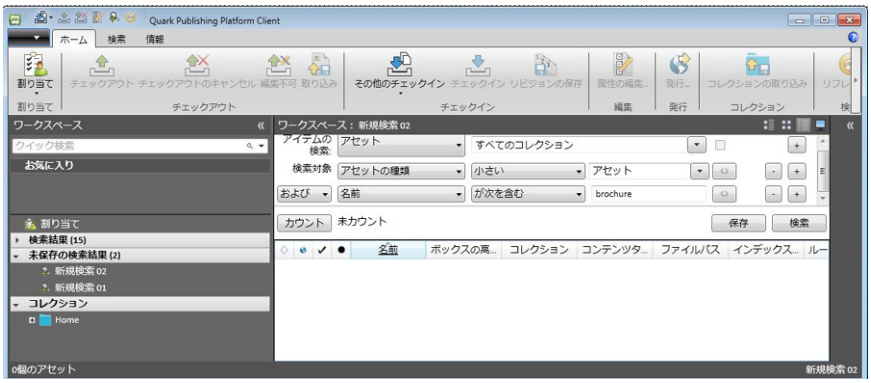
- 割り当てられているプロジェクトおよびアーティクルを確認するには、**プラットフォーム > ワークスペースブラウザ**を選択します。

検索の実行

さまざまな方法でQuark Publishing Platformのアセットやコレクションを検索できます。自分にルーティングされているすべてのアセットを表示するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインで**割り当て**をクリックします。新規検索のパラメータを指定するには、**新規検索**をクリックします。自分で作成した検索操作、または他のユーザーと共有している定義済みの検索操作から選択することもできます。

検索を作成するには、下記の手順に従ってください。

1. Quark Publishing Platform Clientで、**ワークスペース**ナビゲーションペインをクリックします。
2. ツールバーの**新規検索**をクリックします。または、**ワークスペース**ナビゲーションペインで、保存した検索をOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**新規検索**を選択します。



新規の、未保存の検索

3 検索対象を指定するには、ウィンドウの上部にあるドロップダウンメニューを使用します。

- **アイテムの検索**検索対象行の2つのドロップダウンメニューからファイルの種類およびコレクションを選択します。選択したコレクションのサブコレクションと、選択したコレクション自体を検索するには、行の右端にあるボックスをオンにします。
- **検索対象**行のコントロールを使用して、検索を絞り込みます。検索オプションの行を追加して検索をさらに絞り込むには、+をクリックします。
- 包括的な条件や排他的な条件を指定するには、ANDまたはORを選択します。ANDを選択すると、検索が絞り込まれます。ORを選択すると、検索が幅広くなります。
- 行を削除するには、行の−（マイナス記号）ボタンをクリックします。

検索対象の定義が終了したら、**カウント**をクリックして、条件に一致するアセットがいくつあるのかを確認できます。

➡ **カウント**の値が大きすぎる場合、検索を詳細に設定して検索結果を少なくすることで時間を短縮できます。

4 この検索を保存し別の値の検索に使用する予定がある場合、「尋ねる」という機能を使用します。この機能を使用するには、ドロップダウンメニューから属性を選択してグレイの**尋ねる**アイコンをクリックします。**尋ねる**アイコンがオレンジになります。

ユーザーが検索を実行すると、**尋ねる**ダイアログボックスが表示されます。



尋ねるダイアログボックス

5 保存した検索を検索の条件に追加するには、**新規検索**をクリックして検索対象に行を追加し、属性ドロップダウンメニューから**アセットの一致検索**または**アセットの不一致検**

索を選択した後、属性ドロップダウンメニューの右側のドロップダウンメニューから保存した検索を選択します。以降の行に、必要な数の条件を追加できます。

➡ **アセットの一致検索**または**アセットの不一致検索**を選択する場合、パラメータ"尋ねる"を含む検索はリストに含まれません。

6 検索を実行するには、**検索**をクリックします。

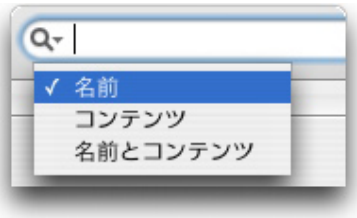
➡ 後で使用できるように検索を保存するには、**保存**をクリックして、検索の名前を指定します。検索名が**ワークスペース**ナビゲーションペインの**検索結果**領域および**検索**ドロップダウンメニューに追加されます。

➡ 検索を再度実行するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインでその検索をControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**検索のリロード**を選択するか、ツールバーでリフレッシュをクリックします。

➡ QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskでは、**PDFで保存**ボタンを**ワークスペースブラウザ**ツールバーに追加すると、検索結果の表示をPDFとして作成することができます。**PDFで保存**ボタンを追加する方法については、「*ワークスペースツールバーのカスタマイズ*」を参照してください。

クイック検索機能の使用

クイック検索機能を使用すると、その時点でアクティブになっているアプリケーションに関係なく、Quark Publishing Platformアセットをすばやく検索できます。**クイック検索**機能を使用するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインの上部にある虫眼鏡のアイコンをクリックします。



アセットのテキストに応じてアセットを検索するには、**クイック検索**コントロールを使用します。

ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

- アセットの名前のみを検索対象とする場合は、**名前**を選択します。
- アセットのコンテンツのみを検索対象とする場合は、**コンテンツ**を選択します。
- アセットの名前とコンテンツを検索対象とする場合は、**名前とコンテンツ**を選択します。

ネスト構造検索の実行

検索条件のネストされた階層を作成することで、検索を絞り込むことができます。以下の例では、TracyまたはPatにルーティングされているすべてのアセットを探すために、検索でネスト構造検索を使用します。

1 **新規検索**をクリックします。

2 検索オプションの行を追加するには、+をクリックします。

3 ネストされた条件を追加するには、**検索対象**ドロップダウンメニューから**アセットの一致条件**を選択します。**アセットの一致条件**ダイアログボックスが表示されます。



アセットの一致条件ダイアログボックス

4 属性を指定して条件を選選択します。複数の条件をまとめるには、**アセットの一致条件**ダイアログボックスで+をクリックします。

➡ また、ユーザーが条件検索を実行するときにプロンプトを表示するには、**アセットの一致条件**ダイアログボックスで**尋ねる**アイコンをクリックします。

5 **アセットの一致条件**ダイアログボックスでパラメータを指定してから**追加**をクリックします。



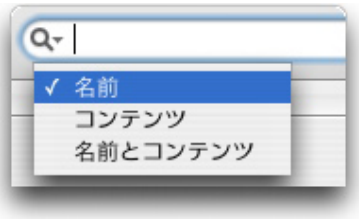
ネスト構造検索

➡ ネスト構造検索を指定すると、**ネスト構造**アイコンが表示されます。

フルテキスト検索の実行

クイック検索コントロールでは、アセットのテキストに応じてアセットを検索できます。

1 **クイック検索**ドロップダウンメニューを表示するには、**クイック検索**コントロールをクリックします。



アセットのテキストに応じてアセットを検索するには、**クイック検索**コントロールを使用します。

2 アセットのコンテンツのみを検索対象とする場合は、**コンテンツ**を選択します。アセットの名前とコンテンツを検索対象とする場合は、**名前とコンテンツ**を選択します。

3 **クイック検索**フィールドにテキストを入力し、Enterキーを押します。**ワークスペースブラウザ**ウィンドウに**クイック検索**の結果が表示されます。検索は、**ワークスペース**ナビゲーションペインの**未保存の検索結果**領域にも表示されます。

➡ デフォルトでは、**クイック検索**フィールドに入力したすべてのテキストを含むアセットのみが戻されます。

4 フルテキスト検索を詳細に設定するには、**クイック検索**フィールドで下記を使用します。

- **フレーズ検索**："Bike History"のように引用符でフレーズを囲むことで複数の単語を正確に指定できます。フレーズ内の単語間のスペースは「AND」演算子のように機能し、引用符内のすべての単語は必ず一緒に検索結果に表示されます。
- **近似検索**：フレーズ検索の後で"~<単語数>"を使用することで、フレーズ内の単語数を指定できます。たとえば、"Bike History"~10と入力する場合、「Bike」と「History」のインスタンスをそれぞれ10単語以内で検索します。
- **ワイルドカード検索（1文字）**：「?」を使用することで、1つのワイルドカード文字を使用した検索を指定できます。たとえば、「r?de」では「ride」と「rode」が検索されます。
- **ワイルドカード検索（複数文字）**：「*」を使用することで、複数のワイルドカード文字を使用した検索を指定できます。たとえば、「ride*」では「rider」と「riders」が検索されます。
- **あいまい検索**：「~」を使用することで、1単語に候補範囲を持たせた検索を指定できます。たとえば、「gearing~」では、「hearing」、「gears」および「gearing」が検索されます。
- **ブール演算子（AND）**：正確な単語の組み合わせを検索する「AND」、「&&」、および「+」演算子を使用することで、検索を絞り込むことができます。たとえば、**クイック検索**フィールドにBike AND Historyと入力することで「Bike」と「History」を検索できます。検索用語の前に「+」を使用することで、1つの必須用語と別のオプション用語を検索できます。たとえば、+Bike Historyを使用すると、「Bike」のみが存在するか、「Bike」と「History」の両方が存在するインスタンスが検索されます。

➡ ブール演算子は、オールキャップスで入力する必要があります。

- **ブール演算子（OR）**：1つ以上の単語を検索する「OR」演算子を使用することで、検索を広くすることができます。たとえば、**クイック検索**フィールドに"Bike" OR "History"と入力すると、検索結果にはいずれか1つまたは両方の単語が含まれます。

➡ デフォルトでは、検索用語の単語間のスペースは「AND」演算子と同様になります。

- **ブール演算子（NOT）**：**クイック検索**フィールドで「NOT」の後の特定の単語を除外することで、検索を制限できます。たとえば、"Bike History" NOT "History of Skiing"と入力すると、「History of Skiing」というテキスト文字列の組み合わせが検索結果に含まれなくなります。

➡ 「NOT」の代わりに「!」または「-」を使用することもできます。

➡ NOT "Bike History"のように、1つの用語で「NOT」演算子を使用することはできません。

コレクションの検索の実行

コレクションの検索で、特定の属性を持つコレクションを検索できます。コレクションの検索を実行するには、下記の手順に従ってください。

1. **ワークスペース**ナビゲーションペインをクリックします。
2. ツールバーの**新規検索**をクリックします。Quark Publishing Platform Web Clientで、ブラウザウィンドウの**新規検索**をクリックします。
3. **アイテムの検索**ドロップダウンメニューで、**コレクション**をクリックして、コレクションのオプションを使用できるようにします。
4. 特定のコレクションを検索するには、その次にあるドロップダウンメニューからコレクションの名前を選択します。クイック検索フィールドにコレクションの名前を入力することもできます。
5. 選択したコレクションのサブコレクションを検索するには、先頭の行の最後にあるボックスをオンにします。
6. 検索対象を指定するには、ウィンドウの上部にあるドロップダウンメニューを使用します。

   - **検索対象**行のコントロールを使用して、検索を絞り込みます。検索オプションの行を追加して検索をさらに絞り込むには、**+**をクリックします。
   - 包括的な条件や排他的な条件を指定するには、**AND**または**OR**を選択します。**AND**を選択すると、検索が絞り込まれます。**OR**を選択すると、検索が幅広くなります。
   - 行を削除するには、行の**−**（マイナス記号）ボタンをクリックします。

   検索対象の定義が終了したら、**カウント**をクリックして、条件に一致するコレクションがいくつあるのかを確認できます。

➡ **カウント**の値が大きすぎる場合、検索を詳細に設定して検索結果を少なくすることで時間を短縮できます。

7. 検索を実行するには、**検索**をクリックします。

➡ すべての表示オプションをコレクションの検索結果に使用できるとは限りません。

- 後で使用できるように検索を保存するには、**保存**をクリックして、検索の名前を指定します。検索名が**ワークスペース**ナビゲーションペインの**検索結果**領域および**検索**ドロップダウンメニューに追加されます。

- 検索を再度実行するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインでその検索をControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**検索のリロード**を選択するか、ツールバーでリフレッシュをクリックします。

- QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskでは、**PDFで保存**ボタンを**ワークスペースブラウザ**ツールバーに追加すると、検索結果の表示をPDFとして作成することができます。**PDFで保存**ボタンを追加する方法については、「*ワークスペースツールバーのカスタマイズ*」を参照してください。

ここから検索

特定のコレクションから始める検索を作成するには、そのコレクションをOptionキーを押しながらクリックまたは右クリックして、**ここから検索**を選択します。Quark Publishing Platformによってそのコレクションに未保存の検索結果が作成され、そのサブコレクションが含まれます。

- （検索インターフェイスの先頭行の右端にある）**このコレクションとサブコレクションを検索**をオフにすることによって、検索をその特定のコレクションに限定できます。

保存済みの検索結果の使用

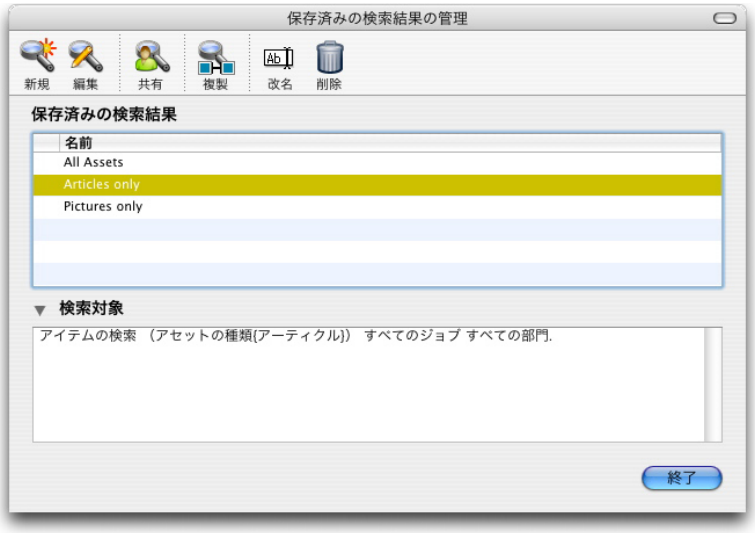
後で使用できるようにアクティブな検索を保存するには、**保存**をクリックして、検索の名前を指定します。検索名が**ワークスペース**ナビゲーションペインの**検索結果**領域および**検索**ドロップダウンメニューに追加されます。

未保存の検索結果に戻るには、**ワークスペース**ナビゲーションペインの**未保存の検索結果**領域で検索をクリックします。未保存の検索結果には、"New Search XX,"という名前が付けられます。XXは番号です。

保存済みの検索結果を実行するには、**ワークスペース**ナビゲーションペインの**保存済みの検索結果**領域でその検索をクリックします。保存済みの検索を再実行するには、その検索結果をControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**検索のリロード**を選択します。

検索結果の管理

検索結果を作成、編集、共有、複製、改名、および削除するには、**保存済みの検索結果の管理**ダイアログボックスを使用します。このダイアログボックスを表示するには、**ワークスペース**ツールバーで**保存済みの検索結果**をクリックして**管理**を選択するか（Mac OSのみ）、または**検索 > 保存済みの検索結果 > 管理**を選択します。



検索結果を作成、変更、複製、共有、および削除するには、**保存済みの検索結果の管理**ダイアログボックスを使用します。

- 検索結果を作成するには、**新規**をクリックします。**検索結果の編集**ダイアログボックスが表示されます。**検索名**フィールドに名前を入力し、「*検索の実行*」での指示に従って検索対象を指定します。**保存**をクリックし、**終了**をクリックして**保存済みの検索結果の管理**ダイアログボックスを閉じます。
- 既存の検索結果を編集するには、**保存済みの検索結果の管理**ダイアログボックスで検索結果を選択し、**編集**をクリックします。**検索結果の編集**ダイアログボックスが表示されます。検索対象を更新して、**保存**をクリックします。**終了**をクリックして**保存済みの検索結果の管理**ダイアログボックスを閉じます。
- Quark Publishing Platformワークグループの他のメンバーと検索結果を共有するには、検索結果名を選択して**共有**をクリックします。次に、**保存済みの検索結果の共有相手ユーザーを選択してください**ダイアログボックスのコントロールを使用して、検索結果を共有するユーザーを選択します。
- 検索結果を複製するには、検索結果名を選択して**複製**をクリックします。名前に「Copy」という語が付いた新規の検索結果が、**保存済みの検索結果**エリアに表示されます。
- 検索結果を改名するには、検索結果名を選択して**改名**をクリックします。検索結果名が編集可能になります。
- 検索結果を削除するには、検索結果名を選択して**削除**をクリックします。

検索結果は、それを共有するユーザーだけが変更できます。その他のユーザーは、自分のリストからその共有検索結果を削除することができますが、検索結果を編集することはできません。

検索結果

検索結果を右クリックすると、次のコンテキストメニューが表示されます。



コレクションを開くをクリックすると、そのアセットが属するコレクションが開き、検索結果に含まれ、そのコレクションに属するすべてのアセットが表示されます。

検索結果表示オプションの指定

検索結果の表示方法を指定するには、**表示 > 表示**サブメニュー（Mac OSのみ）、**ワークスペース**ウィンドウの**表示**ドロップダウンメニュー、またはペインの上部にあるボタンを使用します。アセット表示オプションの詳細は、「*表示オプションの表示*」を参照してください。

➡ これらのオプションの一部は、コレクションの検索には使用できません。詳細は、「*コレクションの検索の実行*」を参照してください。

➡ 検索対象と一致するが、Platformに一度もチェックインしていないQuarkXPressプロジェクトにリンクされているQuark Publishing Platformアセットは、**他のプロジェクトにリンク**属性（**名前**属性列）の下にリスト表示されます。リンク済みアセットは、複数のプロジェクトに添付されていれば、それら複数のプロジェクトの下に表示できます。

➡ プロジェクトにリンクされたアイテムが検索に一致する場合は、そのプロジェクトと、そのプロジェクトにリンクされている他のすべてのアセットも表示されます。

➡ アーティクルまたは画像は、1つのプロジェクトの複数のページにリンクされている場合、複数のページに表示されます。

保存済みの検索結果またはコレクションの表示オプションの表示を変更すると、その特定のコレクションまたは検索に対して新しいオプションが保存されます。

アセットのチェックアウト

アセットをチェックアウトするには、以下のいずれかの方法を使用します。

アセットのチェックアウト：Quark Publishing Platform Client

Quark Publishing Platform Clientでアセットをチェックアウトするには、Quark Publishing Platform Clientの**ワークスペース**ツールバーにある**チェックアウト**アイコンをクリックするか、または**アクション**メニューにある**チェックアウト**コマンドを選択します。

アセットのチェックアウト：QCD

QuarkCopyDeskでアーティクルをチェックアウトするには、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウにアーティクルを表示し、**チェックアウト、開示、または表示**をクリックします。または、**プラットフォーム > アーティクルのチェックアウト**を選択することもできます。**チェックアウト**ダイアログボックスに、デフォルトで表示されるユーザーの割り当てが表示されます。



チェックアウトダイアログボックスで検索とアセットのオプションを選択します。

保存済みの検索結果を、**検索結果**領域から選択します。リストからアセットを選択し、**チェックアウト**をクリックします。

ワークスペースブラウザウィンドウでアーティクルを選択し、**編集不可**をクリックしてアーティクルの編集不可コピーを開きます。

アーティクルまたはプロジェクトのチェックアウトQXP

QuarkXPressでアーティクルをチェックアウトするには、まずアーティクルがリンクしているプロジェクトをチェックアウトします。アーティクルを含むアクティブなプロジェクトでテキストボックスを選択し、**アーティクルのチェックアウト（プラットフォーム**メニュー）を選択します。または、ボックスをControlを押しながらクリックするか、または右クリックして**プラットフォーム > アーティクルのチェックアウト** を選択します。また、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**チェックアウト**ボタンをクリックすることもできます。

QuarkXPressでプロジェクトをチェックアウトするには、**チェックアウト > プロジェクト（プラットフォーム**メニュー）をクリックします。次に、**チェックアウト**ダイアログ

ボックスで対象となるプロジェクトのアセットを選択し、**チェックアウト**をクリックします。また、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**チェックアウト、開示、または表示**ボタンをクリックすることもできます。

➡ プロジェクトを選択して**編集不可**をクリックすると、プロジェクトの編集不可コピーを開くことができます。

リンクを含むプロジェクトのチェックアウト：QXP

プロジェクトをチェックアウトするときには、そのプロジェクトに含まれるリンクを単一の操作で同時にチェックアウトできます。

1. QuarkXPressで**ワークスペースブラウザ**ウィンドウを表示します。
2. **リンクを保持してチェックアウト**アイコンをクリックして、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウのツールバーにドラッグします。
3. **ワークスペースブラウザ**ウィンドウでリンクを含むプロジェクトを選択して、**リンクを保持してチェックアウト**をクリックします。プロジェクトおよびプロジェクトに含まれるリンクがチェックアウトされます。

画像のチェックアウトおよび編集： QXPおよびQCD

プラットフォーム > 画像をチェックアウトを選択して、QuarkXPressでリンクされた画像をチェックアウトおよび編集できます。画像は、チェックアウトされると、チェックアウトファイルを保存するために指定したフォルダ（**QuarkXPress／編集 > 環境設定 > Quark Publishing Platform > 全般**）に配置されます。

Edit Original XTensionsソフトウェアがインストールされている場合、リンクされた画像をチェックアウトおよび編集できます。リンクされた画像を含むボックスをダブルクリックして**オリジナルを編集**ダイアログボックスを表示し、バックグラウンドで画像をチェックアウトします。

また、リンクされた画像を含む画像ボックスをControlキー+クリック／右クリックして、コンテキストメニューから**オリジナルを編集**を選択することもできます。

➡ オリジナルを編集または**プラットフォーム > 画像をチェックアウト**のどちらを使用した場合でも、Quark Publishing Platform Serverを更新するには画像をチェックインまたはリビジョンを保存する必要があります。

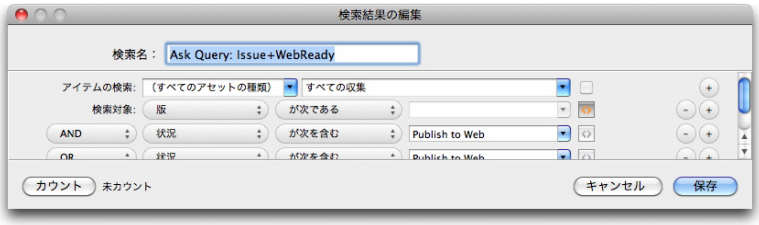
➡ また、画像のリビジョンを表示または以前のバージョンに戻すには、**プラットフォーム > 画像のリビジョンを表示**を選択します。

QuarkXPressで、レイアウトにリンクされていない画像をチェックアウトすることもできます。このような画像をチェックアウトすると、デフォルトの画像編集アプリケーションで画像が開かれます。

高度な検索の使用：QCDおよびQXP

クイック検索フィールドにあるドロップダウンメニューから**高度な検索**を選択して検索を作成できます。この検索は、一度だけ使用することも、その他の検索とともに保存することもできます。

1. **高度な検索**を選択してください。高度な検索のインターフェイスが表示されます。



高度な検索のモードを使用して、検索対象を指定します。

2 検索を保存するには、**検索名**フィールドに名前を入力して検索対象を指定し、**保存**をクリックして検索を実行および保存します。検索を保存しない場合は、条件を指定した後で**検索**をクリックします。

3 ファイルを選択して、**チェックアウト**をクリックします。

チェックアウトのキャンセル

アセットのチェックアウトをキャンセルするには、**ワークスペース**ウィンドウでアセットを選択し、**チェックアウトのキャンセル**をクリックします。アセットがコンピュータから削除され、チェックアウト以降に行った変更が破棄されます。ただし、変更を行った場合、変更が失われることを通知する警告が表示されます。Quark Publishing Platform Serverにアセットのリビジョンを保存すると、そのリビジョンが現在のバージョンとなります。

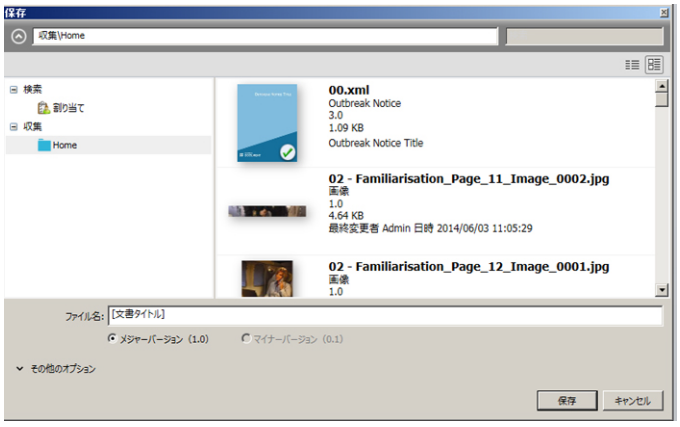
Microsoft Office用のQuark Publishing Platform Adapter

サーバーから開く

Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）ドキュメントをPlatformサーバーから開くには、下記のコマンドを使用します。

- **ファイル**メニューから、**サーバーから開く**コマンドを選択します。

このコマンドを選択すると、**サーバーから開く**ダイアログが表示されます。



1 画面の左側にあるコレクションのリストで、開くドキュメントを含むコレクションへ移動します。

➡ 検索フィールドを使用すると、ドキュメントやコレクションをすぐに検索できます。 または、検索を使用して割り当てや、ログインしているユーザーがアクセス可能な保存済みの検索結果にもアクセスできます。

2 画面の右側にあるリストから、開くドキュメントを選択します。

3 **オープン**をクリックして、ドキュメントの編集可能コピーを開くか、**編集不可として開く**をクリックして、ドキュメントの編集不可コピーを開きます。

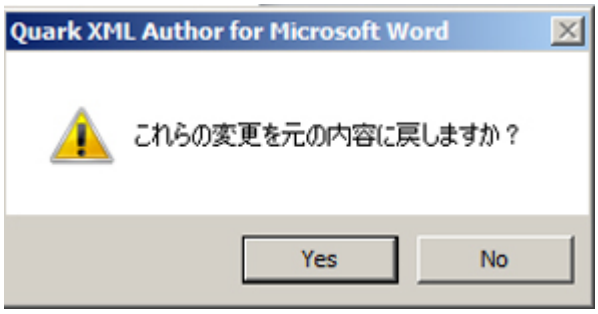
➡ ダイアログの右上にある**リビジョンの表示**アイコンをクリックすると、ドキュメントの以前のバージョンを編集不可で開くことができます。

変更を破棄

ドキュメントに加えた変更を破棄してドキュメントを閉じ、他のユーザーがチェックアウトできるようにするには、下記のコマンドを使用します。

- **ファイル**メニューの**情報**タブから、**変更を破棄**コマンドを使用します。 このコマンドは、チェックアウトを破棄してドキュメントを閉じ、他のユーザーがそのドキュメントをチェックアウトできるようにします。 このオプションは、チェックアウトされているドキュメントに対してのみ使用できます。

警告が表示され、チェックアウト以後に加えられた変更を保存するか、破棄するかを選択できます。



編集不可コピーの編集

Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）ドキュメントの編集不可コピーを開いていて、ドキュメントに変更を加えようとする場合、下記のコマンドを使用します。

- **ファイル**メニューの**情報**タブから、**編集**コマンドを使用します。

このコマンドを選択すると、ドキュメントを閉じてから、そのドキュメントのチェックアウト済みバージョンを再度開いて、編集できるようにします。 このオプションは、ドキュメントの編集不可コピーを開いているときのみ使用できます。

テンプレートの使用

ワークグループ内の一貫性を維持するために、アーティクルテンプレートからアーティクルを作成したり、プロジェクトテンプレートからプロジェクトを作成したりできます。

- アーティクルテンプレートを作成するには、QuarkCopyDeskでアーティクルを設計し、**ファイル > 新規保存**を選択し、**種類**ドロップダウンメニューから**アーティクルテンプレート**を選択して**保存**をクリックします。QuarkCopyDeskのアーティクルテンプレートには、.qctという接尾辞が付きます。
- プロジェクトテンプレートを作成するには、QuarkXPressのプロジェクトでレイアウトを設計し、**ファイル > 新規保存**を選択し、**種類**ドロップダウンメニューから**プロジェクトテンプレート**を選択して**保存**をクリックします。QuarkXPressのプロジェクトテンプレートには、.qptという接尾辞が付きます。

アーティクルとプロジェクトの場合と同様に、アーティクルテンプレートとプロジェクトテンプレートをQuark Publishing Platformにチェックインできます。

QuarkXPressでテンプレートから新規プロジェクトを作成するには、**ファイル > 新規 > サーバーテンプレートからのプロジェクト**を選択します。表示されたダイアログボックスから、Quark Publishing Platformで使用可能なプロジェクトテンプレートを選択できます。

QuarkCopyDeskでテンプレートから新規アーティクルを作成するには、**ファイル > 新規 > サーバーテンプレートからのアーティクル**を選択します。表示されたダイアログボックスから、Quark Publishing Platformで使用可能なアーティクルテンプレートを選択できます。

➡ Quark Publishing Platformのアーティクルテンプレートを使用して、QuarkXPressレイアウトでジオメトリを作成および置換できます。詳細は、「*ドラッグによるアーティクルのリンク*」を参照してください。

レイアウトへのコンテンツのリンク

いくつかのワークフローの中では、コンテンツはQuarkCopyDeskまたは別のアプリケーションで作成されてから、レイアウト作成者によってレイアウトに追加されます。別のワークフローでは、レイアウトが最初に作成されてから、レイアウト内のボックスがアーティクルとして、コンテンツ担当者に割り当てられます。Quark Publishing Platformからレイアウトへのコンテンツの追加も、レイアウトからのアーティクルの割り当ても、レイアウトへのコンテンツのリンク例です。

アセットをレイアウトにリンクする場合、アセットがレイアウトにプライマリリンクとしてリンクされているか、セカンダリリンクとして割り当てられているかによって、**割り当て**ダイアログボックスが表示されることがあります。（「*プライマリリンクとセカンダリリンク*」を参照してください。）このダイアログボックスを使用して、アセットのメタデータに必要な変更を加えることができます。たとえば、現在レイアウト内にあることを表示するステータスを変更したり、リビジョンコメントに追加したりする場合があります。

どのアセットがQuarkXPressのアクティブなレイアウトにリンクされているかを表示するには、**ワークスペースブラウザ**パレットの**ワークスペース**ナビゲーションペインで**リンク**をクリックします。

➡ Quark Publishing Platformにまだチェックインされていないプロジェクトで、レイアウトにアセットをリンクした場合、そのアセットはローカルアセットと呼ばれます。このプロジェクトをチェックインすると、そのアセットはグローバルアセットと呼ばれるアセットになります。

プライマリリンクとセカンダリリンク

リンクには2種類あります。**プライマリリンク**と**セカンダリリンク** アーティクルは、複数のプロジェクトのレイアウトにセカンダリリンクとしてリンクできますが、プライマリリンクとしてリンクできるのは、1つのレイアウトのみです。プライマリリンクとしてのアーティクルを含むレイアウトにより、アーティクルのジオメトリが決まります。直接セカンダリリンクを編集することはできませんが、プライマリリンクのコンテンツに変更を反映させるために、セカンダリリンクを更新することはできます。

アーティクルがレイアウトのプライマリリンクの場合、そのアーティクルに特定の変更があった場合にQuark Publishing Platformは通知を送信します。

- レイアウト作成者がアーティクルなどのジオメトリを変更し、**プラットフォーム > すべてのジオメトリの更新**を選択した場合、アーティクルのテキストで作業中のQuarkCopyDeskユーザーに通知を表示し、その作業者がレイアウトから最新ジオメトリのアーティクルに更新できるようにします。これにより、QuarkCopyDeskユーザーは、コンポーネントサイズのあらゆる変更に対応することができます。QuarkXpressのプロジェクトとリンクの環境設定のペインで、**ジオメトリを自動更新するタイミング：チェックインとジオメトリを自動更新するタイミング：チェックアウトがオンの場合、QuarkXPressユーザーがプロジェクトをチェックインすると、チェックイン時とチェックアウト時にもジオメトリが更新されます。**
- レイアウトアーティストがアーティクルのジオメトリを更新した後にプロジェクトのチェックアウトをキャンセルすると、環境設定で設定している場合は、ジオメトリが更新され、元の設定に復元されます。
- QuarkCopyDeskユーザーがアーティクルなどのコンテンツを更新し、リビジョンを保存すると、そのアーティクルの**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**更新状態**列に、**コンテンツに相違あり**と表示されます。QuarkXPressユーザーは、Ctrlキーを押しながらアーティクルをクリックするか右クリックして**コンテンツの更新**を選択するか、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウのツールバーにある**コンテンツの更新**ボタンをクリックするか、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**リンク**ビューのアセットのアイコンをダブルクリックして、コンテンツを更新できます。これにより、QuarkXPressユーザーは、テキストコンテンツまたは画像コンテンツのいかなる変更にも対応できます。プロジェクトとリンクの環境設定のペインでコンテンツを**自動更新するタイミング：チェックアウトがオンの場合、プロジェクトをチェックアウトすると、アーティクルのコンテンツが自動的に更新されます。 コンテンツを自動更新するタイミング：チェックイン／リビジョンの保存／出力**がオンの場合、プロジェクトのリビジョンの保存、プロジェクトのチェックイン、またはプロジェクトの出力を行うと、アーティクルのコンテンツが自動的に更新されます。

  画像は、ジオメトリを持たないため、常にセカンダリリンクとなります。しかし、アーティクルと異なり、画像は同じレイアウト内に複数回リンクすることができます。

➡ また、QuarkXPressユーザーは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**ジオメトリの更新**ドロップダウンメニューのアイコンからジオメトリを更新できます。Ctrlキーを押しながらアセットアイコンをクリックするか右クリックして**ジオメトリの更新**サブメニューからオプションを選択することによっても、ジオメトリの更新ができます。

➡ レイアウト作成者がアーティクルのジオメトリを更新すると、そのアーティクルの**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**更新状態**列に、**ジオメトリに相違あり**と表示されます。

アーティクルまたはコンポーネントのプライマリリンクを上書きするには、Shiftキーを押しながらアーティクルまたはコンポーネントをレイアウトにドラッグします。これにより、アーティクルまたはコンポーネントが現在のレイアウトでプライマリリンクとなり、古いプライマリリンクはセカンダリリンクに変換されます。

ドラッグによるアーティクルコンポーネントのリンク

ドラッグして1つのアーティクルをリンクするには、アーティクルコンポーネントを**ワークスペースブラウザ**ウィンドウから、テキストボックスまたは画像ボックスにドラッグします。ターゲットボックスの種類が、コンポーネントの種類と一致していない場合、Command／Ctrlキーを押しながらドラッグすると、ボックスがコンテンツを受け入れられるようになります。

複数のコンポーネントをリンクするには、それらのコンポーネントを**ワークスペースブラウザ**ウィンドウからページの空白部分にドラッグします。

または、複数のコンポーネントをボックスのグループにドラッグすることによって、それらのコンポーネントをドラッグ＆ドロップできます。ダイアログボックスによって、コンポーネントを適切なボックスにマッピングできます。

レイアウトにコンポーネントをリンクする場合、コンポーネントのジオメトリの有無にかかわらず、Quark Publishing Platformがコンポーネントの種類を割り当て、コンポーネントのボックスに名前を付けます。QuarkXPressのユーザーは、**アイテム**メニューの**設定**ダイアログボックスにある**コンポーネント**タブで、ボックスのコンポーネントの情報を表示できます。

ドラッグによるアーティクルのリンク

アーティクルまたはアーティクルテンプレートのいずれかをドラッグして、レイアウトにアーティクルをリンクできます。方法を下記のトピックで説明します。

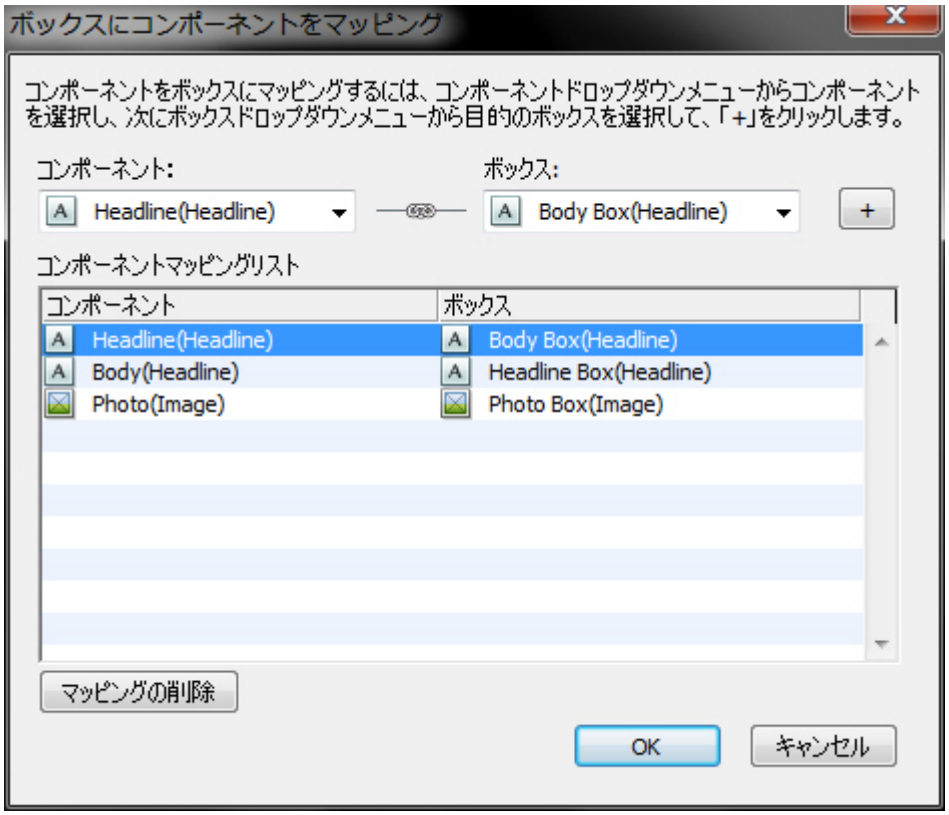
ドラッグ＆ドロップ操作をキャンセルするには、マウスボタンを放す前に、Escapeキーを押します。

アーティクルのドラッグ

下記の表では、レイアウト内のさまざまなターゲットにアーティクルをドラッグした場合の動作について説明しています。

ターゲット	結果
ページの余白部分	Quark Publishing Platformは、アーティクル内のすべてのコンポーネント用のボックスを作成します。アーティクルにジオメトリがある場合、Quark Publishing Platformは、コンポーネント用のボックスを作成するときに、そのジオメトリ（関連ジオメトリ含む）を使用します。アーティクルにテキストまたは画像がある場合はレイアウトに追加されます。テキストボックスのリンクは維持されます。 **割り当て**ダイアログボックスが表示されます。**割り当て**ダイアログボックスの左側にあるリストでは、1つのダイアログボックスからすべてのコンポーネントの属性を変更できます。**OK**をクリックすると、アーティクル全体がレイアウトにリンクされます。
2つ以上の選択されたリンクなしボックスの1つ	Quark Publishing Platformは、アーティクル内のコンポーネントを、コンテンツの種類、コンポーネントの種類、およびコンポーネント名に基づいて選択されたボックスにマッピングしようとします。それができない場合、**ボックスへのコンポーネントのマッピング**ダイアログボックス（下記参照）が表示され、コンテンツをボックスに手動でマッピングできます。

ターゲット	結果
	割り当てダイアログボックスが表示されます。**割り当て**ダイアログボックスの左側にあるリストでは、1つのダイアログボックスからすべてのコンポーネントの属性を変更できます。**OK**をクリックすると、マッピングされたコンポーネントがレイアウトにリンクされます。 Option／Altキーを押すと、既存のボックスが無視され、ページの空白部分にアーティクルをドラッグした場合とすべて同様の動作をします。
リンクなしボックス	アーティクルにコンポーネントが1つの場合、Quark Publishing Platformは、コンポーネントをボックスにマッピングしようとします。アーティクルにコンポーネントが複数ある場合、Quark Publishing Platformで**コンポーネントの選択**ダイアログボックスが表示され、コンポーネントとボックスのマッピングの組み合わせを指定することができます。 **割り当て**ダイアログボックスが表示されます。**OK**をクリックすると、コンポーネントがレイアウトにリンクされます。 Option／Altキーを押すと、既存のボックスが無視され、ページの空白部分にアーティクルをドラッグした場合とすべて同様の動作をします。
リンク付きボックス	何も起こりません。 Option／Altキーを押すと、既存のボックスが無視され、ページの空白部分にアーティクルをドラッグした場合とすべて同様の動作をします。



ボックスへのコンポーネントのマッピングダイアログボックス

ボックスへのコンポーネントのマッピングダイアログボックスで、左側のリストには、アーティクル内のボックスのコンポーネント名が表示されます。右側のリストには、レイアウト内のボックスのコンポーネント名が表示されます。コンポーネントをボックスにマッピングするには、コンポーネントの名前を**コンポーネント**ドロップダウンメニューから選択し、ボックスの名前を**ボックス**ドロップダウンメニューから選択してから、**+**をクリックします。この手順を、すべての対象コンポーネントをマッピングするまで繰り

返してから、**OK**をクリックします。すべてのコンポーネントをボックスにマッピングする必要はありません。

- マッピングを削除するには、マッピングを選択して、**マッピングを削除**をクリックします。

- テキストコンポーネントを画像ボックスに、または画像ボックスをテキストボックスにマッピングすると、コンポーネントのコンテンツに対応してボックスの種類が変更されます。

- ジオメトリを持つ複数のアーティクルまたはアーティクルテンプレートをレイアウトにドラッグする場合に、アーティクルまたはアーティクルテンプレートからコンテンツに対応するために十分なページがレイアウトにあるとき、Quark Publishing Platformは、ドロップする時点で最初のページのコンテンツを配置し、その後、残りのページのコンテンツを後続ページに配置します。レイアウトに十分なページがない場合、Quark Publishing Platformは、最後のページのコンテンツの前面に、残りのすべてのページからコンテンツを積み上げます。

アーティクルテンプレートのドラッグ

下記の表では、レイアウト内のさまざまなターゲットにアーティクルテンプレートをドラッグした場合の動作について説明しています。

ターゲット	結果
ページの余白部分	Quark Publishing Platformは、アーティクルテンプレート内のすべてのコンポーネント用のボックスを作成します。アーティクルテンプレートにジオメトリがある場合、Quark Publishing Platformは、コンポーネント用のボックスを作成するときに、そのジオメトリ（関連ジオメトリ含む）を使用します。アーティクルテンプレートにテキストまたは画像がある場合はレイアウトに追加されます。テキストボックスのリンクは維持されます。 また、Quark Publishing Platformは自動的にテンプレートからアーティクルを作成して、**割り当て**ダイアログボックスを表示します。**割り当て**ダイアログボックスの左側にあるリストでは、1つのダイアログボックスからすべてのコンポーネントの属性を変更できます。**OK**をクリックすると、新しいアーティクルがレイアウトにリンクされます。 これにより、標準的なレイアウトを使用するドキュメントをアーティクルテンプレートから簡単に作成することができます。
リンクなしボックス	既存のボックスが無視され、ページの空白部分にアーティクルテンプレートをドラッグした場合とすべて同様の動作をします。
リンク付きボックス	「*アーティクルのジオメトリの置換*」を参照してください。 Option／Altキーを押すと、既存のボックスが無視され、ページの空白部分にアーティクルテンプレートをドラッグした場合とすべて同様の動作をします。

- ジオメトリを持つ複数のアーティクルまたはアーティクルテンプレートをレイアウトにドラッグする場合に、アーティクルまたはアーティクルテンプレートからコンテンツに対応するために十分なページがレイアウトにあるとき、Quark Publishing Platformは、ドロップする時点で最初のページのコンテンツを配置し、その後、残りのページのコンテンツを後続ページに配置します。レイアウトに十分なページがない場合、Quark Publishing Platformは、最後のページのコンテンツの前面に、残りのすべてのページからコンテンツを積み上げます。

割り当てによるアーティクルのリンク

割り当てによってアーティクルをレイアウトにリンクするには、下記の手順に従ってください。

1. アーティクル用に、1つ以上のテキストボックスおよび画像ボックスを作成します。
2. アーティクル内に必要なボックスをすべて選択します。
3. **ワークスペースブラウザ**ウィンドウで、割り当てボタン  をクリックします。ボックスをOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**プラットフォーム > アーティクルとして割り当て**を選択することもできます。ボックスが画像ボックスの場合は、**プラットフォーム > 画像として割り当て**を選択して直接リンクを作成できます。
4. ダイアログボックスが表示されます。必要なフィールドに入力します。たとえば、あるユーザーに対して、状況を設定し、アーティクルをルーティングするとします。
5. **OK**をクリックします。

レイアウトへのテキストファイルのリンク

下記の形式のテキストファイルをレイアウトにリンクできます。

- Microsoft Word .doc
- Microsoft Word .docx
- RTF
- プレーンテキスト

テキストファイルをレイアウトにリンクするには、テキストファイルをテキストボックスまたはページの余白部分ににドラッグします（また、Command/Ctrlキーを押しながら、ファイルを画像ボックスまたはコンテンツなしボックスにドラッグします）。Quark Publishing Platformはテキストファイルを、単一のテキストコンポーネントおよび、ジオメトリなしまたはページ画像なしのアーティクルとして扱います。

テキストファイルをレイアウトにリンクした後は、QuarkXPress、QuarkCopyDesk、またはQuark Publishing Platform Clientで、テキストファイルをチェックアウトして変更することができます（ただし、InDesignおよびInCopyと一緒にQuark Publishing Platformを使用している場合は、この操作を実行できないことに注意してください）。

QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskでは、リンクされたテキストファイルをチェックアウトして、QuarkXPressまたはQuarkCopyDesk上でコンテンツに変更を加えてから、新しいリビジョンとしてチェックインできます。

同様に、Quark Publishing Platform Clientユーザーは、レイアウトにリンクされているテキストファイルをチェックアウトして、テキスト編集アプリケーションでコンテンツを変更し、それをチェックインできます。リンクとしてテキストファイルを含むすべてのQuarkXPressのレイアウトまたはInDesignドキュメントでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**更新状態**列に**コンテンツに相違あり**と表示されるので、**コンテンツの更新**を選択してテキストファイルのコンテンツの最新版を取得できます。

レイアウトへの画像のリンク

画像リンクには2種類あります。*直接リンク*および*コンポーネントリンク*です。直接リンクでは、レイアウトに画像のみをリンクします。コンポーネントリンクでは、1つの画像コンポーネント（画像を含む）を持つ新しいアーティクルをレイアウトにリンクします。

画像アセットをレイアウトにリンクするには、画像ファイルを画像ボックスまたはページの余白部分ににドラッグします（また、Command／Ctrlキーを押しながら、ファイルをテキストボックスまたはコンテンツなしボックスにドラッグします）。**画像の割り当て**ダイアログボックスが表示され、画像の属性を変更できます。

アンカーされた画像ボックスに画像をリンクできますが、直接リンクとしてのみリンクできます。

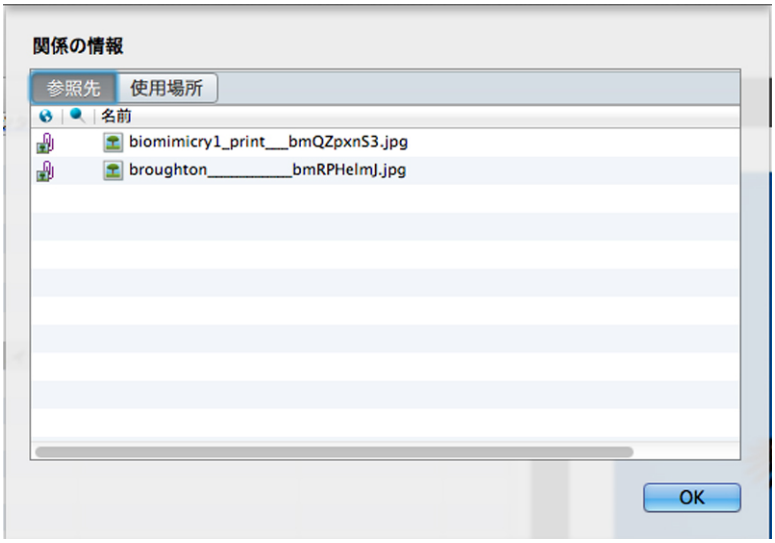
リフローアーティクルへのマルチメディアアセットのリンク

QuarkXPressでリフローアーティクルを使用する場合、書き出したePUB形式の電子書籍で表示するために、画像やオーディオ、ビデオのQuark Publishing Platformアセットを画像ボックスと関連付けることができます。リフローアーティクルでQuark Publishing Platformのオーディオアセットやビデオアセットを使用するには、『QuarkXPressガイド』の説明に従ってオーディオコンポーネントやビデオコンポーネントを追加します。 **インタラクティブ属性**ダイアログボックスが表示されたら、**リンク**ボタンではなく、Quark Publishing Platformボタンをクリックします。

リンクのトラッキング

リンクにより、管理者は、どのアセットがどのレイアウトで使用されているのかを簡単に判断できます。管理者は、下記の方法でアセットの使用状況の情報を取得できます。

- **ワークスペースブラウザ**ウィンドウで、アーティクルまたはコンポーネントをCtrlキーを押しながらクリックするか右クリックして、**関係の情報**を選択します。**関係の情報**ダイアログボックスに、コンポーネントが使用されているプロジェクトが表示されます。リンクされている画像がアーティクルに含まれている場合は、**参照先**タブに、アーティクルと関係のある画像が表示されます。各プロジェクトでは、コンポーネントが使用されているレイアウトとページ番号がダイアログボックスに表示されます。



関係の情報ダイアログボックス

➡ **プレビュー**ペインの下部にあるタブでも、同じ情報を表示できます。

- **表示モード**ドロップダウンメニューから**プロジェクトとページ**を選択し🖥、パレット内でプロジェクトを展開して、プロジェクトにリンクされているコンポーネントを表示します。各プロジェクトでは、コンポーネントが使用されているレイアウトとページ番号がダイアログボックスに表示されます。

コンポーネントの分離

コンポーネントをレイアウトから分離する際には、Quark Publishing Platformはコンポーネントの種類によって、異なる分離方法を実行します。

- 画像コンポーネントを分離する場合、ダイアログボックスで、レイアウトから画像を削除するか、画像ファイルのリンクされたローカルコピーを保存するかどうかを選択します。
- テキストコンポーネントを分離する場合、デフォルトでは、テキストボックスとコンテンツがレイアウトに残ります。分離プロセスでテキストボックスとコンテンツも削除するには、Option／Altキーを押しながら、**分離**ボタンをクリックします。また、必要に応じて、Shift+Deleteキーを押すか、または、アイテムを選択してからDeleteキーを押して**続ける**をクリックしても、アイテムを削除して分離することができます（デフォルトでは、**以下の場合に警告を表示しない：**サーバーリンクが含まれているボックスを削除の環境設定はオンになっています。このため、**続ける**を押す必要はありません。）

  コンポーネントを分離するには、レイアウト内のコンポーネントを選択してから**プラットフォーム > 分離**を選択します。または、レイアウト内のコンポーネントをControlキーを押しながらクリックするか右クリックして、コンテキストメニューから**分離**を選択します。

レイアウトへのデジタルアセットのリンク

QuarkXPress用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアがインストールされている場合、**HTML5**パレットを使用して、HTML5オブジェクトに画像、ビデオおよびオーディオのQuark Publishing Platformアセットをリンクできます。このようなアセットは、一般に、デジタルアセットと呼ばれます。

Quark Publishing PlatformアセットをHTML5オブジェクトに追加するには、**HTML5**パレットの**Quark Publishing Platform**をクリックして、次に、**Quark Publishing Platformを参照**をクリックします。

チェックインしてプロジェクトのリビジョンを保存すると、**ワークスペースブラウザ**で、そのボックスに複数のアセットがリンクされていることが表示されます（レイアウトにリンクされているデジタルアセットは、オーバーレイアセットと呼ばれ、アイコンで示されます）。

QuarkXPressの**使用状況**ダイアログボックス（**ユーティリティ**メニュー）では、Quark Publishing Platformから追加されたデジタルアセットは、**ソース**列に**プラットフォーム**と表示されます。

アセット関連のすべての権限が、オーディオやビデオのアセットに対して適用されます。

➡ App Studioの詳細は、『**A Guide to App Studio**』を参照してください。

➡ **HTML5**パレットを使用してリンクされたリンクは、**プロジェクトリンク**パレットには表示されません。

➡ QPSでAVE形式のコンテンツを作成する方法の詳細は、『A Guide to QPS』を参照してください。

アーティクルのジオメトリの置換

QuarkXPressでは、リンクされたアーティクルのジオメトリを、アーティクルテンプレートからのジオメトリで置換できます。これを実行するには、既存のリンクされたアーティクルの一部であるボックスに、アーティクルテンプレートをドラッグします。Quark Publishing Platformは、アーティクルテンプレートのコンポーネントを、コンテンツのカテゴリ、コンポーネントの種類、およびコンポーネント名に基づいて、適切なボックスに自動的にマッピングしようとします。

➡ Quark Publishing Platformがコンポーネントを自動的にマッピングするためには、アーティクルテンプレート内のコンテンツの種類、コンポーネントの種類、およびコンポーネント名が、アーティクル内のコンテンツの種類、コンポーネントの種類、およびコンポーネント名に完全に一致している必要があります。

ライブラリの使用

Quark Publishing PlatformからQuarkXPressライブラリをチェックインまたはチェックアウトして、他の種類のアセットのようにルーティングや状況の変更などを実行できます。

QuarkXPress内からオープンライブラリをQuark Publishing Platformにチェックインするには、ライブラリを開いてから**プラットフォーム > ライブラリのチェックイン**を選択します。1つ以上のライブラリが開いている場合は、最前面のライブラリがチェックインされます。

デフォルトでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでライブラリをダブルクリックすると、そのライブラリの読み取り専用コピーが開きます。ライブラリをダブルクリックしたときの動作を変更するには、**QuarkXPress／編集 > 環境設定 > Quark Publishing Platform > ワークスペース > マウス設定**タブの**> QuarkXPressライブラリ**領域にあるコントロールを使用します。

ライブラリを使用する場合、以下のことに注意してください。

- Mac OSで作成されたライブラリは、Windowsでは開けません。また、Windowsで作成されたライブラリも、Mac OSでは開けません。
- **ワークスペースブラウザ**ウィンドウでライブラリのプレビューを確認することはできません。

➡ ライブラリは、QuarkXPressプロジェクトとして同じメタデータを使用します。

➡ ライブラリをレイアウトにリンクすることはできません。

ライブラリと画像コンポーネント

リンクされた画像を含む画像ボックスをライブラリにドラッグして、ライブラリをQuark Publishing Platformにチェックインすると、画像リンクは維持されます。画像ボックスをライブラリから別のレイアウトにドラッグすると、新しい画像リンクが新しいレイアウト内に作成されます。そのため、その後Quark Publishing Platformで画像を更新すると、新しいレイアウト内の画像が更新されます。

ただし、テキストボックスでは動作が異なります。リンクされたアーティクルを含むテキストボックスをライブラリからレイアウトにドラッグすると、Quark Publishing Platformは単にQuark Publishing Platformへのリンクのないテキストボックスのコピーを作成します。

編集不可モードを使用したアセットの表示

アセットの編集不可バージョンを開くには、**ワークスペース**ウィンドウでアセットを選択して**編集不可**をクリックします。編集不可のアセットが、Quark Publishing Platformのローカルファイルフォルダにコピーされ、アセットが編集不可モードで開きます。

編集不可のコピーを基にしてファイルを作成するには、**ファイル > 新規保存**を選択してアセットを作成します。アセットをチェックインするには、新規ファイルのチェックイン権限が必要です。

➡ QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressの場合は、**チェックアウト**ダイアログボックスで**編集不可**ボタンをクリックすると、アセットを編集不可モードで開くことができます。

パブリッシングアセット

Quark Publishing Platformアセットを発行して、発行したコピーをワークステーションに保存するには、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウ内でアセットを選択して**発行**を選択するか、アセットを右クリックして**発行**を選択します。 **発行**ダイアログボックスが表示されます。 このダイアログボックスを使用して、アセットを発行する形式を指定できます。

発行ダイアログでは、サポートされている下記の形式のいずれかでレイアウトを発行できます。

- **App Studioアーティクル**： App Studioアーティクル内のApp Studioレイアウトから、App Studioアーティクルが作成されます（詳細は、『A Guide to App Studio』を参照してください）。App StudioアーティクルをApp Studio Publishing Portalにアップロードできるようにするには、QuarkXPress ServerでApp Studio Publishing Portalの資格情報を入力する必要があります。詳細は、『QuarkXPress Serverガイド』を参照してください。
- **App Studioパッケージ**： App Studioパッケージが作成されます。
- **ePUB**：印刷レイアウトまたはApp Studioレイアウトのリフローアーティクルから、ePUBファイルが作成されます。このオプションは、レイアウトにリフローアーティクルが含まれている場合のみ利用できます（詳細は、『QuarkXPressガイド』の「リフロービューの使用」を参照してください）。使用するレイアウトと書き出しの設定を指定できます。

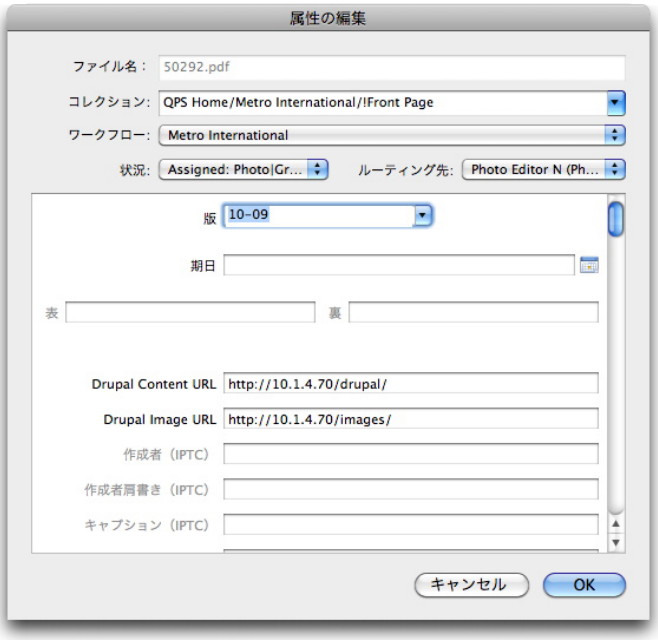
- **出力ファイルの収集**：、選択されたアセットをすべての参照（画像、オーディオ、ビデオ、参照XML）とともに、特定の場所にある構成済みの配信チャンネルへ配信します。
- **HTML**：選択したアセットをHTMLとして発行します。
- **PDF**：QuarkXPressプロジェクト内の印刷レイアウトまたはApp Studioレイアウトを PDF形式にします。使用するレイアウトとPDF出力スタイルを指定できます。
- **QuarkXPressプロジェクト**：選択したアセットをQuarkXPressプロジェクトとして発行します。

属性情報の表示および編集

チェックイン、**リビジョンの保存**、および**属性の編集**ダイアログボックスでアセットの属性を表示および編集できます。アセットを開かずに属性を表示および編集するには、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**属性の編集**コマンドを使用します。

属性の編集を使用するには、下記の手順に従ってください。

1 **ワークスペース**ウィンドウのアセットを選択し、**属性の編集**をクリックします。**属性の編集**ダイアログボックスが表示されます。



アセットをチェックアウトせずにアセットの属性を表示および編集するには、**属性の編集**ダイアログボックスを使用します。

➡ 編集不可の属性は、アプリケーションによって自動的に管理されるか、ユーザーの権限または状況に基づいて制限されます。すべての属性を表示できますが、編集できない属性がある場合もあります。

➡ 自動ルールが適用されている場合、アセットの状況を変更すると、**ルーティング先**の値が変更される可能性があります。状況が変更されると、アセットの種類に指定されているQuark Publishing Platformの制限が変更される可能性があります。

2 属性の編集が終了したら、**OK**をクリックします。

➡ この機能は、アセットをチェックアウトして別のリビジョンを作成することなく、アセットを別のユーザーにルーティングする場合に特に役立ちます。

➡ このダイアログボックスは、アセットを1つのコレクションから別のコレクションにドラッグしたときにも表示されます。対象のコレクションにアセットを移動できない場合は、ダイアログボックスを使用してアセットの他の属性を編集できます。

アセットのリビジョンの保存

アセットに対する最新の変更を反映させてQuark Publishing Platform Serverを更新するには、**リビジョンの保存**コマンドを使用します。

- QuarkCopyDeskでアクティブなアーティクルのリビジョンを保存するには、**プラットフォーム > アーティクルリビジョンの保存**を選択します。
- QuarkXPressでチェックアウトされたアクティブなアーティクルまたはプロジェクトのリビジョンを保存するには、**プラットフォーム > アーティクルリビジョンの保存**または**プラットフォーム > プロジェクトリビジョンの保存**を選択します。
- Quark Publishing Platform Clientでアクティブなアセットのリビジョンを保存するには、Quark Publishing Platform Clientツールバーの**リビジョンの保存**をクリックします。

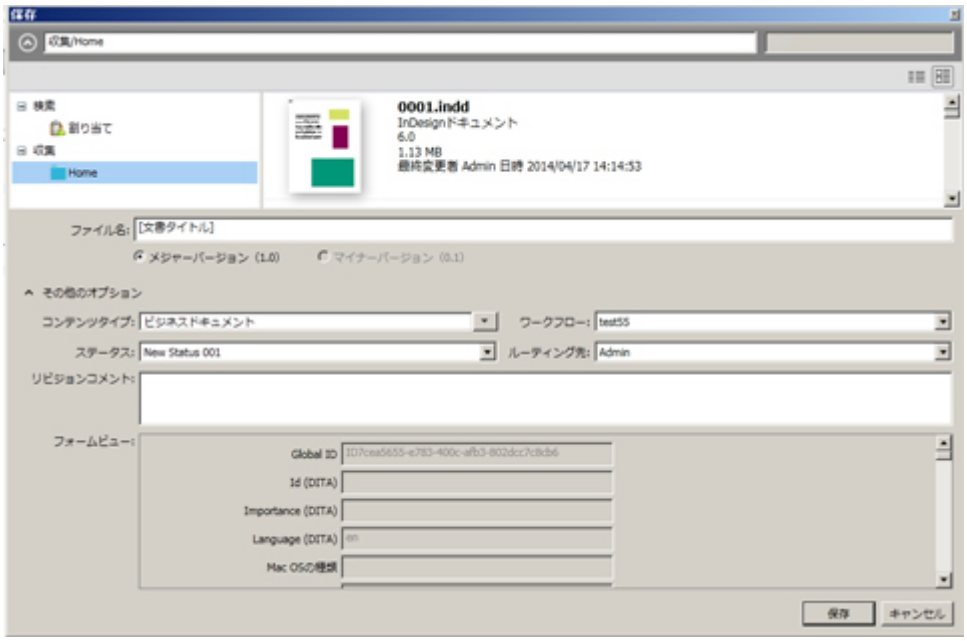
Microsoft Office用Platform adapter

Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）ドキュメントのリビジョンは、下記のコマンドを使用してPlatformサーバーへ保存できます。

- **ファイル**メニューの**情報**タブから、**リビジョンをサーバーに保存**コマンドを使用します。このコマンドは、Quark Publishing Platform Serverを最新の変更内容で更新しますが、ドキュメントは開いたままで、編集を続行できます。

新規アセットの保存

新しいアセットのバージョンを保存するには、このコマンドを選択して、**保存**ダイアログを開きます。



1 コレクションのリストから、目的のコレクションを選択します。

2 **ファイル名**フィールドに、ドキュメントのファイル名を入力します。

3 アセットをメジャーバージョン番号とマイナーバージョン番号のどちらで保存するかを指定するには、**メジャーバージョン（1.0）**または**マイナーバージョン（0.1）**をクリックします。

➡ **マイナーバージョン（0.1）**オプションの使用は、権限によって制御されています。

4 必要なら**その他のオプション**をクリックし、利用可能な他の属性フィールドを変更します。これらの属性フィールドにアクセスできるかどうかは、ユーザーの権限によって決まります。

5 **コンテンツタイプ**ドロップダウンメニューから、コンテンツタイプを選択します。

6 **ワークフロー**ドロップダウンメニューからワークフローを選択します。

7 アセットの現在の状況を指定するには、**状況**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

8 アセットを特定のユーザーまたはグループに送信するには、**ルーティング先**ドロップダウンメニューからオプションを選択します（ワークフローで状況に基づいた自動ルーティングを実行している場合に、**状況**ドロップダウンメニューからオプションを選択すると、**ルーティング先**ドロップダウンメニューの値が自動的に変更される可能性があります）。

➡ アセットを初めてチェックインするときに**ルーティング先**ドロップダウンメニューから名前を選択しないと、そのアセットはアクティブなユーザーにルーティングされます。

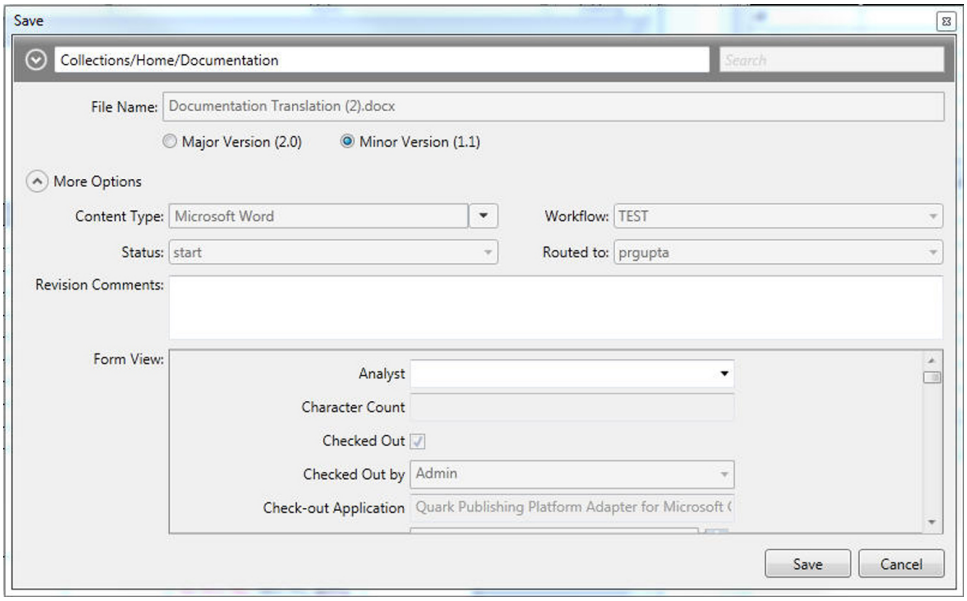
9 **リビジョンコメント**フィールドを使用して、チェックインするアセットのバージョンのリビジョンコメントを入力します。リビジョンコメントはアセットに保存されます。アセットをチェックアウトするユーザーの環境設定に応じて、チェックアウトプロセス中にリビジョンコメントが表示されます。リビジョンコメントは、アセットのリビジョンを表示する場合にも表示されます。

10 必要に応じて、その他の属性フィールドを変更してください。これらの属性フィールドにアクセスできるかどうかは、ユーザーの権限によって決まります。

11 **保存**をクリックします。環境設定に応じて、チェックインプロセスが完了すると、Quark Publishing Platform Serverからアセットのローカルコピーが削除されます。

既存のアセットの保存

既存のアセットのリビジョンを保存するには、このコマンドを選択して、**保存**ダイアログを開きます。



1 アセットをメジャーバージョン番号とマイナーバージョン番号のどちらで保存するかを指定するには、**メジャーバージョン（1.0）**または**マイナーバージョン（0.1）**をクリックします。

➡ **マイナーバージョン（0.1）**オプションの使用は、権限によって制御されています。

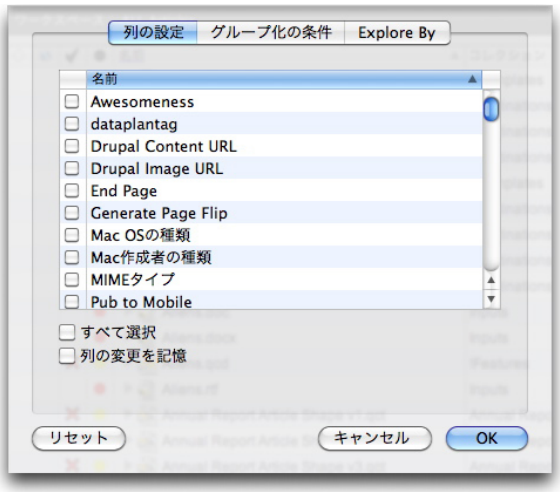
2 **リビジョンコメント**フィールドを使用して、チェックインするアセットのバージョンのリビジョンコメントを入力します。リビジョンコメントはアセットに保存されます。アセットをチェックアウトするユーザーの環境設定に応じて、チェックアウトプロセス中にリビジョンコメントが表示されます。リビジョンコメントは、アセットのリビジョンを表示する場合にも表示されます。

3 必要なら**その他のオプション**をクリックし、利用可能な他の属性フィールドを変更します。これらの属性フィールドにアクセスできるかどうかは、ユーザーの権限によって決まります。

4 **保存**をクリックします。環境設定に応じて、チェックインプロセスが完了すると、Quark Publishing Platform Serverからアセットのローカルコピーが削除されます。

検索結果ペインのカスタマイズ

検索結果ペインに表示する列を指定するには、Controlキーを押しながら列見出しをクリック／右クリックし、**現在の表示のカスタマイズ**を選択します。**列の設定**タブが表示されます。



Quark Publishing Platform Clientウィンドウに表示する属性列を選択するには、**列の設定**タブを使用します。

- 表示する属性列はチェックボックスをオンに、表示しない属性列はチェックボックスをオフにします。表示または非表示にする列を個別にオンまたはオフにするか、または**すべて選択**チェックボックスをオンにして、属性を一括でオンまたはオフにします。

➡ サムネールアセットプレビューを表示するように、**サムネール**列を追加することができます。

- 列の表示を維持するには、**列の変更を記憶**チェックボックスをオンにします。

ワークスペースブラウザで詳細検索の表示を有効にする権限がある場合、**グループ化の条件**タブと**検索の条件**タブが表示されます。

属性値で結果をグループ化するには、**グループ化の条件**タブを使用します。

リンクの表示を制御するには、**検索の条件**タブを使用します。

- **関係の情報を表示する**：プロジェクトを展開してリンクを表示できます。
  - **アセット使用状況の表示（プロジェクトモード）**：まず、プロジェクトとリンクが表示されます。続いて、他のレイアウトにリンクされているアセットが表示されます。次に、リンクされていないアセットが表示されます。
  - **関連アセットの表示**：プロジェクトを展開してリンクを表示できます。
    - **レイアウトとページの表示**：プロジェクトを展開してレイアウトとページを表示できます。また、各リンクのリンク先のレイアウトとページが表示されます。
- **コレクションの階層を表示**：アセットがコレクションの階層で表示されます。

Quark Publishing Platform Clientの環境設定

Quark Publishing Platform Clientの環境設定を行うには、**Quark Publishing Platform Client > 環境設定**を選択します。ダイアログボックスを使用して、**ワークスペース**と警告表示のオプション、ファイル管理のルール、その他のデフォルト設定を指定します。ほとんどの環境設定はQuark Publishing Platform Serverに保存されるため、それらの設定は、ワークステーションの設定に関係なく、ログオンするときに入力するユーザー名に適用されます。

全般ペイン

全般ペインには、**基本**、**通知**、**マウス設定**という3つのタブがあります

基本タブ

全般ペインの**基本**タブには、Quark Publishing Platform Clientの基本的な環境設定があります。



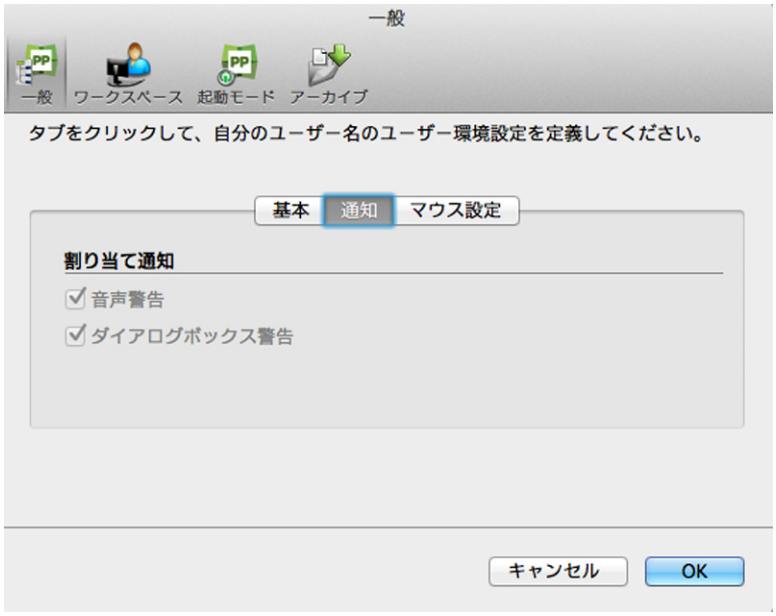
環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**基本**タブ

- **その他のチェックイン**コマンドを使用する際に、常にオリジナルファイルを維持するには、**その他のチェックインのローカルシステムからオリジナルファイルを削除**チェックボックスをオフにします。**その他のチェックインのローカルシステムからオリジナルファイルを削除**チェックボックスをオンにすると、**その他のチェックイン**コマンドを使用するたびに警告メッセージが表示され、選択したファイルを維持するか削除するかを指定できます。
- **グローバル警告：アセットを削除する前に必ず警告**チェックボックスをオンにすると、Quark Publishing Platform ClientでQuark Publishing Platformアセットを削除するたびに警告が表示されます。

- チェックアウト済みアセット、およびQuarkXPressプロジェクトにリンクされているアセットを削除しようとした場合の、Quark Publishing Platform Clientの応答方法を指定するには、**アセット削除オプション**領域の**チェックアウト済みアセット**および**参照されているアセット**ドロップダウンメニューを使用します。どちらのオプションでもコントロールは同じです。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを警告を表示せずに削除するには、**警告を表示しないでアセットを削除**を選択します。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを削除しないようにするには、**削除を許可しない**を選択します。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを削除するたびに警告を表示して削除するかどうか決定できるようにするには、**削除する前に常に尋ねる**を選択します。
- チェックアウト済みアセットおよび編集不可アセットを作業中に一時的に保存する場所を指定するには、**位置オプション**領域の**参照**をクリックして場所を選択します。**チェックアウト済みアセット**フィールドにパスが表示されます。
- Quark Publishing Platformワークフローに使用する垂直および水平の単位を指定するには、**水平方向単位**および**垂直方向単位**ドロップダウンメニューからオプション（**インチ**、**インチデシマル**、**パイカ**、**ポイント**、**ミリメートル**、**センチメートル**、**シセロ**、**エゲート**、および**Q**）を選択します。
- 以降アセットの状況を選択する際に、状況レベルで指定した権限設定を維持するには、**状況ベースの権限変更を以降の状況に適用**チェックボックスをオンにします。

通知タブ

全般ペインの**通知**タブには、通知に関連したQuark Publishing Platform Clientの環境設定が表示されます。



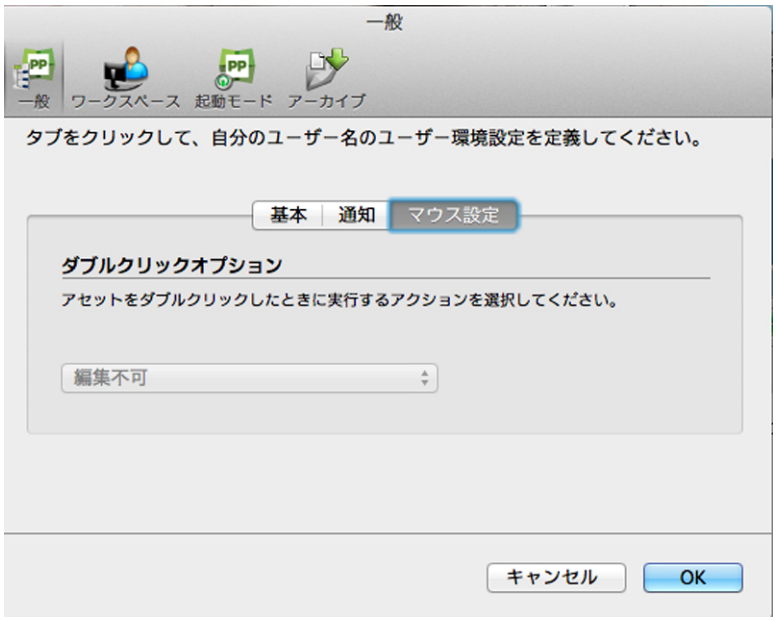
環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**通知**タブ

- ログオンしている間に自分にルーティングされてくるアセットの通知方法を指定するには、**割り当て通知**エリアのコントロールを使用します。アセットが自分宛てにルーティングされた場合に音声が聞こえるようにするには、**音声警告**をオンにします。自分宛てにルーティングされたアセットを示したダイアログボックスが表示されるようにするには、**ダイアログボックス警告**をオンにします。

マウス設定タブ

ワークスペースウィンドウでアセットをダブルクリックしたときの動作を指定するには、**ダブルクリックオプション**エリアのドロップダウンメニューをクリックし、**チェックアウト**、**属性の編集**、または**編集不可**を選択します。

➡ **チェックアウト**を選択した場合、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでチェックアウト済みアセットをダブルクリックすると、**チェックイン**ダイアログボックスが表示されます。



環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**マウス設定**タブ

ワークスペースペイン

ワークスペースペインには、**ワークスペース**ウィンドウで、リビジョンのコメント、アセットのプレビュー、およびテキストの表示方法を指定するためのコントロールがあります。



ワークスペースダイアログボックスの**ワークスペース**ペイン

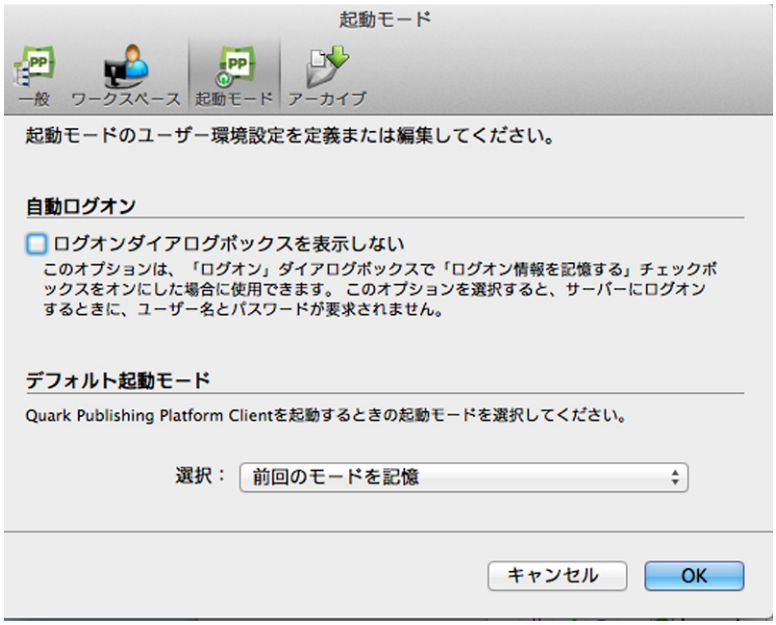
- **ワークスペース**ウィンドウでアセットを表示するのに使用するフォントおよびフォントサイズを指定するには、**フォントオプション**領域のドロップダウンメニューからオプションを選択します。

Mac OSでは、ボールドタイプのないフォントを選択すると、拡張検索表示にすべての見出しがプレーンテキストで表示されます。たとえば、**版とページ**表示オプションを選択すると、**未リンク**および**コレクション名**は、ボールドで表示されません。

- 割り当てをチェックアウトするときにリビジョンコメントを表示する方法を指定するには、**リビジョンコメント**領域のドロップダウンメニューから、**常に表示する**、**常に表示しない**、または**新規割り当てのときのみ表示する**を選択します。
- **ワークスペース**ウィンドウでアセットのサムネールプレビューのサイズをコントロールするには、**アセットのサムネールサイズ**領域のスライダを調節します。
- **表示 > 名前**サブメニューから**サムネール**、**フィルムストリップ**、または**詳細サムネール表示**を選択する場合、表示されるサムネールプレビューのボーダーにアセットの状況カラーを表示するには、**サムネールの周りに状況カラーを表示**をオンにします。
- **サブコレクションを表示**をオンにすると、サブコレクションが表示されます。 サブコレクションは、ワークスペースブラウザウィンドウのメイン領域のすぐ上に表示されます。これらは、選択したビュー（サムネール、リストなど）で表示されます。

起動モードペイン

起動モードペインには、Quark Publishing Platform Clientを起動するときにログオンするためのコントロールがあります。

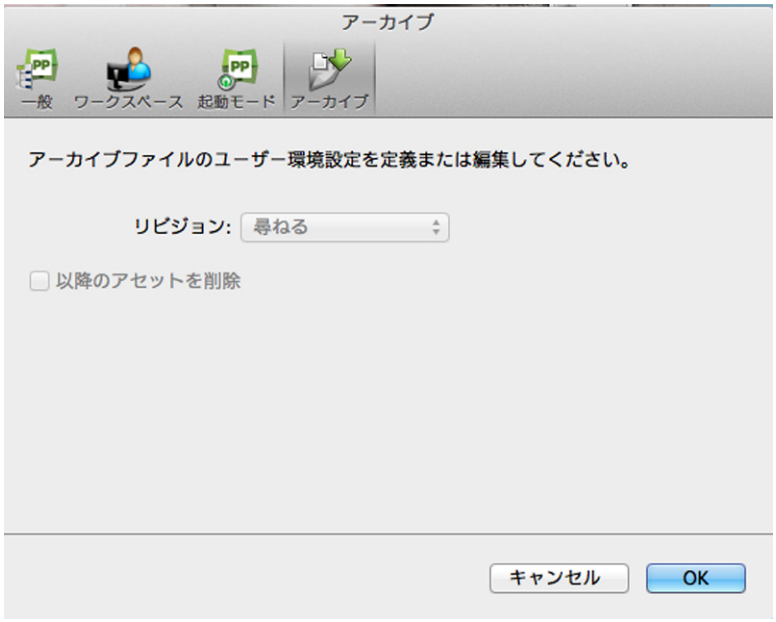


環境設定ダイアログボックスの**起動モード**ペイン

- **ログオン**ダイアログボックスで**ログオン情報を記憶する**をオンにした場合は、**ログオンダイアログボックスを表示しない**をオンにすると、Quark Publishing Platform Clientの起動時にQuark Publishing Platformに自動的にログオンできます。このチェックボックスは**ログオン**ダイアログボックスの下部にも表示されます。
- Quark Publishing Platform Clientアプリケーションを次回起動するときの起動方法を指定するには、**デフォルト起動モード**エリアでオプションを選択します。オプションには、**前回のモードを記憶**と**私の前回のモードを記憶しない**があります。

アーカイブペイン

アーカイブペインでは、アセットをアーカイブする場合のリビジョンの処理およびアセットの削除を制御できます。



環境設定ダイアログボックスの**アーカイブ**ペイン

Quark Publishing Platformの環境設定：QXP

環境設定ダイアログボックス（**QuarkXPress／編集**メニュー）の**Quark Publishing Platform**ペインを使用して、QPSのアセット、割り当て、および検索パラメータを処理する場合のデフォルトの動作を指定できます。**アセットチェックアウト用のデフォルトパスを使用**および**ログオンダイアログボックスを表示しない**の環境設定を除いて、他のすべてのQuark Publishing Platform環境設定はQuark Publishing Platform Serverに保存されます。環境設定は、ワークステーションの設定に関係なく、ログオン時に入力するユーザー名に適用されます。

QXP環境設定：全般ペイン

環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインには、**基本**、**通知**、および**自動ログオン／ログオフ**という3つのタブがあります。

QXP環境設定：全般 > 基本

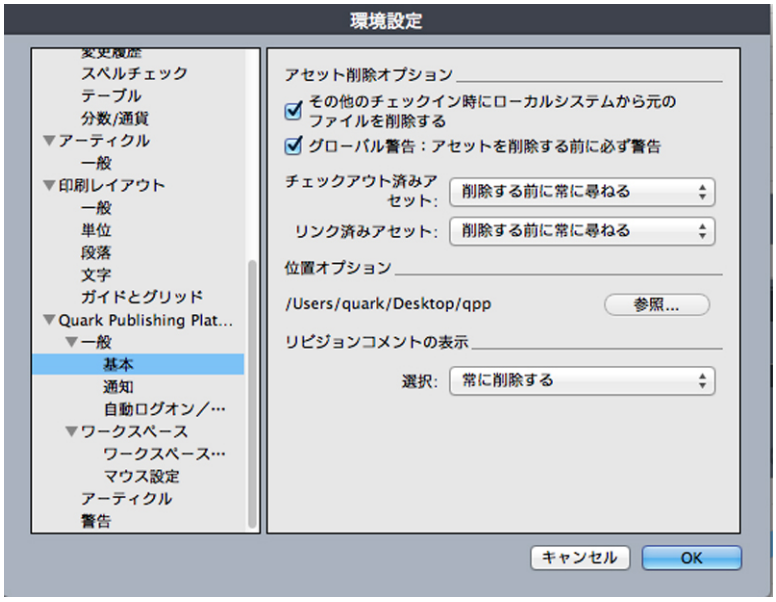
チェックアウトされたアセットとQuarkXpressプロジェクトにリンクされたアセットが削除されようとするときのアプリケーションの対応を指定するには、**基本**タブの**アセット削除オプション**エリアにあるコントロールを使用します。

- **その他のチェックイン**コマンドを使用する際に、常にオリジナルファイルを維持するには、**その他のチェックインのローカルシステムからオリジナルファイルを削除**チェックボックスをオフにします。**その他のチェックインのローカルシステムからオリジナルファイルを削除**チェックボックスをオンにすると、**その他のチェックイン**コマンドを使用するたびに警告メッセージが表示され、選択したファイルを維持するか削除するかを指定できます。
- **グローバル警告：Quark Publishing Platformアセットを削除しようとするたびに警告が表示されるようにするには、アセットを削除する前に必ず警告**をオンにします。

- これらのコントロールは、**チェックアウト済みアセット**および**リンク済みアセット**ドロップダウンメニューの場合と同じです。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを警告を表示せずに削除するには、**警告を表示しないでアセットを削除**を選択します。チェックアウト済みアセットまたはリンク済みアセットが削除されないように保護するには、**削除を許可しない**を選択します。チェックアウト済みアセットまたはリンク済みアセットを削除しようとするたびに警告が表示されるようにするには、**削除する前に常に尋ねる**を選択します。

  アセットを使用して作業する間にそれらのアセットを一時的に保存する場所を指定するには、**位置オプション**エリアで**参照**をクリックします。保存先のフォルダまで移動し、**選択／OK**をクリックします。

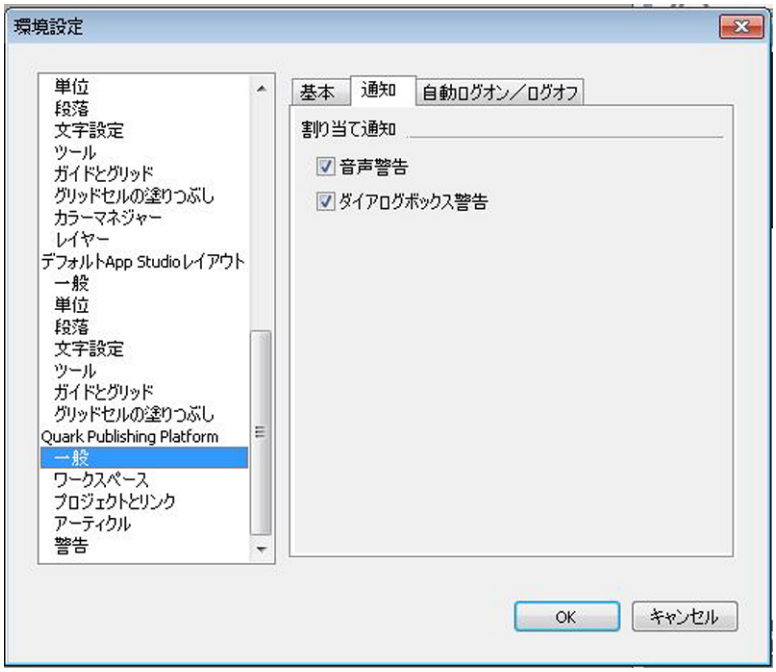
  リビジョンコメントの表示方法を設定するには、**リビジョンコメントの表示**エリアで、**選択**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。



環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**基本**タブ

QXP環境設定：全般 > 通知

通知タブでは、ログイン中に自分宛てにルーティングされたアセットの通知方法を指定できます。アセットが自分宛てにルーティングされた場合に音声が聞こえるようにするには、**音声警告**をオンにします。自分宛てにルーティングされたアセットを示したダイアログボックスが表示されるようにするには、**ダイアログボックス警告**をオンにします。

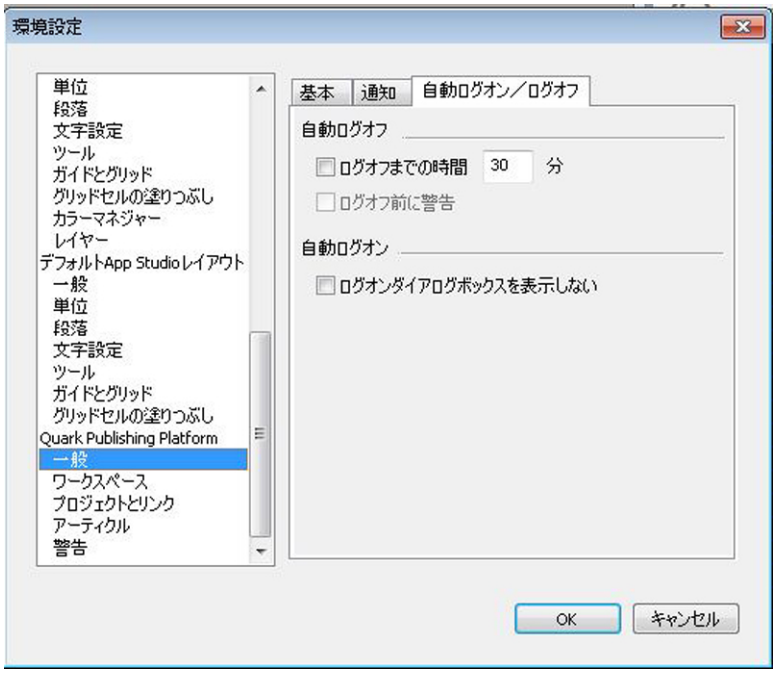


環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**通知**タブ

QXP環境設定：全般 > 自動ログオン／ログオフ

自動ログオフ設定領域では、自動的にログオフされるまでに経過しなければならない非アクティブ状態の間隔を指定します。自動的にログオフされる前に警告メッセージを受け取るようにするには、**ログオフ前に警告**をオンにします。

Quark Publishing Platform Serverでの次のログオン時に**ログオン**ダイアログボックスが表示されないようにするには、**ログオン**ダイアログボックスで、**以後このダイアログボックスを表示しない**と**ログオン情報を記憶する**をオンにします。次にコマンドを選択するときに**ログオン**ダイアログボックスが再び表示されるようにする場合は、**自動ログオフ設定**領域の**ログオンダイアログボックスを表示しない**をオフにします。



環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**自動ログオフ**タブ

QXP環境設定：ワークスペースペイン

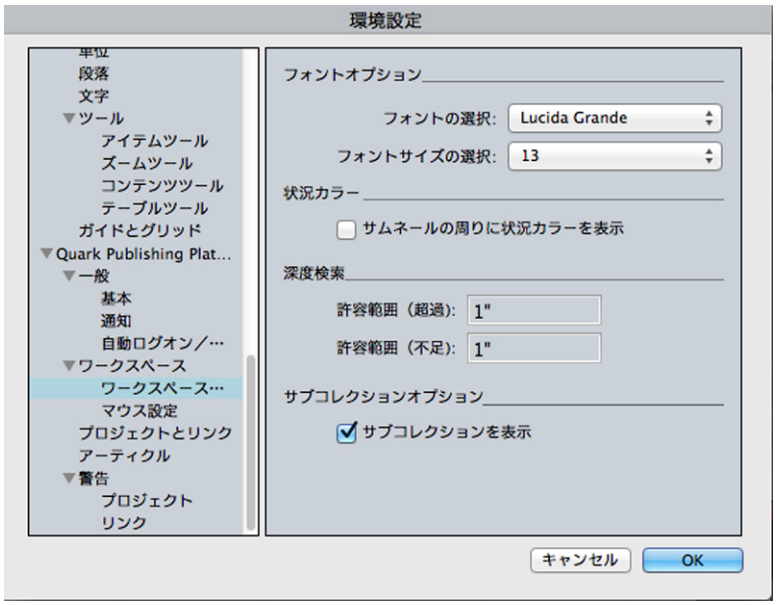
環境設定ダイアログボックスの**ワークスペース**ペインには、**ワークスペースブラウザ**と**マウス設定**という2つのペインがあります。

QXP環境設定： ワークスペース > ワークスペースブラウザ

ワークスペースブラウザタブでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの検索結果ペインの表示に使用するフォントとフォントサイズ、サムネールの周囲に状況カラーを表示するかどうか、サブコレクションを表示するかどうかを選択できます。

QuarkXPressでのデフォルトの**テキストボックスに合わせる - 高さ**のパラメータを指定するには、**テキストフィット検索**エリアのフィールドを使用します。テキストボックスを選択し、**Quark Publishing Platform > 保存済み検査 > テキストボックスに合わせる - 高さ**を選択すると、Quark Publishing Platformはテキストチェーン全体（複数のリンクされたテキストボックスを含む）の長さを計算し、この使用可能なスペースを**許容範囲（超過）**フィールドおよび**許容範囲（不足）**フィールドの値と比較します。

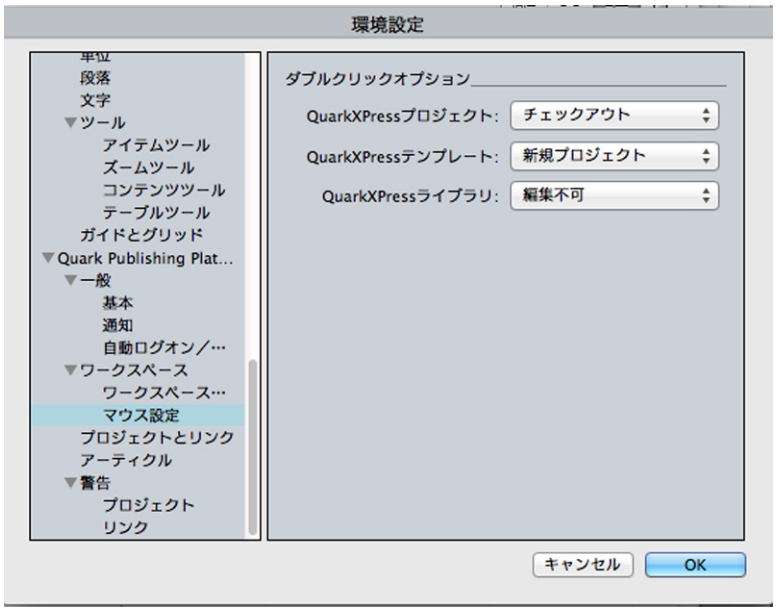
- **許容範囲（超過）**フィールドの値と、選択したテキストチェーンの使用可能なスペースは、**テキストフィット**検索を選択するときに**ワークスペースブラウザ**ウィンドウに表示される最大アーティクル長と等しくなります。たとえば、**許容範囲（超過）**の値が2インチでテキストチェーンの長さが4インチの場合は、検索を実行すると、6インチ（**許容範囲（超過）**の設定と使用可能なスペースの和）未満のアーティクルが返されます。
- 選択したテキストチェーンで使用可能なスペースから**許容範囲（不足）**フィールドの値を差し引くと、**テキストフィット**検索を選択するときに**ワークスペースブラウザ**ウィンドウに表示される最小アーティクル長に等しくなります。たとえば、**許容範囲（不足）**の値が2インチで、テキストチェーンの長さが4インチの場合は、検索を実行すると、2インチ（使用可能なスペース値から**許容範囲（不足）**の設定値を差し引いた値）より長いアーティクルが返されます。



環境設定ダイアログボックスの**検索パレット設定**ペインの**ワークスペースブラウザ**タブ

QXP環境設定：ワークスペース > マウス設定

ワークスペースペインの**マウス設定**タブでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでアセットをダブルクリックするときの動作を指定できます。プロジェクト、テンプレート、ライブラリに対して、**新規プロジェクト**、**チェックアウト**、**ファイル情報ダイアログボックス**、または**編集不可**を選択できます。



環境設定ダイアログボックスの**ワークスペース**ペインの**マウス設定**タブ

QXP環境設定：プロジェクトとリンクペイン

プロジェクトとリンクペインでは、自動更新の設定を制御できます。

コンテンツを自動的に更新するには、**コンテンツを自動更新するタイミング**：をオンにして、コンテンツを自動更新させるイベントをオンにします。

コンテンツが更新された後に自動的にプロジェクトのリビジョンを保存するには、**コンテンツの自動更新後に、プロジェクトの新規リビジョンを保存**をオンにします。

ジオメトリを自動的に更新するには、**ジオメトリを自動更新するタイミング：**をオンにして、ジオメトリを自動更新させるイベントをオンにします。

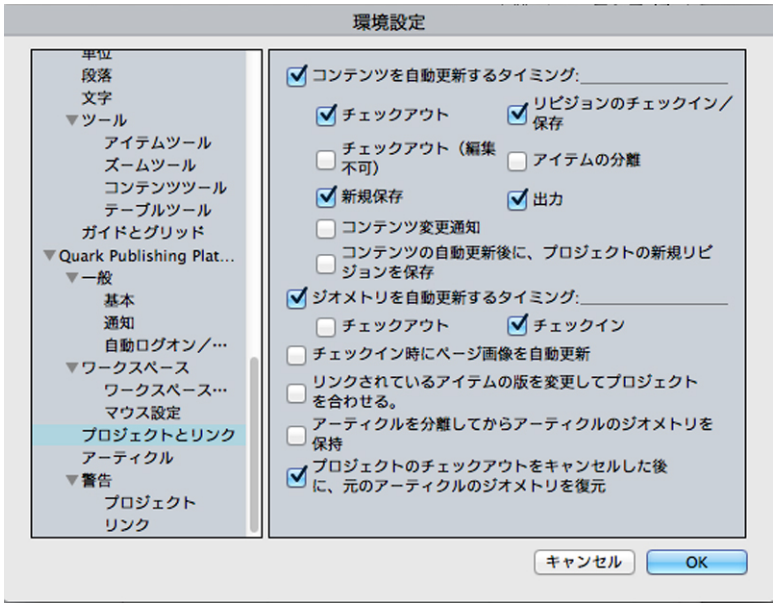
チェックイン時にページ画像を自動更新の環境設定では、**プロジェクトリビジョンの保存**や**プロジェクトのチェックイン**を実行中でも、ユーザーが最新のページ画像をQCDユーザーに送信できます。

この環境設定では、プロジェクトリビジョンの保存やプロジェクトのチェックインを実行中でも、ユーザーが最新のページ画像をQCDユーザーに送信できます。

リンクされているアイテムの「版」属性を、リンク元のプロジェクトの「版」属性と同期するには、**リンクされているアイテムの版を変更してプロジェクトを合わせる**をオンにします。

分離したアーティクルでジオメトリを維持するには、**アーティクルを分離してからアーティクルのジオメトリを保持**をオンにします。

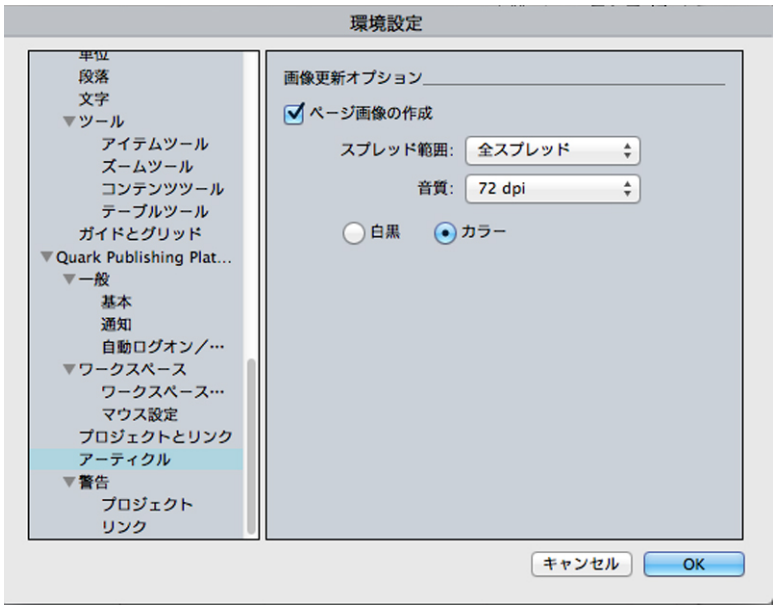
リンクされているプロジェクトのチェックアウトがキャンセルされたときに自動的にアーティクルのジオメトリを前の状態に復元するには、**プロジェクトのチェックアウトをキャンセルした後に、元のアーティクルのジオメトリを復元**をオンにします。



環境設定ダイアログボックスの**プロジェクトとリンク**ペイン

QXP環境設定：アーティクルペイン

アーティクルペインでは、プロジェクトからアーティクルを割り当てる際のアーティクルのページ画像のオプションについてユーザー環境設定を設定できます。



環境設定ダイアログボックスの**アーティクル**ペイン

QXP環境設定：警告ペイン

警告ペインでは、プロジェクト関連の警告やリンク関連の警告を表示するタイミングを制御できます。

QXP環境設定：警告 > プロジェクト

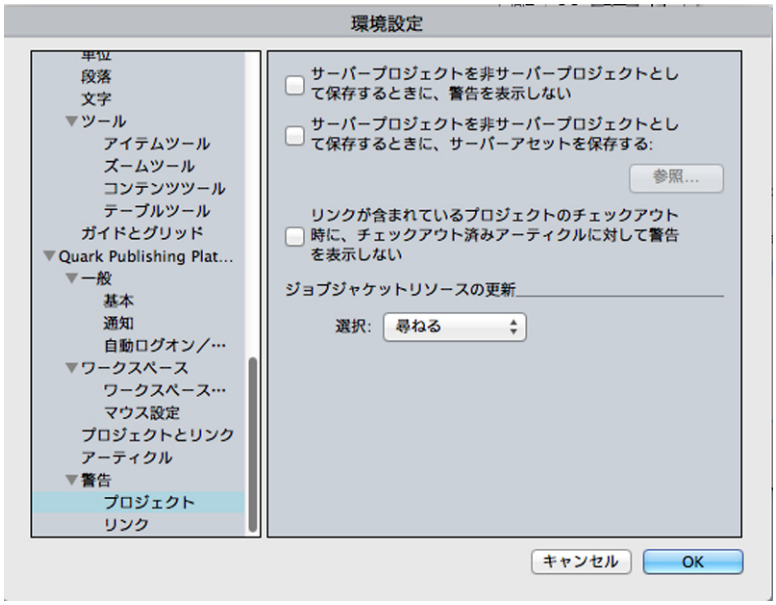
警告ペインの**プロジェクト**タブでは、プロジェクト関連の警告を表示するタイミングを制御できます。

PlatformプロジェクトをPlatform以外のプロジェクトとして保存するときに通常表示される警告を表示しないようにするには、**サーバープロジェクトを非サーバープロジェクトとして保存するときに、警告を表示しない**をオンにします。

PlatformプロジェクトをPlatform以外のプロジェクトとして保存するときにリンクされているアセットのローカルコピーを保存するには、**サーバープロジェクトを非サーバープロジェクトとして保存するときに、サーバーアセットを保存する**をオンにして、ローカルコピーの保存先を指定します。

チェックアウトされたリンクが含まれているPlatformプロジェクトをチェックアウトするときに通常表示される警告を表示しないようにするには、**リンクが含まれているプロジェクトのチェックアウト時に、チェックアウト済みアーティクルに対して警告を表示しない**をオンにします。

ジョブジャケットのリソースを更新するタイミングを指定するには、**ジョブジャケットリソースの更新**領域の**選択**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。



環境設定ダイアログボックスの**警告**ペインの**プロジェクト**タブ

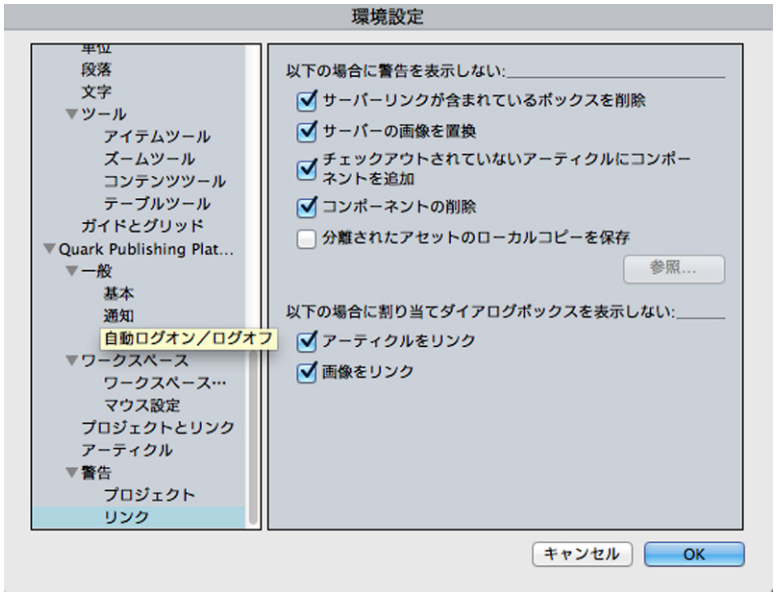
QXP環境設定：警告 > リンク

警告ペインの**リンク**タブでは、リンク関連の警告を表示するタイミングを制御できます。

特定の状況で警告を表示しないようにするには、**以下の場合に警告を表示しない**の下にあるオプションをオンにします。

アセットが分離されたときにアセットのローカルコピーを自動的に保存するには、**分離されたアセットのローカルコピーを保存**をオンにして、ローカルコピーの保存先を指定します。

アーティクルや画像を分離したときに**割り当て**ダイアログボックスを表示しないようにするには、**以下の場合に割り当てダイアログボックスを表示しない**の下にある適切なオプションをオンにします。



環境設定ダイアログボックスの**警告**ペインの**リンク**タブ

Quark Publishing Platformの環境設定：QCD

環境設定ダイアログボックス（**QuarkCopyDesk／編集**メニュー）の**Quark Publishing Platform**ペインを使用して、Quark Publishing Platformのアセット、割り当て、および検索パラメータを処理する場合のデフォルトの動作を指定できます。**位置オプション**および**ログオンダイアログボックスを表示しない**の環境設定を除いて、他のすべてのQuark Publishing Platform環境設定はQuark Publishing Platform Serverに保存されます。環境設定は、ワークステーションの設定に関係なく、ログオン時に入力するユーザー名に適用されます。

QCD環境設定：全般ペイン

環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインには、**基本**、**通知**、および**自動ログオン／ログオフ**という3つのタブがあります。

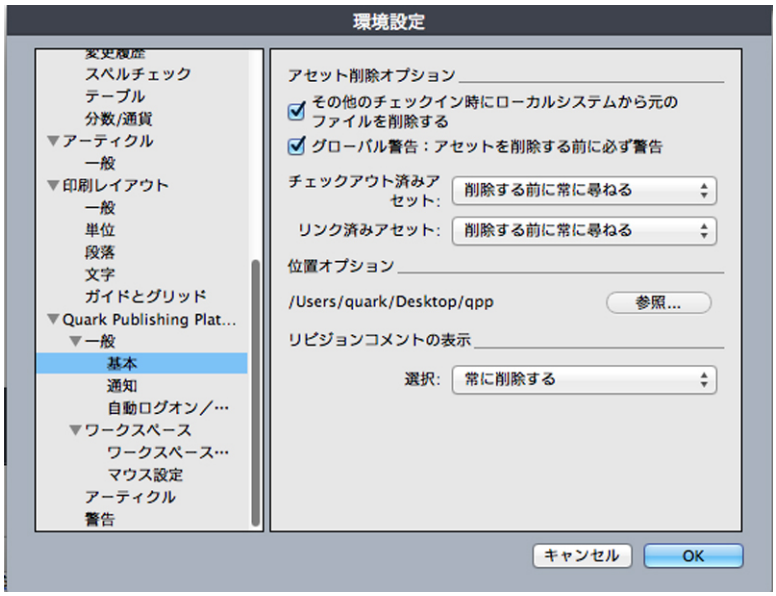
QCD環境設定：全般 > 基本

チェックアウトされたアセットとQuarkXpressプロジェクトにリンクされたアセットが削除されようとするときのアプリケーションの対応を指定するには、**基本**タブの**アセット削除オプション**エリアにあるコントロールを使用します。

- **その他のチェックイン**コマンドを使用する際に、常にオリジナルファイルを維持するには、**その他のチェックインのローカルシステムからオリジナルファイルを削除**チェックボックスをオフにします。**その他のチェックインのローカルシステムからオリジナルファイルを削除**チェックボックスをオンにすると、**その他のチェックイン**コマンドを使用するたびに警告メッセージが表示され、選択したファイルを維持するか削除するかを指定できます。
- **グローバル警告：Quark Publishing Platformアセットを削除しようとするたびに警告が表示されるようにするには、アセットを削除する前に必ず警告**をオンにします。
- これらのコントロールは、**チェックアウト済みアセット**および**リンク済みアセット**ドロップダウンメニューの場合と同じです。チェックアウト済みまたはリンク済みのアセットを警告を表示せずに削除するには、**警告を表示しないでアセットを削除**を選択します。チェックアウト済みアセットまたはリンク済みアセットが削除されないように保護するには、**削除を許可しない**を選択します。チェックアウト済みアセットまたはリンク済みアセットを削除しようとするたびに警告が表示されるようにするには、**削除する前に常に尋ねる**を選択します。

アセットを使用して作業する間にそれらのアセットを一時的に保存する場所を指定するには、**位置オプション**エリアで**参照**をクリックします。保存先のフォルダまで移動し、**選択／OK**をクリックします。

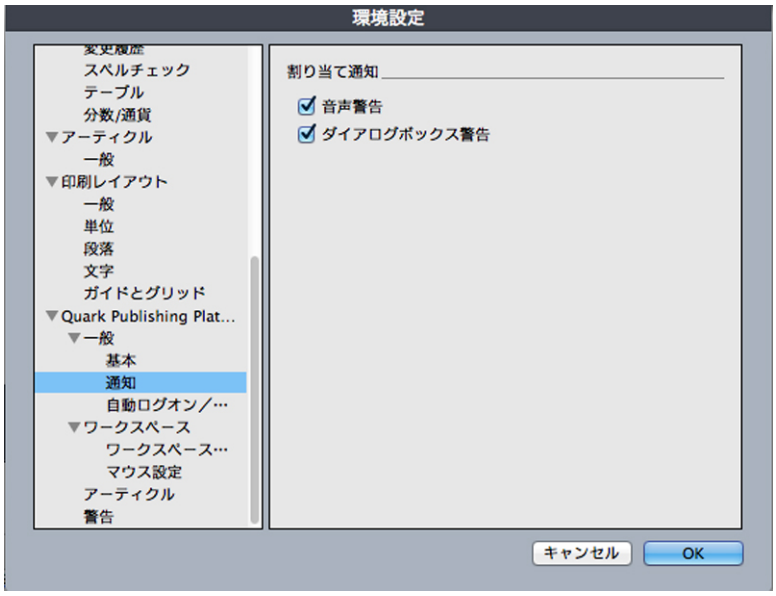
リビジョンコメントの表示方法を設定するには、**リビジョンコメントの表示**エリアで、**選択**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。



環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**基本**タブ

QCD環境設定：全般 > 通知

通知タブでは、ログイン中に自分宛てにルーティングされたアセットの通知方法を指定できます。アセットが自分宛てにルーティングされた場合に音声が聞こえるようにするには、**音声警告**をオンにします。自分宛てにルーティングされたアセットを示したダイアログボックスが表示されるようにするには、**ダイアログボックス警告**をオンにします。

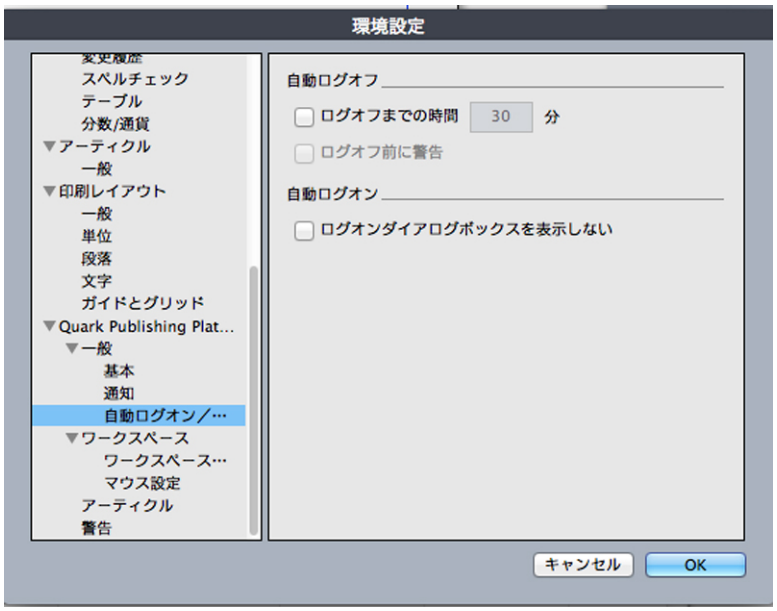


環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**通知**タブ

QCD環境設定：全般 > 自動ログオン／ログオフ

自動ログオフ設定領域では、自動的にログオフされるまでに経過しなければならない非アクティブ状態の間隔を指定します。自動的にログオフされる前に警告メッセージを受け取るようにするには、**ログオフ前に警告**をオンにします。

Quark Publishing Platform Serverでの次のログオン時に**ログオン**ダイアログボックスが表示されないようにするには、**ログオン**ダイアログボックスで、**以後このダイアログボックスを表示しない**と**ログオン情報を記憶する**をオンにします。次にコマンドを選択するときに**ログオン**ダイアログボックスが再び表示されるようにする場合は、**自動ログオフ設定**領域の**ログオンダイアログボックスを表示しない**をオフにします。



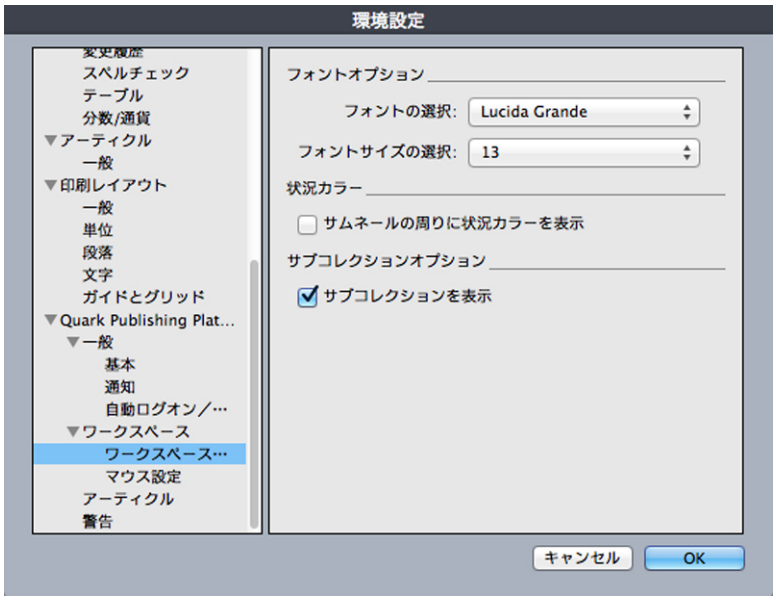
環境設定ダイアログボックスの**全般**ペインの**自動ログオフ**タブ

QCD環境設定：ワークスペースペイン

環境設定ダイアログボックスの**ワークスペース**ペインには、**ワークスペースブラウザ**と**マウス設定**という2つのペインがあります。

QCD環境設定：ワークスペース > ワークスペースブラウザ

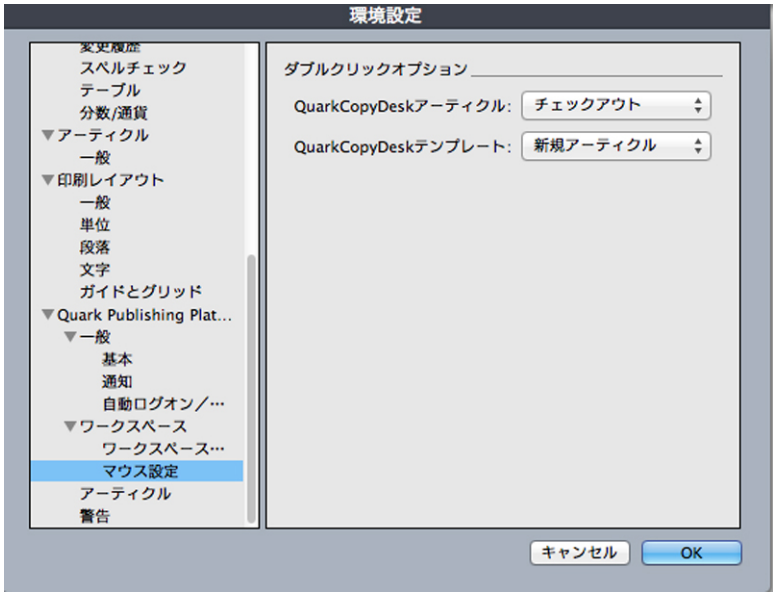
ワークスペースブラウザタブでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの検索結果ペインに表示されるフォントとフォントサイズ、およびサムネールの周りに状況カラーを表示するかどうかを選択できます。



環境設定ダイアログボックスの**検索パレット設定**ペインの**ワークスペースブラウザ**タブ

QCD環境設定：ワークスペース > マウス設定

ワークスペースペインの**マウス設定**タブでは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウでアセットをダブルクリックするときの動作を指定できます。アーティクルとテンプレートのどちらでも、**新規アーティクル**、**チェックアウト**、**属性の編集**、または**編集不可**を選択できます。



環境設定ダイアログボックスの**ワークスペース**ペインの**マウス設定**タブ

QCD環境設定：アーティクルペイン

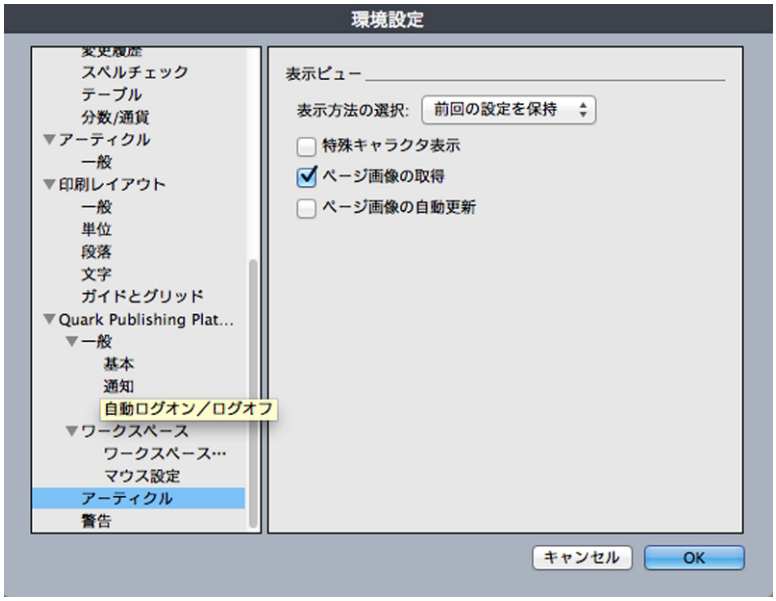
アーティクルペインでは、初期アーティクル表示、不可視文字、ページ画像を制御できます。

QuarkCopyDeskアーティクルをチェックアウト、開示、または表示するときの初期アーティクル表示を指定するには、**前回の設定を保持**、**WYSIWYG**、**ゲラ表示**、または**全画面**をクリックします。

QuarkCopyDeskアーティクルをチェックアウト、開示、または表示するときに特殊キャラクタを自動的に表示するには、**特殊キャラクタ表示**をオンにします。

QuarkCopyDeskアーティクルのリンク先になっているQuarkXPressレイアウトページのグラフィック表現を表示するには、**ページ画像の取得**をオンにします。

ページ画像の自動更新の環境設定では、ジオメトリを更新せずにアーティクルのページ画像のみを更新できます。



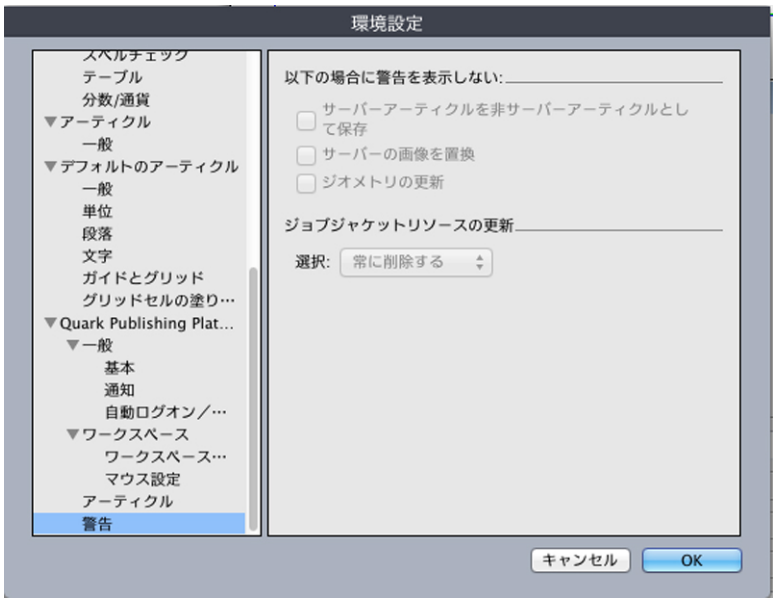
環境設定ダイアログボックスの**アーティクル**ペイン

QCD環境設定：警告ペイン

警告ペインでは、警告やジョブジャケットの更新を制御できます。

警告を表示するタイミングを制御するには、**以下の場合に警告を表示しない**領域のチェックボックスを使用します。

ジョブジャケットのリソースを更新するタイミングを指定するには、**ジョブジャケットリソースの更新**領域の**選択**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。



環境設定ダイアログボックスの**警告**ペイン

Microsoft Office用Quark Publishing Platform Adapterの環境設定

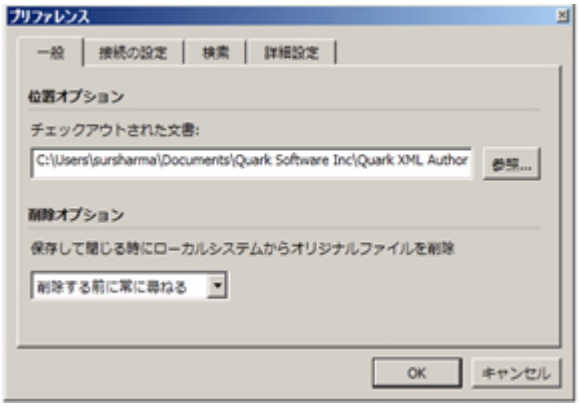
ファイルメニューの**環境設定**タブ（**ファイル > 環境設定**）を使用して、Microsoft Office用Quark Publishing Platform Adapterの環境を設定できます。

➡ Quark Publishing Platformの他の環境設定はすべて、Quark Publishing Platform Serverに保存されます。

Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 全般タブ

環境設定ダイアログボックスの**全般**タブでは、チェックアウトしたドキュメントを置くためのローカルフォルダを指定できます。**削除オプション**ドロップダウンメニューには、下記の削除オプションが表示されます。

- 警告を表示しないで削除する： 警告を表示せず、チェックアウトされているドキュメントを削除します。
- 削除を許可しない： チェックアウトされているドキュメントを保護し、削除を許可しません。
- 削除する前に常に尋ねる： チェックアウトされているドキュメントを削除しようとするたびに、警告を表示します。

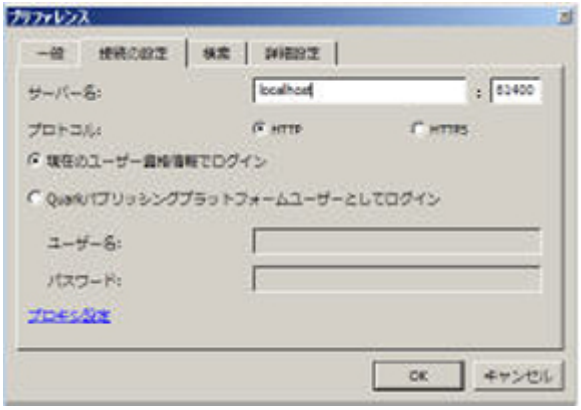


環境設定ダイアログボックスの**全般**タブ

Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 接続の設定タブ

環境設定ダイアログボックスの**接続の設定**タブでは、Quark Publishing Platformの接続設定を指定できます。

- Quark Publishing Platform ServerのIPアドレスとポート番号を、**サーバー名**フィールドに入力します。
- **プロトコル**コントロールで、Quark Publishing Platform Serverとの通信にHTTPとHTTPSのどちらを使用するかを選択できます。 どちらを使用するかわからない場合は、Quark Publishing Platform管理者に問い合わせてください。
- 現在のユーザー資格情報で自動的にログインするか、ユーザー名とパスワードを指定してログイン資格情報を提供するかを選択できます。
- **ユーザー名**フィールドと**パスワード**フィールドの値は、Quark Publishing Platform管理者によりユーザーごとに定義されます。Lightweight Directory Application Protocol（LDAP）を使用してユーザーリストを管理するQuark Publishing Platformサイトの場合、Quark Publishing Platformユーザーは、ネットワークのユーザー名とパスワードを使用してログオンします。ログオンパスワードは、Quark Publishing Platform管理者の仕様に応じて、大文字と小文字が区別される場合とされない場合があります。



環境設定ダイアログボックスの**接続の設定**タブ

Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 検索タブ

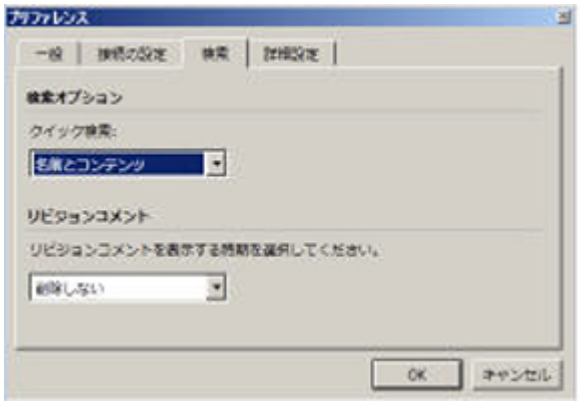
環境設定ダイアログボックスの**検索**タブでは、検索設定の指定と、リビジョンコメントを表示する方法の設定を行えます。

検索オプションでは、検索の対象を指定できます。 ドロップダウンメニューに、下記のオプションが表示されます。

- 名前
- 内容
- 名前とコンテンツ

リビジョンコメントでは、リビジョンコメントをいつ表示するかを指定できます。 ドロップダウンメニューに、下記のオプションが表示されます。

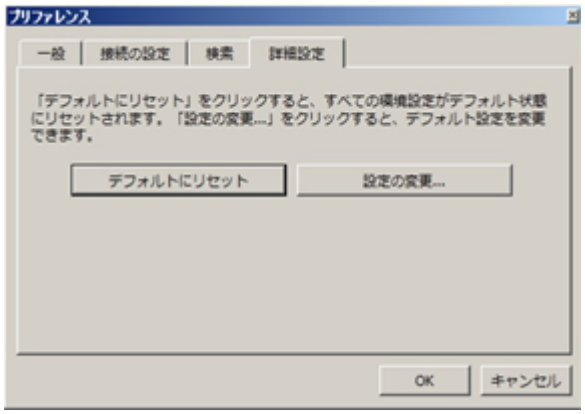
- 常に
- 常に表示しない
- 新規割り当てのときのみ表示する



環境設定ダイアログボックスの**検索**タブ

Microsoft Office用Platform adapterの環境設定： 詳細設定タブ

環境設定ダイアログボックスの**詳細設定**タブでは、すべての環境設定をデフォルト状態にリセットしたり、デフォルト設定を変更したりできます。



環境設定ダイアログボックスの**詳細設定**タブ

変更履歴

Redline XTensionsソフトウェアを使用することにより、QuarkXPressユーザー、QuarkCopyDeskユーザー、Quark Publishing Platform Web Clientユーザーは、プロジェクトとアーティクルのテキストに対する変更を追跡できます。Quark Publishing Platformワークフローでは、追加、削除、および変更すべてを追跡したり、変更を承認または拒否したりすることができます。Quark Publishing Platformの外部では、ユーザーが変更履歴を使用して、共有のプロジェクトとアーティクルに対する変更を追跡できます。QuarkCopyDeskでの変更履歴のコントロールすべての使用法については、『**QuarkCopyDeskガイド**』を参照してください。この章では、Quark Publishing Platformワークフローでの変更履歴のコントロールについて説明します。

変更履歴機能を使用するには、ユーザーに権限が必要です。詳細は、「*コンテンツの権限： 変更履歴の編集*

変更履歴コントロールの使用

変更履歴サブメニュー（**補助**メニュー）には、**トラッキングする**、**ハイライトする**、および**ツールバーを表示する／隠す**というコマンドがあります。**変更履歴**ツールバーには、**トラッキングする**および**ハイライトする**コマンドの他、変更内容をナビゲートするコントロール、変更内容に同意／拒否するコントロール、および変更の表示オプションを設定するためのコントロールもあります。



変更履歴ツールバーの左側にある、**トラッキングする**および**ハイライトする**コントロールの他、変更履歴のナビゲート、変更内容への同意／拒否、および**表示オプション**ダイアログボックスの表示を行うことができます。



表示する確認者および変更の種類を指定するには、**表示オプション**ダイアログボックスを使用します。

➡ テキストのフォーマットの変更はトラッキングされません。

ノート

ノート機能を使用して、実際のコンテンツに影響を与えることなく、アーティクルやレイアウトにコメントを保存できます。ノートを使用してコンテンツに警告やコメントを追加したり、URLを追加したりできます。ノートは、QuarkXPress、QuarkCopyDesk、Quark Publishing Platform Web Clientで使用できます。

➡ QuarkXPressやQuarkCopyDeskでノート機能を使用するには、Notes XTensionsソフトウェアがインストールされている必要があります。

ノートの使用

補助 > ノートサブメニューのコマンドを使用して、ノートからノートに移動し、個々のノートを作成および削除し、アーティクル内のすべてのノートを開いたり閉じたりすることができます。

ノートの開始と終了

ノートをレビューコメントとして開いたり閉じたりするには、下記の手順を実行します。

- 既存のノートを開くには、**ノート**アイコンをクリックして、**編集 > ノート > ノートを開く**を選択します。
- アーティクルのすべてのノートを開くには、**編集 > ノート > すべてのノートを開く**を選択します。
- ノートを閉じるには、ノートウィンドウの左上（Mac OS）または右上（Windows）の閉じるボックスをクリックするか、または**編集 > ノート > ノートを閉じる**を選択します。
- アーティクルのすべてのノートを閉じるには、**編集 > ノート > すべてのノートを閉じる**を選択します。
- テキスト挿入ポイントをテキスト内の次のノートへ移動させるには、**編集 > ノート > 次へ進む**を選択します。テキスト挿入ポイントをテキスト内の前のノートへ移動させるには、**編集 > ノート > 前へ戻る**を選択します。

ノートの表示および非表示

非表示のノートを表示するには、**表示 > ノートの表示**を選択します。表示されているノートを非表示にするには、**表示 > ノートを非表示にする**を選択します。

ノートの削除

ノートを削除するには、下記のいずれかを実行します。

- **ノート**アイコンをクリックしてから、**編集 > ノート > 削除**を選択します。
- 開いているノートウィンドウをクリックしてから、**編集 > ノート > 削除**を選択します。
- ノートアイコンの右側にテキスト挿入バーを配置して、DeleteキーまたはBackspaceキーを押します。
- ノートアイコンを含むテキストの範囲を選択して、DeleteキーまたはBackspaceキーを押します。

ノートおよびテキストの相互変換

選択したテキストをノートに変換するには、F10キーを押します。

ノートまたはノートの一部をテキストに変換するには、ノート内の対象の文字を選択してからF10キーを押します。

作成者、日付、名前、または色別のノートの表示

特定の作成者別または作成された日付別にノートを表示するには、**表示 > ノートの表示**を選択してノートを有効にし、**編集 > ノート > ノートを開く（条件指定）・・・**を選択して**開いたノート**ダイアログボックスを表示し、**すべてのノート**をクリックして、**すべてのノート**領域のコントロールを使用します。

名前別または色別にノートを表示するには、**編集 > ノート > 新規アーティクル内のすべてのノートを開く**を選択して、**名前別**サブメニューまたは**色別**サブメニューからオプションを選択します。ノートがテキストとして新規アーティクルに表示されます。

ノートの移動とサイズ変更

ノートウィンドウを移動するには、タイトルバーをドラッグします。ノートウィンドウはアーティクル内のどこにでも移動できます。移動されたノートを元の場所に戻すには、ボタンをクリックします。

ノートのサイズを変更するには、ノートウィンドウの右下にあるサイズ変更ボックスをクリックしてドラッグします。Mac OSの場合、ノートウィンドウの右上にあるアイコンをクリックしてノートウィンドウのサイズを変更し、ノートのテキストをすべて表示することもできます。

ノートの印刷

アーティクルを印刷する場合、ノートを含めるかどうか、およびフォーマットの方法を指定できます。**印刷**ダイアログボックス（**ファイル**メニュー）で左のリストにある**ノート**をクリックすると、**ノート**ペインが表示されます。次に**ノートを印刷**をオンにして、出力にノートを含めます。すべてのノートを含めるか、または開いているノートのみを含めるかを選択できます。また、ノートを脚注としてフォーマットするか、インラインのままにしておくか、または別のページにノートをまとめるかを指定できます。

PDFのノート

ノートを含むアーティクルからPDFを作成する場合、PDFでノートを表示するかどうかを選択できます。WYSIWYG表示で書き出すと、ノートがPDFノートとして含まれます。ゲラ表示または全画面表示で書き出すと、これらのモードの画面に表示されるとおり、ノートがインラインで表示されます。

ノートをPDFファイルに含めるには、**PDFとして書き出し**ダイアログボックス（**ファイル > PDF**）の**オプション**をクリックし、左側に表示されるリストの**ノート**をクリックして、**PDFにノートを含める**をオンにします。

Web Client

Quark Publishing Platform Web Clientを使用することにより、リモートの執筆者および編集者は、ウェブブラウザを使用してQuark Publishing Platformの多くの操作を行えます。Quark Publishing Platform Web Clientのユーザーは、Quark Publishing Platform Serverへのログオン、Quark Publishing Platformジョブチケットに基づいたアーティクルの作成、ウェブブラウザでのQuarkCopyDeskアーティクルのチェックアウトや編集、別のアプリケーションで編集する他のアセットのチェックアウト、およびQuark Publishing Platform Serverへのアセットの再チェックインを行うことができます。

また、Quark Publishing Platform Web Clientユーザーは、**その他のチェックイン**機能を使用して、新規ファイルをワークフロー（QuarkCopyDeskアーティクル、QuarkXPressプロジェクト、その他のファイルを含む）に配置できます。

Quark Publishing Platform Web Clientには、下記のような、Quark Client、QuarkXPress、QuarkCopyDeskの**ワークスペースブラウザ**パレットで使用できる数多くの機能があります。

- **お気に入り**領域、**割り当て**領域、**検索結果**領域、**保存済みの検索結果**領域、**コレクション**領域（コレクションやコレクションテンプレートを使用できる機能など）
- サブコレクションペイン
- 検索インターフェイス
- 検索結果ペイン

詳細は、「*ユーザーインターフェイス*」を参照してください。

Quark Publishing Platform Web Clientを使用したログオン

Quark Publishing Platform Web Clientはウェブブラウザ経由でのQuark Publishing Platform Serverへのアクセスを可能にします（サポートされているブラウザの一覧は、『Quark Publishing Platform ReadMe』を参照してください。

➡ Quark Publishing Platform Web Clientが正しく動作するように、ウェブブラウザでCookieを有効にする必要があります。

Quark Publishing Platform Web Clientを使用してQuark Publishing Platform Serverにログオンするには、下記の手順に従ってください。

1 サポートされているブラウザを起動します。

2 URLフィールドに、コンピュータ名またはIPアドレス、Quark Publishing Platform Serverのポート番号、その後に/workspace/を入力します（http://10.1.5.30:61400/workspace/など）。**ログオン**ページが表示されます。



Quark Publishing Platform Web ClientでウェブブラウザからQuark Publishing Platform Serverにログオンできます。

3 ユーザー名を**ユーザー名**フィールドに、パスワードを**パスワード**フィールドに入力し、**ログオン**をクリックします。

4 ログオンプロセスが成功すると、Quark Publishing Platform Web Clientの画面に割り当てが表示されます。

すべてのQuark Publishing Platform Web Clientウィンドウを閉じるか、ネットワーク接続が切断されると、2分以内にログオフされます。ただし、管理者は、"WEB-INF"フォルダ（QPP Server/webapps/Workspace/WEB-INF）の"Web.xml"ファイルの「session-timeout」変数を調整することでこの設定を変更できます。

管理者の仕様によっては、ログオンパスワードの大文字と小文字が区別される場合があります。また、Quark Publishing Platformのユーザー名およびパスワードがネットワークのユーザー名およびパスワードと同じかどうかをQuark Publishing Platform管理者が確認する場合もあります。

パスワードの変更

Quark Publishing Platform Web Clientにログオンした後に、Quark Publishing Platformログオンパスワードを変更することができます。

1 ブラウザウィンドウの右上隅にある歯車のメニューから**パスワードの変更**を選択します。**パスワードの変更**ダイアログボックスが表示されます。

2 **旧パスワード**：フィールドに現在のパスワードを入力します。

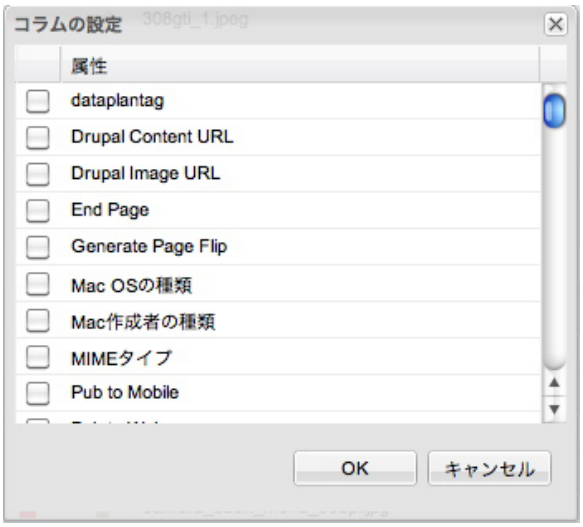
3 **新パスワード**：フィールドに新しいパスワードを入力します。

4 **新パスワードの確認**フィールドに新しいパスワードをもう一度入力して、**OK**をクリックします。

検索結果表示のカスタマイズ

検索タブまたは**割り当て**タブでどの属性列を表示するかを制御できます。

1 表示メニューから**現在の表示のカスタマイズ**を選択します。**列の設定**ダイアログボックスが表示されます。



列の設定タブ

2 Web Clientウィンドウの列として表示する属性のチェックボックスをオンにします。

➡ 検索結果表示の列の配置を変更するには、列のヘッダーをドラッグします。

Web Clientでの検索

Web Clientでの検索は、他のQuark Publishing Platformクライアントでの検索と同じように動作します。詳細は、「*検索の実行*」を参照してください。

Web Clientで検索結果を削除、複製、改名、共有できるようになりました。

Web Clientでのアーカイブと復元

Web Clientでアセットのアーカイブと復元ができるようになりました。コレクションやアセットの検索からアーカイブを実行できます。

表示オプションの使用

Quark Publishing Platform Web Clientには、検索結果とコレクションの内容を表示するためのボタンが複数あります。

状況によっては、特定の表示が利用できないことがあります。

リスト表示をクリックすると、アセットがリスト形式で表示されます。



リスト表示ボタン

スニペット表示をクリックすると、アセットがサムネール表示でテキストのスニペットとともに表示されます。



スニペット表示ボタン

関係のリスト表示をクリックすると、アセットがリスト表示されます。アセットを展開すると、アセットの関係を表示できます。



関係のリスト表示ボタン

プロジェクトとページをクリックすると、プロジェクトがリスト表示されます。プロジェクトを展開すると、プロジェクトのページを表示できます。



プロジェクトとページボタン

関係の状況のリスト表示をクリックすると、アセットがリスト表示されます。アセットを展開すると、種類別にまとめられたアセットの関係を表示できます。



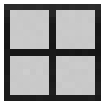
関係の状況のリスト表示ボタン

コレクション表示をクリックすると、コレクションのツリーの階層構造で検索結果が表示されます。



コレクション表示ボタン

サムネールをクリックすると、アセットの小さなプレビューが表示されます。各プレビューの下には、リンク情報、チェックアウト状況、および状況がアイコンとして表示されます。



サムネール表示ボタン

現在の表示のカスタマイズをクリックすると、表示させる列を選択できます。



現在の表示のカスタマイズボタン

Quark Publishing Platform Web Clientでのアセットのプレビュー

選択したQuarkCopyDeskアーティクル、QuarkCopyDeskアーティクルテンプレート、QuarkXPressプロジェクト、またはQuarkXPressプロジェクトテンプレートの大きな、ズーム可能なスプレッドプレビューを表示するには、**プレビュー**アイコンをクリックします。

選択されたアセットがプロジェクトの場合、**プレビュー**ウィンドウ上部のタブを使用して、プルジェクトのすべての印刷レイアウト、インタラクティブレイアウト、およびApp Studioレイアウトを表示できます。

印刷レイアウト、インタラクティブレイアウト、App Studioレイアウトでは、**プレビュー**ウィンドウにレイアウトのフラットプランビューが表示されます。

発行機能の使用

Web Clientの**発行**ドロップダウンメニューには、下記のオプションが表示されます。

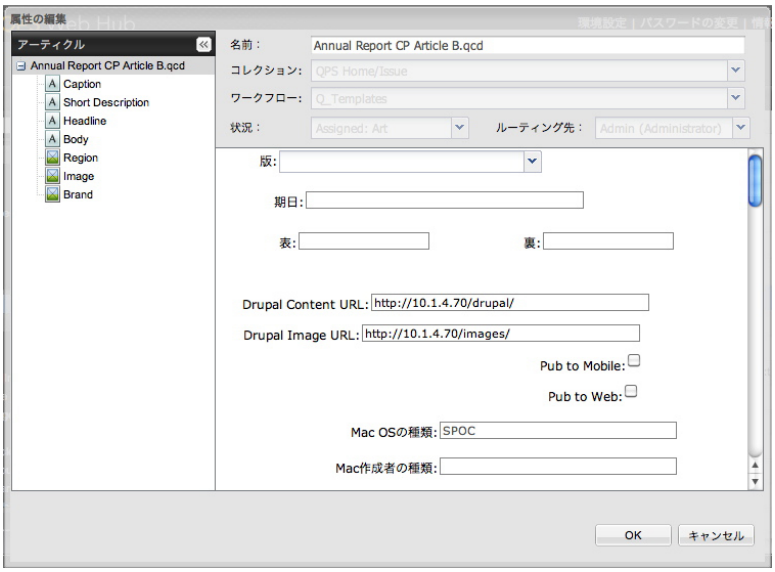
- **出力ファイルの収集として発行**
- **App Studioアーティクルとして発行**
- **App Studioパッケージとして発行**
- **HTMLとして発行**
- **PDFとして発行**
- **QuarkXPressプロジェクトとして発行**
- **ePUBとして発行**
- **リッチテキストフォーマットで発行**

これらのオプションの詳細は、「*パブリッシングアセット*」を参照してください。

アセットの属性の編集

Web Clientの**属性の編集**ボタンを使用してアセットの属性を表示および変更できます。Quark Publishing Platform Web Clientを使用してアセットの属性を編集するには、下記の手順に従ってください。

1 アセットを選択し、**属性の編集**をクリックします。**属性の編集**ダイアログボックスが表示されます。



属性の編集ダイアログボックスで、（権限があれば）アセットの属性を変更できます。

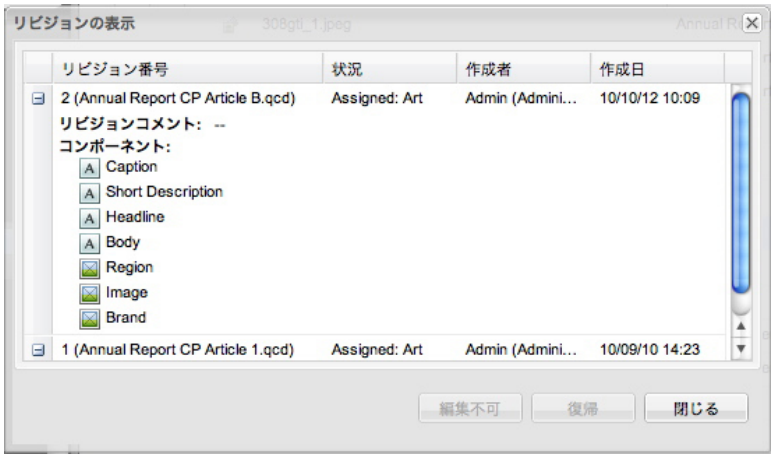
2 フォームビューを展開します。

3 属性を表示または変更し、**OK**をクリックします。**属性の編集**ダイアログボックスのコントロールの詳細は、「*属性情報の表示および編集*」を参照してください。

➡ アセットのコンテキストメニューから**再度索引を作成**を選択すると、Quark Publishing Platformでアセットの索引を再度作成できます。

アセットのリビジョン表示

リビジョンの表示ダイアログボックスを表示するには、**リビジョンの表示**をクリックします。



リビジョンの表示ダイアログボックス

リビジョンの表示ダイアログボックスには、Quark Publishing Platform Serverによってトラッキングされる、選択したアセットのリビジョン情報が含まれます。画像、ビデオ、オーディオアセット、XMLアセット、および「その他」ファイルの場合は、リビジョンの編集不可のコピーを開いたり、リビジョンを以前のバージョンに戻してそのリビジョンを最新バージョンとすることができます。**リビジョンの表示**ダイアログボックスにも、アセットリビジョンのサムネールプレビューが表示されます。また、それらのリビジョンを削除できます。

関係の情報の表示

選択したアセットに関係（プライマリリンクやセカンダリリンクなど）がある場合、それらの関係を表示するには、**関係の情報**をクリックするか、アセットを右クリックして**関係の情報**を選択します。**関係の情報**ダイアログボックスが表示されます。



関係の情報ダイアログボックス

アセットを選択し、**プレビュー**ペインの下部に関係の情報を表示させることもできます。

- **参照先**タブに、（アセットにリンクされているアセットなど、）選択したアセットの参照先のアセットがすべて表示されます。

プレビューペインの下側に関係の情報が表示されている場合、参照されているアセットを右クリックして**コレクションを開く**を選択できます。 これによって、参照先のアセットのコレクションが開きます。

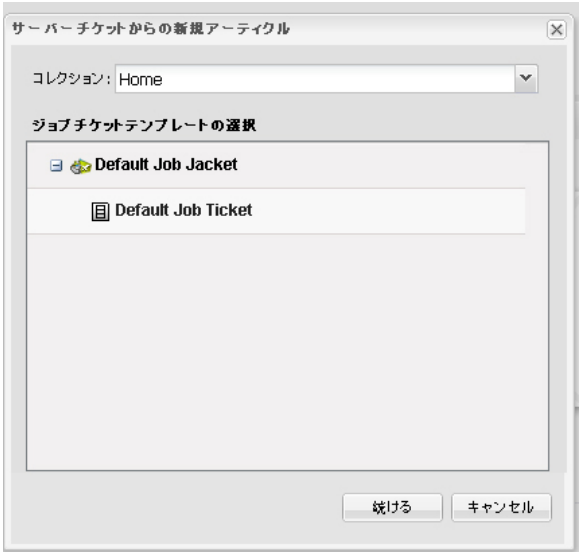
- **使用場所**タブには、選択したアセットを参照しているアセットがすべて表示されます。

固定列は、アセットへの参照が、アセットの特定バージョンに固定されているかどうかを示します。 ツールチップには、その参照がどのバージョンに固定されているかが表示されます。

Quark Publishing Platform Web Clientでのアーティクルの作成

Quark Publishing Platform Web Clientで新規QuarkCopyDeskアーティクルを作成する場合、コレクションのデフォルト設定またはQuark Publishing Platformにチェックインされたテンプレートに基づいてアーティクルを作成します。

新規 > サーバーチケットからのアーティクルをクリックすると、**サーバーチケットからの新規アーティクル**ダイアログボックスが表示され、コレクションを選択できます。コレクションのデフォルトのジョブジャケットファイルとジョブチケットがボールドで表示され、デフォルトで選択されます。ただし、必要な権限がある場合は、ダイアログボックスで選択可能なジョブジャケットファイルとジョブチケットを使用できます。新規アーティクルには、（ある場合は）ジョブチケットのデフォルトのレイアウトの仕様に基づいた大きさがあり、ジョブチケットで定義されたスタイルシートやその他のリソースが使用されます。



サーバーチケットからの新規アーティクルダイアログボックス

新規 > サーバーテンプレートからのアーティクルをクリックすると、**サーバーテンプレートからの新規アーティクル**ダイアログボックスが表示され、すべての使用可能なアーティクルテンプレートから選択できます。テンプレートに対する保存済みの検索結果を選択したり、Quark Publishing Platform Serverにチェックインされているアーティクルテンプレートに対して新しい検索を作成したりすることもできます。

Quark Publishing Platform Web Clientでの、テンプレートからのプロジェクトの作成

Quark Publishing Platform Web Clientでプロジェクトテンプレートから新規QuarkXPressプロジェクトを作成するには、Quark Publishing Platformのツールバーで**新規 > サーバーテンプレートからのプロジェクト**を選択して**サーバーテンプレートからの新規プロジェクト**ダイアログボックスを表示し、テンプレートを選択して**OK**をクリックします。テンプレートに複数のレイアウトが含まれている場合は、作業に必要なレイアウトを選択できます。

➡ 印刷レイアウトおよびApp Studioレイアウトのみ編集できます。

➡ アーティクルの編集と同じ方法で、Quark Publishing Platform Web Clientでアーティクルテンプレートを編集できます。テンプレートをチェックアウトして必要な変更を加え、そのテンプレートを再びチェックインするだけです。

Quark Publishing Platform Web Clientでのアーティクルの編集

Web Clientでアーティクルを編集するには、まず、アーティクルをチェックアウトする必要があります。アーティクルを選択して、**チェックアウト**をクリックします。アーティクルがWYSIWYG表示で編集用に開かれます。

➡ アーティクルの割り当てにリビジョンコメントが含まれている場合、アーティクルのチェックアウト時にリビジョンコメントが表示されます。

別のページに移動するには、左側の**プレビュー**ペインのページプレビューをクリックします。

ページ画像（ある場合）を表示または非表示にするには、**ページ画像を表示／隠す**をクリックします。

表示率を変更するには、右下にあるズームのコントロールを使用します。

アーティクルのコンポーネントパレットや**スタイルシート**パレットを表示または非表示にするには、右上のボタンを使用します。



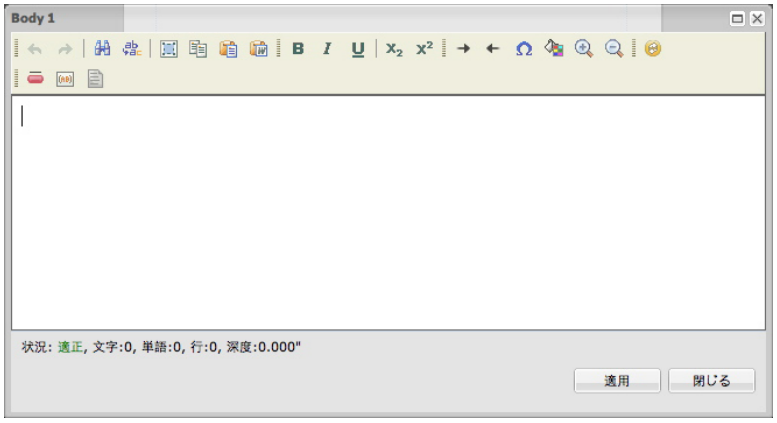
コンポーネントパレットを表示／隠すボタン（左）と**スタイルシートパレットを表示／隠す**ボタン（右）

➡ Quark Publishing Platform Web Clientでアーティクルテンプレートを編集することもできます。

➡ 必ずウェブブラウザのポップアップを有効化しておきます。Quark Publishing Platform Serverを使用して、一時的または恒常的にポップアップを有効化することができます。ポップアップを有効化しないと、Quark Publishing Platform Web Clientで編集中にテキストをアーティクルにペーストすることができません。

テキストコンポーネントの編集

Web Clientでテキストコンポーネントを編集するには、アーティクルをチェックアウトして、テキストコンポーネントをクリックします。または、**アーティクルのコンポーネント**パレットでテキストコンポーネントの名前をダブルクリックします。テキスト編集ダイアログボックスが表示されます。



テキスト編集ダイアログボックス

ページのプレビューでは、箇条書き記号と箇条書き自動番号は正常に表示されます。ただし、テキスト編集ダイアログボックスでは、フォーマットを適用した箇条書き記号や箇条書き自動番号の代わりに、汎用の箇条書き記号や箇条書き自動番号が表示されます。また、箇条書き記号や箇条書き自動番号は、段落スタイルシートを使用して段落に適用されていない場合、テキスト編集ダイアログボックスには表示されません。

ツールが表示されない場合は、テキスト編集ダイアログボックスの上部のツールバーを展開します。ツールの機能は下記のとおりです。

- 変更を元に戻すには、**取り消し**をクリックします。
- 取り消しを元に戻すには、**やり直し**をクリックします。
- **検索**ダイアログボックスを表示するには、**検索**をクリックします。**検索**フィールドにテキストを入力します。入力した大文字と小文字に一致する**検索**のテキストのインスタンスのみを検索するには、**大文字と小文字を区別する**をオンにします。**検索**のテキストがより文字数の多い単語に含まれて（「other」内の「the」など）検索されることを避けるには、**単語に完全一致する**をオンにします。
- **置換**ダイアログボックスを表示するには、**置換**をクリックします。このダイアログボックスには、**検索**フィールド、**置換単語**フィールド、**大文字と小文字を区別する**チェックボックス、**単語に完全一致する**チェックボックス、**置換**ボタン、および**全て置換**ボタンがあります。
- テキスト編集ペインのすべてのテキストを選択するには、**すべて選択**をクリックします。
- 選択したテキストをクリップボードにコピーするには、**コピー**をクリックします。ブラウザのセキュリティ設定によって異なりますが、テキストをクリップボードにコピーするには、まずメッセージに応答する必要がある場合もあります。

- **ペースト**ダイアログボックスを表示するには、**ペースト**をクリックします。クリップボードからフィールドにテキストをペーストするには、Command／Ctrl+Vを使用します。
- **Wordからペースト**ダイアログボックスを表示するには、**Wordからペースト**をクリックします。このダイアログボックスには、Microsoft® Wordドキュメントからコピーしたテキストをペーストするときのフォーマットの不一致を防ぐコントロールがあります。**フォントの定義を無視する**が自動的にオンになり、Microsoft Wordからコピーされたテキストをペーストするときにフォントが追加されるのを防ぎます。**スタイルの定義を削除する**が自動的にオンになり、Microsoft Wordのスタイルが Quark Publishing Platform ワークフローで定義したスタイルシートに追加されるのを防ぎます。**OK**をクリックするまで、ペーストしたテキストをダイアログボックスで編集できます。
- ボールド、イタリック、アンダーライン、取り消し線、下付き字形、および上付き字形のフォーマットをテキストに適用するには、適切なアイコンをクリックします。
- **特殊文字の選択**ダイアログボックスを表示して、テキスト挿入ポイントに特殊文字を入力するには、**特殊文字の挿入**をクリックします。挿入する文字をクリックします。
- **カラーを選択**ダイアログボックスを表示して、テキスト編集ペインのバックグラウンドカラーを指定するには、**バックグラウンドカラー**をクリックします。たとえば、リンク先のQuarkXPressプロジェクトでバックグラウンドがブラックの白いテキストを編集する場合、白いテキストが見えるように暗いバックグラウンドカラーを選択することができます。詳細は、「*編集のためのバックグラウンドカラーの調整*」を参照してください。
- ルビ表記を適用したり、縦組み用グループ化文字を作成するには、**ルビ**および**縦組み中の文字回転**をクリックします。詳細は、「*ルビの使用*」および「*縦組み用グループ化文字の使用*」を参照してください。
- ノートを追加するには、**ノート**をクリックします。詳細は、「*アーティクルでのノートの使用*」を参照してください。
- テキストに対する変更を追跡するには、**トラッキングする**をクリックします。
- テキストに対する変更をハイライトするには、**ハイライトする**をクリックします。
- テキストに対する変更に同意するには、**変更内容に同意する**をクリックします。
- テキストに対する変更を拒否するには、**変更内容を拒否する**をクリックします。

使用中のコンピュータのテキストファイルからテキストを取り込むには、そのテキストでControlを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**テキストの取り込み**を選択します。テキストは、書式付きまたはプレーンテキストとして取り込むことができます。

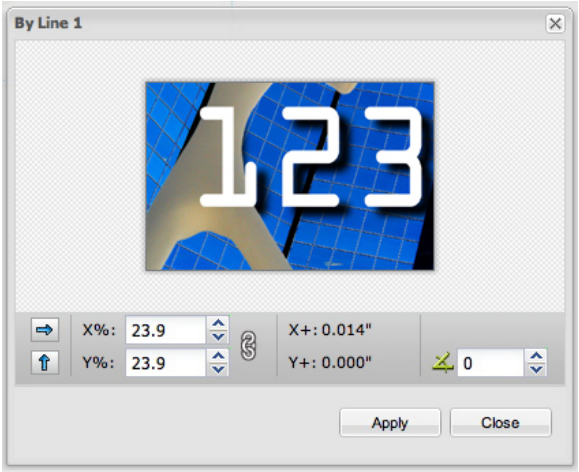
スタイルシートパレットが表示されていない場合、Quark Publishing Platform Web Clientウィンドウの右上部にある**スタイルシートパレットを表示／隠す**をクリックします。段落および文字スタイルシートをテキストに適用するには、**スタイルシート**ペインを使用します

条件付きスタイルパレットが表示されていない場合は、**条件付きスタイルパレットを表示／隠す**をクリックします。**条件付きスタイル**パレットを使用してテキストに条件付きスタイルを適用できます。ただし、条件付きスタイルの作成、編集、削除はできません。**特殊文字の選択**ボタンを使用して、テキストに条件付きスタイルマーカーを挿入できます。

箇条書きスタイルとアウトラインスタイルパレットが表示されていない場合は、**箇条書きスタイルとアウトラインスタイルパレットを表示／隠す**をクリックします。**箇条書きスタイルとアウトラインスタイル**パレットを使用して箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインのインデントをテキストに適用できます。ただし、テキスト編集ダイアログボックスでは箇条書き記号、箇条書き自動番号、インデントは表示できません。また、箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインスタイルの追加、編集、削除もできません。箇条書き記号、箇条書き自動番号、アウトラインスタイルをレイアウトに適用した結果を表示するには、テキスト編集ダイアログボックスで**適用**をクリックします。

画像コンポーネントの編集

Web ClientでJPEG、TIFF、EPSの画像コンポーネントを編集するには、アーティクルをチェックアウトしてから画像コンポーネントをクリックするか、または**アーティクルのコンポーネント**パレットで画像コンポーネントをダブルクリックします。画像編集ダイアログボックスが表示されます。



画像編集ダイアログボックス

矢印ボタンで、画像を垂直方向または水平方向にフリップできます。

X%フィールドと**Y%**フィールドで、画像のサイズを変更できます。チェーンアイコンで、縦横比を保持しながら画像のサイズを変更するかどうかを制御します。

クリックアンドドラッグすると、ボックス内で画像を移動できます。**X+**フィールドと**Y+**フィールドには、ボックスの左上に対する画像の基点が表示されます。

右側にあるフィールドで、画像を回転させることができます。

適用をクリックすると、スプレッドプレビューが更新され、変更内容が表示されます。

画像の操作は、ページのプレビューでそのコンポーネントをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューからオプションを選択しても実行できます。

- 画像を他の画像と置き換えるには、その画像のプレビューをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**サーバーから置換**を選択します。

- ローカルハードディスクから画像を取り込むには、その画像コンポーネントをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**画像の取り込み**を選択します。
- 画像のサイズをその画像コンポーネントに合うように変更するには、その画像コンポーネントをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**画像をボックスに合わせる**を選択します。
- 画像コンポーネントから画像を削除するには、その画像コンポーネントをControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、**画像をクリア**を選択します。

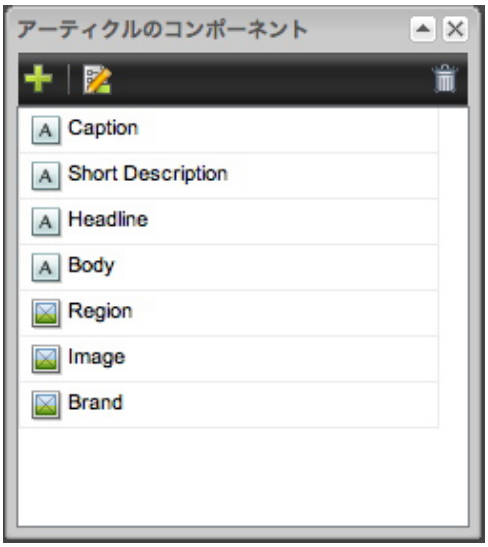
App Studioパレットを使用して画像コンポーネントにリンクされたアセットは編集できません。詳細は、『A Guide to App Studio』を参照してください。

コンポーネントの管理

Quark Publishing Platform Web Clientでアーティクルをチェックアウトまたは作成するときに、コンポーネントを追加および削除できます。また、**コンポーネントのプロパティ**ダイアログボックスを表示して**コンテンツタイプ**を確認し、**コンポーネント名**および**コンポーネントタイプ**を表示または編集できます。これを行うには、適切な権限を持つユーザーロールに属している必要があります。

1 アーティクルをチェックアウトします。

2 **アーティクルコンポーネント**パレットを表示するには、**コンポーネントパレットを表示／隠す**ボタンをクリックします。



アーティクルのコンポーネントパレット

3 コンポーネントを追加するには、**新規**をクリックします。

新規コンポーネントダイアログボックスが表示されます。**コンポーネント名**フィールドに名前を入力します。**コンテンツタイプ**ドロップダウンメニューから**テキスト**または**画像**を選択して、**コンポーネントタイプ**ドロップダウンメニューからコンポーネントのタイプを選択します。OKをクリックします。



新規コンポーネントダイアログボックス

4 コンポーネントを削除するには、**コンポーネント**パレットでコンポーネントを選択し**削除**をクリックします。

5 コンポーネントのプロパティを表示または変更するには、**コンポーネント**パレットでコンポーネントを選択して、**プロパティ**をクリックします。

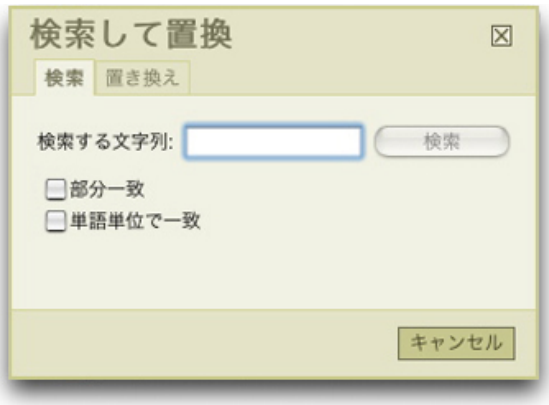
アーティクル内のテキストの検索と置換

Quark Publishing Platform Web Clientでテキストの検索と置換を行うには、下記の手順に従ってください。

1 編集するテキストが含まれているボックスをクリックします。テキスト編集ダイアログボックスが表示されます。

2 ツールが表示されない場合は、テキスト編集ダイアログボックスの上部のツールバーを展開します。

3 **検索**をクリックします。



検索と置換ダイアログボックスの**検索**タブ

4 アーティクル内のテキストを特定するには、**検索**タブをクリックします。

5 アーティクル内のテキストを置換するには、**置換**タブをクリックします。



検索と置換ダイアログボックスの**検索**タブ

編集のためのバックグラウンドカラーの調整

QuarkCopyDeskアーティクルに白いテキストが含まれる場合、白いテキストは、Quark Publishing Platform Web Clientのテキスト編集ダイアログボックスの白いバックグラウンドでは表示されません。テキスト編集ダイアログボックスのバックグラウンドカラーを変更することはできますが、ここで指定するバックグラウンドカラーは編集時にのみ適用されます。QuarkCopyDeskアーティクルには適用されません。

バックグラウンドカラーの変更については、下記の手順に従ってください。

1. 編集するテキストが含まれているボックスをクリックします。テキスト編集ダイアログボックスが表示されます。
2. ツールが表示されない場合は、テキスト編集ダイアログボックスの上部のツールバーを展開します。
3. **バックグラウンドカラー**ボタンをクリックします。**カラーを選択**ダイアログボックスが表示されます。
4. カラーを選択して、**OK**をクリックします。テキスト編集ダイアログボックスのバックグラウンドカラーが更新されます。

編集のためのテキストサイズの変更

QuarkCopyDeskアーティクルに極めて大きいまたは小さい活字が含まれている場合は、テキスト編集ペインツールバーの**ズームイン**および**ズームアウト**コントロールを使用して、コピー割付情報を変更することなくテキスト編集ペインの表示サイズを調整することができます。

WYSIWYGペインの**ズーム**コントロールは、テキスト編集ペインのフォントサイズに影響を及ぼしません。

テキストの表示サイズの変更については、下記の手順に従ってください。

1. リストからアーティクルを選択し、**チェックアウト**をクリックします。
2. **アーティクルのコンポーネント**パレットで、編集するテキストコンポーネントをクリックするか、テキストコンポーネントの名前をダブルクリックします。テキスト編集ダイアログボックスが表示されます。

3 テキストの表示サイズを縮小するには、ツールバーの**ズームアウト**をクリックします。

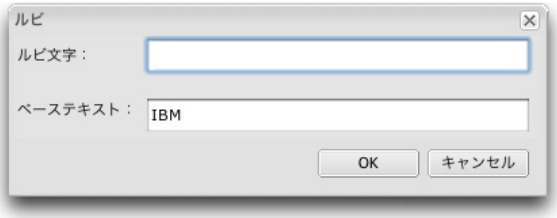
4 テキストの表示サイズを拡大するには、**ズームイン**をクリックします。

ルビの使用

ルビ文字で、ベーステキストの意味や発音を明確にします。ベーステキストについては縦組み、横組みのいずれも可能で、ルビ文字の組方向は通常ベーステキストに従います。ルビ文字には、モノルビとグループルビの2タイプがあります。**モノルビ**とは、ベーステキストの単一文字に関連付けられているルビ文字です。**グループルビ**とは、ベーステキストの複数文字に関連付けられているルビ文字です。1つ以上の文字にルビを指定するには、下記の手順に従ってください。

1 ルビを適用する文字を選択します。

2 **ルビ**をクリックします。**ルビ**ダイアログボックスが表示されます。



選択したベーステキストのルビを指定するには、**ルビ**ダイアログボックスを使用します。

3 ベーステキストを明確にする**ルビ文字**フィールドにテキストを入力します。

➡ **ベーステキスト**フィールドに選択したベーステキストが表示されます。新規テキストをこのフィールドに入力すると、新規テキストは新規ベーステキストになります。

4 **OK**をクリックします。ベーステキストの代わりにルビアイコンがテキスト編集ペインに表示されます。

5 WYSIWYG表示ペインのベーステキストおよびルビ文字の表示を更新するには、**適用**をクリックします。

➡ ルビを適用すると、テキスト編集ペインでベーステキストまたはルビ文字の表示や編集ができなくなります。ベーステキストまたはルビ文字を編集するには、ルビアイコンをクリックして、**ルビ文字**および**ベーステキスト**フィールドの値を変更します。

➡ ルビを縦組み用グループ化文字に適用することはできません。

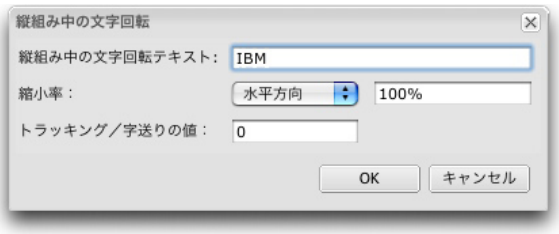
➡ テキストを選択せずに**ルビ**ボタンをクリックすると、**ルビ文字**および**ベーステキスト**フィールドに値を入力することができます。

縦組み用グループ化文字の使用

垂直ラインのテキストに欧文文字などの水平文字のグループを作成するには、**縦組み中の文字回転**コントロールを使用します。縦組み用グループ化文字は常に水平方向に表示され、行末で改行しません。選択した文字を縦組み用にグループにするには、下記の手順に従ってください。

1 1つまたは複数の文字を選択します。

2 **縦組み中の文字回転** をクリックします。**縦組み中の文字回転**ダイアログボックスが表示されます。



縦組み中の文字回転ダイアログボックスで比率および文字間隔を指定します。

3 **縮小率**ドロップダウンメニューで**垂直方向**または**水平方向**を選択して、**縮小率**ドロップダウンメニューの右隣にあるフィールドに25～400パーセントの値を入力します。

4 縦組み用グループ化文字の文字間隔を変更するには、**トラッキング／字送り**フィールドに値を入力します。

➡ トラッキング値の範囲は-500～500です。字送り値の範囲は0.353mm～50.8mmですが、この範囲外で値を指定したときに単位の環境設定がミリメートルでない場合、警告に表示される範囲は環境設定の単位で表されます。

5 OKをクリックします。

➡ 横組みの縦組み用グループ化文字では比率および文字間隔は表示されませんが、テキストを再配置しても文字はグループ化されたままになります。

➡ 縦組み用グループ化文字を作成したら、**縦組み中の文字回転**アイコンでテキスト編集ペインのテキストを置換できます。テキストを編集するには、**縦組み中の文字回転**アイコンをクリックして**縦組み中の文字回転テキスト**フィールドのテキストを変更します。

➡ テキストを選択しないで**縦組み中の文字回転**ボタンをクリックすると、**縦組み中の文字回転テキスト**フィールドにベーステキストを入力できます。

アーティクルでのノートの使用

権限を持っている場合、Quark Publishing Platform Web Clientを使用してアーティクルでノートを作成、編集、および削除できます。

- ノートを作成するには、ノートを入力するテキスト挿入ポイントの場所を指定し、**ノート**をクリックします。ノートウィンドウにテキストを入力してOKをクリックします。
- テキストをノートに変換するには、**ノート**アイコンをクリックします。OKをクリックしてノートウィンドウを閉じると、テキストがノートアイコンに置き換えられます。
- ノートを開くには、テキスト編集ウィンドウで**ノート**アイコンをクリックします。ノートウィンドウが、ノート作成者の名前と作成された日時とともに表示されます。
- ノートを閉じるには、ノートウィンドウで閉じるボックスをクリックします。

- ノートを削除するには、ノートアイコンの右側にテキスト挿入バーを配置して、Deleteキーまたは Backspaceキーを押します。

➡ **ノート**アイコンを含むテキストの範囲を選択してから文字入力を開始すると、**ノート**アイコンを含むテキストが入力した文字に置き換わり、ノートが削除されます。

Quark Publishing Platform Web Clientでのプロジェクトの編集

Web Clientでプロジェクトを編集するには、まず、プロジェクトをチェックアウトする必要があります。プロジェクトを選択して、**チェックアウト**をクリックします。プロジェクトが編集用に開かれます。プロジェクトに複数の印刷レイアウト、インタラクティブレイアウト、またはApp Studioレイアウトが含まれている場合は、作業に必要なレイアウトを選択できます。

➡ Quark Publishing Platform Web Clientで、プロジェクト内のリンクされたアーティクルとインラインアーティクルの両方を編集できます。プロジェクトの編集中にリンクされたアーティクルを編集するには、**アーティクルのコンポーネント**パレットの**チェックアウト**ボタンを使用して、リンクされたアーティクルをチェックアウトします。

Quark Publishing Platform Web Clientでのコンテンツの編集の詳細は、「*Quark Publishing Platform Web Clientでのアーティクルの編集*」を参照してください。

➡ 印刷レイアウトおよびApp Studioレイアウトのみ編集できます。

➡ レイアウトアーティストが、**App Studio**パレットを使用してインタラクティブに追加したアーティクルは編集できません。

Quark Publishing Platform Web Clientでのコールアウト

コールアウトアンカーが含まれたコンポーネントのあるアーティクルまたはプロジェクトをWeb Clientで開く場合、コールアウトはページ画像でのみ表示されます。そのコンテンツはWeb Clientでは編集できません。コールアウトアンカーの削除や位置の変更はできますが、作成、カット、コピー、ペーストはできません。コールアウトにコールアウトスタイルを適用することもできません。また、コールアウトをコールアウトアンカーと関連付けたり、コールアウトからコールアウトアンカーを解除したりすることもできません。

その他のファイルのチェックイン

Quark Publishing Platform Web Clientの**その他のチェックイン**機能を使用して、アセットをチェックインすることができます。

1 **その他のチェックイン**をクリックします。

2 Windowsプラットフォームの場合、ドロップダウンメニューに**チェックイン**と**フォルダをチェックイン**のオプションが表示されます（フォルダをチェックインのオプションは、QPPクライアントのみです）。**チェックイン**をクリックします。

3 **その他のチェックイン**ダイアログボックスが表示されます。

4 **ファイルの選択／参照**をクリックします。表示されたダイアログボックスで、アーティクル、プロジェクト、画像、またはその他のアセットを選択します。

5 ファイルを選択して、**選択／開く**をクリックします。HTML 5をサポートするウェブブラウザを使用している場合、複数のファイルを選択することができます。

6 **OK**をクリックして、**チェックイン**ダイアログボックスを表示します。**チェックイン**ダイアログボックスが表示されます。Quark Publishing Platform Serverによってファイルの種類が認識されると、適切なコンテンツタイプが自動的に選択されます。Quark Publishing Platform Serverによってファイルの種類が認識されない場合は、コンテンツタイプは**アセット**として一覧表示されます。

7 **チェックイン**ダイアログボックスで、コレクション、ワークフロー、およびその他のアセット属性を指定します。

8 **OK**をクリックして、アセットをチェックインします。

➡ アセットをファイルシステムから**コレクション**ツリーまたは検索結果ペインにドラッグして、Quark Publishing Platformに追加することもできます。

その他のファイルの編集

任意の種類のアセットをチェックアウトするには、Quark Publishing Platform Web Clientを使用します。また、アセットを編集するには、サードパーティアプリケーションを使用します。作業が終了したら、Quark Publishing Platform Web Clientを使用してアセットをチェックインします。

➡ アセットをチェックアウトするのにInternet Explorer（Windows）を使用した場合、チェックアウトファイルを保存する場所を指定します。Safari（Mac OS）またはMozilla Firefox（Mac OSおよびWindows）を使用した場合、ダウンロードファイル用に指定した場所にチェックアウトファイルが保存されます。

➡ サードパーティアプリケーションで編集したアセットをチェックインするのにQuark Publishing Platform Web Clientを使用する場合、チェックインプロセス中にファイルを参照して選択します。

アセットの削除、複製、およびローカルコピーの取得

Quark Publishing Platform Web Clientを使用して、アセットの削除、複製、およびローカルコピーの取得を行えます。 チェックアウト済みやリンクされているアセットについてどのような処理が行われるかは、環境設定により決定されます。

アセットの削除

チェックアウト済みアセットや、他のアセットから参照されているアセットを削除するとき、Quark Publishing Platform Web Clientがどのように応答するのかを指定するには、対応する**環境設定**ダイアログボックスの**アセット削除オプション**領域にある、**チェックアウト済みアセット**および**参照されているアセット**ドロップダウンメニューを使用します。どちらのオプションでもコントロールは同じです。 チェックアウト済みまたは参照されているアセットを、警告を表示せずに削除するには、**警告を表示しないでアセットを削除**を選択します。 チェックアウト済みまたは参照されているアセットの削除を禁止するには、**削除を許可しない**を選択します。 チェックアウト済みまたは参照されているアセットを削除するたびに警告を表示し、削除するかどうか決定できるようにするには、**削除する前に常に尋ねる**を選択します。

アセットを削除するには、下記の手順に従ってください。

1. アセットを選択して右クリックし、コンテキストメニューを開きます。
2. メニューの**アセットを削除**をクリックします。
3. 削除の確認を求めるダイアログボックスが表示されます。 **OK**をクリックしてアセットを削除するか、**キャンセル**をクリックして削除を取り消します。

➡ 選択したアセットがチェックアウトされている、またはリンクされている場合、削除プロセスは環境設定に応じて続行されます。

➡ 複数のアセットを選択して、同時に削除することもできます。

アセットの複製

アセットを複製するには、下記の手順に従ってください。

1. アセットを選択して右クリックし、コンテキストメニューを開きます。
2. メニューの**アセットの複製**をクリックします。

   アセットが複製され、アセット名に**Copy**が付加されます。 元のアセットの参照は、複製されたアセットにも適用されます。

➡ 複数のアセットを選択して、同時に複製することもできます。

アセットの取得

アセットのローカルコピーを取得するには、下記の手順に従ってください。

1. アセットを選択して右クリックし、コンテキストメニューを開きます。
2. メニューの**取り込み**をクリックします。

   アセットのローカルコピーが、システムにダウンロードされます。

➡ 複数のアセットを選択して、同時に取得することもできます。 複数のアセットを取得すると、選択されたすべてのアセットを含むzipファイルがシステムにダウンロードされます。

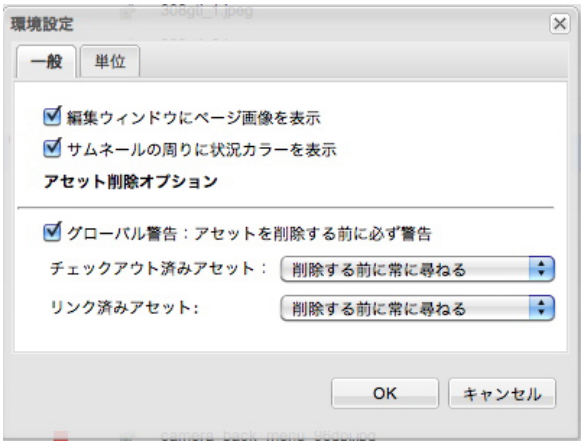
Web Clientでのプレビューペインの使用

画面の右側にある**プレビュー**ペインは、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウの**プレビュー**ペインと同様の機能があります。ただし、Web Client版のこのペインの下部にあるタブには、他のQuark Publishing Platformクライアントほど多くの情報は表示されません。詳細は、「*プレビューペイン*」を参照してください。

Quark Publishing Platform Web Clientの環境設定

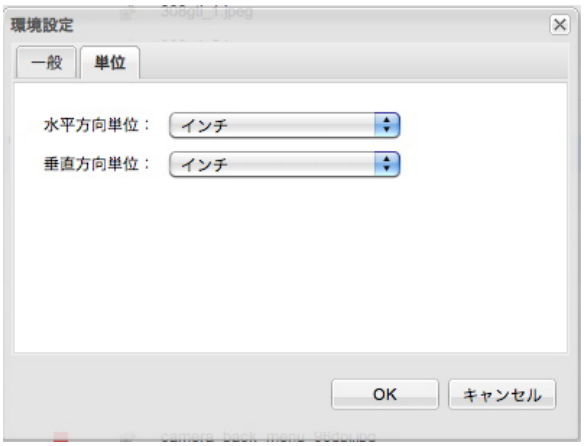
プレビューとスタイルシートの表示、デフォルトの水平方向と垂直方向の単位に関する環境設計を指定できます。環境設定を指定するには、下記の手順に従ってください。

1. **環境設定**をクリックします。**環境設定**ダイアログボックスが表示されます。
2. **全般**タブをクリックします。



Quark Publishing Platform Web Clientウィンドウの表示環境設定を指定するには、**環境設定**ダイアログボックスの**全般**タブを使用します。

3. テキスト編集のバックグラウンドカラーのデフォルト値を指定するには、**エディタのバックグラウンドカラーのデフォルト値**コントロールでそのカラーを16進数の記述で入力するか、または、ドロップダウンメニューからカラーを選択します。
4. デフォルトでQuarkCopyDeskアーティクルのページ画像を表示するには、**編集ウィンドウにページ画像を表示**をオンにします。
5. アセットプレビューの周りのボーダーとして状況カラーを表示するには、**サムネールの周りに状況カラーを表示**をオンにします。
6. Quark Publishing Platform Web ClientのQuark Publishing Platformアセットを削除するときに警告が表示されるようにするには、**グローバル警告：アセットを削除する前に必ず警告**をオンにします。
7. チェックアウト済みアセットおよびQuarkXPressにリンクされているアセットを削除しようとした場合の、Quark Publishing Platform Web Clientの応答方法を指定するには、**アセット削除オプション**領域の**チェックアウト済みアセット**および**リンク済みアセット**ドロップダウンメニューを使用します。どちらのオプションでもコントロールは同じです。
8. 単位を指定するには、**単位**タブをクリックします。



Quark Publishing Platform Web Clientウィンドウの表示単位を指定するには、**環境設定**ダイアログボックスの**単位**タブを使用します。

9 **水平方向単位**ドロップダウンメニューから、**インチ**、**インチデシマル**、**パイカ**、**ポイント**、**ミリメートル**、**センチメートル**、**シセロ**、**エゲート**、または**Q**のいずれかのオプションを選択します。

10 **垂直方向単位**ドロップダウンメニューから、**インチ**、**インチデシマル**、**パイカ**、**ポイント**、**ミリメートル**、**センチメートル**、**シセロ**、**エゲート**、または**Q**のいずれかのオプションを選択します。

11 **OK**をクリックします。

Script Manager

スクリプトは、一定のアプリケーションタスクを自動化するために、インタープリタ型言語で記述されるコマンドセットです。Quark Publishing Platform Serverではサーバーサイドスクリプトを使用できます。Quark Publishing Platform Script Managerアプリケーションにより、別のQuark Publishing Platformアプリケーションまたはユーザーの操作を必要とすることなく、アクションを実行する自動化スクリプトを管理できます。スクリプト作成者は、すべてのData Transfer Object（DTO）とJava™ Message Service（JMS）のメッセージを含むすべてのQuark Publishing Platform Serverサービスに、Quark Publishing Platform Script Managerインターフェイスからアクセスできます。

スクリプトでは、Quark Publishing Platformのイベント、事前定義スケジュール、またはユーザーのシングルクリックに基づいてアクションを開始できます。Quark Publishing Platformインストールには、Quark Publishing Platform Script Managerに取り込むことができるサンプルスクリプトが組み込まれています。

たとえば、Quark Publishing Platform状況が変化するときに、PDFを作成するために必要なステップを自動化する"PublishAssetOnStatusChange.js"サンプルスクリプトをQuarkXPressプロジェクトから取り込むことができます。

Quark Publishing Platform Serverは、JavaScript™（Rhinoを使用）またはGroovy（Java仮想マシン環境用のスクリプト記述言語）という2つのスクリプト記述エンジンがあらかじめ設定された状態で出荷されます。ただし、Apache Bean Scripting Framework（BSF）によってサポートされる任意の言語でスクリプトを記述したり、対応するスクリプト記述エンジンをそのBean Scripting Frameworkに追加したりすることもできます。

Quark Publishing Platform Script Manager設定

Quark Publishing Platform Serverをインストールした後、Quark Publishing Platform Serverのアプリケーションフォルダ（およびQuark Publishing Platformのインストール先フォルダ）で"ScriptManager"フォルダを探します。このフォルダには、サンプルスクリプトのフォルダとして"Quark Publishing Platform Script Manager.app"（Mac OS）または"ScriptManagerStartup.bat"（Windows）、および（Quark Publishing Platform Script Managerにログオン後は）実行時のエラーと警告を記録する"Quark Publishing PlatformScriptManager.log"の増分ファイルを格納するためのログフォルダがあります。Windowsでは、"ScriptManager"フォルダにJavaアーカイブファイル（JARファイル）も格納されています。

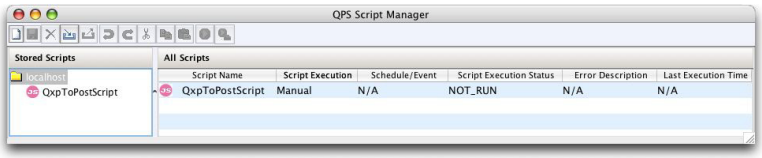
サンプルスクリプトは"ScriptManager"フォルダにあります。

Quark Publishing Platform Script Managerの使用

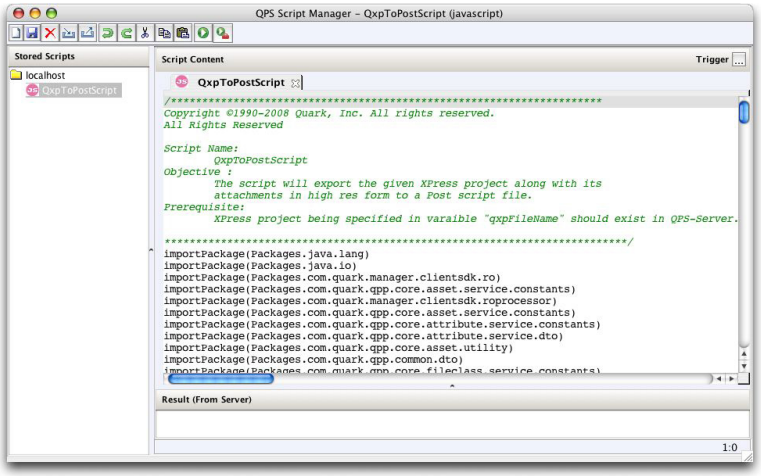
Quark Publishing Platform Script Managerのユーザーインターフェイスには、Quark Publishing Platform Serverのスクリプトを作成、取り込み、書き出し、および編集するためのコマンドがあります。Quark Publishing Platform Script Managerでは、スクリプトの作成や編集の他、スクリプトの手動での実行、スクリプトを特定の時間に実行するためのスケジュール設定、またはスクリプトを起動するQuark Publishing Platformイベント（アセットの初回チェックイン時など）の定義も行えます。

Quark Publishing Platform Script Managerにログオンして、**保存されたスクリプト**列上部のQuark Publishing Platform Serverフォルダアイコンをダブルクリックすると、保存済みのスクリプトと個々のスクリプト情報が表示されます。

➡ 下記に示す"PublishAssetOnStatusChange"スクリプトは、すでに取り込まれ、保存されたものです。



スクリプトを表示するには、**保存されたスクリプト**列にリストされているスクリプトをダブルクリックします。スクリプトが表示されると、ウィンドウ上部のツールバーから、Quark Publishing Platform Script Managerのさまざまなメニューコマンドを使用できます。



Quark Publishing Platform Script Managerを使用して、"PublishAssetOnStatusChange"サンプルスクリプトなどのQuark Publishing Platform Server機能を自動化できます。

Quark Publishing Platform Script Managerを使用したログオン

Quark Publishing Platform Serverのスクリプトを作成または編集するには、まずログオンする必要があります。

1 "Quark Publishing Platform Script Manager.app"（Mac OS）または"ScriptManagerStartup.bat"（Windows）をダブルクリックします。



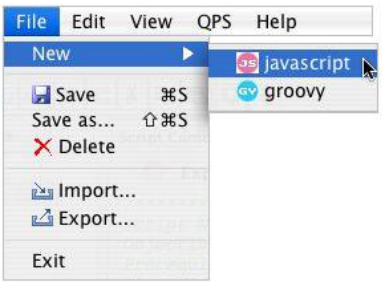
Quark Publishing Platform Script Managerを使用するには、Quark Publishing Platform Serverにログオンします。

2 ユーザー名、パスワード、およびQuark Publishing Platform Server名を入力し、**ログオン**をクリックします。

スクリプトの作成

Quark Publishing Platform Script Managerを使用してスクリプトを作成したり、Quark Publishing Platformサンプルスクリプトや他のスクリプトを取り込んで編集および実行したりできます。

1 新規スクリプトを作成するには、**ファイル > 新規 > javascript**または**ファイル > 新規 > groovy**を選択します。



Quark Publishing Platform Script Managerでスクリプトを作成するには、**新規**サブメニューを使用します。

Quark Publishing Platform Script Managerウィンドウに新しいタブが表示され、Quark Publishing Platform Script Managerウィンドウの左側にある**保存されたスクリプト**リストにスクリプト名が表示されます。

➡ Quark Publishing Platform Script Managerアプリケーションを使用してスクリプトを作成および変更できますが、スクリプト作成者の多くは、個別のオーサリングアプリ

ケーションを使用してJavaScriptまたはGroovyスクリプトを作成します。JavaScriptまたはGroovyスクリプトの作成については、スクリプトオーサリングソフトウェアのマニュアルを参照してください。

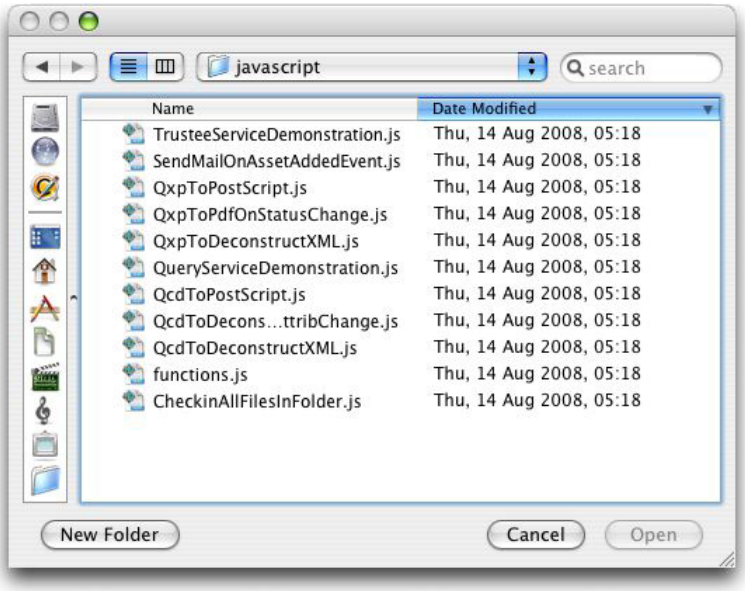
2 スクリプト作成時の作業を保持するには、**ファイル > 保存**を選択します。

➡ スクリプトを保存すると、スクリプトのコンテンツがQuark Publishing Platform Serverに送信されて保存されます。新規のスクリプトまたは取り込まれたスクリプトは、保存されるまでQuark Publishing Platformに追加されません。

スクリプトの取り込み

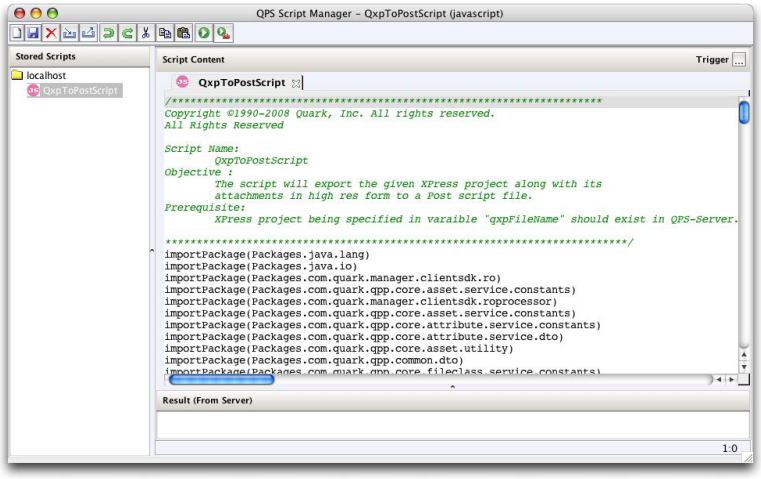
ファイル > 取り込みを使用して、Quark Publishing Platform Script ManagerでJavaScriptまたはGroovyスクリプトを取り込むことができます。Quark Publishing Platform Serverのインストールには、取り込み、編集および実行ができるサンプルスクリプトが含まれています。

1 **ファイル > 取り込み**を選択します。



Quark Publishing Platformのサンプルスクリプトは"Sample Scripts"フォルダの"javascript"フォルダにあります。

2 "javascript"フォルダに移動してスクリプトを選択し、**開く**をクリックします。



保存されたスクリプトエリアに、Quark Publishing Platform Script Managerで開いているスクリプトが一覧表示されます。

3 変数および構造を表示するには、スクリプトをスクロールします。

4 スクリプトを保存するには、**ファイル > 保存**を選択します。

➡ 取り込んだスクリプトは変更されていませんが、Quark Publishing Platform Script Managerで取り込んだスクリプトを保存する必要があります。

スクリプトの削除および書き出し

スクリプトの書き出しまたは削除を行うには、まずログオンしてQuark Publishing Platform Script Managerでスクリプトを開く必要があります。

1 Quark Publishing Platform Script Managerウィンドウの左側にある**保存されたスクリプト**リストでスクリプト名をダブルクリックします（または**スクリプトのコンテンツ**エリアのスクリプトタブをクリックします）。

2 スクリプトを削除するには、スクリプトを選択して**ファイル > 削除**を選択するか、Quark Publishing Platform Script Managerのツールバーにある削除アイコンをクリックします。削除をキャンセルするかどうかを示す警告メッセージが表示されます。

3 スタンドアロンのスクリプトファイルを生成するには、スクリプトを選択して**ファイル > 書き出し**を選択するか、Quark Publishing Platform Script Managerのツールバーにある書き出しアイコンをクリックします。

4 書き出すスクリプトの名前を入力して、**保存**をクリックします。

スクリプトの記述、編集、および起動

プロセスを自動化するには、Quark Publishing Platform Serverのサービスおよびデータを直接使用してタスクを実行するスクリプトを記述して取り込む必要があります。すべてのQuark Publishing Platform Serverオブジェクトはスクリプトからアクセスできるため、Quark Publishing Platform Server APIで定義された操作を起動して必要な結果を生成できます。スクリプトを使用するには、まず、Quark Publishing Platform Serverにログオン中にスクリプトを保存する必要があります。

スクリプトを手動で実行するか、スケジュールまたはQuark Publishing Platformイベントに従って自動で実行するかに関係なく、スクリプトは、Quark Publishing Platform Serverコンピュータで実行されます。Quark Publishing Platform Consoleの出力のすべてが、Quark Publishing Platform Script Managerの結果ウィンドウに表示されるわけではありません。Quark Publishing Platform Script Managerには、スクリプトの実行によって返された最終結果またはエラーのみが表示されます。

Quark Publishing Platform Serverオブジェクトへのアクセス

RuntimeBeanManagerを使用してQuark Publishing Platform Serverオブジェクトにアクセスできます。デフォルトのRuntimeBeanManagerはBean Scripting Framework（BSF）から宣言されたBeanです。このBeanは直接スクリプトから使用できます。検索メソッドを使用して任意のサーバーオブジェクトにアクセスできます。

以下のサンプルスクリプトテキストは、サーバーオブジェクトへのアクセス方法を示しています。

```
var assetFacade = runtimeBeanManager.lookupBean("restAssetFacade") var
queryFacade = runtimeBeanManager.lookupBean("queryFacade")
```

スクリプトへのスクリプトの読み込み

Quark Publishing Platform Script Managerの**load(.)**メソッドを使用して、既存のスクリプトを別のスクリプトに追加できます。スクリプトの読み込みには、現在のスクリプト内のスクリプト全体が含まれているため、その変数とメソッドを使用することができます。「load(S1)」と指定すると、S1というスクリプトが読み込まれます。「load(S1, S2, Sn)」と指定すると、「S1」、「S2」および「S3」というスクリプトが読み込まれます。

Quark Publishing Platform Script Managerには、Quark Publishing PlatformおよびQuarkXPress Server Managerの共通機能（「QppFunctions.js」および「QxpsmFunctions.js」）を持つ2つのサンプルスクリプトが組み込まれています。これらのサンプルスクリプトの取り込みおよび読み込みにより、時間を節約できます。

ログスクリプトとデバッグスクリプト

下記の関数は、スクリプトにおいて詳細をログに記録する場合に便利なメソッドです。ログコメントがログに記録されるかどうかは、Quark Publishing Platform Serverで設定されるログレベルによって決まります。

- **print(.)**
  可変引数の文字列値を印刷します。印刷は、サーバーの標準出力で行われます。 出力たとえば、print("Hello")やprint(arg1, ..., argN)のように指定できます。

- **debug(.)**
  デバッグコメントをQuark Publishing Platform Serverのログファイルに記録します。

- **info(.)**
  情報コメントをQuark Publishing Platform Serverのログファイルに記録します。

- **warn(.)**
  警告コメントをQuark Publishing Platform Serverのログファイルに記録します。

- **error(.)**
  エラーコメントをQuark Publishing Platform Serverのログファイルに記録します。

- **exception(.)**
  例外をQuark Publishing Platform Serverのログファイルに記録します。たとえば、以下のようにします。

```
{
//do something
}
catch (err) {
exception(err);
}
```

スクリプトでのユーティリティメソッドの使用

URLの読み込みや、関数の実行、生成、および同期を行うには、下記のメソッドを使用します。

- **readUrl(.)**
  指定のURLへの接続を開き、データをすべて読み込んでから、指定された文字エンコーディングまたは（コーディング引数が明示的に指定されていない場合は）デフォルトの文字コーディングを使用して、そのデータを文字列に変換します。たとえば、readUrl(url)、またはreadUrl(url, charCoding)のように使用します。

- **runCommand(.)**
  指定されたコマンドを、与えられた引数およびオプションで別個のプロセスとして実行し、プロセスの終了状況を返します。たとえば、runCommand(command)、またはrunCommand(command, arg1, ..., argN)のように使用します。

- **spawn(.)**
  指定の関数またはスクリプトを別のスレッドで実行します。たとえば、function g() {//do something;)、またはspawn(g);のように使用します。

- **sync(.)**
  既存の関数から「同期」関数（java の同期メソッドのようなもの）を作成します。新しい関数が呼び出されると、このオブジェクト上で同期されます。

```
var o = { f:sync(function(x) {
print("entry");
Packages.java.lang.Thread.sleep(x*1000);
print("exit");
})};
```

スクリプトの起動

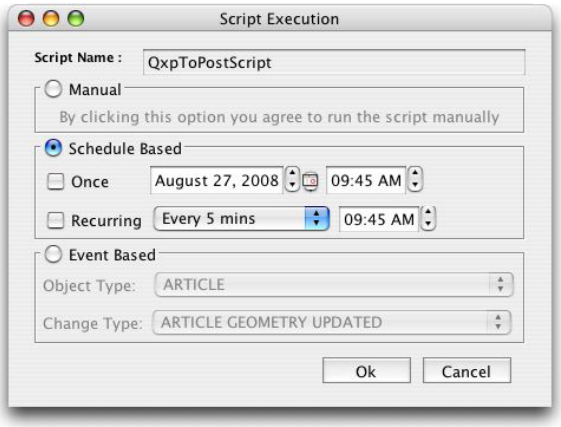
Quark Publishing Platform Script Managerでは、3つの方法でスクリプトを実行できます。Quark Publishing Platform Script Managerを使用してスクリプトを手動で実行したり、特定の間隔でスクリプトの実行をスケジュール設定したり、Quark Publishing

Platformワークフロー内で発生するイベントを指定してスクリプトを「起動」したりできます。

1 Quark Publishing Platform Script Managerウィンドウの**スクリプトのコンテンツ**エリアでスクリプトを表示します。

2 スクリプトを保存します。

3 Quark Publishing Platform Script Managerウィンドウの右側にある**起動**ボタンをクリックします。**スクリプトの実行**ダイアログボックスが表示されます。



手動でスクリプトを実行したり、スクリプトの実行をスケジュール設定したり、スクリプトを起動するQuark Publishing Platformイベントを定義したりするには、**スクリプトの実行**ダイアログボックスを使用します。

4 スクリプトを実行するには、**手動**をクリックし、**OK**をクリックします。スクリプトが実行されます。

5 スクリプトを一度だけ実行するようにスケジュール設定するには、**スケジュールベース**をクリックして**一度**をオンにし、日時を選択します。スクリプトは設定された時間に実行されます。

6 一定の間隔でスクリプトを実行するようにスケジュール設定するには、**スケジュールベース**をクリックして**繰り返し**をオンにし、間隔を指定します。

7 スクリプトを起動するQuark Publishing Platformイベントを指定するには、**イベントベース**をクリックして**オブジェクトの種類**ドロップダウンメニューからオプションを選択します。**種類の変更**ドロップダウンメニューのオプションは、**オブジェクトタイプ**ドロップダウンメニューの選択によって異なります。

8 **種類の変更**ドロップダウンメニューからオプションを選択し、**OK**をクリックします。

Quark Publishing Platformのイベントベーススクリプトの例

下記のサンプルスクリプトは、アセットの状況が変更されたときに、特定の場所にPDF版のアセットを発行して配信するために実行されます。この場合、**オブジェクトタイプ**は「ASSET」と呼ばれ、**変更タイプ**は「ASSET_CHANGED」です。

```
The whole script needs to replaced by following content:importPackage(Packages.java.lang);
 importPackage(Packages.java.io); importPackage(Packages.java.util);
importPackage(Packages.com.quark.qpp.core.messaging.service.constants);

//name of the status, such that when an asset is in given status, it should be published.
var statusName = "Publish";
```

```
// Destination folder for published content var destinationFolder = "E:/target";

var assetId = ASSET.get(DefaultMessagePropertyNames.OBJECT_ID);

//Declare QPP Service Facades var publishFacade =
runtimeBeanManager.lookupBean("publishFacade"); var assetFacade =
runtimeBeanManager.lookupBean("restAssetFacade");

/*Map of content types and publishing channel ids.Depending upon the asset's content
type, corresponding publishing channel will be considered */ var publishingChannelsMap
 = {'QuarkXPress Project':'qxpPdf', 'Business Document':'busDocPdf'};

/* Channel parameters for publishing channel with id :qxpPdf */ var parametersForQxpPdf
 = new java.util.HashMap(); parametersForQxpPdf.put("SPREAD_VIEW", "FALSE");

/* Channel parameters for publishing channel with id :busDocPdf */ var
parametersForBusDocPdf = new java.util.HashMap();
parametersForBusDocPdf.put("XSL_URI", "classpath:BusDoc2QXPS.xslt");
parametersForBusDocPdf.put("QXP_TEMPLATE_URI", "classpath:BLTEMP.qxp");

/* Map of publishing channel id and publishing parameters */ var parametersMap = {
'qxpPdf' :parametersForQxpPdf, 'busDocPdf' :parametersForBusDocPdf};

//Declare a string buffer var stringBuffer = new StringBuffer();

//names of the attributes to be fetched var attributes = ["Name", "Status", "Content Type"];

var assetInfo = assetFacade.getAsset(assetId, null/*majorVersion*/, null/*minorVersion*/,
 attributes, false/*get child asset relations */, false /* get parent asset relations*/,
[]/*Relation types*/, null /*Rendition Type */, null /* Output stream*/, null /*layout
number*/, null/*page number*/);

var attributesList = assetInfo.getAttributeValueList().getAttributeValue();

var assetName = ""; var currentStatus = ""; var contentType = "";

for(var i = 0; i<attributesList.size(); i++){  var attributeValue = attributesList.get(i);
if(attributeValue.getName().equalsIgnoreCase("Name")){  assetName =
attributeValue.getValue();  } if(attributeValue.getName().equalsIgnoreCase("Status")){
currentStatus = attributeValue.getValue();  }
if(attributeValue.getName().equalsIgnoreCase("Content Type")){  contentType =
attributeValue.getValue();  }  }

//In case the asset is in desired status if(currentStatus.equalsIgnoreCase(statusName)){

 try{  var pdfFile = new File(destinationFolder + "/"+ assetName+".pdf"); var fileOutputStream
 = new FileOutputStream(pdfFile);

  //get publishing channel id on the basis of content type var publishingChannelId =
publishingChannelsMap[contentType]; var publishingChannelParameters =
parametersMap[publishingChannelId];

  publishFacade.publishQPPResource(assetId, fileOutputStream, publishingChannelId, null
  /* Since we want to publish the given asset, hence delivery channel is null*/,
publishingChannelParameters); stringBuffer.append("¥n"+assetName+" has been published
 as PDF at location "+destinationFolder);  }catch(exception){  stringBuffer.append("Error
while publishing the asset with name :"+assetName+"¥n"); stringBuffer.append(exception);
  }finally{  if(fileOutputStream != undefined){  fileOutputStream.close();  }  }  }
stringBuffer.toString();
```

手動によるスクリプトの実行

スクリプトを起動するQuark Publishing Platformイベントを定義したり、スクリプトの実行をスケジュール設定している場合でも、いつでも手動でスクリプトを実行することができます。

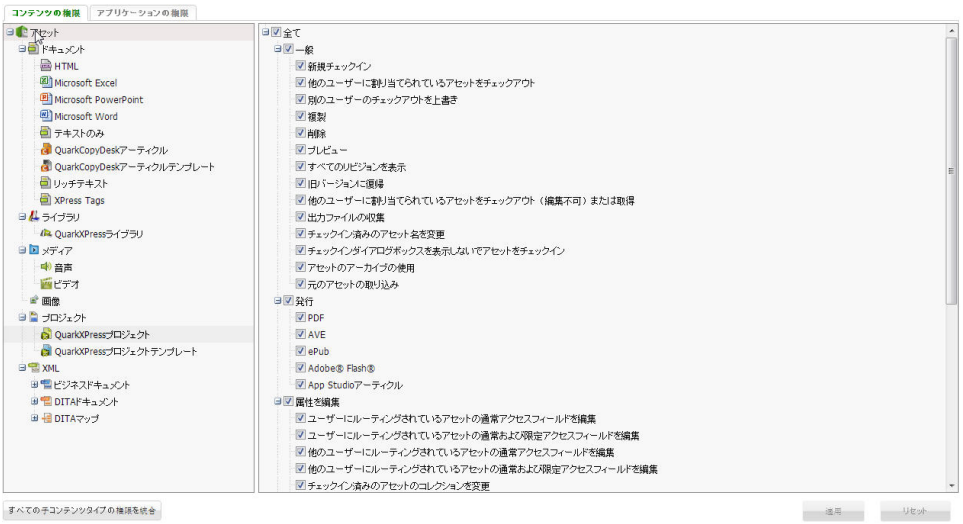
1. **スクリプトのコンテンツ**列のスクリプトを表示します。
2. スクリプトを実行するには、**QPP > 実行**を選択するか、**実行**ボタンをクリックします。
3. スクリプトの特定の機能を実行するには、**QPP > パラメータの実行**を選択します。**パラメータの実行**ダイアログボックスが表示されます。
4. **メソッド名**フィールドに名前を入力してパラメータを指定し（パラメータは追加および削除できます）、**OK**をクリックして特定のパラメータを実行します。

権限

ロールの権限を指定する場合は、選択されるQuark Publishing Platformアプリケーションでのそのロールのメンバーが使用可能なコマンドを定義することになります。ロールのメンバーにタスクを実行する権限がない場合は、コマンドが使用不可になるか非表示になります。権限を指定するには、http://[Platform Serverコンピュータ のIPアドレス]:61400/adminでQuark Publishing Platform Web Adminのインターフェイスにログインして、左側にある**ロールと権限**をクリックします。

権限には以下の2種類があります。

- **コンテンツの権限**：これらの権限により、ユーザーがコンテンツを使用する方法を制御できます。



アセットの種類ごとに、さまざまなコンテンツの権限を使用できます。また、どのアセットの種類が選択されたかによって、権限の機能が異なります。

- **アプリケーションの権限**：これらの権限により、ユーザーが使用できるアプリケーションの機能を制御できます。



コンテンツの権限

コンテンツの権限は、通常、ユーザーがコンテンツに対して持つアクセスのレベルと種類に関係があります。

コンテンツの権限： 全般

このセクションには、全般的な権限が含まれます。

- **新規チェックイン**：ロールのメンバーは、新規アーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットをチェックインできます。
- **他のユーザーに割り当てられているアセットをチェックアウト**:ロールのメンバーは、他のユーザーに割り当てられているアーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットをチェックアウトできます。
- **他のチェックアウトを上書き**:ロールのメンバーは、別のユーザーによりチェックアウトされたアーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットをチェックアウトできます。たとえば、あるユーザーがチェックアウト済みアセットを持っていて、自分がチェックアウトの上書き権限を持っている場合、アセットを選択してOption／Altキーを押し、Quark Publishing Platformの**ワークスペース**ツールバーで**チェックアウト**をクリックできます。アセットが特定のユーザーによりチェックアウトされたことを通知

するメッセージが表示されます。チェックアウトの上書きを続行すると、他のユーザーも同様に通知を受け取ります。他のユーザーは、名前を変更しない限り（また新規アセットのチェックイン権限がない限り）そのアセットをチェックできません。新規アセットはオリジナルとは無関係の別のアセットです。

- **複製**：ロールのメンバーは、アーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットを複製できます。
- **削除**：ロールのメンバーは、アーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットを削除できます。
- **プレビュー**:ロールのメンバーは、アーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットをプレビューできます。
- **すべてのリビジョンを表示**：ロールのメンバーは、Quark Publishing Platform Serverでユーザーが属するコレクションの範囲内で、アーティクル、プロジェクト、画像、またはその他のアセットのリビジョンをすべて表示できます。
- **旧バージョンに復帰**：ロールのメンバーは、アーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットを旧バージョンに戻すことができます。
- **他のユーザーに割り当てられているアセットをチェックアウト（編集不可）または取得**：ロールのメンバーは、アーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットの編集不可バージョンをコピーできます。ユーザーは、アセットをチェックアウトせずにQuark Publishing Platform Serverからアセットのコピーを取得できます。
- **チェックイン済みのアセット名を変更**：ロールのメンバーが、他のユーザーに割り当てられているチェックイン済みのアセットの名前を変更できます。
- **チェックインダイアログボックスを表示しないでアセットをチェックイン**:Option／Altキーを押しながら**アセットをチェックイン**をクリックすることによってユーザーが**チェックイン**ダイアログボックスを省略できるようにするには、このボックスをオンにします。
- **アセットのアーカイブの使用**：この権限によりユーザーは、Quark Publishing Platformアセットをアーカイブできます。
- **元のアセットの取り込**：ロールのメンバーが、元のバージョンのアセットを取り込むことができます。
- **発行**：この権限によって、ロールのメンバーがQuark Publishing Platformでサポートされているさまざまな形式で発行できるかどうかを制御できます。

コンテンツの権限： 属性の編集

このセクションには、Quark Publishing Platformのファイルタイプごとに割り当てられた属性を有効または無効にできる複数の権限が含まれています。属性を作成すると、**属性の作成**ダイアログボックスの**限定アクセス**チェックボックスをオンにすることで、通常の属性および限定アクセスの属性を編集する権限のあるユーザーのみに、その属性へのアクセスを制限できます。通常アクセスフィールドのみを編集する権限のあるユーザーは、限定アクセス属性を編集できません。たとえば、「編集者」ロールのメンバーは、「編集者による承認」などの限定属性にアクセスできます。ただし、「ライター」ロールのメンバーは、通常アクセスのフィールドのみを編集する権限を持っているため、これらのフィールドを編集できません。これらの権限には、次のものが含まれます。

- **ユーザーにルーティングされているアセットの通常アクセスフィールドを編集**:ロールのメンバーが、自身にルーティングされているアーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットの「通常アクセス」属性を編集できます。

- **ユーザーにルーティングされているアセットの通常および限定アクセスフィールドを編集**:ロールのメンバーが、自身にルーティングされているアーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットの「通常アクセス」属性および「限定アクセス」属性を編集できます。
- **他のユーザーにルーティングされているアセットの通常アクセスフィールドを編集**:ロールのメンバーが、別のユーザーにルーティングされているアーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットの「通常アクセス」属性を編集できます。
- **他のユーザーにルーティングされているアセットの通常および限定アクセスフィールドを編集**:ロールのメンバーが、別のユーザーにルーティングされているアーティクル、プロジェクト、画像、およびその他のアセットの「通常アクセス」属性を編集できます。
- **チェックイン済みのアセットのコレクションを変更**:ロールのメンバーがチェックイン済みのアセットを別のコレクションに移動できます。
- **チェックイン済みのアセットのワークフローを変更**:ロールのメンバーがチェックイン済みのアセットを別のワークフローに移動できます。

コンテンツの権限： ジョブジャケット

このセクションには、ロールのメンバーがジョブジャケットの機能を上書きできるかどうかを制御する、複数の権限が含まれています。

- **デフォルトのジョブジャケットファイルまたはジョブチケットテンプレートの上書き**：ロールのメンバーが、デフォルトではないジョブジャケットファイルまたはジョブチケットを使用できます。
- **プロジェクトのチェックイン時にレイアウトの評価ルールを上書き**：レイアウトを評価できない場合でも、ロールのメンバーがプロジェクトをチェックインできます。
- **プロジェクトの印刷時にレイアウトの評価ルールを上書き**：レイアウトを評価できない場合でも、ロールのメンバーがプロジェクトを印刷できます。

コンテンツの権限： 変更履歴の編集

これらの権限を使用して、変更内容をユーザーが同意および拒否できるかどうかや、変更履歴のトラッキングをユーザーが有効化および無効化できるかどうかを制御します。

- **変更内容（選択済み／表示済み／すべて）の同意と拒否**：ロールのメンバーが、変更履歴を同意および拒否できます。
- **トラッキングの使用／使用停止**：ロールのメンバーが、変更履歴をオンおよびオフにできます。

コンテンツの権限： アーティクルのコンポーネント

このセクションには、アーティクルのコンポーネントに関連する複数の権限が含まれています。

- **コンポーネントをドラッグ＆ドロップしてプライマリリンクのみ（マルチリンクなし）を作成**：ロールのメンバーが、コンポーネントをドラッグ＆ドロップしてプライマリリンクのみ作成できます。
- **コンポーネントをドラッグ＆ドロップしてプライマリおよびセカンダリリンク（マルチリンク）を作成**：ロールのメンバーが、コンポーネントをドラッグ＆ドロップしてセカンダリリンクを作成できます。

- **コンポーネントのプライマリリンクを上書き**：既にプライマリリンクになっているアーティクルコンポーネントをリンクする間、ユーザーがShiftキーを押すことができるようにするには、このボックスをオンにします。これにより、新規のプライマリリンクが作成されます。
- **コレクション間のコンポーネントのドラッグ＆ドロップを有効にする**：ユーザーがアーティクルのコンポーネントをさまざまなコレクションのプロジェクトにリンクできるようにするには、このボックスをオンにします。
- **プロジェクトからコンポーネントを分離**：ユーザーがプロジェクトからコンポーネントを分離できるようにするには、このボックスをオンにします。
- **コンポーネントをアーティクルに追加**：ロールのメンバーが、コンポーネントをアーティクルに追加できます。
- **コンポーネントをアーティクルから削除**：ロールのメンバーが、コンポーネントをアーティクルから削除できます。
- **コンポーネントの改名とコンポーネントの種類の変更**：ロールのメンバーが、コンポーネントの名前とコンポーネントの種類を変更できます。
- **アーティクルのチェックイン中にローカルリソースを保持**：ロールのメンバーが、チェックイン後のアーティクルとローカルリソースの関連付けを保持できます。

コンテンツの権限： 画像の編集

ユーザーが画像リンクを管理できるようにするには、このエリアのコントロールを使用します。

- **ドラッグ＆ドロップ**:ロールのメンバーが、**ワークスペースブラウザ**ウィンドウからレイアウトに画像をドラッグ＆ドロップできます。
- **コレクション間の画像のドラッグ＆ドロップを有効にする**:ユーザーが画像をさまざまなコレクションのプロジェクトにリンクできるようにするには、このボックスをオンにします。
- **プロジェクトから画像を分離**:ユーザーがプロジェクトから画像を分離できるようにするには、このボックスをオンにします。
- **画像の配置のプロパティを変更**:ロールのメンバーが、取り込まれた画像のプロパティを変更できます。
- **画像の置換またはクリア**:ロールのメンバーが、取り込まれた画像を置換または削除できます。

コンテンツの権限： 編集

これらの権限では、ロールメンバーによるテキストのフォーマット方法を指定します。

- **テキストの編集**:このロールのメンバーは、チェックアウトされたアーティクルのテキストを編集できます。
- **CJK組版機能**：このロールのメンバーはCJKの組版機能を使用できます。
- **段落フォーマット**：このセクションには、段落フォーマットを適用するための権限が含まれています。

- **文字フォーマット**：このセクションには、文字スタイルシートと特定の文字属性（ボールド、イタリック、アンダーライン、上付き字形、下付き字形、および取り消し線）を適用する場合の権限が含まれています。
- **ノート**：このセクションにはノートの作成や編集、および他のユーザーが作成したノートの編集や表示を行うための権限が含まれています。

アプリケーションの権限

アプリケーションの権限は、通常、ユーザーがアプリケーションの機能に対して持つアクセスのレベルと種類に関係があります。

アプリケーションの権限：管理

下記の権限は、ワークフローとファイル管理に適用されます。

- **属性**:このセクションには、アセット属性の表示、作成と変更、および削除を行うための3つの権限が含まれています。
- **変更履歴**：これらの権限を使用して、変更内容をユーザーが同意および拒否できるかどうかや、変更履歴のトラッキングをユーザーが有効化および無効化できるかどうかを制御します。
- **ユーザーとグループ**:このセクションには、ユーザーおよびユーザーのグループを表示、作成、および変更するための権限が含まれています。Lightweight Directory Access Protocol（LDAP）リストから取り込まれたユーザーを管理することもできます。
- **ドロップダウンメニュー属性リスト**:このセクションには、ドロップダウンメニューの属性に含めることができるリストの表示、作成と変更、および削除を行うための3つの権限が含まれています。
- **ロール**:このセクションには、ロールの表示、作成と変更、および削除を行うための3つの権限が含まれています。
- **システム監視**:このセクションには、システム監視、ログオフユーザー、およびシャットダウンしたQuark Publishing Platform Serverを表示するための3つの権限が含まれています。
- **容量**ストレージ：ストレージ機能により、QPS Serverがアセットを保存するための場所、およびファイルタイプごとのルールを指定できます。
  - **リポジトリ**:このセクションには、ロールの表示、作成と変更、および削除を行うための3つの権限が含まれています。
  - **容量**ストレージルール：このセクションには、異なるファイルタイプを保存するための場所の表示、作成と変更、および削除を行うための3つの権限が含まれています。
- **ワークフロー**:ワークフロー：このセクションには、ワークフローの表示、作成と変更、および削除を行うための権限が含まれています。
- **コンテンツタイプ**:ワークフロー：このセクションには、ワークフローの表示、作成と変更、および削除を行うための権限が含まれています。
- **フォーム**:このセクションには、フォームを表示および変更する権限が含まれています。
- **関係**：このセクションには、ワークフローの表示、作成と変更、および削除を行うための権限が含まれています。

アプリケーションの権限：ワークスペース

下記の権限は、Quark Publishing Platformのワークスペースに適用されます。

- **コレクション**:このセクションには、作成、削除、複製、移動、コピー、閲覧および変更するための権限が含まれています。
- **コレクションテンプレート**：このセクションには、コレクションテンプレートの作成、削除、複製、移動、コピーを行うための権限が含まれています。
- **検索**：このセクションには、ワークフローの表示、作成と変更、および削除を行うための権限が含まれています。また、拡張検索表示を有効にすることもできます。
- **ライブプレビュー**：ユーザーが、Quark XML Authorの**参照／プレビュー**ペインで、レンダリングしたXMLドキュメントのライブプレビューを使用できるようになります。

用語集

この用語集は、Quark Publishing Platformの専門用語へのクイックリファレンスとなります。

アーカイブ
バックアップストレージ場所のストレージフォルダにあるQuark Publishing Platformアセットをコピーすることです。アセットをアーカイブしてもQuark Publishing Platform Serverから削除されることはありません。

アーティクル
Quark Publishing Platformワークフローのテキストファイルです。「**リンクされたアーティクル、サブカテゴリのないアーティクル**」、および「**未リンクのアーティクル**」も参照してください。

アーティクルコンポーネント
QuarkCopyDeskアーティクル内のテキストチェーンです。アーティクルコンポーネントは、QuarkCopyDesk、Quark Publishing Platform Web Client、またはQuarkXPress用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアを使用して作成または削除できます。アーティクルコンポーネントごとに独自の割付情報があります。「**画像コンポーネント**」も参照してください。

割り当て
新規プロジェクト、アーティクル、画像、または他のQuark Publishing Platformアセットをユーザー、グループ、または**ユーザー（No One）**にルーティングすることです。

割り当ての通知
割り当てを通知する音声警告またはダイアログボックスです。QuarkCopyDesk、QuarkXPress、およびQuark Publishing Platform Clientのユーザーは、Quark Publishing Platform Serverにログオン中割り当ての通知に関する環境設定を行うことができます。ユーザーは音声警告、ダイアログボックス警告、または両方の警告を受信するか、またはどちらの警告も受信しないようにすることができます。

リンクされたアーティクル
QuarkXPressプロジェクトで1つ以上のテキストボックスまたは画像ボックスにリンクされたアーティクルです。リンクされたアーティクルには、テキスト、画像コンテンツ、およびページ画像が含まれます。

リンクされた画像
QuarkXPressプロジェクトで画像ボックスにリンクされた画像です。

属性
Quark Publishing Platformアセットにリンクされた固有の情報です。一般的なQuark Publishing Platformアセットの属性セットには、アセットが割り当てられた日時、期限の日時、アセットの現在の状況などの情報があります。管理者ロールのユーザーがサーバーレベルで属性を定義する必要があります。

属性フィールド
Quark Publishing Platformアセット属性の要素です。各属性フィールドには、期限や状況などの固有の情報があります。フィールドは通常アクセス（属性の編集権限を持つすべてのユーザーが利用可能）または限定アクセス（適切な権限を持つユーザーのみが使用可能）のどちらかです。フィールドへのアクセスは制限により制御できます。フィールドの種類には、テキストフィールド、日付フィールド、時間フィールド、数値フィールド、単位フィールド、チェックボックスフィールド、およびドロップダウンメニューフィールドがあります。

チェックアウトのキャンセル
チェックアウト済みアセットに行った変更を破棄し、ハードディスクから削除することです。チェックアウトをキャンセルすると、Quark Publishing Platform Serverの最近チェックアウトしたバージョン（または保存されている最新リビジョンがある場合はそのリビジョン）が、再度最新バージョンとなります。

チェックイン
「チェックイン」の意味は、アセットがすでにQuark Publishing Platformワークフローの一部であるかどうかにより異なります。アセットが新規の場合、チェックインによりアセットがQuark Publishing Platform Serverに追加され、そのアセットがQuark Publishing Platformワークフローに導入されます。アセットがすでにQuark Publishing Platform Serverにある場合、チェックインにより、アセットのチェックアウト後そのアセットのコントロールがQuark Publishing Platform Serverに戻されます。チェックインには通常、別のユーザーまたはグループへのアセットのルーティングが伴いますが、ユーザーは自身にルーティングすることも可能です。

チェックアウト
アセットのチェックアウトは、最新バージョンのアセットを編集できるようにローカルハードディスクにコピーすることです。アセットをチェックアウトしている間、他のユーザーはそのアセットを編集できません。編集が完了すると、アセットをチェックインしてコントロールをQuark Publishing Platform Serverに戻す必要があります。

出力ファイルの収集
QuarkXPressコマンドの1つで、プロジェクトのコピー、プロジェクトに取り込まれた画像アセットのコピー、プロジェクトで使用するカラープロファイルとフォント、およびプロジェクト要素に関するレポートを作成できます。プロジェクトの「出力ファイルの収集」バージョンを作成すると（通常すべてのリンクされたアーティクルおよびページ要素が完了し、プロジェクトの出力準備が完了した後）、アーティクルのテキストがコピーに保存され、QuarkXPressの任意の互換バージョンを使用して開示および印刷できます。

コレクション
コレクションとは、関連しているアセットのグループです。各コレクションには、1つまたは複数のワークフロー（オプションとして自動ルーティング規則とともに）、一連のジョブジャケット、複数の関連ユーザーおよびグループ、アセットの種類ごとのリビジョン設定を関連付けることができます。

コレクションテンプレート
コレクションテンプレートを使用すると、簡単にコレクションの作成や管理ができます。たとえば、複数の出版物があり、それぞれの出版物で、同じ設定の"Images"サブコレクションが必要だとします。それぞれの"Images"コレクションを手作業で最初から作成するのではなく、"Images Template"というコレクションテンプレートを作成して、そのテンプレートからそれぞれの"Images"のコレクションを作成できます。後からユーザーを追加する必要がある場合や、"Images"サブコレクションによって使用されるジョブチケットに変更を加える必要がある場合は、"Images Template"のコレクションテンプレートに変更を加えるだけです。変更の内容は、そのコレクションテンプレートを使用しているすべてのコレクションに自動的に適用されます。

コンポーネント
「**アーティクルコンポーネント**」および「**画像コンポーネント**」を参照してください。

制限
ユーザーがアセットをチェックインする場合、リビジョンを保存する場合、または属性を編集する場合に、属性フィールドに対して実行できない制限事項です。制限により、フィールドの値を変更するようユーザーに要求したり、フィールドに値を入力するようユーザーに要求したり、またはユーザーがフィールドのコンテンツを変更できないようにしたりすることができます。制限は状況やロールに基づいて設定できます。

コピーテイスティング（「テキストプレビュー」ともいいます）
ワークスペースウィンドウにQuarkCopyDeskアーティクルコンポーネントまたはテキストファイルの最初の255文字を表示する機能です。

チェックアウト済みアセットのデフォルトのパス
ユーザーがチェックアウトして作業しているアセットを格納する、ユーザーのハードディスクにあるフォルダです。

Delete
Quark Publishing Platformアセットの削除は、アセットをQuark Publishing Platform Serverから半永久的に削除することです。また、Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアおよびQuarkCopyDeskを使用してアーティクルコンポーネントを削除することもできます。

複製先サーバー
アセットを複製する際にそのアセットのコピー先となるサーバーです。

分離
リンクされたアーティクルまたは他のQuark Publishing Platformアセットの分離は、QuarkXPressプロジェクトでアセットとテキストボックスまたは画像ボックスのリンクを解除することです。リンクの分離後、アセットまたはアーティクルはQuark Publishing

Platform Serverに残っているため、別のボックスまたはプロジェクトにリンクできます。

表示サブメニュー（表示メニュー）および表示ドロップダウンメニュー（ワークスペースツールバー）
ファイル名、コレクション、サムネールプレビュー、またはサムネールプレビューのスクロール可能な「フィルムストリップ」に応じて検索結果を表示できる、表示オプションです。「ワークスペースブラウザウィンドウで詳細検索の表示を有効にする」権限を持っているユーザーの場合、追加のオプションが表示されます。権限を持つユーザーは、検索結果を名前、プロジェクト、プロジェクトとページ、および属性ごとに階層にして表示できます。この権限のないユーザーは、名前別に表示される検索結果を確認できます。ディスプレイモードを変更するには、**表示**ドロップダウンメニューまたは**表示**サブメニュー（**表示**メニュー）からオプションを選択します。

ドラッグ＆ドロップ
アーティクルまたは画像をQuarkXPressプロジェクトのボックスまたはQuarkCopyDeskアーティクルのコンポーネントにリンクさせる方法です。Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアを使用すると、アセットのアイコンをクリックしてボックスまたはコンポーネントにドラッグし、マウスのボタンを離せば、アセットを**ワークスペース**ウィンドウまたはファイルシステムのフォルダからドラッグ&ドロップできます。画像ファイルをQuarkXPressプロジェクトへリンクさせると、そのファイルを画像またはQuarkCopyDeskアーティクルとして割り当てることができます。

アセットの複製
Quark Publishing Platformアセットのコピーを作成する操作です。権限のあるユーザーは、**ワークスペース**ウィンドウでアセットを選択し、**複製**をクリックできます。複製されたアセットには、元のアセットと同じ属性情報が含まれますが、リビジョンはありません。

属性の編集
Quark Publishing Platformアセットの属性フィールドを変更する操作です。**ワークスペース**ウィンドウでアセットを選択し、**属性の編集**をクリックすると、**属性情報**ダイアログボックスに、アクセスできるすべての属性フィールドが表示されます。

お気に入り
ワークスペースブラウザの**ワークスペース**ナビゲーションペイン内の領域です。頻繁に使用するコレクションや検索結果に簡単にアクセスできるように、リンクを保存することができます。

適正
アーティクルコンポーネントが割り当てられた長さと一致すると、QuarkCopyDeskの**メジャー**パレットに**適正**と表示されます。アーティクルコンポーネントが一致しない場合、**メジャー**パレットに足りないスペースまたは余ったスペースの寸法が表示されます。

全画面表示
QuarkCopyDeskの3つの表示オプションの1つです。アーティクルウィンドウの幅に合わせてアーティクルのテキストを1列で表示します。全画面表示では、一部の文字書式を

高速で再描画して表示できますが、段落の書式や改行は表示されません。「**ゲラ表示**」および「**WYSIWYG表示**」も参照してください。

ゲラ表示
QuarkCopyDeskの3つの表示オプションの1つです。アーティクルのテキストを1列で表示し、改行を正確に表示しますが、段落の書式や文字属性は一切表示されません。「**全画面表示**」および「**WYSIWYG表示**」も参照してください。

ジオメトリ
ジオメトリは、ボックス形状の情報、回り込み情報、テキストの書式情報、例外ハイフン、およびプロジェクトでのテキストフローを決定するその他の要素からなります。リンクされたアーティクルには、リンク元プロジェクトのジオメトリが含まれます。WYSIWYG表示で正確な割付情報とテキスト表示を維持するには、ジオメトリが必要です。

取り込み
アセット自体をチェックアウトせずにQuark Publishing Platformアセットのコピーを取得する機能です。**取り込み**を使用してアセットのコピーを取得しても、対応するマスターファイルには影響しません。

グループ
ユーザーの定義済みリストを参照する名前です。アセットは単一ユーザーにルーティングするのと同じ方法でグループにルーティングできます。グループにルーティングされたアセットは、そのグループに属するすべてのユーザーの割り当ての**ワークスペース**ナビゲーションペインに表示されます。

版
サーバーレベルの属性であり、コンテンツ構造とQuark Publishing Platformアセットを編成するための、カスタマイズ可能なカテゴリを提供します。「ワークスペースブラウザウィンドウで詳細検索の表示を有効にする」権限を持つユーザーは、版に関連付けられたアセットに応じて検索の表示を編成できます。

LDAP（Lightweight Directory Access Protocol）
LDAPは管理者がユーザーアカウントを複数のネットワークシステム向けに統合するためのプロトコルです。LDAPはWindowsではしばしば「アクティブディレクトリ」と呼ばれ、一箇所でユーザーを追加、削除、および変更してQuark Publishing Platformで更新できるため、システム管理が効率化されます。またQuark Publishing Platform管理者は、LDAPのリストにない別のユーザーを作成および管理することもできます。

限定アクセスフィールド
限定アクセスフィールドの編集権限を持つユーザーのみが編集できる、Quark Publishing Platform属性のフィールドです。「**通常アクセスフィールド**」も参照してください。

ログファイル
ログファイルは、Quark Publishing Platform Serverの動作を記録します。

ログオフ
Quark Publishing Platform Serverから接続を解除する操作です。

ログオン
Quark Publishing Platform Serverに接続する操作です。ログオンするには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

マッピングセット
アセット複製時のコピー場所と属性データの処理を決定する、一連の複製ガイドラインです。マッピングセットにより、複製元サーバーの属性フィールドの値を、複製先サーバーの対応する属性フィールドの値にマッピングする方法を指定できます。

マスターファイル
Quark Publishing Platformアセットの最新チェックインバージョンです。マスターファイルはQuark Publishing Platformファイルリポジトリに保存されます。

マルチリンク
アーティクルまたは画像を複数のプロジェクトにリンクする機能です。マルチリンクには1つの「プライマリリンク」と1つ以上の「セカンダリリンク」が含まれます。

通常アクセスフィールド
属性の編集権限を持つユーザーが編集可能な属性フィールドです。「**限定アクセスフィールド**」も参照してください。

ノート
Notes XTensionsを使用して、QuarkCopyDeskまたはQuarkXPressを使用するアーティクルに挿入される注釈です。編集者はノートを使用して、ライターに名前のスペルチェックや構文の精度をチェックするよう要求できます。ノートを非表示にして、テキストフローに影響させないようにすることができます。QuarkCopyDeskユーザーは、アーティクルのノートを印刷できます。

オーバーセット
割り当てられている長さよりも現在の長さが長い場合は、アーティクルはオーバーセットの状態です。「**適正**」および「**アンダーセット**」も参照してください。

ページ画像
QuarkCopyDeskアーティクルのリンク先となるQuarkXPressプロジェクトページの画面上の表示です。ページ画像は、QuarkCopyDeskのWYSIWYG表示とQuark Publishing Platform Web Clientで表示されます。

ペイン
Quark Publishing Platform Clientインターフェイスのユーザー固有のコントロールを持つ領域です。

パスワード
ユーザーがQuark Publishing Platform Serverにログオンする際に必要となる文字列です。パスワードは空白のままにしておくこともできます。

画像
QuarkXPressと互換性のある書式の画像ファイルです。

画像コンポーネント
画像を含むQuarkCopyDeskアーティクルコンポーネントです。

プレビュー
ワークスペースウィンドウのアセットの表示です。

プライマリリンク
QuarkXPressプロジェクトで、アーティクルとテキストボックスまたは画像および画像ボックスの間に作成される最初のリンクです。プライマリリンクにより、QuarkCopyDeskを使用してアーティクルの編集時に使用するジオメトリが決まります。プライマリリンクが解除されていて、QuarkXPressユーザーがログオンしている場合、そのユーザーは新しいプライマリリンクを確立できます。このQuarkXPressユーザーはリンクを上書きして新しいプライマリリンクを確立できます。「**セカンダリリンク**」も参照してください。

権限
権限により、ロールのメンバーが特定のQuark Publishing Platformアセット、属性フィールド、およびソフトウェア機能にアクセスできるかどうかが、およびいつアクセスできるかが決まります。たとえば「確認者」ロールの権限により、メンバーはノートをアーティクルに追加できますが、アーティクルのテキストは編集できません。権限はアセットの状況に応じて変更できます。「**状況の権限**」も参照してください。

Quark Publishing Platform
「**Quark Publishing Platform**」を参照してください。

QPP Clientアプリケーション
ワークフロー管理者の機能、ファイル管理、およびサードパーティアプリケーションへの接続を提供するアプリケーションです。

QuarkCopyDesk
テキスト、ノート、および画像を入力および編集できるアーティクルを開いて作成するアプリケーションです。QuarkCopyDeskはQuark Publishing Platform Serverにリンクさせるか、またはスタンドアロンのテキストプロセッサとして使用できます。

QuarkCopyDesk環境設定ファイル
QuarkCopyDeskプログラムのデフォルト情報を含むファイルです。QuarkCopyDesk Preferences.prfファイルには、アプリケーションの環境設定、アーティクルの環境設定、スタイルシート、色、H&J（ハイフネーション＆ジャスティフィケーション）仕様、リスト、ユーザー辞書のパス情報、および例外ハイフンが含まれています。

QuarkCopyDeskユーザーがQuark Publishing Platform Serverにログオンし、QuarkXPressプロジェクトにリンクされているアーティクル、またはサーバーのデフォルトから作成されたアーティクルを使用する場合、プロジェクトレベルとサーバーレベルの属性により、QuarkCopyDesk Preferences.prfファイルの設定が上書きされます。

QuarkCopyDeskテンプレート
書き込み保護されたバージョンのQuarkCopyDeskアーティクルで、テンプレート形式でファイルを保存して作成します。QuarkCopyDeskテンプレートを開くと、テンプレートファイルの編集可能なコピーを作成できます。

QuarkDispatch設定ファイル
旧バージョンのQuark Publishing Platform（Quark Publishing Platform 7以前）のパラメータを定義するファイルです。

Quark Publishing Platformアセット
アーティクル、プロジェクト、画像、またはQuark Publishing Platform Serverにチェックインされたその他のアセットです。Quark Publishing Platformアセットには関連する属性セットがあります。この属性セットには、期限や最近アセットを変更したユーザーの名前など、アセットに関する情報が含まれています。

Quark Publishing Platform Server
Quark Publishing Platform内でシステムにおけるすべてのトランザクション（アセットの移動や更新）を追跡し、アセットを検索および取得し、すべての要素とアセットのアクセス権限を管理する、ネットワークアプリケーションです。

Quark Publishing Platform Web Client
Quark Publishing Platformワークフロー内で使用する、ブラウザベースのテキスト編集アプリケーションです。

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェア
QuarkXPressユーザーとQuarkCopyDeskユーザーがQuark Publishing Platform Serverに接続できるようにするためのXTensionsソフトウェアです。Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアにより、QuarkXPressユーザーはアーティクルを割り当て、アーティクルおよび画像を検索し、それらをプロジェクトのテキストボックスや画像ボックスにリンクさせることができます。**ジオメトリの更新**機能を使用すると、QuarkXPressユーザーはリンクされたアイテムを持つプロジェクトの変更を他のユーザーに通知できます。

Quark Publishing Platform
Quark Inc.のソフトウェアに基づいて統合されたワークグループパブリッシングプラットフォームです。QPS（Quark Publishing Platform）では、編集、ページレイアウト、およびワークグループ管理の機能を提供します。QuarkXPressを元に作成されたQuark Publishing Platformにより、ライター、編集者、グラフィックアーティスト、およびワークグループ管理者が、プロジェクトを同時に使用できます。

編集不可
Quark Publishing Platform ServerからQuark Publishing Platformアセットの編集不可コピーを取得することです。

必須値
アセット属性の制限で、チェックイン前にフィールド値の入力または選択、リビジョンの保存、または属性編集操作をユーザーに要求します。

復帰
Quark Publishing Platformアセットの前のリビジョンにアクセスする操作です。アセットのリビジョンを表示する権限のあるユーザーは、リビジョンを選択してそこに復帰さ

せることができます。旧リビジョンに復帰すると、そのリビジョンがQuark Publishing Platform Serverの最新リビジョンになります。

リビジョン
Quark Publishing Platformアセットの旧バージョンです。新規リビジョンは、アセットのチェックイン時に毎回保存されますが、リビジョンを手動で保存することもできます。適切な権限があれば、リビジョンを表示して復帰させることができます。「**リビジョンコメント**」および「**リビジョンの追跡**」も参照してください。

リビジョンコメント
リビジョンの保存時またはアセットのチェックイン時に、Quark Publishing Platformアセットのリビジョンにリンクできるメッセージです。

リビジョンの追跡
Quark Publishing Platformサイトで自動的にリビジョンを保存し、割り当てまたはチェックインが行われてから作成されシステムから削除されるまで、制作プロセスを通じてルーティングされるQuark Publishing Platformアセットの場所を追跡する機能です。

ロール
Quark Publishing Platformアセット、属性フィールド、およびソフトウェア機能へのユーザーアクセスを決定する権限セットです。各ユーザーにロールを割り当てる必要があります。

ルーティング
ユーザーは、Quark Publishing Platformアセットを特定のユーザー、グループにルーティングするか、またはどのユーザーにもルーティングしない（すなわち**ユーザー（No One）**へルーティングする）ことができます。ユーザーにルーティングされたQuark Publishing Platformアセットは、そのユーザーが割り当てをチェックすると**ワークスペース**ウィンドウに表示されます。グループにルーティングされたアセットは、すべてのグループメンバーの**ワークスペース**ウィンドウに表示されます。

検索
Quark Publishing Platform Serverの属性に応じてアセットの検索に使用する一連の条件です。検索に応じて、**ワークスペース**ウィンドウで一致するアセットのリストがQuark Publishing Platform Serverから返されます。

検索結果ペイン
ワークスペースブラウザパレットの**ワークスペース**ペイン内にあるペインです。検索結果が表示されます。

セカンダリリンク
プロジェクトのテキストボックスまたは画像ボックスと、別のプロジェクトにすでに関連付けられているQuark Publishing Platformアセットのリンクです。セカンダリリンクを作成するには、リンクされたアーティクルまたは画像を別のプロジェクトのボックスへドラッグ&ドロップします。セカンダリリンクは基本的に元のコンテンツに対する編集不可のリンクですが、コンテンツの更新時にこのリンクも更新できます。「**プライマリリンク**」も参照してください。

サーバー
Quark Publishing Platformサイトの組織の最上位レベルです。

複製元サーバー
アセットを複製する際にそのアセットのコピー元となるサーバーです。

スプレッド表示
ページスプレッドのプレビューを表示するビューです。このビューは、Quark Publishing Platformクライアントの**プレビュー**ペインで表示されます。

状況
Quark Publishing PlatformアセットがQuark Publishing Platformワークフローで経過する名前付きの「段階」です。一連の状況には、割り当て済み、初稿、編集済み、コピー編集済み、校正済み、最終稿などがあります。状況は管理ロールのメンバーがワークフローレベルで設定します。また、さまざまなニーズに応じて状況をカスタマイズすることもできます。

状況の権限
アセットが特定の状況に達した場合にユーザーに許可されている権限です。状況の権限はロールの権限と同じにすることもできますが、状況に合わせて別に定義にすることもできます。管理ロールのメンバーは状況の権限を設定できます。

状況に応じたルーティング
Quark Publishing Platformアセットの新しい状況を選択した場合に、そのアセットを別のユーザーまたはグループへ自動的にルーティングする機能です（たとえば、アーティクルの状況が「編集準備完了」に設定されると、編集者の名前が自動的に**ルーティング先**ドロップダウンメニューから選択されます）。

SI（システムインテグレータ）
SIは、サイトの現在のハードウェアおよびソフトウェアのニーズを評価し、Quark Publishing Platformシステムに必要なハードウェアおよびソフトウェアを統合する方法を決定し、システムをインストールし、技術サポート、研修、専門知識などを提供します。SIはQuarkの社員ではありませんが、Quark Software Inc.の研修を受けて認定されていて、Quark Publishing Platformソフトウェアを販売、インストール、およびサポートします。

未リンクアーティクル
Quark Publishing Platform Serverの追跡している、しかしプロジェクトのボックスにリンクされていないアーティクルです。

未リンクアイテム
プロジェクトにリンクされていないQuark Publishing Platformアセットです。

未リンク画像
Quark Publishing Platform Serverの追跡している、しかしプロジェクトのボックスにリンクされていない画像です。

アンダーセット
現在の長さが割り当てられている長さよりも小さい場合は、アーティクルがアンダーセットされます。「**適正**」および「**オーバーセット**」も参照してください。

ユーザー
Quark Publishing Platform Serverを設定すると、システム全体のユーザーリストをサーバーレベルで作成する必要があります。サーバーレベルのリストにあるユーザーは、コレクションで選択的に包含または除外できます。

ワークスペースブラウザウィンドウ
Quark Publishing Platform Clientのほとんどすべてのクライアントタスクと管理タスク、および他のQuark Publishing Platformクライアントアプリケーションのほとんどすべてのクライアントタスクを実行できるウィンドウです。

ワークスペースナビゲーションペイン
ワークスペースペインの左側にある領域です。検索の実行や、お気に入り、保存済みの検索結果、未保存の検索結果、共有検索結果、割り当て、コレクションへのアクセスが簡単にできます。

ワークスペースウィンドウ
ワークスペースウィンドウには、Quark Publishing Platform機能の大部分を実行するためのボタンおよびドロップダウンメニューが含まれていて、検索結果を表示します。

WYSIWYG表示
QuarkCopyDeskの3つの表示オプションの1つです。アーティクルのリンク先となるプロジェクトのジオメトリを使用して、そのアーティクルのテキストを表示します。アーティクルにページ画像が含まれている場合、WYSIWYG表示でそのページ画像も表示されます（「WYSIWYG」は、What You See Is What You Get（見た通りのものが結果に反映されること）の略です）。「**ゲラ表示**」および「**全画面表示**」も参照してください。

XTensionsソフトウェア
QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskに機能を追加するソフトウェアです。

法律上の注記

©2022 Quark Software Inc. and its licensors.All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、7,463,793およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、およびQuark Publishing Platformは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

索引

A

App Studio 120, 122
App Studioアーティクル 63
App Studioパッケージ 63

E

ePUB 63, 122

F

Flash 122

M

Microsoft Word 146

P

PDF 63, 122

Q

QuarkCopyDesk 65, 81, 109, 110, 141, 142
QuarkXPress 66, 67, 81, 88, 99, 109, 133, 135
QuarkXPressプロジェクト 63

R

RTF 64

S

SWF 122

Z

Zave形式 122

あ

アーカイブ 79, 132
アーティクル 109, 167, 168
アーティクルテンプレート 117, 121
アイコン 59
アウトラインスタイル 165
アクティビティの監視 43
アセットのアーカイブ 43, 44, 52
アセットのチェックアウト 49, 63, 109, 110
アセットのチェックイン 49, 50, 63, 93, 94
アセットのプレビュー 60
アセットの移動 43
アセットの開示 49
アセットの割り当て 74, 98, 99
アセットの管理 74
アセットの作成 81
アセットの削除 44, 51
アセットの取り込み 49, 63, 122, 158
アセットの書き出し 79
アセットの表示 49, 63
アセットの復元 43, 45, 52
アセットの複製 52
アンカーされた画像ボックス 119

か

カスタマイズ 52, 88, 108, 127, 128, 129, 130, 131, 132, 133, 135, 141, 142, 146, 168, 174

く

クイック検索 102
グループ 18, 40

こ

コールアウト 171
ここから検索 106
コピーテイスティング 78
コレクション 82, 83, 90, 91, 92
コレクションテンプレート 64, 82
コレクションの取り込み 49
コレクションの種類 21, 83
コンテンツタイプ 22
コンテンツに相違あり 114
コンテンツ構造 47
コンパクト表示 52
コンポーネントリンク 119

さ

サーバー名 79

し

ジオメトリ、置換 121
ジオメトリに相違あり 114
ジョブジャケット 81, 88

す

スクリプト 176, 180
スタイルシート 164
ストレージオプション 19, 20

せ

セカンダリリンク 114

ち

チェックアウトのキャンセル 49, 64, 111

て

テキストファイル 118
デジタルアセット 120
テンプレート 112, 162
テンプレート、編集 162

と

トラッキング 78

は

パスワード 79
パブリッシング 50
パブリッシングアセット 122, 158

ふ

フォーム 21, 33
プライマリリンク 114
プロジェクト 109

へ

ページ画像 118

ゆ

ユーザー 18, 34, 40
ユーザー名 79

ら

ライブラリ 121

り

リスト表示 53
リビジョン 51, 64, 124
リビジョン、保存 50
リビジョンの保存 50
リポジトリ 19, 20
リンク 51, 113, 114, 115, 118, 119, 120
リンクの分離 120

る

ルーティング 78, 87
ルーティング規則 87

ろ

ロール 34, 47
ログオフ 43, 135, 142
ログオン 79, 154

わ

ワークフロー 18, 30, 31, 33, 73